付 属 資 料

（付属資料）

目　　次

Ⅰ 委員名簿、検討経過等

1 県立高等学校教育の在り方検討委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2 県立高等学校教育の在り方検討委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3 県立高等学校教育の在り方検討委員会開催経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

Ⅱ 関係資料

1 全体

(1) 中学校卒業者数の推移（県全体、ブロック別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
(2) 高等学校進学率、大学進学率の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
(3) 公立高等学校卒業者の進路状況（全体・岩手）（学科ごとの進学・就職一覧、離職率の状況）・・ 31
(4) 学区と高校配置に関する地区割、ブロックの県立高等学校の配置 ・・・・・・・・・ 34
(5) 県立高等学校の設置状況（平成 26 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
(6) 岩手県立高等学校募集定員と合格者数等一覧（平成 26 年度）・・・・・・・・・・・・38
(7) ブロック間交流の状況　（震災前 H18、19、20 の平均と震災後 H24、25、26 の平均）39
(8) 公立高等学校募集学級数の見込み（全日制課程の推計数）・・・・・・・・・・・・・ 41
(9) 経済的な支援が必要な生徒の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
(10) 県立高等学校における特別支援教育の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
(11) 高等学校中途退学者の状況、高等学校における不登校の状況・・・・・・・・・・・・46
(12) 市町村立小中学校数の推移（震災前平成 21 年度、震災後平成 26 年度の比較）・・・ 48

2 県立高等学校新整備計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証

(1) 県立高等学校新整備計画における再編整備の実施状況及び計画期間満了後の取組・・49
(2) 総合選択制高校の現状（検証、志願者・入学者数、進路状況）・・・・・・・・・・・ 50
(3) 総合的な専門高校の現状（検証、志願者・入学者数、進路状況）・・・・・・・・・・ 54
(4) 総合学科高校の現状（検証、定員充足率、系列及び選択者数、比率、教員１人当たりの科目数、志願者・入学者数、進路状況）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
(5) 中高一貫教育校の現状（連携型中高一貫教育校の現状、実践の概要、併設型中高一貫教育校の現状、志願者数と入学者数の推移、進路状況、検証）・・・・・・・・・・・・ 70
(6) 多部制・単位制の現状（県内定時制・通信制入学者の推移、就労していない生徒等の割合、未成年生徒等の割合、通信制課程の現状）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
(7) 統合した学校の現状（検証、志願者・入学者数、進路状況、教員配置数、開設科目数部活動の状況）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78

3 学びの環境整備

(1) 学校規模による比較（今後の生徒数の減少と現在の高校の学校規模、学級数、教諭数開設科目、部活動）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
(2) 県立高等学校における小規模校（普通科）の現状（検証、地元中学校卒業生の割合、志願者数及び入学者数の推移、進路状況）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
(3) 工業系学科の現状（志願者数及び入学者数の推移、進路状況）・・・・・・・・・・・110
(4) 水産系学科の現状（志願者数及び入学者数の推移、進路状況）・・・・・・・・・・・112
(5) 生徒数及び教員数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
(6) 普通科における学区外志願者の状況（震災前 H22 と震災後 H26 の比較）・・・・・・115
(7) 高校入学者の公私比率の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166

4 参考 ブロック別懇談会資料

(1) ブロックの現状について（中学校卒業者の推移、公立高等学校募集学級数の推移、合格者数・総受検者数、ブロック内の私立高校、ブロック内の再編状況）・・・・・・・117
(2) ブロック別懇談会の実施概要、主な意見等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135

県立高等学校教育の在り方検討委員会設置要綱

（設置）

第１「今後の高等学校教育の基本的方向」の策定（平成 22 年３月）から４年が経過し、東日本大震災津波の影響、国における高等学校の制度改正に加えて、少子化の一層の進行等、生徒及び学校を取り巻く環境が大きく変化している現状を踏まえ、今後の県立高等学校教育の在り方についてあらためて検討するため、県立高等学校教育の在り方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２ 委員会は、次の事項について検討を行い、岩手県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

(1) 「今後の高等学校教育の基本的方向」等の検証に関すること

(2) 今後の高等学校教育の在り方に関すること

(3) その他

（組織等）

第３ 委員会は、委員２０名以内で組織する。

２ 委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 市町村長及び市町村教育長

(3) 産業関係団体及びＮＰＯ法人の役職員

(4) 教育関係団体の役職員

(5) その他委員として適当と認められる者

（任期）

第４ 委員の任期は、第２に掲げる検討が終了するまでとする。

２ 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第５ 委員会に、委員長及び副委員長各１名を置く。

２ 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

３ 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

４ 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議の招集）

第６ 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

２ 委員長は、必要があるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

（庶務）

第７ 委員会の庶務は、岩手県教育委員会事務局において処理する。

附 則

この要綱は、平成２６年４月２５日から施行する。

県立高等学校教育の在り方検討委員会 委員名簿

（50 音順）

氏　名	所 属 ・ 職 名 等	備　考
東　　信　之	盛岡視覚支援学校長 岩手県特別支援学校連絡協議会長	
上 田　東 一	岩手県市長会 花巻市長	
植 田　眞 弘	岩手県立大学宮古短期大学部 学部長	
内　舘　　茂	岩手県高等学校ＰＴＡ連合会長	
金　谷　　茂	岩手県ＰＴＡ連合会長	
鎌 田　英 樹	株式会社ＩＢＣ岩手放送代表取締役社長 岩手経済同友会 副代表幹事	
久 慈　竜 也	株式会社久慈設計代表取締役社長 岩手県産業教育振興会理事	
小 岩　和 彦	盛岡市立下橋中学校長 岩手県中学校長会長	
佐々木 幸寿	東京学芸大学大学院教育学研究科 教授	
佐々木 修一	富士大学経済学部 教授	副委員長
嶋 野　重 行	盛岡大学短期大学部 教授	
髙 橋　廣 至	岩手県立盛岡第一高等学校長 岩手県高等学校長協会長	
田 代　高 章	岩手大学教育学部 教授 岩手大学教育学部附属中学校 校長	委員長
畠 山　房 郎	岩手県農業協同組合中央会 常務理事	
藤　原　　斉	岩手県立盛岡工業高等学校長	
細 井　洋 行	岩手県町村会理事 西和賀町長	
盛 合　敏 子	岩手県漁業協同組合連合会女性部連絡協議会 会長	
八重樫 綾子	特定非営利活動法人いわてＧＩＮＧＡ－ＮＥＴ 代表	
山 田　市 雄	陸前高田市教育委員会教育長	

県立高等学校教育の在り方検討委員会 開催経過

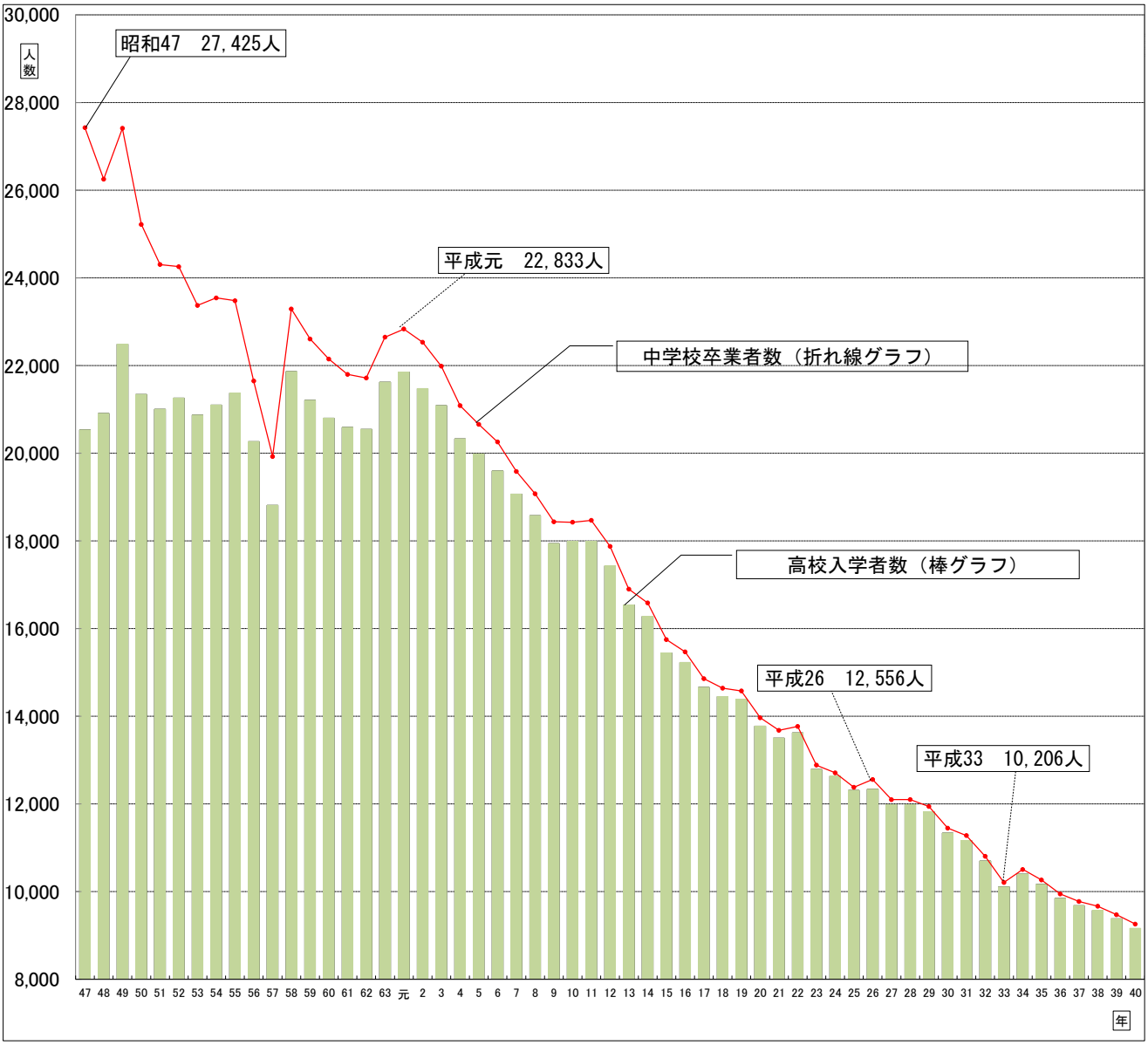
回	開催年月日	議　題	検 討 内 容
第１回	平成26年 5月26日	① 委員長･副委員長の互選 ② 県立高等学校の現状等 ③ 今後の高等学校教育の基本的方向見直しの論点案	① 田代高章委員長、佐々木修一副委員長を互選 ② 県立高校の現状等に関する意見交換 ③ 平成22年３月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」の見直しにあたっての論点案について検討
第２回	平成26年 7月31日	① 前計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証 ② 基本的方向見直しの論点	① 平成22年度以降の取組状況及び前計画で導入した新しいタイプの学校の現状等について意見交換 ② 論点のうち望ましい学校規模、小規模校の在り方等を中心に意見交換
ブロック別懇談会	平成26年 8月6日～ 9月4日	委員会における検討内容(論点)についての意見交換	8/27盛岡ブロック､8/20岩手中部ブロック、8/8胆江ブロック、8/6両磐ブロック、8/19気仙ブロック、9/4遠野釜石ブロック、8/11宮古ブロック、8/25久慈ブロック、9/3二戸ブロック
第３回	平成26年 9月24日	① ブロック別懇談会開催結果 ② 基本的方向見直しの論点	① ブロック別懇談会結果に関する意見交換 ② 生徒減少に対応しつつ、教育を受ける環境や地域との関連等、高校生の学びの環境整備を中心に議論し、委員会としての意見の方向性を検討
第４回	平成26年 10月28日	① 前計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証(まとめ) ② 基本的方向見直しの論点(まとめ)	① 第2回委員会の議論を踏まえ前計画以降の状況等についての検証・評価を再整理し、検討 ② 高校教育の目的達成のための教育内容の充実に向けた方策等を議論し、委員会意見案を検討
第５回	平成26年 12月17日	今後の県立高等学校教育の在り方 (まとめ)	今後の県立高等学校の在り方（報告案）の検討
報　告	平成26年 12月26日	報告書を県教委へ提出(答申)	

Ⅱ　関係資料

1　全体

(1) 中学校卒業者数の推移

［全体］



各年ごとのデータ

年3月	昭和47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
中学校卒業者数	27,425	26,250	27,412	25,216	24,304	24,254	23,370	23,542	23,478	21,647	19,923	23,289	22,605	22,148	21,797
進学率	74.9%	79.6%	82.0%	84.6%	86.4%	87.6%	89.3%	89.6%	91.0%	93.6%	94.4%	93.9%	93.8%	93.9%	94.5%
高校入学者数	20,529	20,904	22,486	21,339	21,004	21,257	20,867	21,101	21,371	20,262	18,812	21,860	21,208	20,801	20,590

年3月	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
中学校卒業者数	21,715	22,648	22,833	22,531	21,985	21,085	20,657	20,256	19,583	19,074	18,435	18,425	18,468	17,874	16,899
進学率	94.6%	95.4%	95.7%	95.3%	95.9%	96.4%	96.7%	96.7%	97.4%	97.4%	97.3%	97.7%	97.4%	97.5%	97.9%
高校入学者数	20,543	21,617	21,847	21,475	21,084	20,329	19,983	19,595	19,068	18,574	17,941	17,993	17,987	17,432	16,541

年3月	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
中学校卒業者数	16,585	15,748	15,468	14,857	14,640	14,576	13,964	13,678	13,767	12,885	12,708	12,379	12,556	12,096	12,099
進学率	98.2%	98.0%	98.4%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.7%	98.9%	99.2%	99.4%	99.4%	99.4%	99.0%	99.0%
高校入学者数	16,279	15,440	15,223	14,661	14,449	14,383	13,776	13,500	13,620	12,788	12,634	12,306	12,366	11,975	11,978

年3月	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
中学校卒業者数	11,941	11,446	11,278	10,804	10,206	10,504	10,265	9,945	9,774	9,665	9,472	9,257
進学率	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
高校入学者数	11,822	11,332	11,165	10,696	10,104	10,399	10,162	9,846	9,676	9,568	9,377	9,164

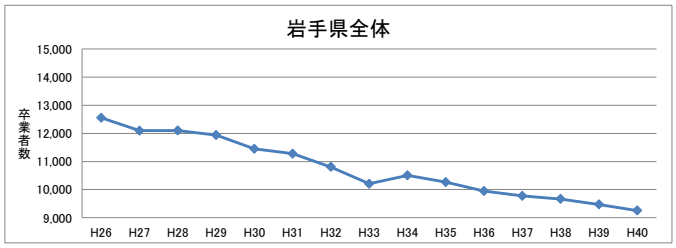
注）中学校卒業者数及び高校入学者数
<中学校卒業者数>・昭和47年から平成26年までは実績値、平成27年度以降は平成26年5月1日現在の在籍生徒数等からの推定値です。
<高　校入学者数>・昭和47年から平成26年までは実績値、平成27年以降は進学率を99.0%に固定し、高校入学者数を計算したものです。

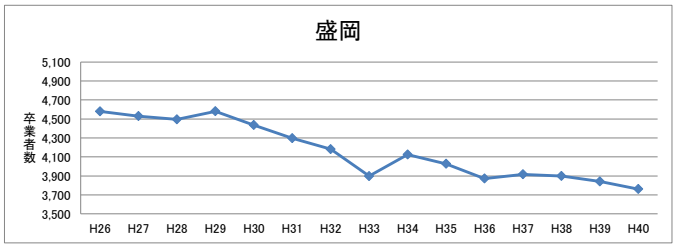
（1）中学校卒業者数の推移（つづき）

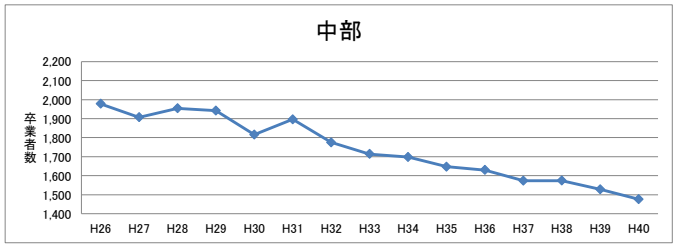
［ブロック別］

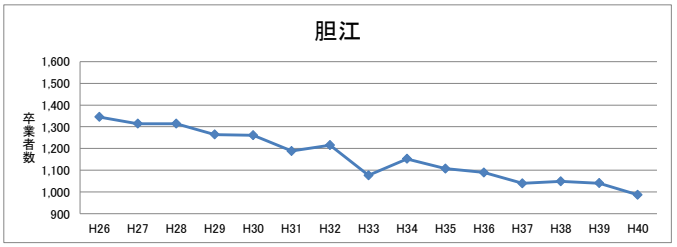
（各年3月末、平成27年以降は推計値）

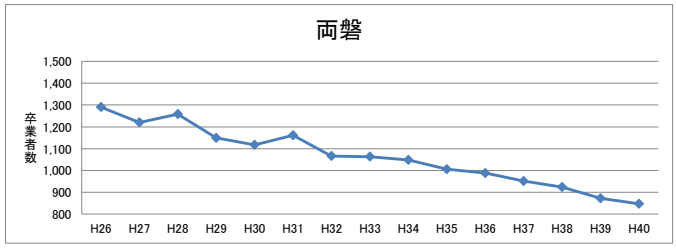
	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
盛岡	4,579	4,530	4,496	4,581	4,435	4,297	4,181	3,897	4,125	4,028	3,872	3,917	3,898	3,841	3,761
		-49	-34	85	-146	-138	-116	-284	228	-97	-156	45	-19	-57	-80
		-49	-83	2	-144	-282	-398	-682	-454	-551	-707	-662	-681	-738	-818
岩手中部	1,978	1,907	1,954	1,942	1,816	1,896	1,775	1,714	1,698	1,647	1,630	1,573	1,574	1,528	1,476
		-71	47	-12	-126	80	-121	-61	-16	-51	-17	-57	1	-46	-52
		-71	-24	-36	-162	-82	-203	-264	-280	-331	-348	-405	-404	-450	-502
胆江	1,345	1,314	1,314	1,264	1,261	1,188	1,215	1,076	1,152	1,107	1,089	1,039	1,048	1,040	986
		-31	0	-50	-3	-73	27	-139	76	-45	-18	-50	9	-8	-54
		-31	-31	-81	-84	-157	-130	-269	-193	-238	-256	-306	-297	-305	-359
両磐	1,290	1,220	1,258	1,149	1,117	1,161	1,066	1,063	1,048	1,006	988	951	924	872	847
		-70	38	-109	-32	44	-95	-3	-15	-42	-18	-37	-27	-52	-25
		-70	-32	-141	-173	-129	-224	-227	-242	-284	-302	-339	-366	-418	-443
気仙	622	597	558	555	498	502	474	441	419	413	408	401	392	381	366
		-25	-39	-3	-57	4	-28	-33	-22	-6	-5	-7	-9	-11	-15
		-25	-64	-67	-124	-120	-148	-181	-203	-209	-214	-221	-230	-241	-256
釜石 遠野	720	657	658	621	592	587	537	530	549	540	506	487	491	475	471
		-63	1	-37	-29	-5	-50	-7	19	-9	-34	-19	4	-16	-4
		-63	-62	-99	-128	-133	-183	-190	-171	-180	-214	-233	-229	-245	-249
宮古	843	753	782	755	745	683	602	618	600	640	597	579	548	549	562
		-90	29	-27	-10	-62	-81	16	-18	40	-43	-18	-31	1	13
		-90	-61	-88	-98	-160	-241	-225	-243	-203	-246	-264	-295	-294	-281
久慈	630	639	594	581	527	523	520	460	474	479	471	455	428	433	418
		9	-45	-13	-54	-4	-3	-60	14	5	-8	-16	-27	5	-15
		9	-36	-49	-103	-107	-110	-170	-156	-151	-159	-175	-202	-197	-212
二戸	549	479	485	493	455	441	434	407	439	405	384	372	362	353	370
		-70	6	8	-38	-14	-7	-27	32	-34	-21	-12	-10	-9	17
		-70	-64	-56	-94	-108	-115	-142	-110	-144	-165	-177	-187	-196	-179
全県	12,556	12,096	12,099	11,941	11,446	11,278	10,804	10,206	10,504	10,265	9,945	9,774	9,665	9,472	9,257
H26を基準とした増減		-460	3	-158	-495	-168	-474	-598	298	-239	-320	-171	-109	-193	-215
		-460	-457	-615	-1,110	-1,278	-1,752	-2,350	-2,052	-2,291	-2,611	-2,782	-2,891	-3,084	-3,299

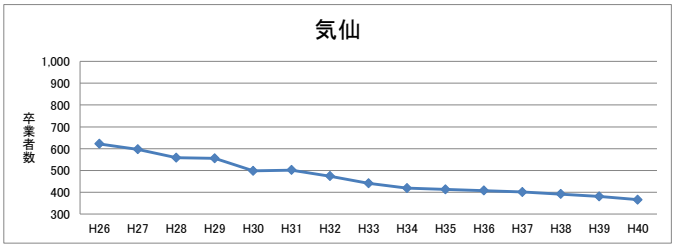


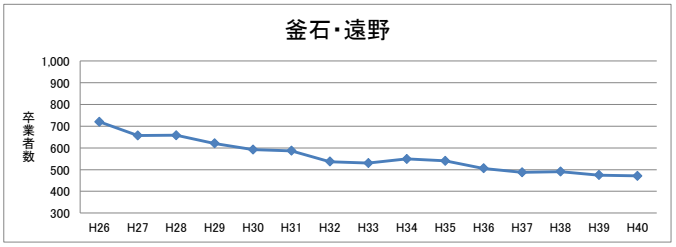


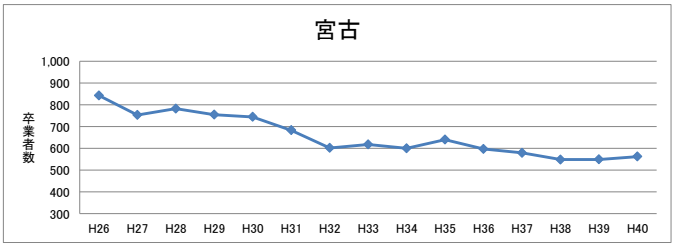


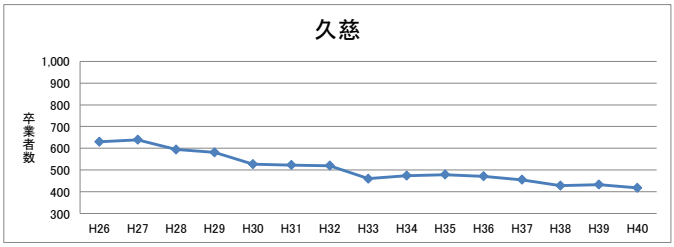


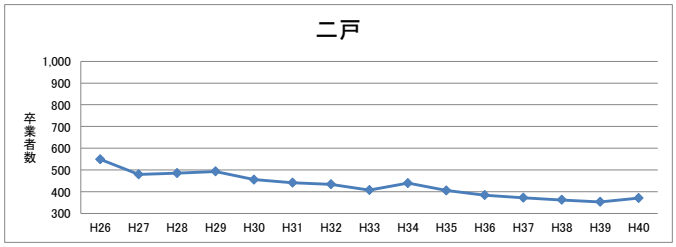






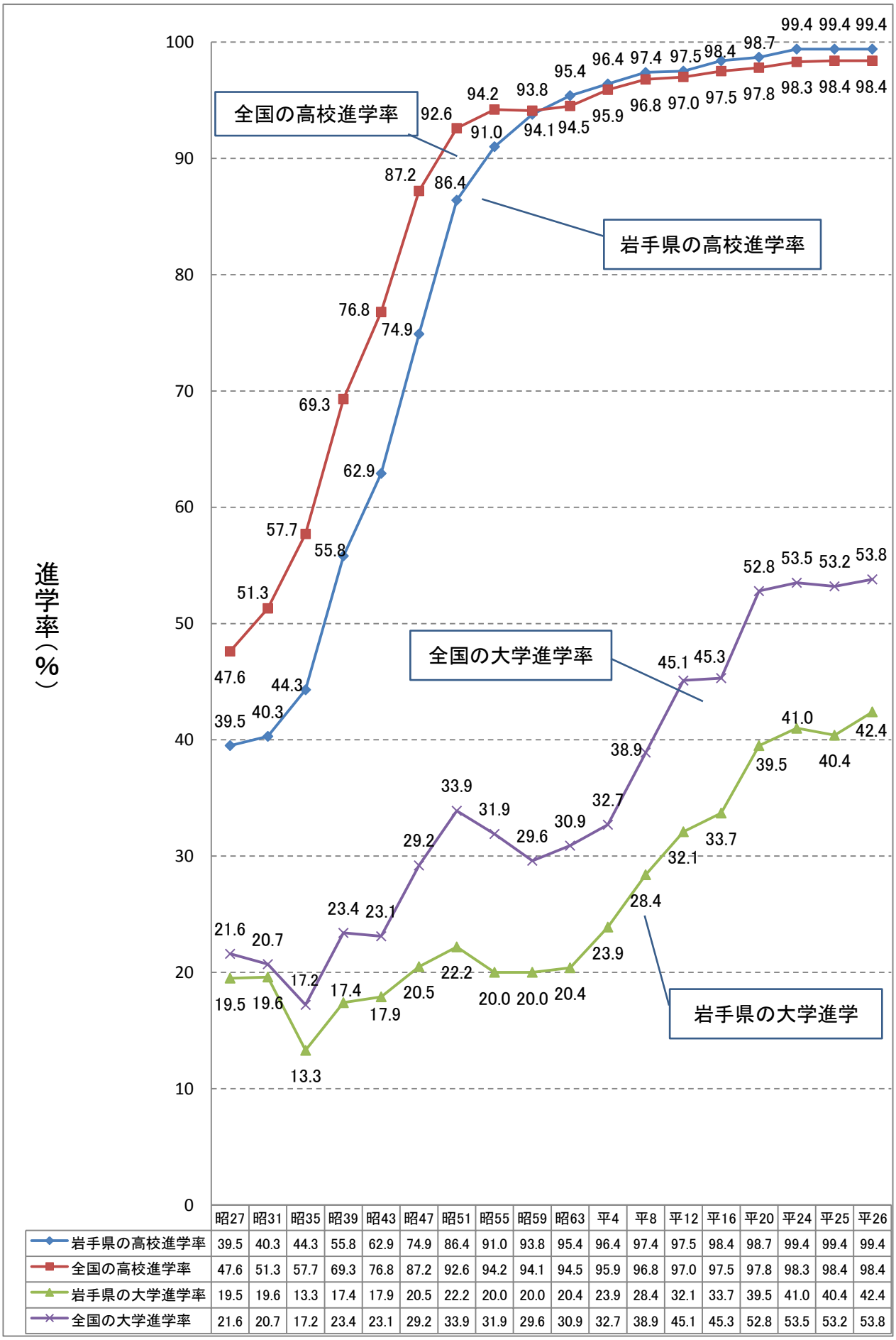






※ グラフの卒業者数（縦軸）の数値は、地区によって異なります。

（2）高等学校進学率・大学進学率の推移



	昭27	昭31	昭35	昭39	昭43	昭47	昭51	昭55	昭59	昭63	平4	平8	平12	平16	平20	平24	平25	平26
岩手県の高校進学率	39.5	40.3	44.3	55.8	62.9	74.9	86.4	91.0	93.8	95.4	96.4	97.4	97.5	98.4	98.7	99.4	99.4	99.4
全国の高校進学率	47.6	51.3	57.7	69.3	76.8	87.2	92.6	94.2	94.1	94.5	95.9	96.8	97.0	97.5	97.8	98.3	98.4	98.4
岩手県の大学進学率	19.5	19.6	13.3	17.4	17.9	20.5	22.2	20.0	20.0	20.4	23.9	28.4	32.1	33.7	39.5	41.0	40.4	42.4
全国の大学進学率	21.6	20.7	17.2	23.4	23.1	29.2	33.9	31.9	29.6	30.9	32.7	38.9	45.1	45.3	52.8	53.5	53.2	53.8

※ 資料：学校基本調査（H26については、平成26年8月7日時点の速報値である。）

（3）公立高等学校卒業者の進路状況

ア 学科ごとの進学・就職一覧（全国、全日制）

（単位：人・％）

	計	大学等進学者			専修学校（専門課程）進学者			就職者			大学等進学率（％）	専修学校（専門課程）進学率（％）	就職率（％）
		計	男	女	計	男	女	計	男	女			
普通	777,783	491,870	238,419	253,451	119,517	46,205	73,312	59,384	31,829	27,555	63.2	15.4	7.7
農業	27,165	3,782	1,903	1,879	6,975	3,210	3,765	14,082	7,923	6,159	13.9	25.7	52.2
工業	79,903	12,222	10,615	1,607	12,039	10,009	2,030	50,877	47,299	3,578	15.3	15.1	63.7
商業	68,770	17,902	7,686	10,216	18,359	6,012	12,347	27,921	8,850	19,071	26.0	26.7	40.8
水産	2,912	460	389	71	403	271	132	1,825	1,384	441	15.8	13.8	62.7
総合学科	52,364	19,058	7,752	11,306	15,318	5,198	10,120	13,252	6,229	7,023	36.4	29.3	25.5
全体計	1,063,700	575,496	276,855	298,641	181,312	72,618	108,694	175,936	105,868	70,068	54.1	17.0	16.6

資料：平成25年度　学校基本調査

イ 学科ごとの進学・就職一覧（岩手県）

（課程別、学科別）

（単位：人・%）

区　分	合計（卒業者総数）	大学等進学者A（就職進学者含む）	専修学校（専門課程）進学者B（就職進学者含む）	専修学校（一般課程）進学者C（就職進学者含む）	就職者（就職進学者除く）	一時的な仕事に就いた者	左記以外のもの	死亡・不詳	（再掲）A、B、Cのうち就職している者	大学等進学率	専修学校等進学率（B+C）	就職率
合　計	12,581	5,089	2,686	698	3,748	42	310	8	15	40.4	26.9	29.9
全日制	12,382	5,074	2,654	695	3,668	17	266	8	15	41.0	27.1	29.7
普通	7,571	4,261	1,537	471	1,112	9	173	8	9	56.3	26.5	14.8
農業	524	50	137	8	323	1	5	－	2	9.5	27.7	62.0
工業	1,319	95	104	114	994	－	12	－	－	7.2	16.5	75.4
商業	1,033	150	285	36	550	3	9	－	1	14.5	31.1	53.3
水産	103	8	18	10	63	－	4	－	－	7.8	27.2	61.2
家庭	246	43	87	4	108	2	2	－	2	17.5	37.0	44.7
看護	52	50	1	－	1	－	－	－	－	96.2	1.9	1.9
その他	224	117	27	35	34	－	11	－	－	52.2	27.7	15.2
総合	1,310	300	458	17	483	2	50	－	1	22.9	36.3	36.9
定時制	199	15	32	3	80	25	44			7.5	17.6	40.2
普通	189	15	31	2	72	25	44			7.9	17.5	38.1
工業	10	－	1	1	8	－	－	－	－	－	20.0	80.0

資料：県調査統計課「平成25年度　学校基本調査報告書」

※1　「A大学等進学者」とは、大学、短期大学、放送大学、高等学校専攻科、特別支援学校の高等部専攻科等の入学者をいう。

※2　「B専修学校（専門課程）進学者」とは、専修学校の専門課程（高等学校卒業程度を入学資格とする課程で通常、専門学校と称する）へ進学した者及び進学しかつ就職した者をいう。

※3　「C専修学校（一般課程）入学者」とは、専修学校の一般課程及び高等課程又は各種学校（予備校等）に進学した者及び入学しかつ就職した者をいう。

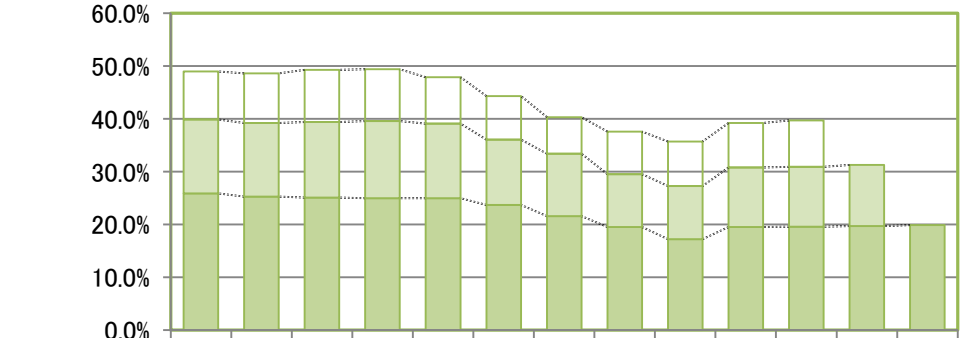
※4　「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を得る仕事に就いた者をいう。（例えばアルバイト、パートで一時的に仕事に就いた者）

※5　「左記以外のもの」とは、一時的に仕事に就いた者、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者をいう。

※6　「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」＋「（再掲）A、B、Cのうち就職している者」の占める比率をいう。

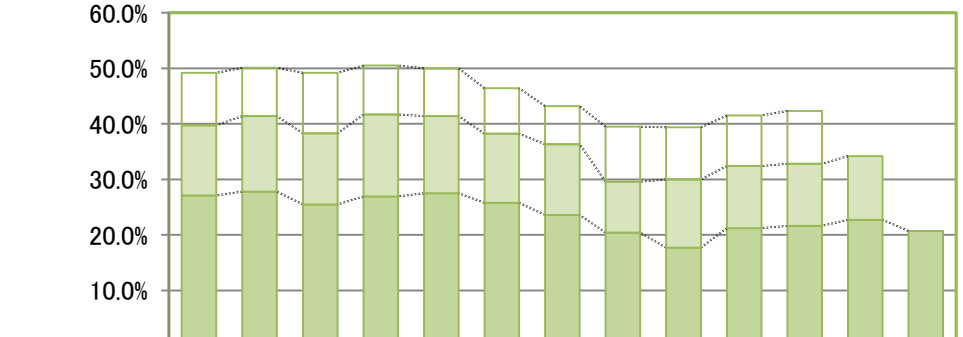
ウ 離職率の状況

新規高等学校卒業就職者　在職期間別離職率推移（全国）



	13年3月卒	14年3月卒	15年3月卒	16年3月卒	17年3月卒	18年3月卒	19年3月卒	20年3月卒	21年3月卒	22年3月卒	23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒
3年目の離職率	9.1%	9.4%	9.9%	9.8%	8.8%	8.2%	6.9%	8.1%	8.4%	8.4%	8.8%		
2年目の離職率	14.0%	13.9%	14.3%	14.6%	14.1%	12.4%	11.8%	10.0%	10.1%	11.3%	11.3%	11.6%	
1年目の離職率	25.9%	25.3%	25.1%	25.0%	25.0%	23.7%	21.6%	19.5%	17.2%	19.5%	19.6%	19.7%	19.9%

新規高等学校卒業就職者　在職期間別離職率推移（岩手県）



	13年3月卒	14年3月卒	15年3月卒	16年3月卒	17年3月卒	18年3月卒	19年3月卒	20年3月卒	21年3月卒	22年3月卒	23年3月卒	24年3月卒	25年3月卒
3年目の離職率	9.5%	8.7%	10.9%	8.8%	8.6%	8.2%	6.9%	9.9%	9.4%	9.1%	9.5%		
2年目の離職率	12.6%	13.6%	12.8%	14.8%	13.9%	12.4%	12.7%	9.2%	12.3%	11.2%	11.2%	11.5%	
1年目の離職率	27.1%	27.8%	25.5%	26.9%	27.5%	25.8%	23.6%	20.4%	17.7%	21.2%	21.6%	22.7%	20.7%

資料：岩手労働局

（4）学区と高校配置に関する地区割、ブロックの県立高等学校の配置

ア 学区の状況

［学区］
岩手県立高等学校の通学区域に関する規程に定める区域で、高等学校に就学しようとする者は、学区内の高等学校に出願することを原則とする。ただし、特例により、学区の制限を受ける者は、全日制課程の普通科に出願する者のみとなっている。また、全日制課程の普通科においても、定員の10%以内で学区外からの入学を認めている。

学区名	高等学校	学区に属する区域
盛岡学区	盛岡第一	盛岡市
	盛岡第二	花巻市のうち平成17年12月31日における稗貫郡大迫町及び同郡石鳥谷町の区域
	盛岡第三	八幡平市
	盛岡第四	滝沢市
	盛岡北	岩手郡雫石町
	盛岡南	岩手郡葛巻町
	不来方	岩手郡岩手町
	沼宮内	紫波郡紫波町
	葛巻	紫波郡矢巾町
	平舘	宮古市のうち平成21年12月31日における下閉伊郡川井村の区域
	雫石	
岩手中部学区	花巻北	花巻市
	花巻南	北上市
	大迫	遠野市のうち小友町及び平成17年9月30日における上閉伊郡宮守村の区域
	黒沢尻北	紫波郡紫波町
	西和賀	和賀郡西和賀町
胆江学区	水沢	北上市のうち相去町
	前沢	奥州市
	金ケ崎	胆沢郡金ケ崎町
		西磐井郡平泉町
両磐学区	一関第一	一関市
	花泉	奥州市のうち平成18年2月19日における胆沢郡衣川村の区域
	大東	西磐井郡平泉町
	千厩	
気仙・釜石学区	高田	大船渡市
	大船渡	遠野市
	住田	陸前高田市
	釜石	釜石市
	遠野	気仙郡住田町
	大槌	上閉伊郡大槌町
宮古学区	山田	宮古市
	宮古	下閉伊郡山田町
	宮古北	下閉伊郡岩泉町
	岩泉	下閉伊郡田野畑村
久慈学区	久慈	久慈市
	種市	下閉伊郡岩泉町のうち安家
	大野	下閉伊郡普代村
		九戸郡洋野町
		九戸郡野田村
二戸学区	軽米	二戸市
	伊保内	八幡平市のうち平成17年8月31日における岩手郡安代町の区域
	福岡	岩手郡葛巻町
		九戸郡軽米町
		九戸郡洋野町のうち平成17年12月31日における九戸郡大野村の区域
		九戸郡九戸村
		二戸郡一戸町

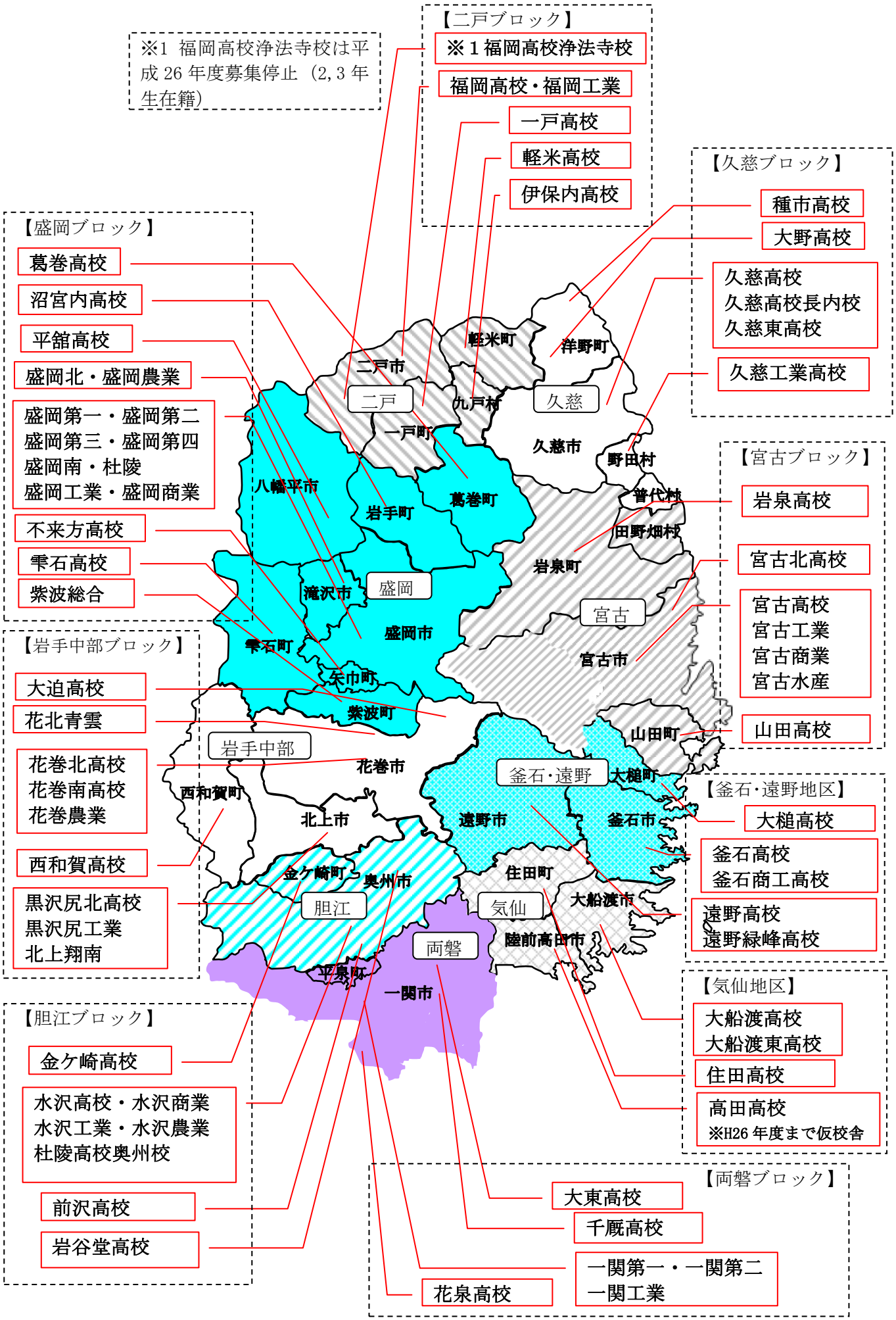
イ 高校配置等に関する地区割

県立高等学校や学科の配置、学級数の調整を行う際の地区割（ブロック）。広域生活圏（９圏域）を基本とし、気仙・釜石学区を気仙ブロックと遠野・釜石ブロックに分割している。

学区	ブロック	ブロック内市町村	ブロック内の高等学校（平成26年度）			
盛岡	盛岡	盛岡市	盛岡第一	盛岡第二	盛岡第三	盛岡第四
			盛岡南	杜陵（定・通）	盛岡工業（全・定）	盛岡商業
			盛岡市立			
			岩手	*岩手女子*	*盛岡白百合*	*江南義塾盛岡*
			盛岡誠桜	*盛岡大付属*	*盛岡スコーレ*	*盛岡中央（全・通）*
		八幡平市	平舘			
		滝沢市	盛岡北	盛岡農業		
		雫石町	雫石			
		葛巻町	葛巻			
		岩手町	沼宮内			
		紫波町	紫波総合			
		矢巾町	不来方			
岩手中部	岩手中部	花巻市	花巻北	花巻南	花巻農業	花北青雲
			大迫	*花巻東*		
		北上市	黒沢尻北	北上翔南	黒沢尻工業	*専修大学北上*
		西和賀町	西和賀			
胆江	胆江	奥州市	水沢	水沢農業	水沢工業	水沢商業
			前沢	岩谷堂	杜陵奥州（定・通）	*水沢第一*
		金ケ崎町	金ケ崎			
両磐	両磐	一関市	一関第一（全・定）	一関二	一関工業	花泉
			大東	千厩	*一関学院（全・通）*	*一関修紅*
		平泉町				
気仙・釜石	気仙	大船渡市	大船渡（全・定）	大船渡東		
		陸前高田市	高田			
		住田町	住田			
	釜石・遠野	釜石市	釜石（全・定）	釜石商工		
		遠野市	遠野	遠野緑峰		
		大槌町	大槌			
宮古	宮古	宮古市	宮古（全・定）	宮古北	宮古工業	宮古商業
			宮古水産			
		山田町	山田			
		岩泉町	岩泉			
		田野畑村				
久慈	久慈	久慈市	久慈	久慈長内（定）	久慈東	
		普代村				
		洋野町	種市	大野		
		野田村	久慈工業			
二戸	二戸	二戸市	福岡（全・定）	福岡浄法寺校	福岡工業	
		一戸町	一戸			
		軽米町	軽米			
		九戸村	伊保内			

※ なお、斜体は市立高校及び私立高校となります。

ウ ブロックの県立高等学校配置



(5) 県立高等学校の設置状況(平成26年度)

【全日制本校・分校】　　【定時制課程・通信制課程】

ブロック	高校の種類										計		定時制課程 通信制課程		合　計	
	普通高校		普通科・専門科併設校		専門高校		総合的専門高校		総合学科高校							
	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数	学校名	募学級数
盛　岡	盛岡第一	7	平舘(家庭)	3	盛岡農業	5			紫波総合	5	15	77	杜陵(定・通)	4	17	82
	盛岡第二	5			盛岡工業	7										
	盛岡第三	7			盛岡商業	6							盛岡工業	1		
	盛岡第四	7														
	盛岡北	6														
	盛岡南	6														
	不来方	7														
	沼宮内	2														
	葛巻	2														
	雫石	2														
小　計	10	51	1	3	3	18	0	0	1	5			2	5		
岩手中部	花巻北	6			花巻農業	3	花北青雲	4	北上翔南	6	9	39		0	9	39
	花巻南	5			黒沢尻工業	6										
	大迫	1														
	黒沢尻北	6														
	西和賀	2														
小　計	5	20	0	0	2	9	1	4	1	6			0	0		
胆　江	水沢	6			水沢農業	3			岩谷堂	5	7	26	杜陵奥州(定・通)	2	8	28
	前沢	2			水沢工業	4										
	金ケ崎	3			水沢商業	3										
小　計	3	11	0	0	3	10	0	0	1	5			1	2		
両　磐	一関第一	6	大東(商業)	4	一関工業	4			一関第二	6	6	27	一関第一	1	7	28
	花泉	2	千厩(農・工)	5												
小　計	2	8	2	9	1	4	0	0	1	6			1	1		
気　仙	大船渡	5	高田(水産)	5			大船渡東	5			4	16	大船渡	1	5	17
	住田	1														
小　計	2	6	1	5	0	0	1	5	0	0			1	1		
釜石遠野	釜石	5			遠野緑峰	2	釜石商工	5			5	19	釜石	1	6	20
	遠野	4														
	大槌	3														
小　計	3	12	0	0	1	2	1	5	0	0			1	1		
宮　古	山田	2			宮古工業	3					7	21	宮古(杜陵通信分室)	1	8	22
	宮古	6			宮古商業	4										
	宮古北	1			宮古水産	3										
	岩泉	2														
小　計	4	11	0	0	3	10	0	0	0	0			1	1		
久　慈	久慈	5	種市(工業)	3	久慈工業	2			久慈東	5	5	17	久慈長内	2	6	19
	大野	2														
小　計	2	7	1	3	1	2	0	0	1	5			1	2		
二　戸	軽米	2			福岡工業	2			一戸	3	6	14	福岡	1	7	15
	伊保内	2														
	福岡	5														
	福岡浄法寺	0														
小　計	4	9	0	0	1	2	0	0	1	3			1	1		
合　計	35	135	5	20	15	57	3	14	6	30	64	256	9	14	73	270

※ 理数科、体育科は普通科に含む。総合選択制高校（不来方、花巻南）は普通高校に分類している。

※ 福岡高校浄法寺校はH26から募集停止（２，３年生在籍）。

（6）岩手県立高等学校募集定員と合格者数等一覧（平成26年度）

学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	合格者数	過不足数	総受検者数
盛岡第一	普通	普通・理数	280	283	3	316
盛岡第二	普通	普通	200	204	4	254
盛岡第三	普通	普通	280	285	5	430
盛岡第四	普通	普通	280	282	2	387
盛岡北	普通	普通	240	241	1	280
盛岡南	普通	普通	160	161	1	198
	普通	体育コース	40	41	1	61
	体育	体育	40	40	0	44
不来方	普通	人文・理数	160	164	4	248
	普通	芸術	40	40	0	67
	普通	外国語	40	40	0	73
	普通	体育	40	40	0	54
盛岡農業	農業	植物科学	40	40	0	37
	農業	動物科学	40	42	2	65
	農業	食品科学	40	40	0	44
	農業	人間科学	40	42	2	45
	農業	環境科学	40	40	0	39
盛岡工業	工業	機械	40	40	0	45
	工業	電気	40	40	0	37
	工業	電子情報	40	40	0	50
	工業	電子機械	40	40	0	42
	工業	工業化学	40	40	0	30
	工業	土木	40	41	1	52
	工業	建築・デザイン	40	40	0	49
盛岡商業	商業	流通ビジネス	80	81	1	149
	商業	会計ビジネス	80	80	0	121
	商業	情報ビジネス	80	80	0	90
沼宮内	普通	普通	80	54	▲ 26	56
葛巻	普通	普通	80	38	▲ 42	38
平舘	普通	普通	80	66	▲ 14	66
	家庭	家政科学	40	18	▲ 22	18
雫石	普通	普通	80	52	▲ 28	53
紫波総合	総合	総合	200	200	0	203
花巻北	普通	普通	240	241	1	244
花巻南	普通	人文科学・自然科学	120	121	1	131
	普通	スポーツ健康科学	40	41	1	43
	普通	国際科学	40	38	▲ 2	37
花巻農業	農業	生物科学	40	42	2	43
	農業	環境科学	40	40	0	42
	農業	食農科学	40	42	2	43
花北青雲	工業	情報工学	40	41	1	44
	商業	ビジネス情報	80	84	4	108
	家庭	総合生活	40	42	2	54
大迫	普通	普通	40	23	▲ 17	27
黒沢尻北	普通	普通	240	240	0	264
北上翔南	総合	総合	240	229	▲ 11	229
黒沢尻工業	工業	機械	40	40	0	49
	工業	電気	40	31	▲ 9	32
	工業	電子	40	37	▲ 3	30
	工業	電子機械	40	40	0	43
	工業	土木	40	40	0	41
	工業	材料技術	40	40	0	55
西和賀	普通	普通	40	29	▲ 11	31
	普通	福祉・情報コース	40	21	▲ 19	22
水沢	普通	普通・理数	240	246	6	268
水沢農業	農業	農業科学	40	37	▲ 3	40
	農業	環境工学	40	30	▲ 10	31
	農業	生活科学	40	31	▲ 9	31
水沢工業	工業	機械	40	40	0	48
	工業	電気	40	40	0	38
	工業	設備システム	40	40	0	43
	工業	インテリア	40	40	0	44
水沢商業	商業	商業	40	41	1	55
	商業	会計ビジネス	40	41	1	48
	商業	情報システム	40	41	1	46
前沢	普通	普通	80	59	▲ 21	61
金ケ崎	普通	普通	120	120	0	137
岩谷堂	総合	総合	200	183	▲ 17	185
一関第一	普通	普通・理数	240	241	1	179
一関第二	総合	総合	240	241	1	276
一関工業	工業	電気	40	38	▲ 2	35
	工業	電子	40	38	▲ 2	37
	工業	電子機械	40	40	0	50
	工業	土木	40	40	0	51
花泉	普通	普通	80	30	▲ 50	30
大東	普通	普通	120	115	▲ 5	115
	商業	情報ビジネス	40	28	▲ 12	30
千厩	普通	普通	120	118	▲ 2	117
	農業	生産技術	40	42	2	44
	工業	産業技術	40	37	▲ 3	37
高田	普通	普通	160	147	▲ 13	149
	水産	海洋システム	40	16	▲ 24	16
大船渡	普通	普通	200	185	▲ 15	186
大船渡東	農業	農芸科学	40	29	▲ 11	32
	工業	機械	40	33	▲ 7	33
	工業	電気電子	40	30	▲ 10	31
	商業	情報処理	40	24	▲ 16	24
	家庭	食物文化	40	35	▲ 5	36
住田	普通	普通	40	39	▲ 1	40
釜石	普通	普通・理数	200	187	▲ 13	187
釜石商工	工業	機械・電子機械	80	65	▲ 15	69
	工業	電気電子	40	20	▲ 20	22
	商業	総合情報	80	53	▲ 27	53
遠野	普通	普通	160	151	▲ 9	151
遠野緑峰	農業	生産技術	40	36	▲ 4	36
	商業	情報処理	40	19	▲ 21	19
大槌	普通	普通	120	85	▲ 35	86
山田	普通	普通	80	50	▲ 30	55
宮古	普通	普通	240	243	3	255
宮古北	普通	普通	40	19	▲ 21	20
宮古工業	工業	機械	40	30	▲ 10	30
	工業	電気電子	40	23	▲ 17	24
	工業	建築設備	40	34	▲ 6	34
宮古商業	商業	商業	40	35	▲ 5	33
	商業	会計	40	40	0	36
	商業	流通経済	40	40	0	47
	商業	情報	40	33	▲ 7	32
宮古水産	水産	海洋技術	40	30	▲ 10	30
	水産	食品家政	40	35	▲ 5	34
	家庭	食物	40	40	0	42
岩泉	普通	普通	80	42	▲ 38	42
久慈	普通	普通	200	203	3	206
久慈東	総合	総合	200	163	▲ 37	166
久慈工業	工業	電子機械	40	15	▲ 25	15
	工業	建設環境	40	28	▲ 12	28
種市	普通	普通	80	58	▲ 22	60
	工業	海洋開発	40	25	▲ 15	25
大野	普通	普通	80	56	▲ 24	56
軽米	普通	普通	80	65	▲ 15	65
伊保内	普通	普通	80	50	▲ 30	50
福岡	普通	普通	200	183	▲ 17	183
福岡工業	工業	機械システム	40	40	0	40
	工業	電気情報ｼｽﾃﾑ	40	22	▲ 18	22
一戸	総合	総合	120	124	4	124
			10,240	9,354	▲ 886	10,353

＜定時制＞

学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	合格者数	過不足数	総受検者数
杜陵	普通	１・２部	120	47	▲ 73	60
	普通	３部	40	4	▲ 36	4
杜陵奥州	普通	昼間部	40	32	▲ 8	35
	普通	夜間部	40	6	▲ 34	5
盛岡工業	工業	工業	40	2	▲ 38	2
一関第一	普通	普通	40	3	▲ 37	3
大船渡	普通	普通	40	4	▲ 36	5
釜石	普通	普通	40	7	▲ 33	9
宮古	普通	普通	40	7	▲ 33	8
久慈長内	普通	昼間部	40	9	▲ 31	9
	普通	夜間部	40	0	▲ 40	0
福岡	普通	普通	40	3	▲ 37	3
			560	124	▲ 436	143

＜通信制＞

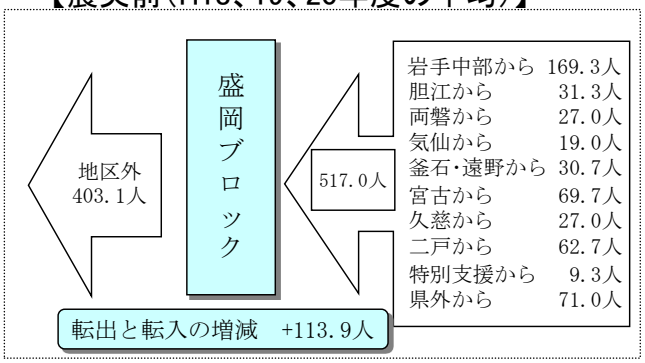
学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	合格者数	過不足数	総受検者数
杜陵	普通	普通	300	108	▲ 192	119
			300	108	▲ 192	119

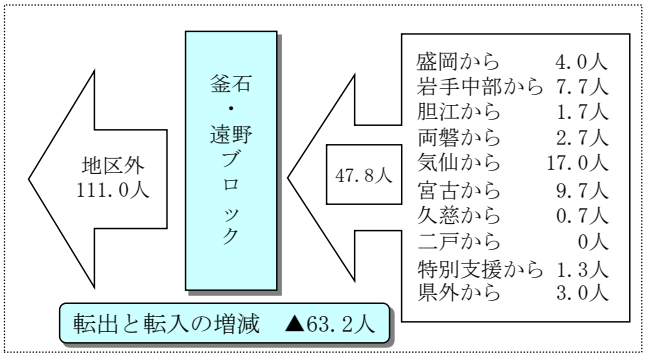
※参考＜市立＞

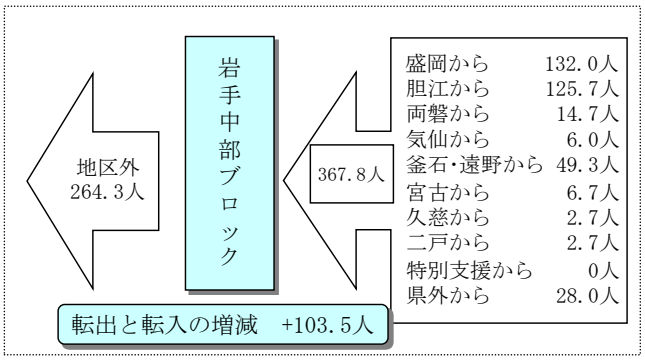
学校名	大学科	学科・学系・コース	募集定員	合格者数	過不足数	総受検者数
盛岡市立	普通	特別進学コース	35	37	2	51
	普通	普通	160	164	4	200
	商業	商業	80	80	0	87
			275	281	6	338

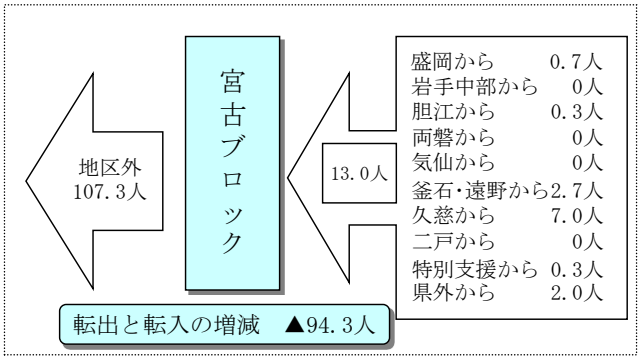
（7）ブロック間交流の状況

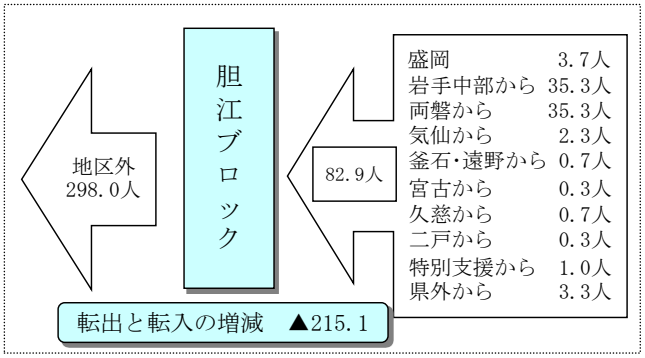
【震災前（H18、19、20年度の平均）】

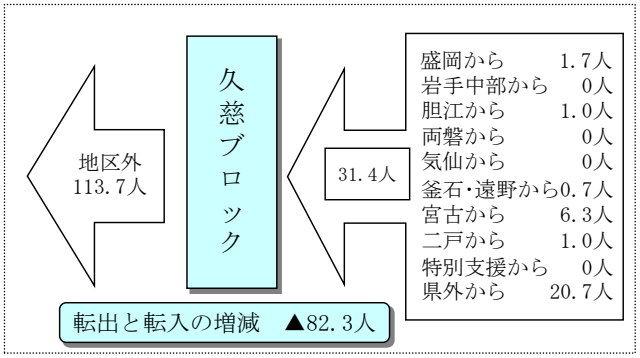


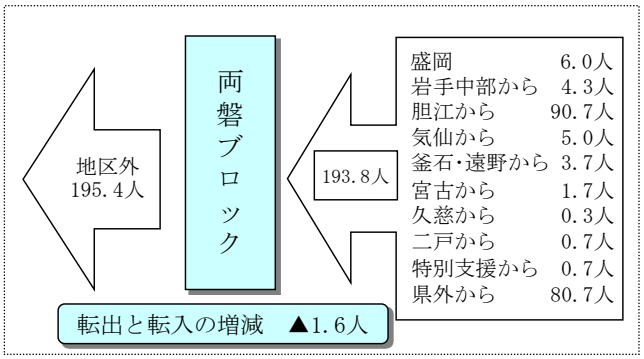


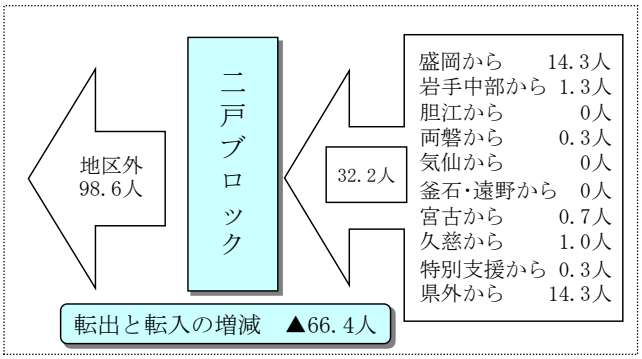


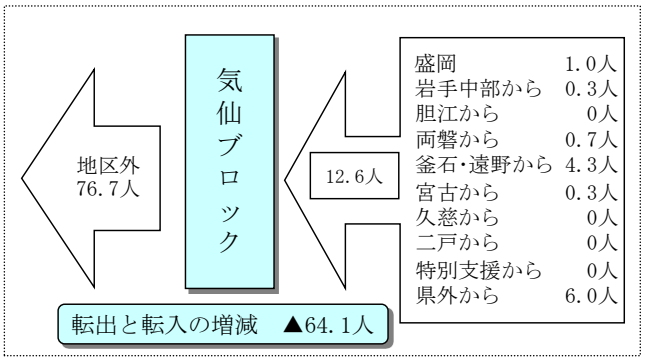








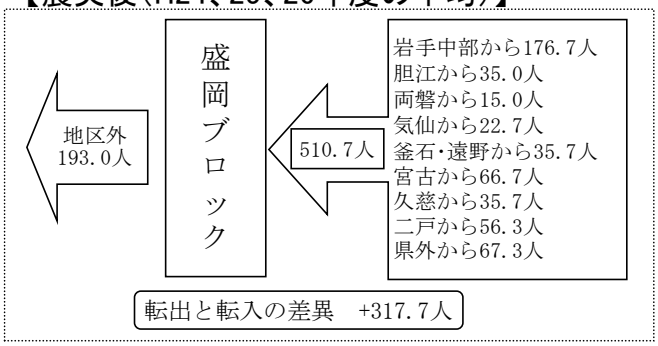


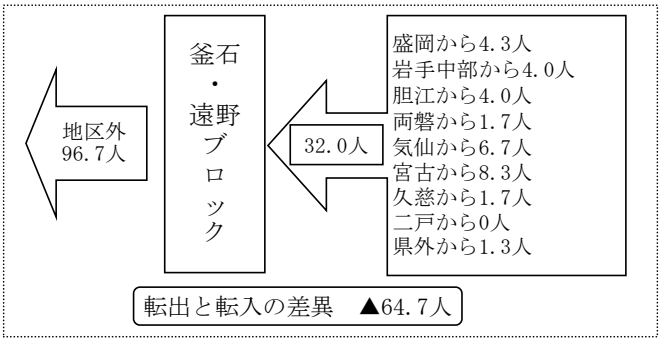


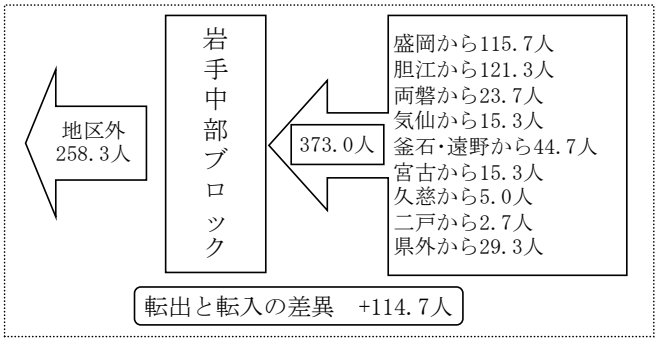
※ 地区外には、高専及び特別支援への進学者、県外転出者を含む。

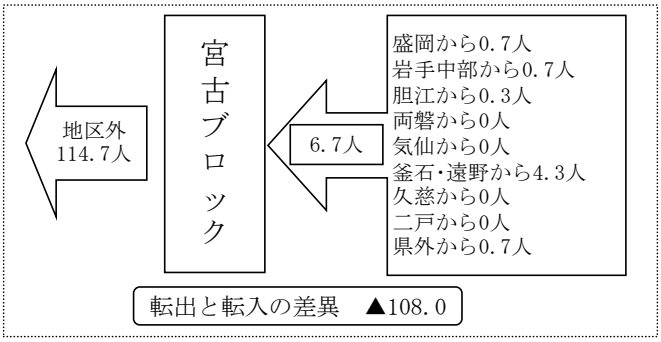
（7）ブロック間交流の状況（つづき）

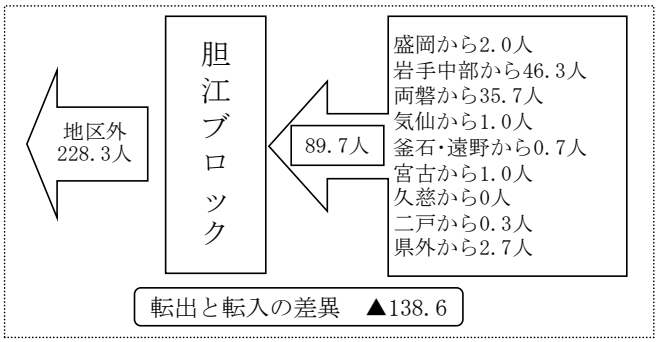
【震災後（H24、25、26年度の平均）】

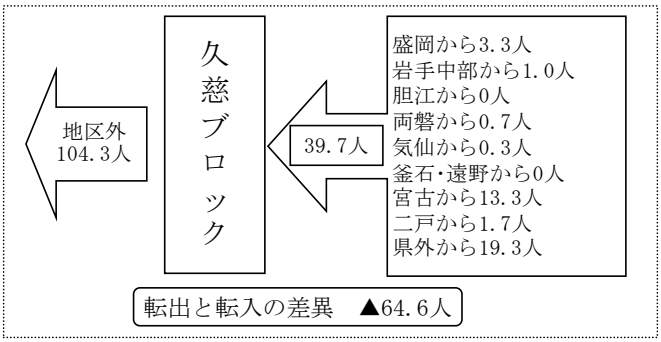


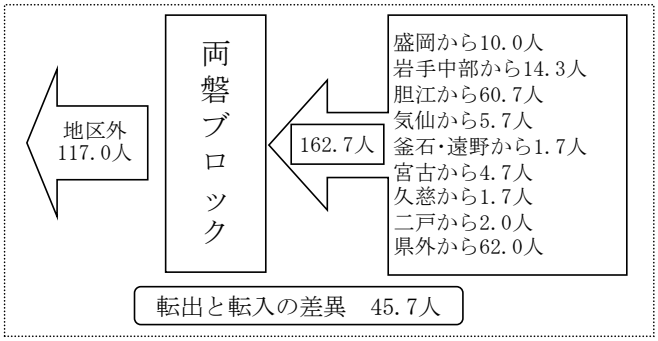


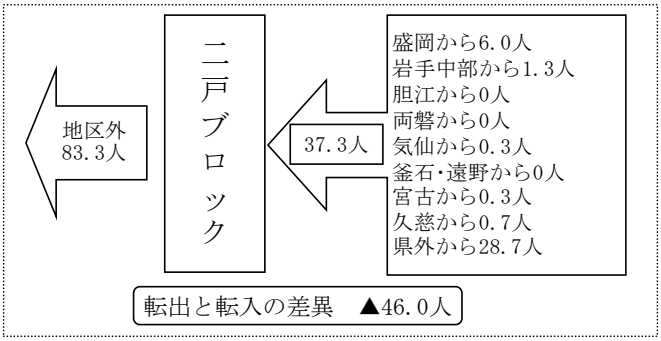


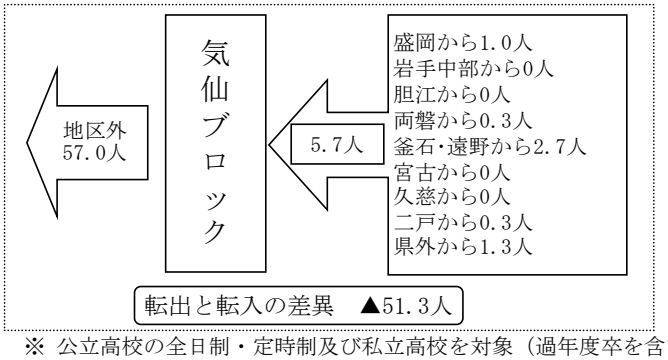












※ 公立高校の全日制・定時制及び私立高校を対象（過年度卒を含む）
※ 転入⇒他のブロック及び県外からの転入者数
※ 転出⇒他のブロックへの転出者数（県外転出を含む）

（8）公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度 学級数	ブロック内学級数			
				Ｈ２６	Ｈ２９	Ｈ３３	Ｈ３８
盛岡	盛岡第一	普・理	7	84 ［学科の割合］ 普通科系69.0% 専門学科25.0% 総合学科6.0%	81 (▲3)	70 (▲14)	68 (▲16)
	盛岡第二	普	5				
	盛岡第三	普	7				
	盛岡第四	普	7				
	盛岡北	普	6				
	盛岡南	普・体	6				
	不来方	普	7				
	盛岡農	農	5				
	盛岡工	工	7				
	盛岡商	商	6				
	沼宮内	普	2				
	葛巻	普	2				
	平舘	普・家	3				
	雫石	普	2				
	紫波総合	総	5				
	盛岡市立	普・商	7				
岩手中部	花巻北	普	6	39 ［学科の割合］ 普通科系51.3% 専門学科33.3% 総合学科15.4%	38 (▲1)	33 (▲6)	31 (▲8)
	花巻南	普	5				
	花巻農	農	3				
	花北青雲	工・商・家	4				
	大迫	普	1				
	黒沢尻北	普	6				
	北上翔南	総	6				
	黒沢尻工	工	6				
	西和賀	普	2				
胆江	水沢	普・理	6	26 ［学科の割合］ 普通科系42.3% 専門学科38.5% 総合学科19.2%	24 (▲2)	20 (▲6)	20 (▲6)
	水沢農	農	3				
	水沢工	工	4				
	水沢商	商	3				
	前沢	普	2				
	金ケ崎	普	3				
	岩谷堂	総	5				
両磐	一関第一	普・理	6	27 ［学科の割合］ 普通科系51.9% 専門学科25.9% 総合学科22.2%	23 (▲4)	21 (▲6)	19 (▲8)
	一関第二	総	6				
	一関工	工	4				
	花泉	普	2				
	大東	普・商	4				
	千厩	普・農・工	5				

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度 学級数	ブロック内学級数 Ｈ２６	Ｈ２９	Ｈ３３	Ｈ３８
気仙	高田 大船渡 大船渡東 住田	普・水 普 農・工・商・家 普	5 5 5 1	16 ［学科の割合］ 普通科系62.5% 専門学科37.5% 総合学科0.0%	13 (▲3)	10 (▲6)	9 (▲7)
釜石・遠野	釜石 釜石商工 遠野 遠野緑峰 大槌	普・理 商・工 普 農・商 普	5 5 4 2 3	19 ［学科の割合］ 普通科系63.2% 専門学科36.8% 総合学科0.0%	14 (▲5)	12 (▲7)	11 (▲8)
宮古	山田 宮古 宮古北 宮古工 宮古商 宮古水 岩泉	普 普 普 工 商 水・家 普	2 6 1 3 4 3 2	21 ［学科の割合］ 普通科系52.4% 専門学科47.6% 総合学科0.0%	16 (▲5)	14 (▲7)	12 (▲9)
久慈	久慈 久慈東 久慈工 種市 大野	普 総 工 普・工 普	5 5 2 3 2	17 ［学科の割合］ 普通科系52.9% 専門学科17.6% 総合学科29.4%	13 (▲4)	10 (▲7)	10 (▲7)
二戸	軽米 伊保内 福岡 福岡工 一戸	普 普 普 工 総	2 2 5 2 3	14 ［学科の割合］ 普通科系64.3% 専門学科14.3% 総合学科21.4%	11 (▲3)	9 (▲5)	9 (▲5)
公立高等学校合計 (盛岡市立高等学校を含む)				263 普通科系　154 (58.6%) 専門学科　79 (30.0%) 総合学科　30 (11.4%)	233 (▲30)	199 (▲64)	189 (▲74)
県立高等学校合計				256 普通科系　149 (58.2%) 専門学科　77 (30.1%) 総合学科　30 (11.7%)			

※ は普通科系

※ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

（9）経済的な支援が必要な生徒の状況

ア いわての学び希望基金（高校生）の奨学金決定状況

月額 40,000 円（返済不要）

	H23	H24	H25	H26
奨学金・給付金受給者数	149 人	150 人	149 人	137 人

イ 岩手育英奨学会（平成 25、26 年度貸与状況）

(ｱ) 無利子貸与

	月　額	H25	H26
国公立・自宅	18,000 円	761 人	665 人
国公立・自宅外	23,000 円	62 人	59 人
私立・自宅	30,000 円	411 人	367 人
私立・自宅外	35,000 円	96 人	89 人
計		1,330 人	1,180 人

(ｲ) 有利子貸与

	月　額	H25	H26
選択制	15,000 円	９人	10 人
選択制	20,000 円	８人	11 人
選択制	25,000 円	14 人	７人
選択制	30,000 円	52 人	49 人
入学一時金（公立）	50,000 円	13 人	21 人
入学一時金（私立）	100,000 円	４人	０人
計		83 人	77 人

(ｳ) 東日本大震災津波等特例奨学金

	月額	H25	H26
国公立・自宅	18,000 円	177 人	123 人
国公立・自宅外	23,000 円	16 人	10 人
私立・自宅	30,000 円	６人	８人
私立・自宅外	35,000 円	23 人	17 人
計		222 人	158 人

※ 高校等を卒業後１年間の収入見込み額が一定額に満たない場合、願い出により返還が免除される。

（高校卒　年収 310 万円、短大・専修学校卒　年収 350 万円、大学卒　年収 390 万円）

(10) 県立高等学校における特別支援教育の現状

ア 生徒の現状

(ｱ) 小中学校(通常学級)における「特別な支援を要する児童生徒」の実態調査(H18 年度)

a 通常の学級に約 4.5%の割合で存在 (H24 年全国調査では 6.5%)
すべての小中学校に、特別支援教育対象の児童生徒が存在する可能性を含んでいる。

b 公立高校における特別な支援を必要とする生徒の数
H21　542 人(1.57%)　医師による判断 139 人、学校による判断 403 人
H26　893 人(3.04%)　医師による判断 215 人、学校による判断 678 人

(ｲ) 公立高校における特別な支援が必要な生徒(H26 年５月調査)

a 特別な支援を必要とする生徒の数 (全体)　　(対象 : 全公立高校 29,369 名中)

<table>
<tr><th>要支援
生徒数</th><th colspan="2">分類</th><th colspan="6">具体的な内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">893 人
(3.04%)

前年度比
(－53 人)
(－0.12%)</td><td rowspan="3">医師等判断</td><td rowspan="3">215
(-8)</td><td>視覚障がい</td><td>2(±0)</td><td>聴覚障がい</td><td>10(+7)</td><td>知的障がい</td><td>32(-37)</td></tr>
<tr><td>肢体不自由</td><td>10(-1)</td><td>病弱</td><td>48(-1)</td><td>言語障がい</td><td>0(-1)</td></tr>
<tr><td>情緒障がい</td><td>35(+1)</td><td>その他</td><td>78(+24)</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学校による判断</td><td rowspan="2">678
(-45)</td><td colspan="5">(A)「学習面」で支援が必要</td><td>154(+6)</td></tr>
<tr><td colspan="5">(B)「不注意・多動等」により生活・行動面で支援が必要</td><td>104(+1)</td></tr>
<tr><td colspan="5">(C)「対人関係やこだわり等」により生活・行動面で支援が必要</td><td>107(-14)</td></tr>
<tr><td colspan="5">(D)上記(A)～(C)が重複して、支援が必要</td><td>119(-4)</td></tr>
<tr><td colspan="5">(E)上記(A)～(C)以外に、支援が必要</td><td>194(-34)</td></tr>
</table>

b 特別な支援を必要とする生徒を抱える学校　(対象 : 全公立高校)

生徒の数	学校数	校種別内訳
50 人～	5	普通高校(1)、総合学科高校(1)、専門高校(1)、総合的な専門高校(1)、通信制(1)
20～49 人	5	普通高校(2)、総合学科高校(1)、専門高校(1)、併置校(1)
10～19 人	１９	普通高校(10)、専門高校(2)、総合学科高校(1)、併置校(2)、総合選択制(1)、定時制(3)
5～ 9 人	１３	普通高校(7)、専門高校(2)、総合選択制(1)、併置校(1)、総合的な専門高校(1)定時制(1)
1～ 4 人	２１	普通高校(5)、専門高校(8)、併置校(3)、総合学科高校(2)、定時制(2)、通信制(1)

※ 学校数は全日制、定時制、通信制毎に集計したもの。

c 県立高校における校内支援体制の整備状況
コーディネーター指名 (H21/90.5%→H22/100%)、校内委員会設置 (H21/85.1%→H22/100%)など、校内体制の整備は進んでいる。

d 教育委員会としての対応
(a) 高等学校特別支援教育コーディネーター悉皆研修を年１回開催。
(b) 平成 24 年度までに全高等学校において指導主事の訪問による基礎的研修を完了。
(C) 校内支援体制整備に向けて、多様な生徒への対応のための校内体制づくりに関する実践研究を H22 より開始。H24 年度、研究成果をコーディネーター研修の場で発表し、県内各校において伝達講習を実施している。
(d) 特別支援教育支援員を 25 校に 27 名配置するとともに、支援員研修会を年１回実施。

「いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業」による非常勤職員配置校

葛巻高校、平舘高校、雫石高校、紫波総合高校、西和賀高校、前沢高校、一関工業高校、花泉高校、大東高校、千厩高校、大船渡東高校、住田高校、釜石高校(定時制)、釜石商工高校、遠野緑峰高校、山田高校、宮古北高校、宮古水産高校、久慈高校長内校、種市高校、軽米高校、福岡高校(定時制)、一戸高校　(23校)	各１名
大迫高校、岩谷堂高校（両校とも移動等に支障のある生徒等在籍）　（２校）	２名
合　　計	２７名

イ 課題

(ｱ) 生徒の状況

a 小中学校、高校を含め、障がいなど特別な教育的ニーズを抱える生徒が増加している。

b 近年、発達障がいへの気付きが進む中、これまでの高等学校の教育内容・方法では対応困難な生徒が増えている。

c これにより、特別支援学校高等部進学希望者の中に、発達障がいなど、特別支援学校の対象ではない生徒が増加し、高等部生徒の急増や教室不足等の課題に拍車をかけている。

(ｲ) 保護者のニーズ

a 障がいがあっても、地域の学校で学ばせたいと願う傾向が強くなっている。

b 高等学校には軽度の障がいや発達障がいに対応する教育の仕組が用意されていないことへの不安が増大している。

※ 参考

法令等の扱い（学校教育法第 81 条）

・ 幼稚園・小学校、中学校、高等学校‥(略)‥及び中等教育学校においては‥(略)‥教育上特別の支援を必要とする児童、生徒及び幼児に対し‥(略)‥障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとする。

・ 小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校には‥(略)‥特別支援学級を置くことができる。

特別支援学校の対象者の規定（学校教育法施行令第 22 条の３）

視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由・病弱の５障がい種について程度規定

(知的発達に遅れのない発達障がい者は、原則として知的特別支援学校の対象に含まない。)

(11) 高等学校中途退学者の状況、高等学校における不登校の状況

ア 中途退学者数・中途退学率

区分	全日制		定時制		通信制		合計		全国の公立高校中退率
	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率	
平成１９年度	413	1.22	90	13.1	―	―	503	1.46	2.1
平成２０年度	328	0.99	108	14.79	―	―	436	1.29	1.9
平成２１年度	292	0.91	94	12.7	―	―	386	1.17	1.7
平成２２年度	277	0.79	85	11.4	―	―	362	1.12	1.6
平成２３年度	227	0.74	87	12.2	―	―	314	1.00	1.6
平成２４年度	228	0.76	77	11.6	―	―	305	0.99	1.5
平成２５年度	220	0.76	43	8.45	115	8.86	378	1.22	1.6

注１　中退率は、退学者数／在籍者数×100
注２　通信制課程については、平成25年度から調査対象となったものである。
　　なお、平成25年度の通信制課程を除く中退率は、0.89%である。

イ 全日制学科別・学年別退学者数

区分		全日制普通		全日制専門		全日制総合		合計	
	年度	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率	中退数	中退率
1年	24	36	0.63	66	2.17			102	1.17
	25	49	0.89	61	2.01			110	1.28
2年	24	30	0.53	50	1.64			80	0.92
	25	21	0.38	46	1.52			67	0.79
3年	24	13	0.21	14	0.45			27	0.29
	25	10	0.18	11	0.37			21	0.25
単位制	24					19	0.53	19	0.53
	25					22	0.64	22	0.64
合計	24	79	0.46	130	1.42	19	0.53	228	0.76
	25	80	0.48	118	1.31	22	0.64	220	0.76

ウ 理由別退学者数

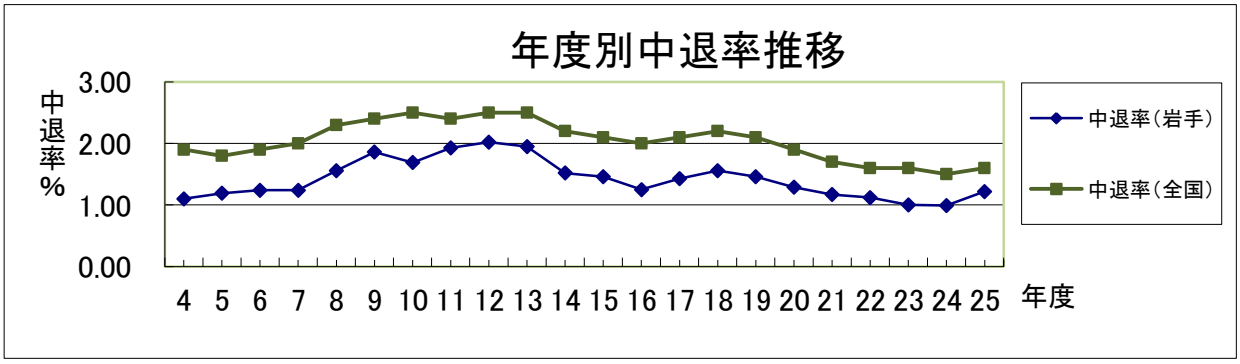
区分・年度	全日制		定時制		通信制		合計	
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
学業不振	16	9	5	0	―	0	21(6.9)	9(2.4)
学校生活・学校不適応	106	123	29	23	―	1	135(44.3)	147(38.9)
進路変更	50	43	24	9	―	5	74(24.3)	57(15.1)
問題行動等	21	23	7	4	―	0	28(9.2)	27(7.1)
その他	35	22	12	7	―	109	47(15.4)	138(36.5)
合計	228	220	77	43	―	115	305(100.0)	378(100.0)

注１　その他の内訳：病気・けが・死亡、経済的理由、家庭の事情等　（　）は構成比%
注２　中退生徒については、東日本大震災津波による死亡者も含まれる。

エ 年度別退学者数の推移

年度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
岩手	退学者数	564	597	601	589	722	831	734	830	862	793	616
	中退率%	1.1	1.19	1.24	1.24	1.56	1.86	1.69	1.93	2.02	1.95	1.52
全国	中退率%	1.9	1.8	1.9	2.0	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.5	2.2

年度		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
岩手	退学者数	572	477	521	554	503	436	386	362	314	305	378
	中退率%	1.46	1.25	1.43	1.56	1.46	1.29	1.17	1.12	1.00	0.99	1.22
全国	中退率%	2.1	2.0	2.1	2.2	2.1	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.6



オ 不登校生徒数

（年間30日以上欠席した生徒で、「病気」「経済的理由」「その他」の理由による者を除く。）

区分	人数	比率	全国の公立高校の比率
平成18年度	524	1.48	1.78
平成19年度	472	1.37	1.70
平成20年度	485	1.44	1.70
平成21年度	507	1.54	1.67
平成22年度	475	1.47	1.82
平成23年度	444	1.41	1.88
平成24年度	401	1.31	1.93
平成25年度	373	1.26	1.88

注 比率は（不登校生徒数／全在籍数）×１００

カ 不登校生徒発生校数（学校数は、学校基本調査による）

区分	学校数	発生校数
平成18年度	79	68
平成19年度	79	74
平成20年度	75	72
平成21年度	74	68
平成22年度	69	64
平成23年度	69	62
平成24年度	68	63
平成25年度	68	66

キ 学年別不登校生徒数

区分	1年	2年	3年	単位制等	計
平成25年度	145	86	45	97	373

ク 不登校のきっかけと考えられる状況（%）

区分	きっかけ		
平成25年度	1　不安など情緒的混乱（30.3）	2　いじめを除く友人関係をめぐる問題（23.3）	3　病気による欠席（22.5）

《調査項目選択肢》複数回答可

○　いじめ
○　教職員との関係をめぐる問題
○　クラブ活動、部活動等への不適応
○　入学、転編入学、進級時の不適応
○　親子関係をめぐる問題
○　病気による欠席
○　無気力
○　意図的な拒否
○　その他
○　いじめを除く友人関係をめぐる問題
○　学業の不振
○　学校のきまり等をめぐる問題
○　家庭の生活環境の急激な変化
○　家庭内の不和
○　あそび・非行
○　不安などの情緒的混乱
○　病気による欠席から意図的な拒否までのいずれにも該当しない本人に関わる問題
○　不明

ケ 指導の結果好ましい変化のみられた生徒の割合（%）

平成20年度	平成25年度
37.3	42.9

(12) 市町村立小中学校数の推移
[震災前(平成21年度)、震災後(平成26年度)の比較]

	小学校						中学校					
	平成21年度			平成26年度			平成21年度			平成26年度		
	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計
盛岡市	46		46	44		44	24		24	23	1	24
八幡平市	12		12	10		10	5		5	4		4
滝沢市	8		8	8		8	6		6	6		6
雫石町	10		10	10		10	1		1	1		1
葛巻町	5		5	5		5	3		3	3		3
岩手町	9		9	8		8	4		4	4		4
紫波町	11		11	11		11	3		3	3		3
矢巾町	4		4	4		4	2		2	2		2
盛岡教育事務所計	105	0	105	100	0	100	48	0	48	46	1	47
花巻市	25		25	19		19	11		11	11		11
遠野市	11		11	11		11	8		8	3		3
北上市	18		18	17		17	9		9	9		9
西和賀町	7		7	2		2	2		2	2		2
中部教育事務所計	61	0	61	49	0	49	30	0	30	25	0	25
奥州市	33		33	27		27	12		12	12		12
金ケ崎町	5		5	5		5	1		1	1		1
一関市	38		38	34		34	18		18	18		18
(旧藤沢町)	3		3			0	1		1			0
平泉町	2		2	2		2	1		1	1		1
県南教育事務所計	81	0	81	68	0	68	33	0	33	32	0	32
大船渡市	14		14	12		12	8		8	8		8
陸前高田市	11		11	8		8	7		7	4		4
住田町	2		2	2		2	2		2	2		2
釜石市	12		12	9		9	5		5	5		5
大槌町	6		6	2		2	2		2	2		2
沿岸南部教育事務所計	45	0	45	33	0	33	24	0	24	21	0	21
宮古市	22		22	24		24	11		11	11		11
(旧川井村)	5		5			0	1		1			0
山田町	9		9	9		9	2		2	2		2
岩泉町	12	1	13	12	1	13	7		7	5		5
田野畑村	6		6	1		1	1		1	1		1
宮古教育事務所計	54	1	55	46	1	47	22	0	22	19	0	19
久慈市	21	1	22	15		15	9		9	8		8
洋野町	10		10	8		8	7		7	4		4
普代村	3		3	1		1	1		1	1		1
野田村	1		1	1		1	1		1	1		1
二戸市	8		8	8		8	6		6	4		4
軽米町	7		7	3		3	4		4	1		1
九戸村	5		5	5		5	1		1	1		1
一戸町	6	1	7	6	1	7	4	1	5	3	1	4
県北教育事務所計	61	2	63	47	1	48	33	1	34	23	1	24
計	407	3	410	343	2	345	190	1	191	166	2	168

市町村立小学校
410校→345校　65校減（15.9%減）

市町村立中学校
191校→168校　23校減（12.0%減）

2 県立高等学校新整備計画期間満了後の取組状況及び新しいタイプの学校等の検証

（1）県立高等学校新整備計画における再編整備の実施状況及び計画期間満了後の取組

実施年度	実施地区	再編整備の内容（新校の種類）	再編整備対象校（学級数）	新校の校名（学級数）	施設整備の状況等
＜前期計画（平成12～16年度）＞					
H14	岩手中部	改編（総合選択制高校）	花巻南高校(6)	花巻南高校(6)	
	両磐	統合（普通科・専門学科併設校）	千厩高校(4) 千厩東高校(3)　○	千厩高校(7)	校舎改築等実施
H15	岩手中部	統合（農業専門高校）	花巻農業高校(5)　○ 北上農業高校(2)	花巻農業高校(3)	
	岩手中部	改編（総合的専門高校）	花北商業高校(3)	花北青雲高校(4)	校舎改築等実施
	宮古	統合（本校への統合）	岩泉高校(3)　○ 岩泉高校小川校(1)	岩泉高校(3)	
H16	盛岡	改編（総合学科高校）	紫波高校(6)	紫波総合高校(6)	校舎改築等実施
	岩手中部	改編（総合学科高校）	黒沢尻南高校(5)	北上翔南高校(6)	校舎改築等実施
	両磐	統合（総合学科高校）	一関第二高校(6)　○ 一関農業高校(2)	一関第二高校(6)	校舎改築等実施
	久慈	統合（総合学科高校）	久慈農林高校(3)　○ 久慈商業高校(3) 久慈水産高校(2)	久慈東高校(6)	校舎改築等実施
＜後期計画（平成17～21年度）＞					
H17	二戸	改編（総合学科高校）	一戸高校(4)	一戸高校(4)	校舎改築等実施
H18	両磐	統合（普通科・専門学科併設校）	大東高校(4)　○ 大原商業高校(2)	大東高校(5)	産業振興棟増築
	両磐	統合（普通科・専門学科併設校）	千厩高校(6)　○ 藤沢高校(2)	千厩高校(6)	
H20	岩手中部	統合（普通科高校）	花巻北高校(7)　○ 東和高校(2)	花巻北高校(7)	
	胆江	統合（普通科高校）	水沢高校(7)　○ 胆沢高校(1)	水沢高校(7)	
	気仙	統合（普通科・専門学科併設校）	高田高校(普通3)　○ 広田水産高校(水産1)	高田高校(5)	校舎改修等実施
	気仙	統合（総合的専門高校）	大船渡農業高校(2) 大船渡工業高校(3)　○ 高田高校(情報1) 広田水産高校(家政1)	大船渡東高校(5)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合（普通科高校）	釜石南高校(5)　○ 釜石北高校(2)	釜石高校(6)	校舎改築等実施
	釜石 遠野	統合（本校への統合）	遠野高校(4)　○ 遠野情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ校(1)	遠野高校(4)	
	宮古	統合（本校への統合）	宮古高校(6)　○ 宮古高校川井校(1)	宮古高校(6)	
	久慈	統合（本校への統合）	久慈高校(5)　○ 久慈高校山形校(1)	久慈高校(5)	
	久慈	改編（多部制高校）	久慈高校長内校(1)	久慈高校長内校(2)	校舎改修等実施
	二戸	改編（本校の分校化）	浄法寺高校(1)	福岡高校浄法寺校(1)	
H21	胆江	統合（総合学科高校）	岩谷堂高校(5) 岩谷堂農林高校(2)　○	岩谷堂高校(6)	校舎改築等実施
	胆江	新設（多部制・単位制高校）	〔水沢高等看護学院〕	杜陵高校奥州校(2)	校舎改修実施
	両磐	改編（併設型中高一貫校）	一関第一高校(6)	一関第一高校附属中学校(2)	校舎改修等実施
	釜石 遠野	統合（総合的専門高校）	釜石工業高校(3)　○ 釜石商業高校(2)	釜石商工高校(5)	校舎改築等実施
計	26件	統合17件、改編8件、新設1件	対象校累計43校		
＜計画期間満了後の取組（平成22～26年度）＞					
H22	宮古	募集停止	岩泉高校田野畑校(1)		H23年度末 閉校
H26	二戸	募集停止	福岡高校浄法寺校(1)		H27年度末　閉校予定

※ 再編整備対象校の○印は、新校を設置した高校を示す。

（2）総合選択制高校の現状

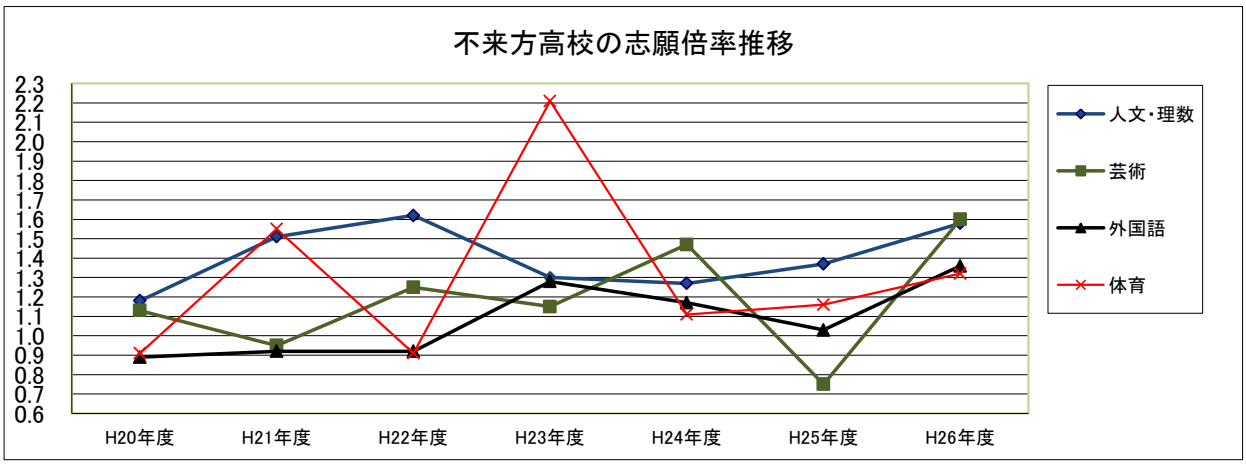
ア 総合選択制高校の検証[花巻南高校･(不来方高校)]

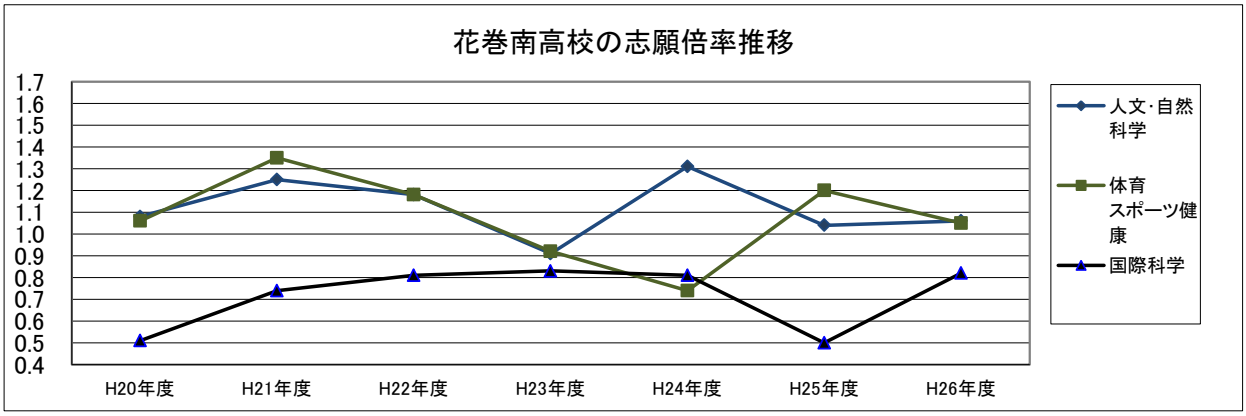
	現　状	成　果	課　題
志　願 状　況	・年度により、志願倍率の上下はあるが、外国語関係の学系の志願倍率は他の学系と比較し低い傾向にある。	・一般に志願意欲が高く、目的意識のある生徒が入学している。	・学系により生徒の学力差が大きいことから、個々に対応した指導が求められる。
総合選択制のシステム	・普通科系の学系は一括募集を行っている。 ・専門性の高い学系については、学校設定科目を開設する等、特色を持たせている。 ・専門分野の学系だけでなく、興味等に応じて他の学系の科目を選択履修することが可能である。	・生徒が自分の興味関心に応じて教育実践や多様な進路に対応できる。 ・普通科であることから、専門科目の単位数に縛られることなく、学系の特色を出すことができる。 ・専門性の高い学系は、少人数指導としているため専門性を追求することができる。	・専門学系の中には、高い専門性が求められるものもあり、教員の確保が難しい面がある。 ・多様な選択科目を開講するため、それに見合った教員の配置が必要である。 ・他の学系の科目を選択する生徒の中には、目的意識にバラツキがあり指導が難しくなってきているケースもある。
学　習 指導面	・限られた教員数で選択科目に対応するため、学系を組み合わせて選択クラスを編制している。 ・専門性を重視しつつ、国公立大学への進学に対応できる教育課程を編成している。 ・専門学系は多様な進路に対応するよう選択科目に配慮している	・学系や科目を選択することができることから、学習に対する意欲・態度の向上が認められる。	・人文･理数関係の学系では、進学希望者が多く、大学進学に対応するため、選択科目が制約される。 ・他の学系の科目を選択する生徒の中には、興味関心より負担の軽い科目を選択する傾向が見られる。
生　徒 指導面	・全体として学習及び部活動に意欲的に取り組んでおり、落ち着いている。 ・文化部を希望する生徒が増加傾向にある。	・体育系の学系を有することで能力の高い生徒が多く、部活動では、お互いを意識し合いながら切磋琢磨し、積極的に活動し成果を挙げている。	・部活動と学習との両立が難しい生徒が増えてきている。
進　路 指導面	・専門学系の進路については、専門性を生かした進路実現となっている。一方で多様な進路先も増えている。 ・１年生で外部講師による講演や大学、企業等の見学会を実施しキャリア教育の充実に努めている。	・専門性の高い学系は、専門性を生かし、レベルの高い大学進学に繋がっている。 ・進路未決定者（その他）の割合が減少している。	・外国語関係の学系では、専門性を生かした進路は高いレベルが要求され一部の生徒の進路実現となっている。そのため、専門学校や就職など多様な進路先となっており、出口保障が課題となっている。 ・顧問が部活動を優先させたい場合もあり、課外等の調整が難しい。
学　校 評　価	・生徒及び保護者の学校評価においては、「学校生活に満足している」「本校に入学させて良かった」という肯定的な回答が80%となっており、概ね良い評価を得ている。 ・学系制については、学校の特色として地域に理解を得られている。	・志願倍率（H26 入試 1.01 倍）や学校評価結果から、生徒、保護者には一定の評価が得られている。 ・普通科高校の中で、生徒の興味関心、進路希望に応じて多様な学習が出来るという特色ある学校として評価されている。	・保護者のアンケート結果では、学習と部活動の両立及び家庭学習時間の確保について課題がある。

イ 総合選択制高校の志願者数及び入学者数の推移

※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

学校名	学系	項　目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
不来方	人文・理数	定員	200	160	160	160	160	160	160	昭和63年度総合選択制高校として開校
		一般志願者数	212	218	233	186	183	197	228	
		志願倍率	1.18	1.51	1.62	1.3	1.27	1.37	1.58	
		入学者数	205	164	164	161	164	159	164	
		過不足	5	4	4	1	4	-1	4	
	芸術	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	35	21	25	23	28	15	32	
		志願倍率	1.13	0.95	1.25	1.15	1.47	0.75	1.6	
		入学者数	41	37	40	40	42	36	40	
		過不足	1	-3	0	0	2	-4	0	
	外国語	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	32	33	33	46	41	36	49	
		志願倍率	0.89	0.92	0.92	1.28	1.17	1.03	1.36	
		入学者数	38	41	41	40	42	40	40	
		過不足	-2	1	1	0	2	0	0	
	体育	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	29	31	20	42	21	22	25	
		志願倍率	0.91	1.55	0.91	2.21	1.11	1.16	1.32	
		入学者数	39	41	41	41	40	40	40	
		過不足	-1	1	1	1	0	0	0	
花巻南	人文・自然科学	定員	120	120	120	120	120	120	120	平成14年度総合選択制高校に改編
		一般志願者数	122	135	130	98	142	116	115	
		志願倍率	1.08	1.25	1.18	0.91	1.31	1.04	1.06	
		入学者数	116	120	120	113	123	123	121	
		過不足	-4	0	0	-7	3	3	1	
	体育スポーツ健康	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	34	27	26	22	23	30	21	
		志願倍率	1.06	1.35	1.18	0.92	0.74	1.2	1.05	
		入学者数	40	41	40	38	37	42	41	
		過不足	0	1	0	-2	-3	2	1	
	国際科学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	20	29	29	30	29	18	31	
		志願倍率	0.51	0.74	0.81	0.83	0.81	0.5	0.82	
		入学者数	25	36	36	35	41	23	38	
		過不足	-15	-4	-4	-5	1	-17	-2	

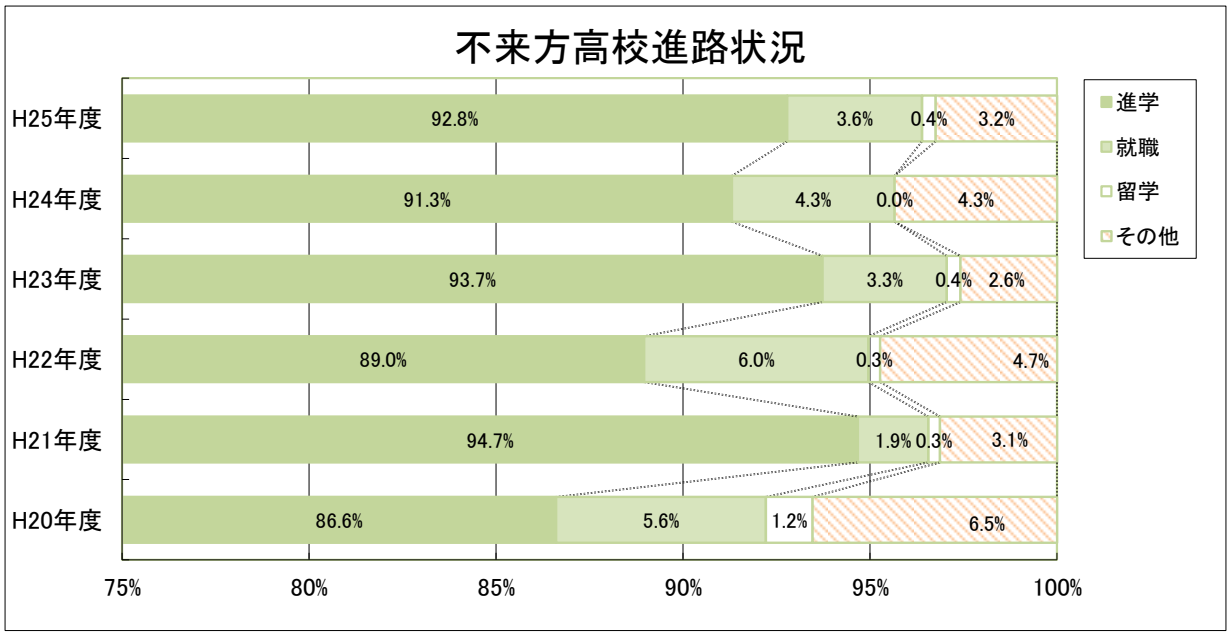


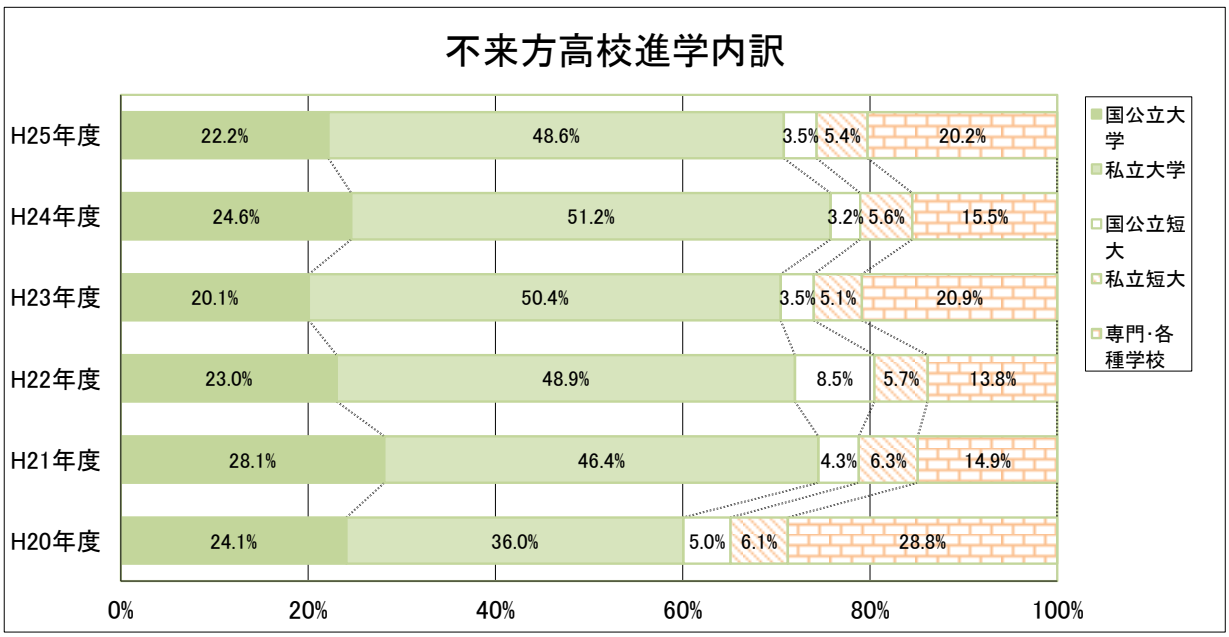


ウ 総合選択制高校の進路状況

〔不来方高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科（人文・理数・芸術･外国語･体育学系）					
卒業者数		321	319	317	271	276	277
進学		278	302	282	254	252	257
	国公立大学	67	85	65	51	62	57
	私立大学	100	140	138	128	129	125
	国公立短大	14	13	24	9	8	9
	私立短大	17	19	16	13	14	14
	専門･各種学校	80	45	39	53	39	52
就職		18	6	19	9	12	10
	民間	13	5	10	3	8	6
	公務員	5	1	9	6	4	4
留学		4	1	1	1	0	1
その他		21	10	15	7	12	9

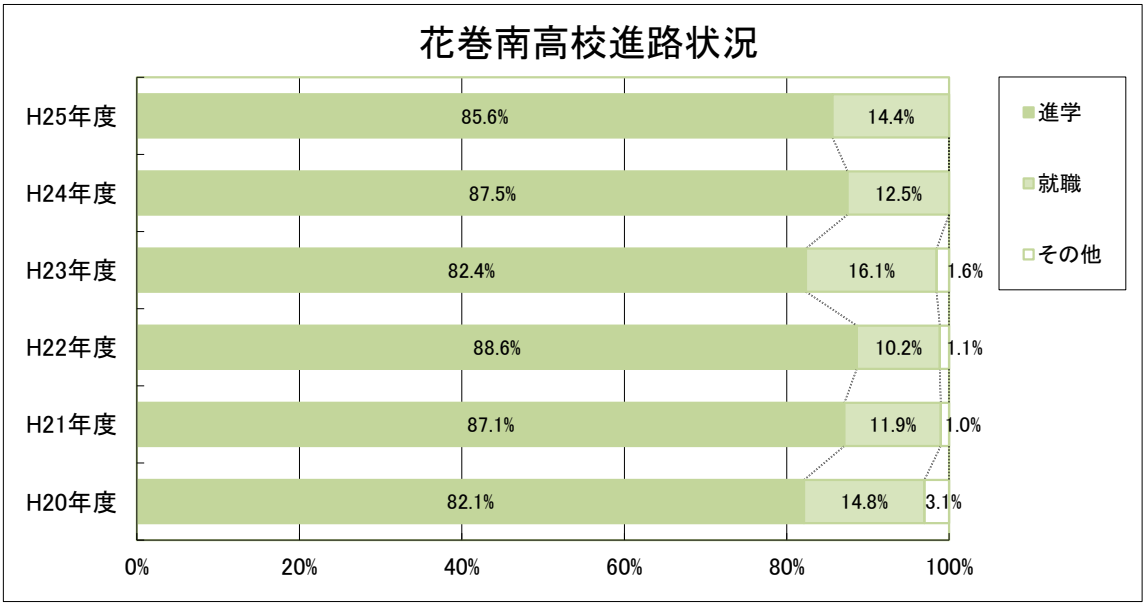


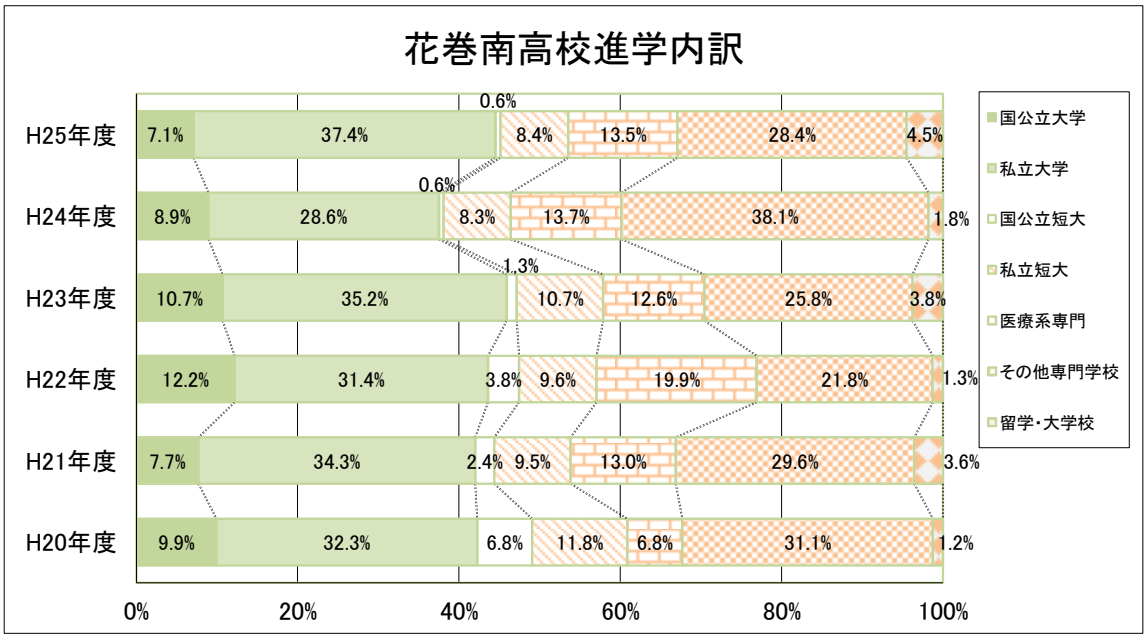


ウ 総合選択制高校の進路状況（つづき）

〔花巻南高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科（人文自然・スポーツ健康・国際科学学系）					
卒業者数		196	194	176	193	192	181
進学		161	169	156	159	168	155
	国公立大学	16	13	19	17	15	11
	私立大学	52	58	49	56	48	58
	国公立短大	11	4	6	2	1	1
	私立短大	19	16	15	17	14	13
	医療系専門	11	22	31	20	23	21
	その他専門学校	50	50	34	41	64	44
	留学・大学校	2	6	2	6	3	7
就職		29	23	18	31	24	26
	民間	29	22	18	29	23	23
	公務員	0	1	0	2	1	3
その他		6	2	2	3	0	0





(3)総合的な専門高校の現状

ア 総合的な専門高校の検証[花北青雲高校・大船渡東高校・釜石商工高校]

	現　状	成　果	課　題
志　願 状　況	・花北青雲高校の志願倍率は、H25 入試以降１倍を超えている。 ・大船渡東高校と釜石商工高校は、志願倍率が１倍を切っている。	・調理師養成の資格要件を満たす学科は一定の志願者を維持している。	・学校によっては、希望学科に全員入学できる状況から、基礎学力が低く、学び直しが必要となっている。
総合的な専門高校のシステム	・他学科の専門科目を進路希望に応じて選択可能としており、その状況は以下の通りである。 花北青雲高校　２年生 10.5% ３年生 10.2% 大船渡東高校　２年生 45.7% ３年生 49.1% 釜石商工高校　履修なし	・専門性を確保しながら、進路希望に応じて関連分野を選択履修することができる。 ・他学科の基礎科目を学習でき、第１希望学科に入学できなかった生徒にとってはよい面がある。 ・自分の所属学科の専門以外の分野に就職しようと考えている生徒にとってはプラスになる。	・基礎学力を付け学び直しが必要となる生徒に確かな学力を身に付けさせるためには、他学科の科目を履修する余裕はないと感じている教員もいる。特に、工業系と商業系の相互選択履修については、消極的な意見がある。
学　習 指導面	・２年次以降コースを設定し、専門性の深化を図っている。 ・全学校において学科間相互選択科目を開設している。 ・調理師免許等の資格取得要件を満たすための教育課程を編成している学校・学科がある。	・進路希望に応じた科目選択が可能である。 ・他学科の科目を選択することにより、視野を広め幅広い知識を身に付けることができる。	・相互選択科目の設定については、双方の専門性を補完できるような設定が必要であり、より専門性を生かした進路に繋げる特長ある教育課程の設定が求められる。（例：農業と商業をつないだ６次産業化等）
生　徒 指導面	・部活動は各部とも活発に活動しているが、部員不足に悩んでいる学校もある。	・単独の専門高校では男女の生徒数が偏る場合が多いが、農業、工業、商業、家庭等の学科があり、全体として男女のバランスが良く、落ち着いた学校生活となっている。 ・部によっては東北、全国大会に出場し成果が上がっている。	・整容や行動面等、基本的生活習慣に関わって指導が必要な生徒が多い学校もある。
進　路 指導面	・進学と就職の割合は、概ね４：６となっている。 ・県内に就職する生徒の割合が増加傾向となっている。 ・インターンシップは２年次に全員で実施し、キャリア教育の充実に努めている。	・改編後、企業からは概ね望ましい職業観・勤労観が身に付いているとの評価がある。 ・総合的な専門高校であることから、通常、自分の所属する学科からでは就職が難しい分野へ進む生徒もいる等、幅広い進路選択が可能となっている。	・県内就職を希望する生徒が多いことから、生徒の状況に応じて職種及び勤務地等の幅を広げる指導が必要である。 ・学科によっては、学習内容と関連の少ない就職や進学となっている学校もある。
学　校 評　価	・学校評価において「本校に入学して（入学させて）良かった」という肯定的な回答が 88%となっており、生徒や保護者からは概ね良い評価を得ている。 ・学校ホームページの逐次更新、中学校開催の高校説明会への参加、中学生一日体験入学等で学校の学習内容等を説明し理解を図っている。	・課題研究発表会等で、他学科の学習内容について知ることができ、専門学習に対する視野を広げることができるとの評価がある。 ・専門教育の専門性の確保については、統合前の学習内容を継承発展させ、研究発表や資格取得に熱心に取り組んでおり成果を挙げている。専門性を生かした進路先を確保している学科もあることから、単独の専門高校に劣らない成果を挙げていると認められる。	・学科ごとに行事や資格試験などの日程が異なり、教員は常に行事に追われ多忙感を持っている。 ・専門が異なり教員の学科間の協力体制が取りにくいため、教員相互の理解が必要である。 ・総合的な専門高校のシステムについて、地域への理解を深めるための情報提供が必要である。

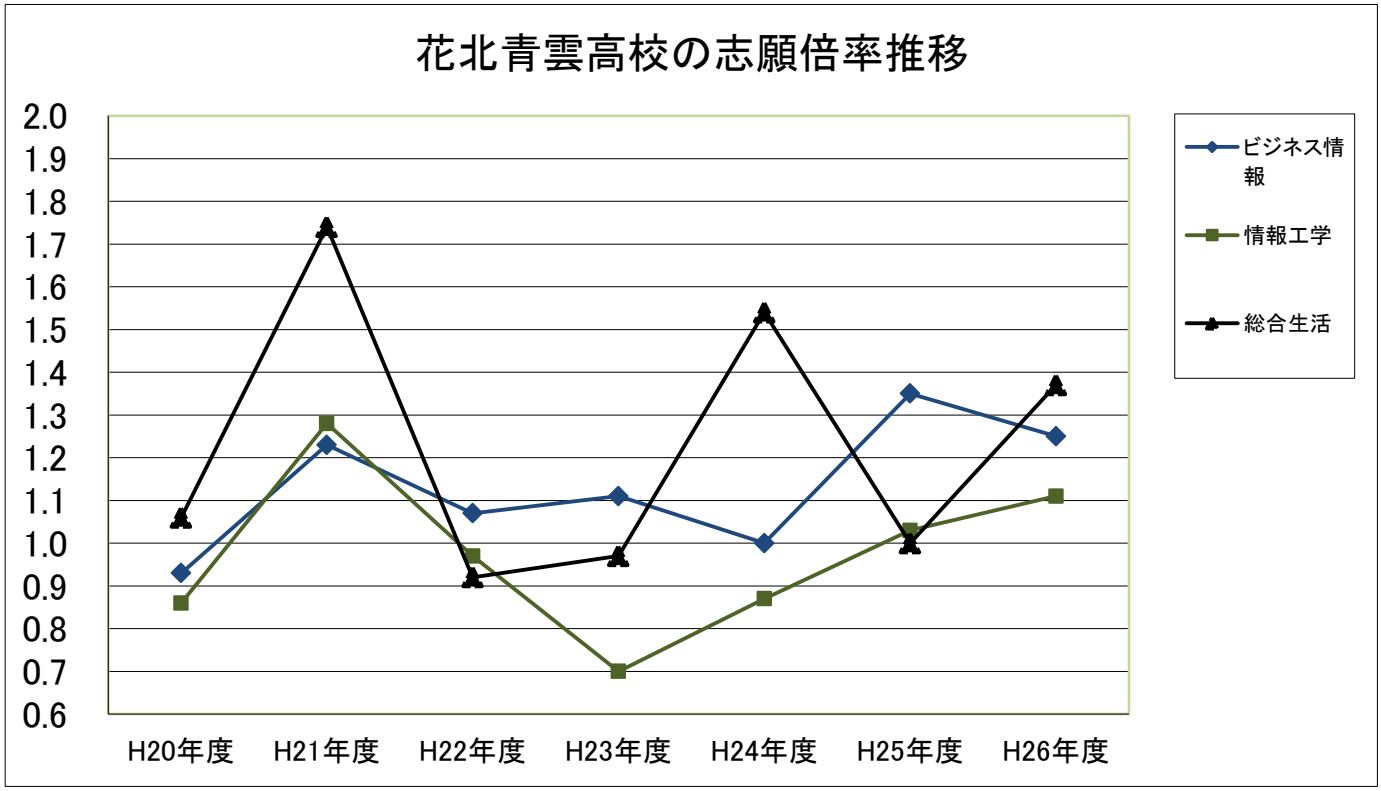
イ 他学科の専門科目の履修状況

学校名	学科間相互選択科目	他学科の科目の履修状況（平成26年度）
花北青雲高校	工業技術基礎、簿記、ビジネス基礎、フードデザイン、家庭看護・福祉	２年生　10.5%
		３年生　10.2%
大船渡東高校	生物活用、機械基礎Ⅰ、電気技術基礎、機械基礎Ⅱ、制御技術基礎、簿記、ビジネス基礎、フードデザイン	２年生　45.7%
		３年生　49.1%
釜石商工高校	工業技術基礎、簿記	２、３年生とも履修なし

ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移

〔花北青雲高校〕　※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

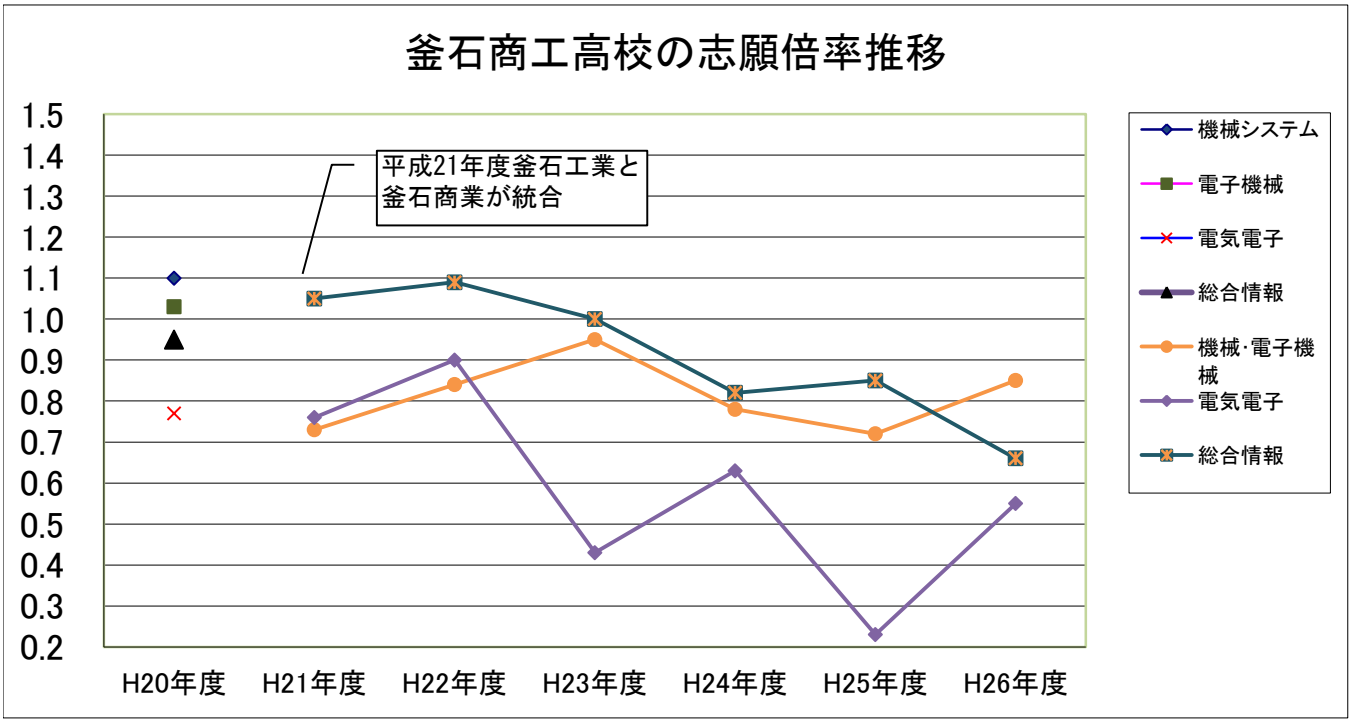
学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
花北青雲	ビジネス情報	定員	80	80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数	67	87	76	80	71	96	89	
		志願倍率	0.93	1.23	1.07	1.11	1	1.35	1.25	
		入学者数	75	84	81	83	84	84	84	
		過不足	-5	4	1	3	4	4	4	
	情報工学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	30	46	35	26	33	36	40	
		志願倍率	0.86	1.28	0.97	0.7	0.87	1.03	1.11	
		入学者数	35	42	37	34	34	42	41	
		過不足	-5	2	-3	-6	-6	2	1	
	総合生活	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	37	61	36	34	54	35	48	
		志願倍率	1.06	1.74	0.92	0.97	1.54	1	1.37	
		入学者数	42	42	37	40	42	42	42	
		過不足	2	2	-3	0	2	2	2	



ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移（つづき）

〔釜石商工高校〕　　※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

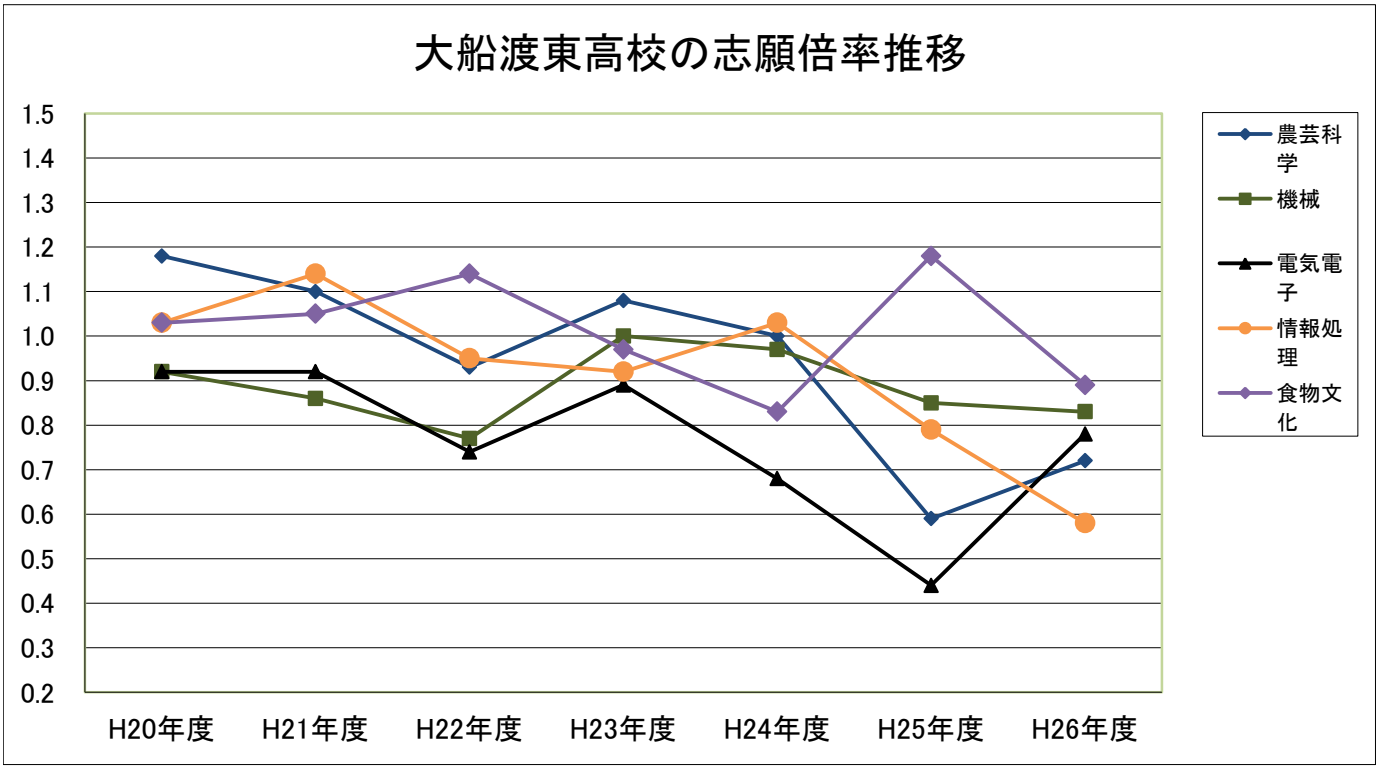
学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
釜石工業	機械システム	定員	40							平成21年度、釜石工業と釜石商業が統合
		一般志願者数	44							
		志願倍率	1.1							
		入学者数	40							
		過不足	0							
	電子機械	定員	40							
		一般志願者数	40							
		志願倍率	1.03							
		入学者数	40							
		過不足	0							
	電気電子	定員	40							
		一般志願者数	30							
		志願倍率	0.77							
		入学者数	37							
		過不足	-3							
釜石商業	総合情報	定員	80							
		一般志願者数	74							
		志願倍率	0.95							
		入学者数	77							
		過不足	-3							
釜石商工	機械・電子機械	定員		80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数		57	65	74	62	55	64	
		志願倍率		0.73	0.84	0.95	0.78	0.72	0.85	
		入学者数		60	69	75	56	55	65	
		過不足		-20	-11	-5	-24	-25	-15	
	電気電子	定員		40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数		29	35	17	25	9	22	
		志願倍率		0.76	0.9	0.43	0.63	0.23	0.55	
		入学者数		31	36	16	24	8	20	
		過不足		-9	-4	-24	-16	-32	-20	
	総合情報	定員		80	80	80	80	80	80	
		一般志願者数		81	83	78	63	66	52	
		志願倍率		1.05	1.09	1	0.82	0.85	0.66	
		入学者数		81	81	76	65	65	53	
		過不足		1	1	-4	-15	-15	-27	



ウ 総合的な専門高校の志願者数及び入学者数の推移（つづき）

〔大船渡東高校〕　　※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

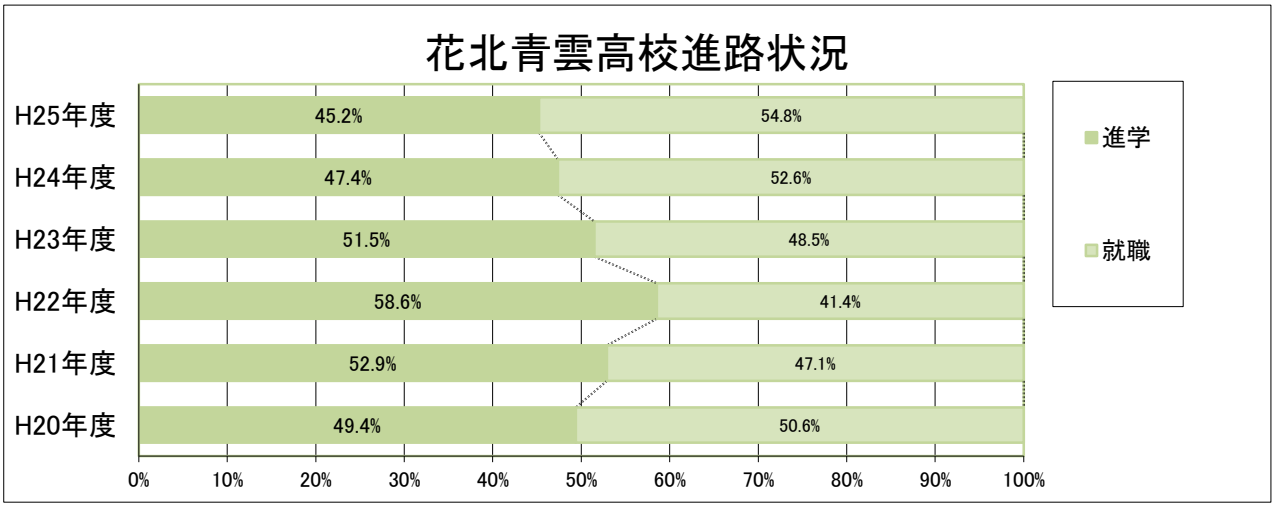
学校名	学科	項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
大船渡東	農芸科学	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	47	44	37	40	40	23	28	
		志願倍率	1.18	1.1	0.93	1.08	1	0.59	0.72	
		入学者数	40	40	40	40	40	30	29	
		過不足	0	0	0	0	0	-10	-11	
	機械	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	35	31	30	36	36	33	33	
		志願倍率	0.92	0.86	0.77	1	0.97	0.85	0.83	
		入学者数	37	37	32	40	39	34	33	
		過不足	-3	-3	-8	0	-1	-6	-7	
	電気電子	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	36	33	28	32	27	17	31	
		志願倍率	0.92	0.92	0.74	0.89	0.68	0.44	0.78	
		入学者数	38	40	30	36	26	19	30	
		過不足	-2	0	-10	-4	-14	-21	-10	
	情報処理	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	37	42	35	35	41	31	22	
		志願倍率	1.03	1.14	0.95	0.92	1.03	0.79	0.58	
		入学者数	40	40	37	40	41	33	24	
		過不足	0	0	-3	0	1	-7	-16	
	食物文化	定員	40	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	38	39	41	35	30	45	33	
		志願倍率	1.03	1.05	1.14	0.97	0.83	1.18	0.89	
		入学者数	40	40	40	40	34	40	35	
		過不足	0	0	0	0	-6	0	-5	

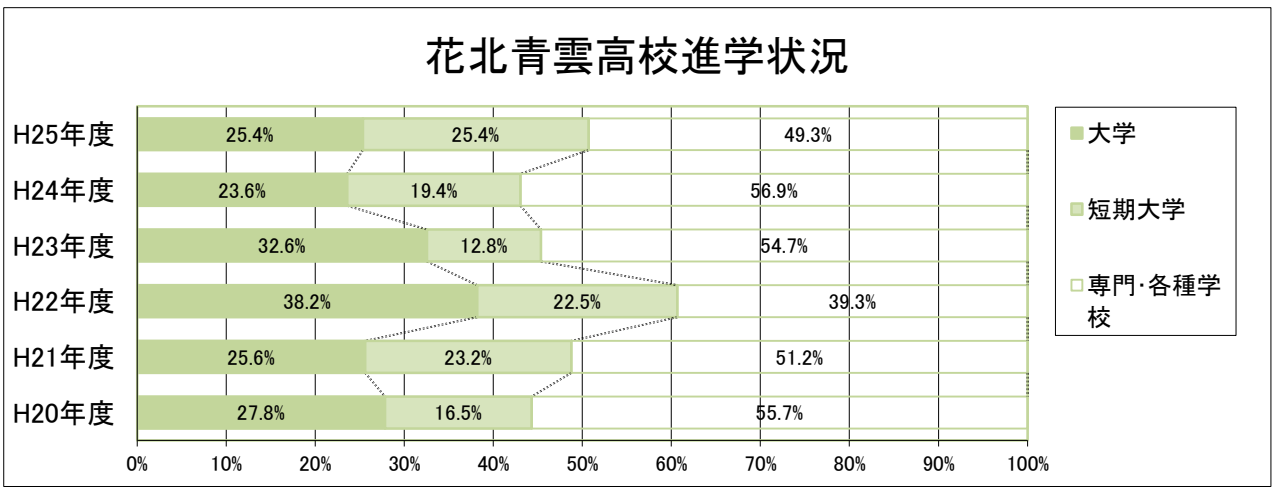


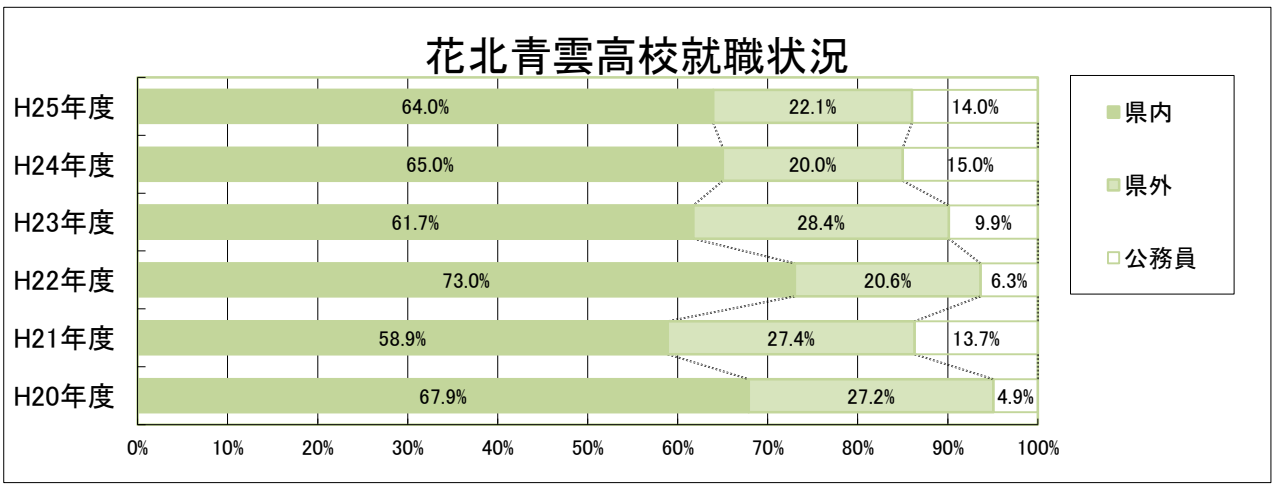
エ 総合的な専門高校の進路状況

〔花北青雲高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		情報工学・情報ビジネス・総合生活科					
卒業者数		160	155	152	167	152	157
進学		79	82	89	86	72	71
	大学	22	21	34	28	17	18
	短期大学	13	19	20	11	14	18
	専門･各種学校	44	42	35	47	41	35
就職		81	73	63	81	80	86
	県内	55	43	46	50	52	55
	県外	22	20	13	23	16	19
	公務員	4	10	4	8	12	12
その他		0	0	0	0	0	0



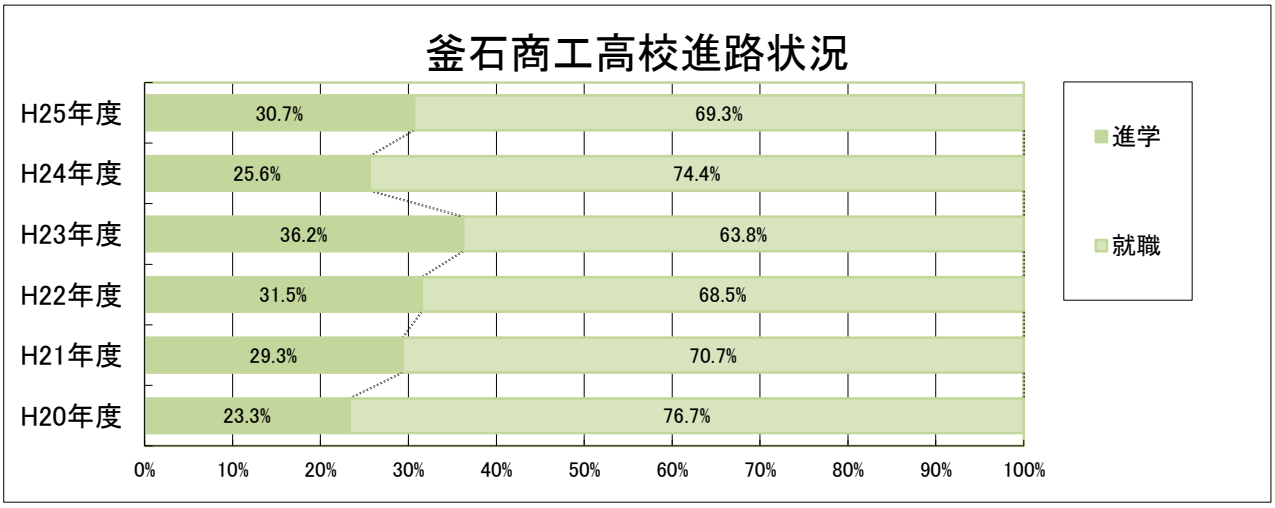


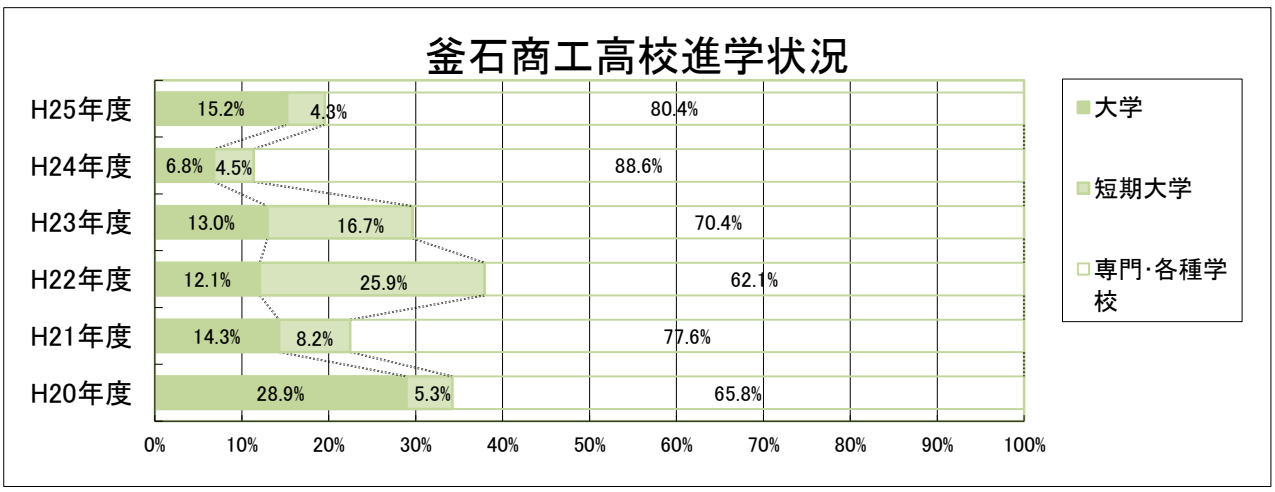


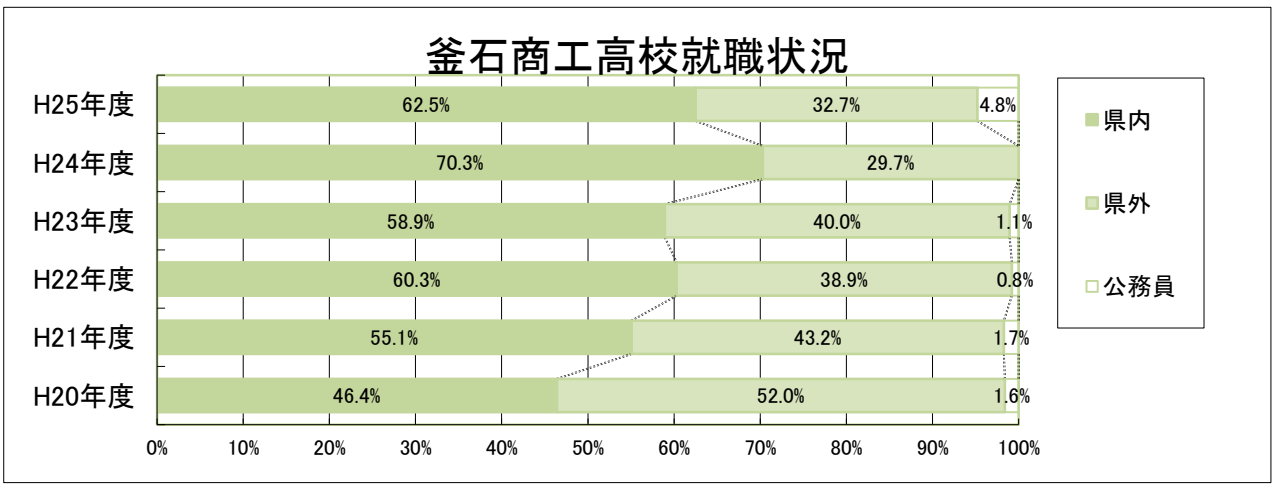
エ 総合的な専門高校の進路状況（つづき）

〔釜石商工高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合情報・機械、電子機械・電気電子科					
卒業者数		163	167	184	149	172	150
進学		38	49	58	54	44	46
	大学	11	7	7	7	3	7
	短期大学	2	4	15	9	2	2
	専門･各種学校	25	38	36	38	39	37
就職		125	118	126	95	128	104
	県内	58	65	76	56	90	65
	県外	65	51	49	38	38	34
	公務員	2	2	1	1	0	5
その他		0	0	0	0	0	0



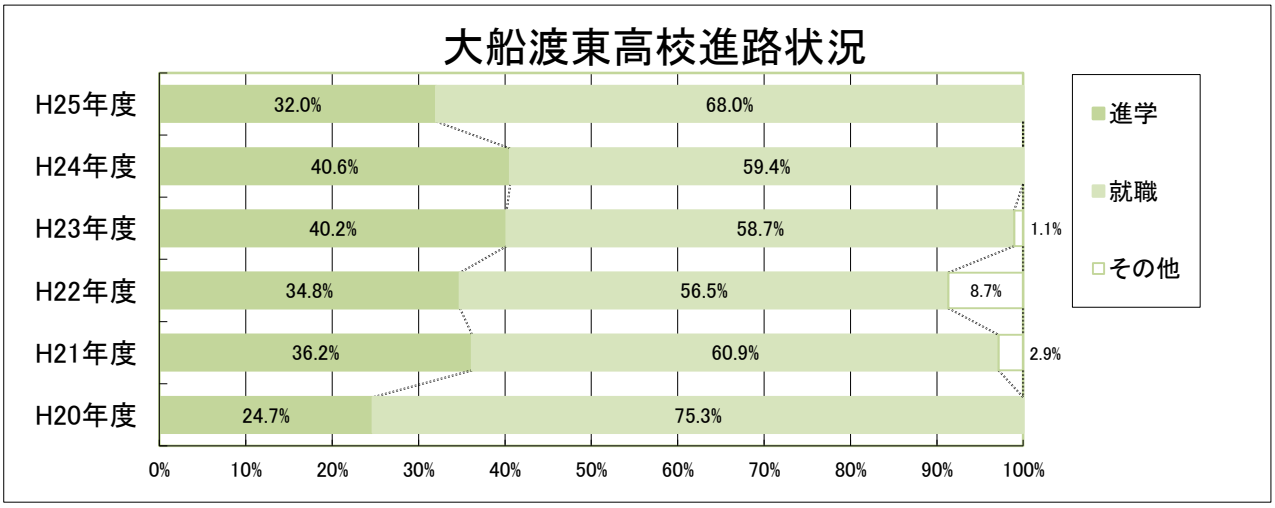


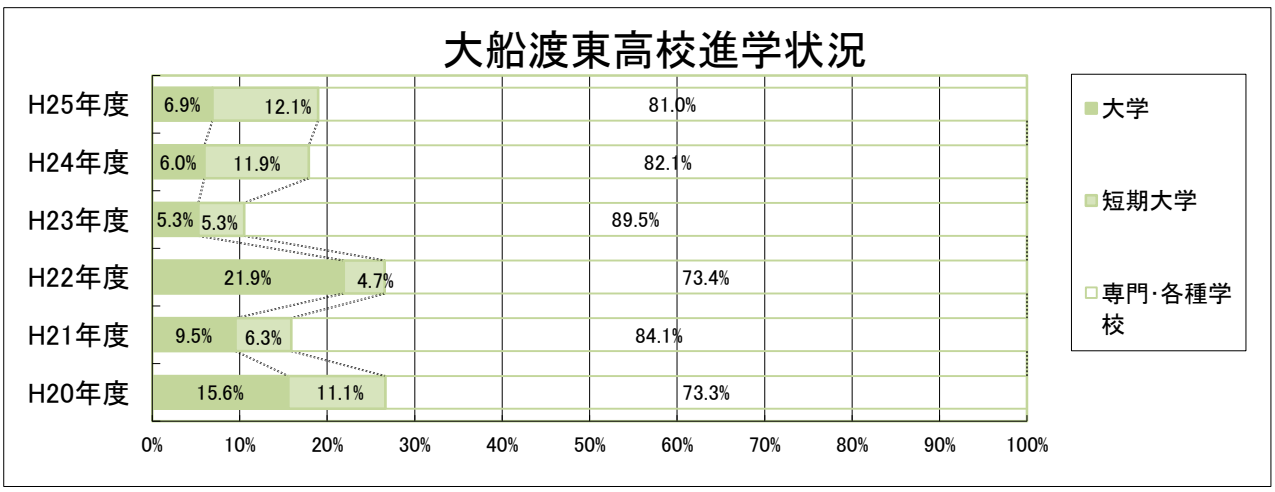


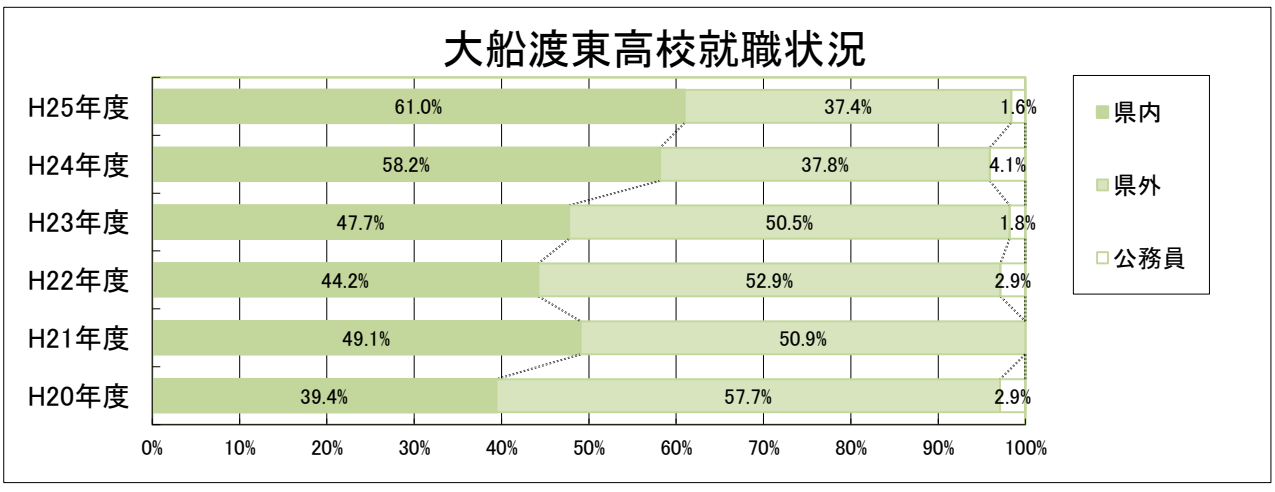
エ 総合的な専門高校の進路状況（つづき）

〔大船渡東高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合情報・機械、電子機械・電気電子科					
卒業者数		182	174	184	189	165	181
進学		45	63	64	76	67	58
	大学	7	6	14	4	4	4
	短期大学	5	4	3	4	8	7
	専門･各種学校	33	53	47	68	55	47
就職		137	106	104	111	98	123
	県内	54	52	46	53	57	75
	県外	79	54	55	56	37	46
	公務員	4	0	3	2	4	2
その他		0	5	16	2	0	0







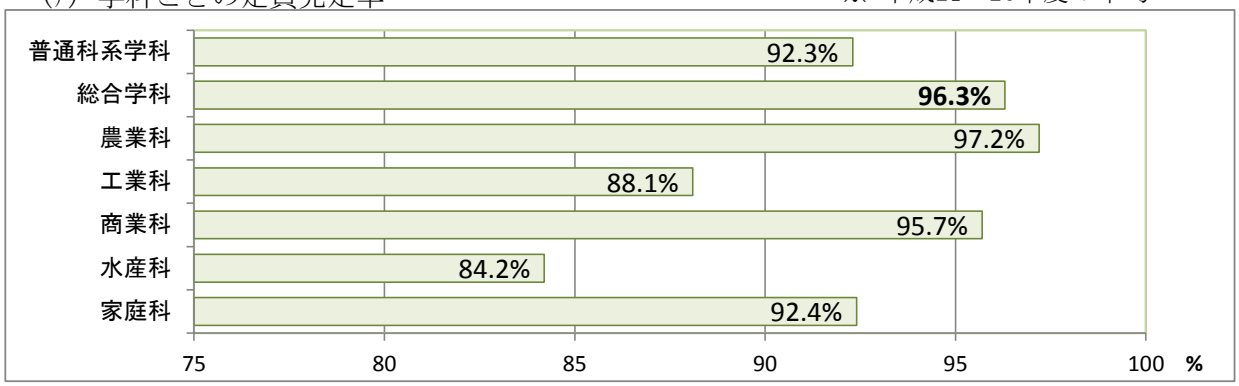
（4）総合学科高校の現状

ア 総合学科高校の検証[紫波総合・北上翔南・一関第二・久慈東・一戸・(岩谷堂)]

	現　状	成　果	課　題
志　願 状　況	・年度により志願倍率の上下はあるが、平成 26 年度入試では 0.97 倍となっている。 ・１倍以上の志願倍率を維持している学校もある。	・定員充足率は他の学科と比較し高い。(H26 年度入試 96.3%)	・総合学科の特長について、十分理解いただく必要があることから、中学校の教員や生徒、保護者に対し、体験入学や学校説明会等を通じ、今後とも理解を深めさせていく必要がある。
総合学科のシステム	・全ての学校で系列重視型の科目選択に移行している。 ・系列は、生徒の希望調査や保護者面談等を通して 1 年次の 10～11 月頃にはほぼ決定している。 ・「産業社会と人間」を活用し、社会人講話、上級学校見学、企業見学等を実施している。	・系列重視になってきたことから、進路と関係しない安易な科目選択になっている生徒はごくわずかである。 ・必履修科目である「産業社会と人間」を通して、自分の将来について真剣に考え、目標とする進路に応じた系列を選択することができる。	・進学に重点を置いた学校、専門教育に重点を置いた学校、学校の規模等で課題が異なることから、それぞれの学校の課題に沿った対応を検討していく必要がある。 ・小規模の総合学科高校では教員配置数等の関係から開設する科目が限られ、生徒が希望する科目選択ができない場合がある。
学　習 指導面	・１年次の「産業社会と人間」で生き方、在り方、職業について理解を深め、2・3 年次の「総合的な学習の時間」に結び付け、キャリア教育という視点を一貫させた指導を実践している。 ・同じ規模の普通高校に比較して、教員１人あたりの科目数が多い。	・全ての学校において「課題研究発表会」を実施することで、他系列の学習内容を知ることができ、キャリア教育に充実に繋がっている。	・「産業社会と人間」等、専門教科以外の指導や教員１人当たりの担当科目数が多いことで、負担を感じている教員が多い。 ・２年次からの系列選択となることから、進路指導や専門教科指導が普通科、専門学科に比べ深まらない、資格取得が限られていると感じている教員もいる。
生　徒 指導面	・生徒指導の問題は減少傾向にある。中途退学者や長期欠席者も減少傾向となっている。 ・多くの生徒と関わりを持つことが苦手な生徒や、人間関係で悩む生徒にとっては、ＨＲ(生活集団)と学習集団が異なることが、プラスに働く面もある。	・部活動は活性化している。 ・２年次以降系列毎にクラス編制をしている学校では、以前よりＨＲ単位での活動が多くなり、学校行事等において、まとまりが見られるようになっている。	・学校によっては、学級担任が授業において学級の全てを担当する場面が少ないことから、情報交換のための教員の連携が必要である。 ・学校によっては、特別な支援を必要とする生徒がいる。
進　路 指導面	・「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」等を活用して、自分の進路について考える時間が多く設定されている。 ・就職希望者についてはインターンシップを実施している。	・系列重視になったことや「産業社会と人間」及び「総合的な学習の時間」におけるキャリア教育の成果により、系列の学習内容に関連した進路選択となっている生徒が多くなっている。 ・進路未決定者の割合が減少傾向となっている。	・多様な進路希望の生徒に対応するため、担任の負担が大きい。 ・介護福祉系列以外は学習内容と進路先が必ずしも一致していない学校もある。
学　校 評　価	・生徒及び保護者の学校評価においては、「学校生活に満足している」「本校に入学して良かった」という肯定的な回答が 85%となっており、概ね良い評価を得ている。	・服装・挨拶が改善され、部活動の活性化、問題行動の減少等で評価が上がっている。 ・系列化が明確になり学校の方向性が見えてきたことから、進学・就職両面で成果が上がっており、それぞれの分野で特長ある指導がなされているといった評価がある。 ・系列化によるキャリア教育の充実、定員充足率、学校評価等から生徒、保護者には一定の評価を得られている。	・施設設備等の関係から、必ずしも生徒の希望する系列や選択とならない場合があり、中学生や保護者に周知する必要がある。

イ 学科ごとの定員充足率、総合学科の系列及び選択者数、系列選択者の比率、教員1人当たりの科目数

(ｱ) 学科ごとの定員充足率　　※ 平成21～26年度の平均



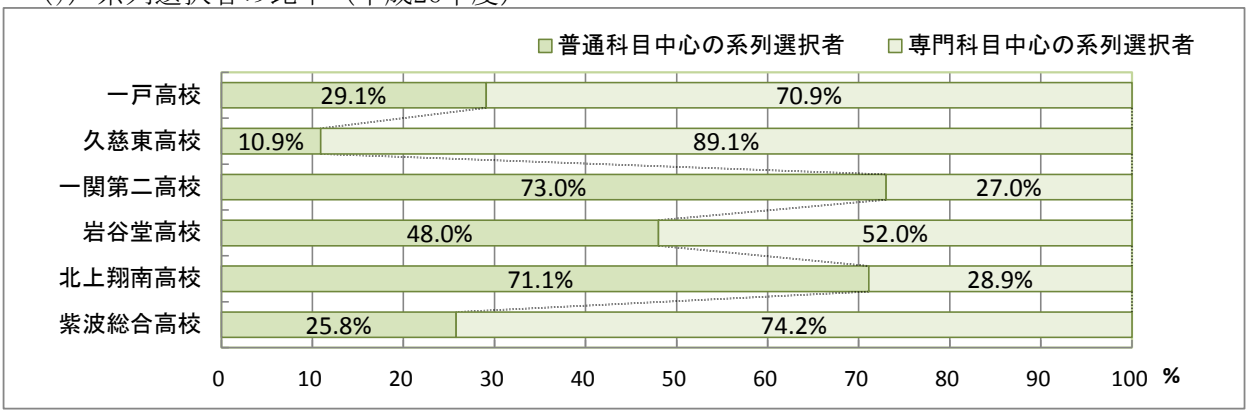
※ 普通科系学科：普通科、理数科、体育科

(ｲ) 総合学科高校の系列及び選択者数（平成26年度）

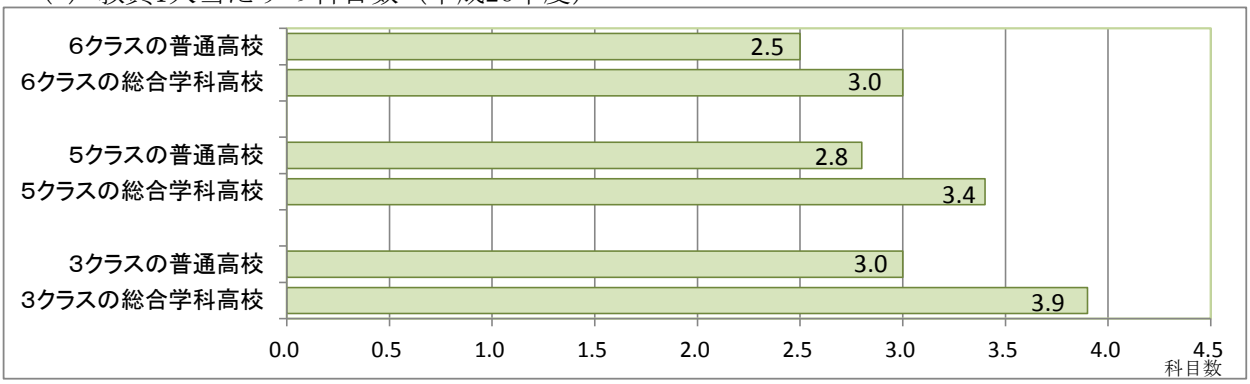
	系列	選択者数 2年	選択者数 3年
紫波総合高校（定員 200）	人文･自然	37	55
	福祉･健康	26	20
	情報･経済	40	41
	ライフデザイン	31	33
	エコロジー･フード	37	36
	計	171	185
北上翔南高校（定員 240）	人文	121	113
	自然	43	57
	情報	36	39
	環境	31	30
	計	231	239
岩谷堂高校（定員 200）	生活･福祉	21	18
	生物生産	17	20
	産業工学	13	14
	流通情報	25	30
	人文科学	34	52
	自然科学	28	32
	計	138	166

	系列	選択者数 2年	選択者数 3年
一関第二高校（定員 240）	人文	95	70
	自然	83	101
	福祉	11	10
	環境・ビジネス	47	61
	計	236	242
久慈東高校（定員 200）	人文	8	9
	自然科学	10	16
	食物	24	23
	介護福祉	31	24
	環境緑化	26	16
	海洋科学	12	14
	情報ビジネス	87	95
	計	198	197
一戸高校（定員 120）	人文・自然	33	31
	情報ビジネス	29	34
	生活文化	32	35
	介護福祉	11	15
	計	105	115

(ｳ) 系列選択者の比率（平成26年度）



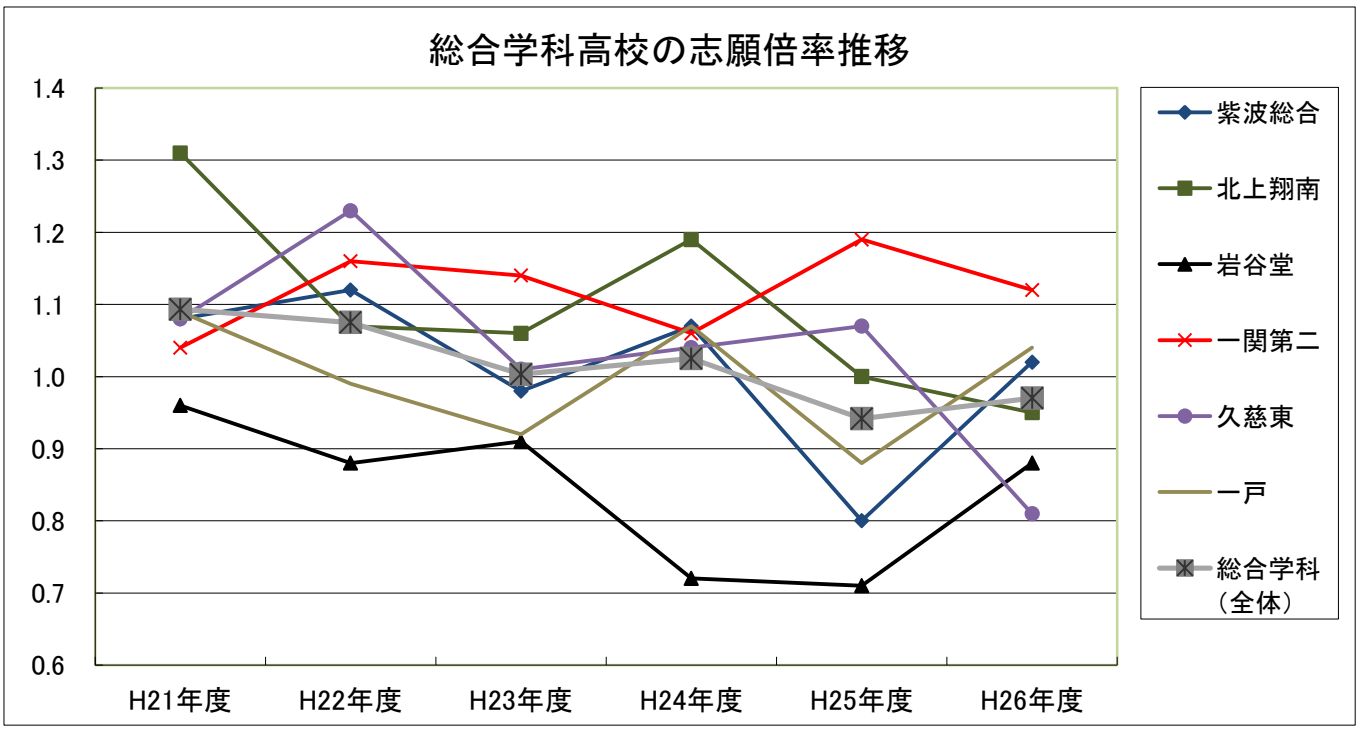
(ｴ) 教員1人当たりの科目数（平成26年度）



ウ 総合学科高校の志願者数及び入学者数の推移

※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

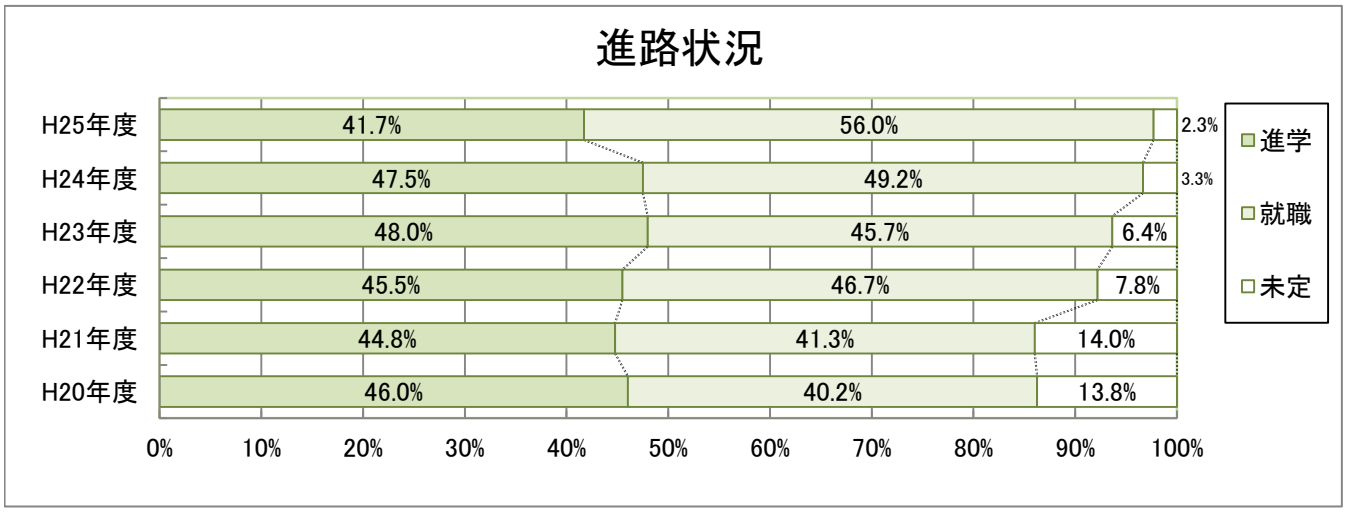
学校名	項　　目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　　考
紫波総合	定員	200	200	200	200	200	200	～H15：紫波高校（普通科・農業科・情報デザイン科） H16～：紫波総合（総合学科）
	一般志願者数	204	218	192	206	156	195	
	志願倍率	1.08	1.12	0.98	1.07	0.8	1.02	
	入学者数	200	200	193	200	179	200	
	過不足	0	0	-7	0	-21	0	
北上翔南	定員	240	240	240	240	240	240	～H15：黒沢尻南（普通科） H16～：北上翔南（総合学科）
	一般志願者数	284	230	228	259	216	213	
	志願倍率	1.31	1.07	1.06	1.19	1.00	0.95	
	入学者数	240	246	241	242	233	229	
	過不足	0	6	1	2	-7	-11	
岩谷堂	定員	240	240	240	240	200	200	H6～：総合学科
	一般志願者数	219	202	206	162	140	173	
	志願倍率	0.96	0.88	0.91	0.72	0.71	0.88	
	入学者数	225	214	215	174	144	183	
	過不足	-15	-26	-25	-66	-56	-17	
一関第二	定員	240	240	240	240	240	240	～H15：一関第二（普通科・福祉教養科）、一関農業（生物資源科・生活科学科） H16～：一関第二（総合学科）
	一般志願者数	225	251	246	228	257	240	
	志願倍率	1.04	1.16	1.14	1.06	1.19	1.12	
	入学者数	240	240	239	243	243	240	
	過不足	0	0	-1	3	3	0	
久慈東	定員	200	200	200	200	200	200	～H15：久慈農林(農林工学科･家政科･福祉教養科）、久慈商業(商業科･情報処理科）、久慈水産(水産技術科･食物科) H16～：久慈東（総合学科）
	一般志願者数	195	220	182	191	193	146	
	志願倍率	1.08	1.23	1.01	1.04	1.07	0.81	
	入学者数	210	210	201	201	200	163	
	過不足	10	10	1	1	0	-37	
一戸	定員	120	120	120	120	120	120	～H16：一戸高校（普通科・福祉科） H17～：一戸高校（総合学科）
	一般志願者数	124	107	102	121	99	121	
	志願倍率	1.09	0.99	0.92	1.07	0.88	1.04	
	入学者数	122	117	110	120	106	124	
	過不足	2	-3	-10	0	-14	4	
総合学科（全体）	定員	1,240	1,240	1,240	1,240	1,200	1,200	
	一般志願者数	1,251	1,228	1,156	1,167	1,061	1,088	
	志願倍率	1.09	1.08	1.00	1.03	0.94	0.97	
	入学者数	1,237	1,227	1,199	1,180	1,105	1,139	
	過不足	-3	-13	-41	-60	-95	-61	

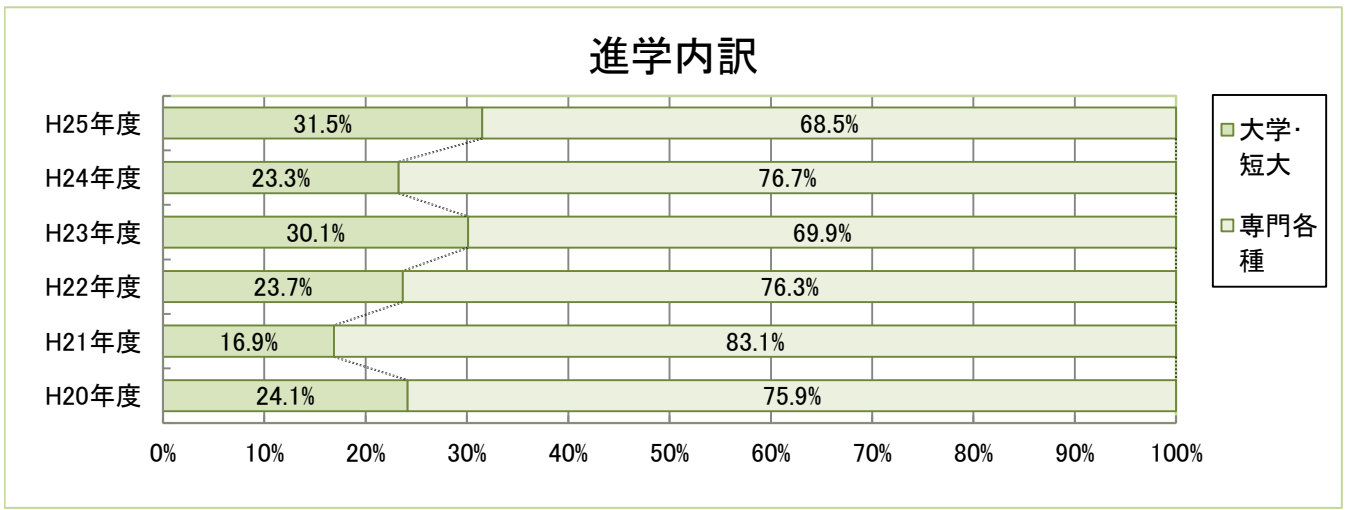


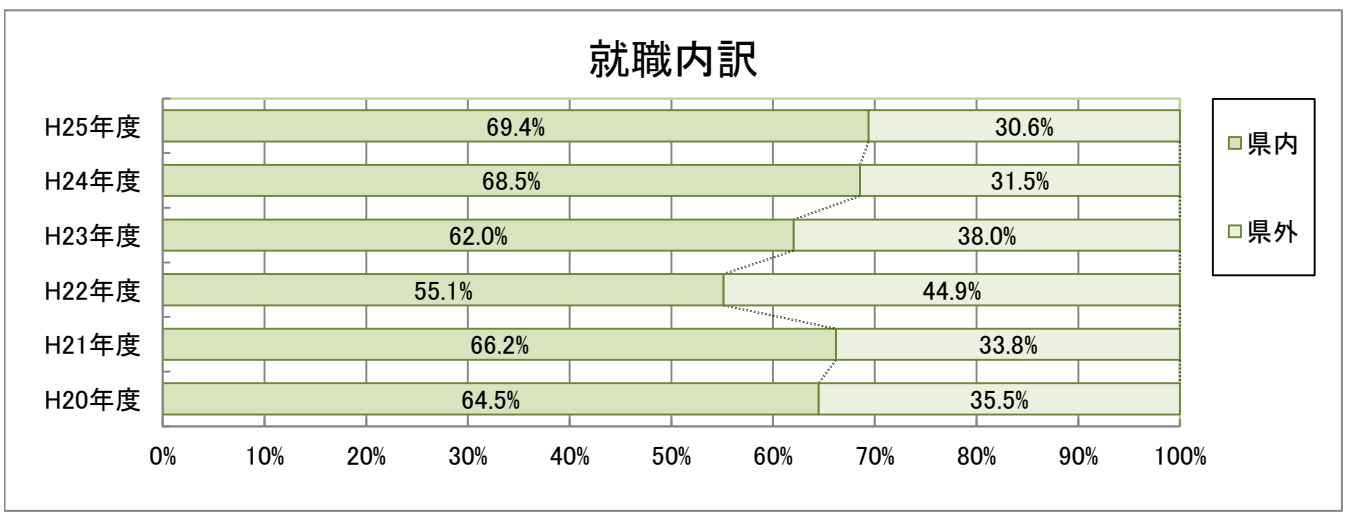
エ 総合学科高校の進路状況

〔紫波総合高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		189	172	167	173	181	175
進学		87	77	76	83	86	73
	大学･短大	21	13	18	25	20	23
	専門各種	66	64	58	58	66	50
就職		76	71	78	79	89	98
	県内	49	47	43	49	61	68
	県外	27	24	35	30	28	30
未定		26	24	13	11	6	4



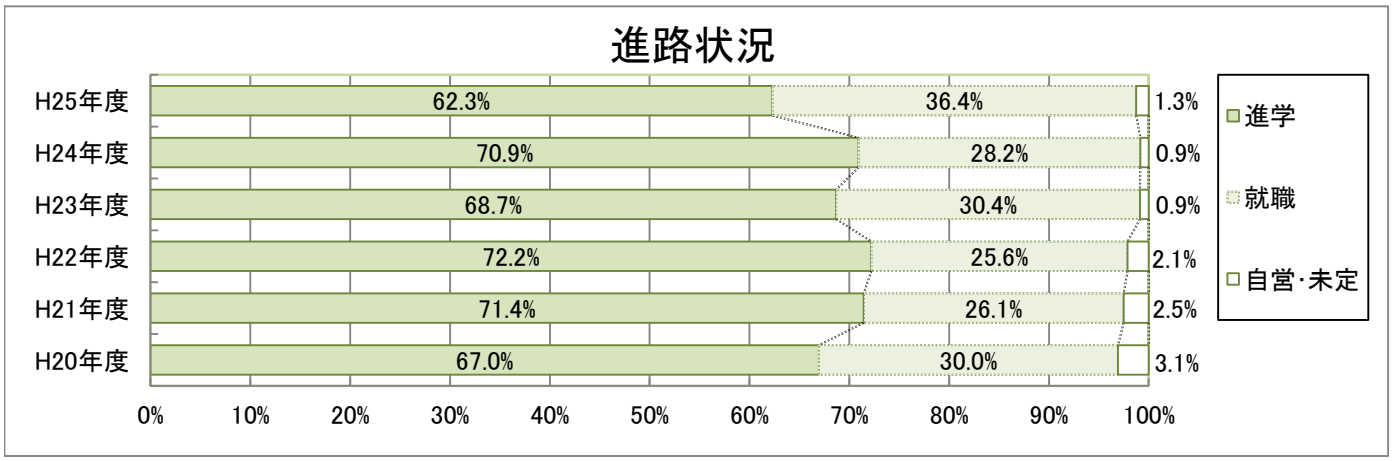


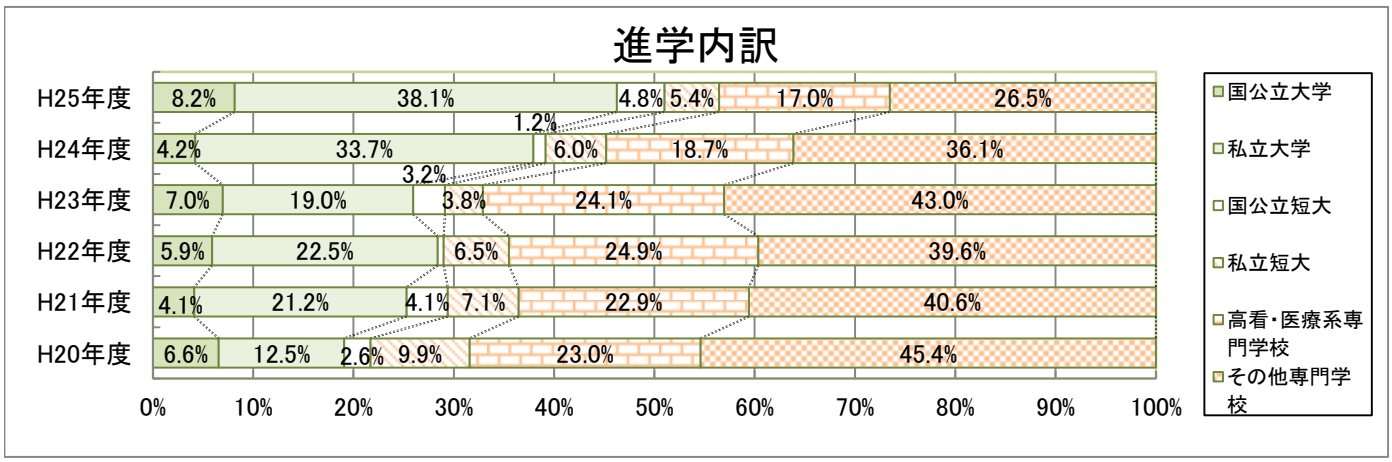


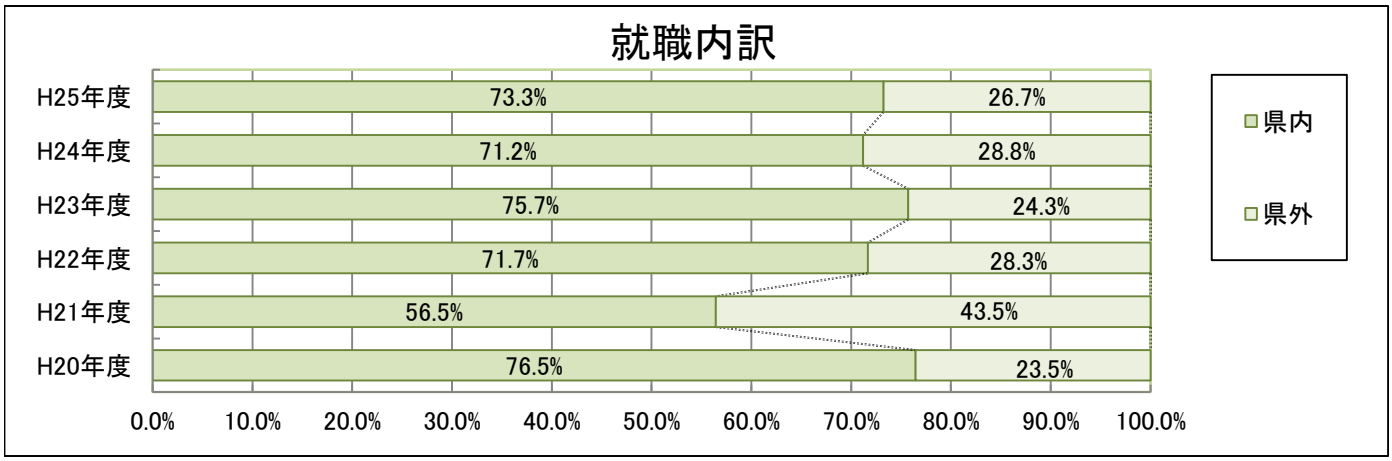
エ 総合学科高校の進路状況（つづき）

〔北上翔南高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		227	238	234	230	234	236
進学		152	170	169	158	166	147
	国公立大学	10	7	10	11	7	12
	私立大学	19	36	38	30	56	56
	国公立短大	4	7	1	5	2	7
	私立短大	15	12	11	6	10	8
	高看・医療系専門学校	35	39	42	38	31	25
	その他専門学校	69	69	67	68	60	39
就職		68	62	60	70	66	86
	県内	52	35	43	53	47	63
	県外	16	27	17	17	19	23
自営・未定		7	6	5	2	2	3



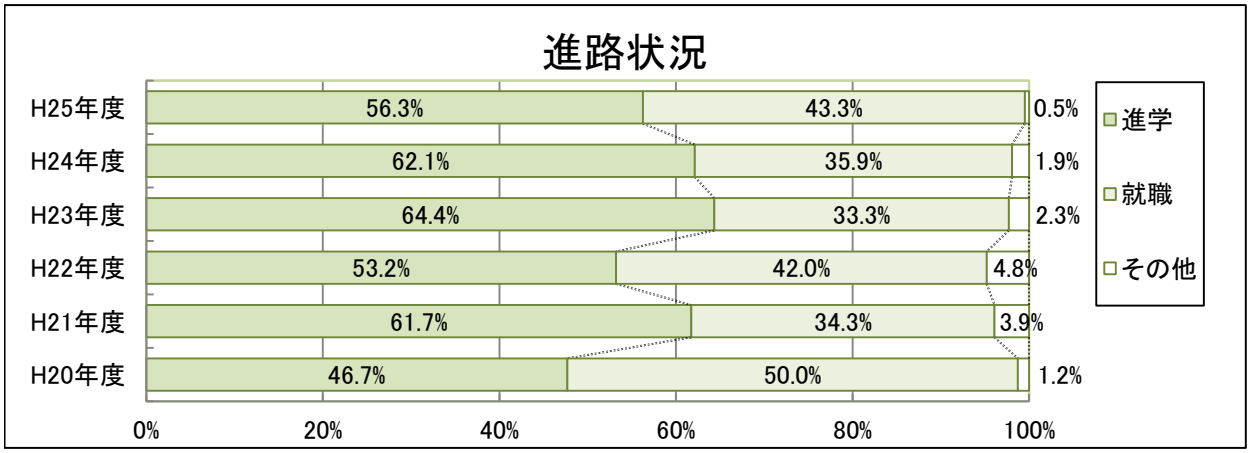


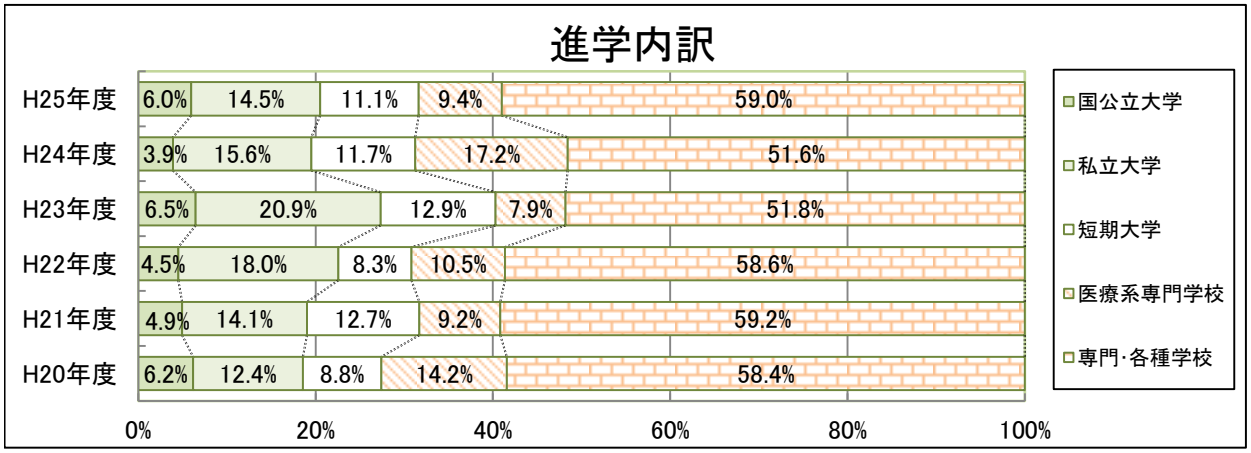


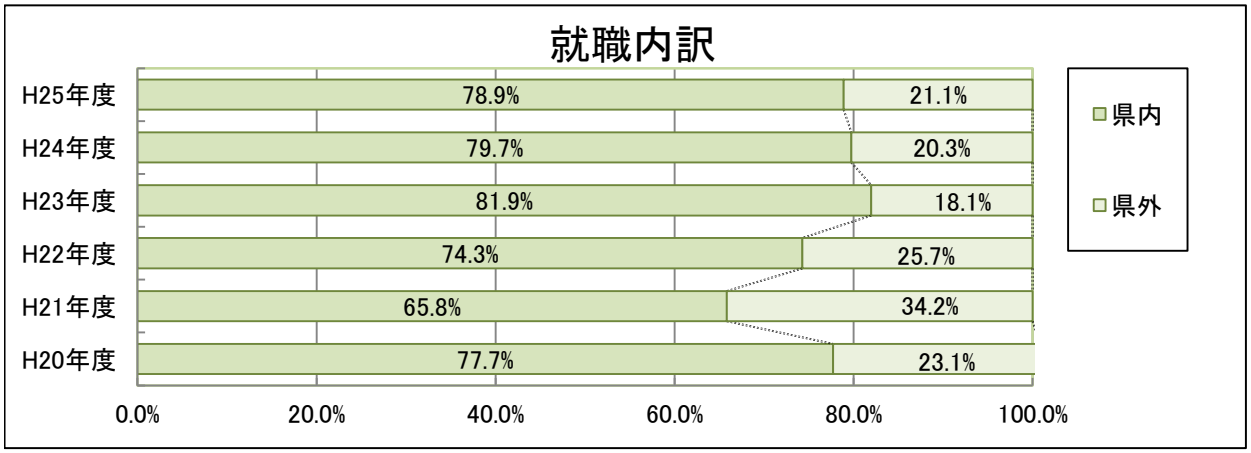
エ 総合学科高校の進路状況（つづき）

〔岩谷堂高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		242	230	250	216	206	208
進学		113	142	133	139	128	117
	国公立大学	7	7	6	9	5	7
	私立大学	14	20	24	29	20	17
	短期大学	10	18	11	18	15	13
	医療系専門学校	16	13	14	11	22	11
	専門・各種学校	66	84	78	72	66	69
就職		121	79	105	72	74	90
	県内	94	52	78	59	59	71
	県外	28	27	27	13	15	19
その他		3	9	12	5	4	1



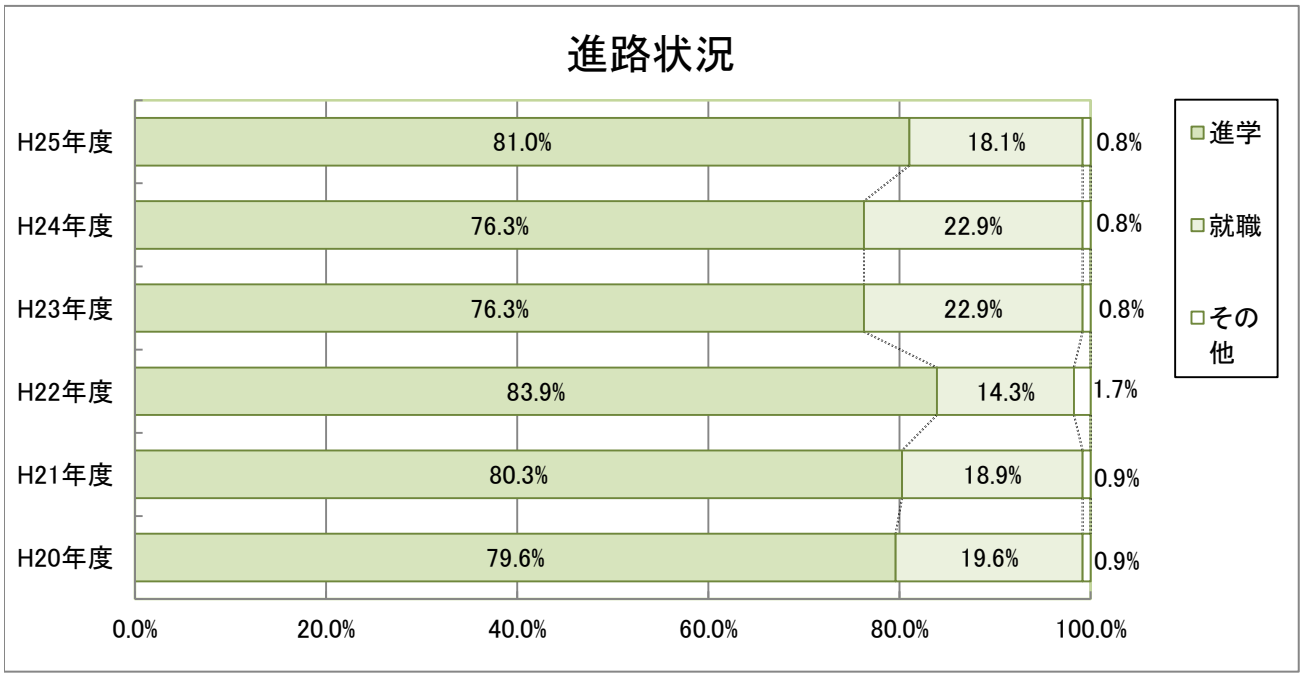


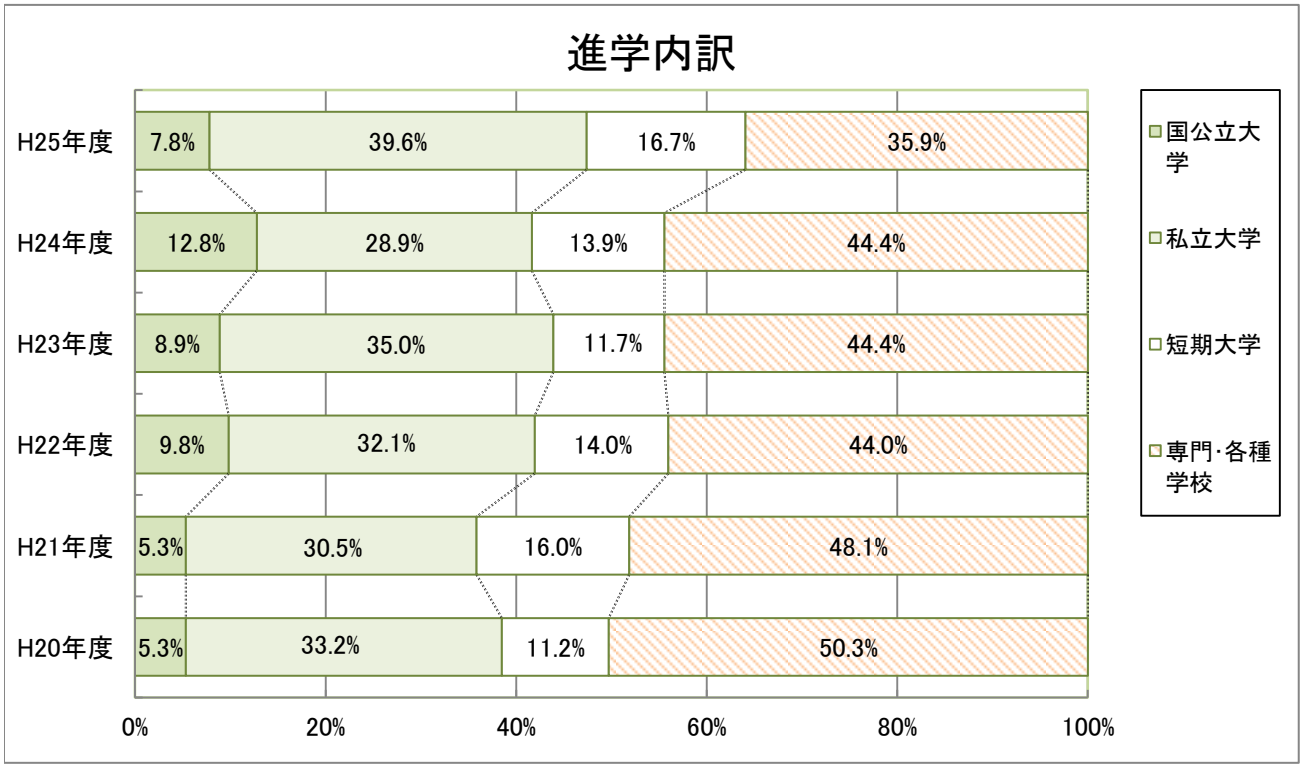


エ 総合学科高校の進路状況（つづき）

〔一関第二高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		235	233	230	236	236	237
進学		187	187	193	180	180	192
	国公立大学	10	10	19	16	23	15
	私立大学	62	57	62	63	52	76
	短期大学	21	30	27	21	25	32
	専門・各種学校	94	90	85	80	80	69
就職		46	44	33	54	54	43
その他		2	2	4	2	2	2

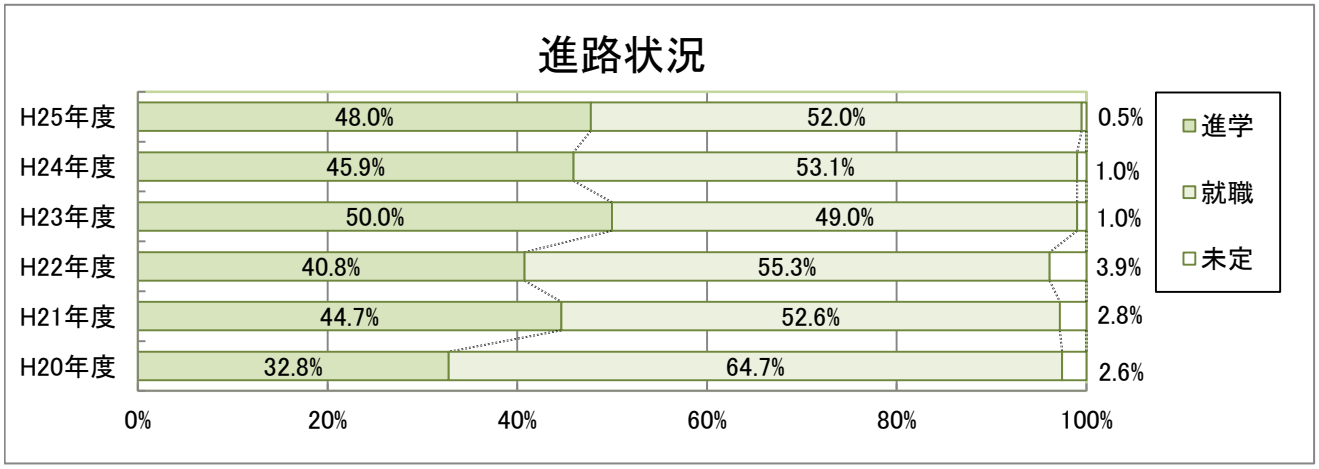


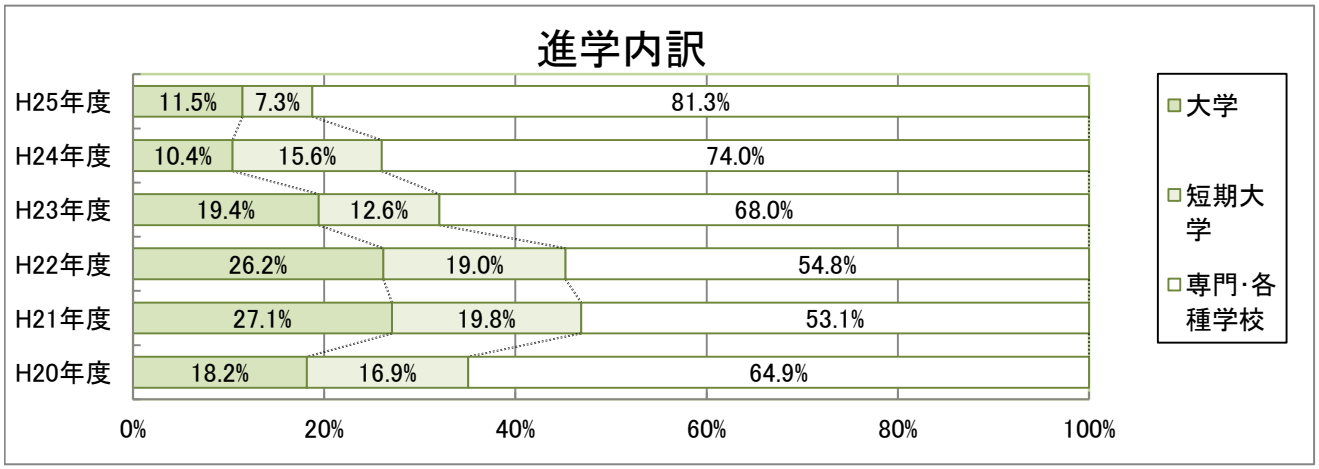


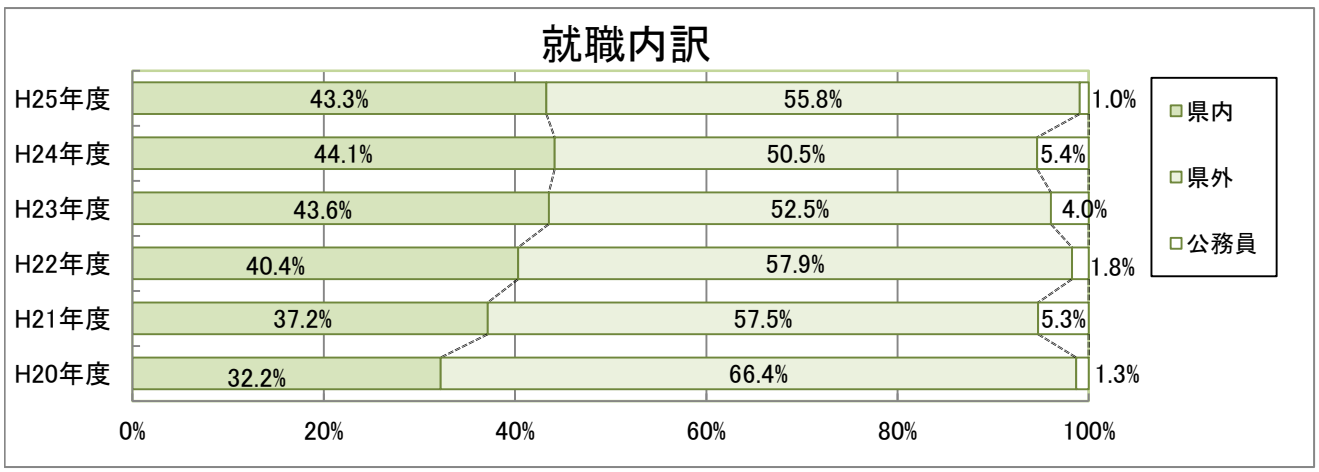
エ 総合学科高校の進路状況（つづき）

〔久慈東高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		235	215	206	206	209	200
進学		77	96	84	103	96	96
	大学	14	26	22	20	10	11
	短期大学	13	19	16	13	15	7
	専門・各種学校	50	51	46	70	71	78
就職		152	113	114	101	111	104
	県内	49	42	46	44	49	45
	県外	101	65	66	53	56	58
	公務員	2	6	2	4	6	1
未定		6	6	8	2	2	1



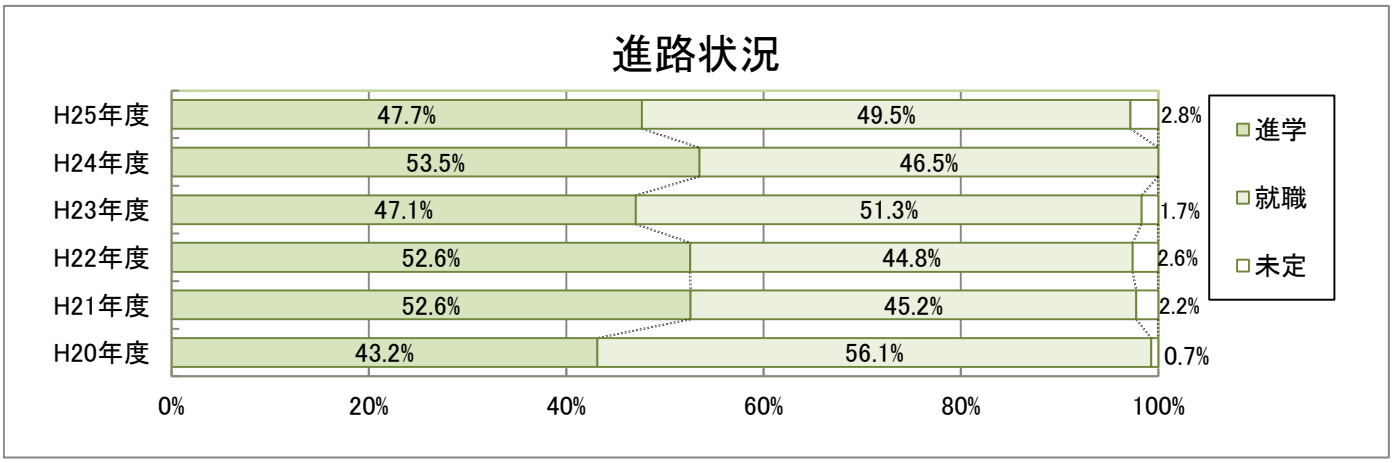


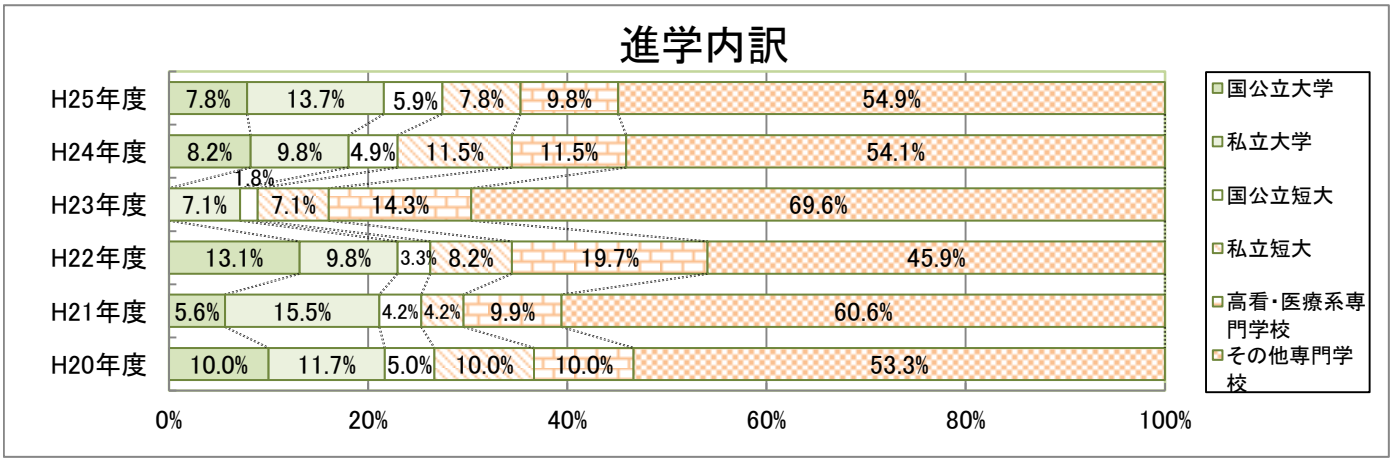


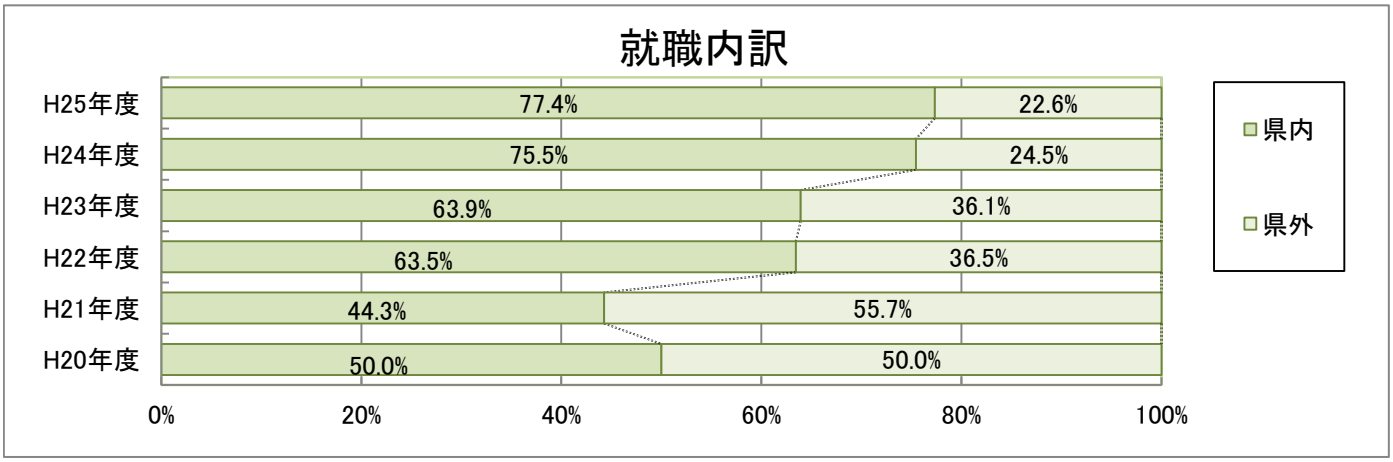
エ 総合学科高校の進路状況（つづき）

〔一戸高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		総合学科					
卒業者数		139	135	116	119	114	107
進学		60	71	61	56	61	51
	国公立大学	6	4	8	0	5	4
	私立大学	7	11	6	4	6	7
	国公立短大	3	3	2	1	3	3
	私立短大	6	3	5	4	7	4
	高看・医療系専門学校	6	7	12	8	7	5
	その他専門学校	32	43	28	39	33	28
就職		78	61	52	61	53	53
	県内	39	27	33	39	40	41
	県外	39	34	19	22	13	12
未定		1	3	3	2	0	3







(5)中高一貫教育校の現状

〔中高一貫教育の主な目的〕

○　高校入試の影響を受けず、生徒がゆとりある安定的な学校生活を送ることを可能にする。

○　６年間の計画的・継続的な指導により、基礎基本に係る学力の定着や個性の伸長を図る。

○　生徒や保護者の選択の幅を拡大して、中等教育のより一層の多様化を推進する。

ア　連携型中高一貫教育校の現状

現在、本県では次の連携型中高一貫教育が実施されている。

連携高校名	軽米高校	葛巻高校
連携中学校名	軽米、笹渡※2、小軽米※2、小玉川※1晴山※2中学校（※１ H14年小軽米中学校に統合 ※２ H26年軽米中学校に統合）	葛巻、小屋瀬、江刈中学校
導入年度	平成１３年度	平成１４年度
入試方法	基礎学力の確認（一般入学者選抜学力検査と同じ）・面接	基礎学力の確認（一般入学者選抜学力検査と同じ）・面接
地元進学率 連携中学校卒業者のうち連携高校進学者数	H13　６８．５％（100名／146名） H20　７４．６％（ 97名／130名） H21　８１．１％（ 99名／122名） H22　６３．０％（ 75名／119名） H23　６８．２％（ 75名／110名） H24　５７．９％（ 55名／ 95名） H25　６５．２％（ 58名／ 89名） H26　６９．６％（ 64名／ 92名）	H14　７４．８％（ 83名／111名） H20　７３．３％（ 55名／ 75名） H21　５９．７％（ 46名／ 77名） H22　６２．７％（ 42名／ 67名） H23　７６．９％（ 50名／ 65名） H24　６３．３％（ 31名／ 49名） H25　７２．２％（ 39名／ 54名） H26　５８．０％（ 29名／ 50名）
充足率	定員　入学者　充足率 H20　120　102　85.0 H21　120　103　85.8 H22　120　80　66.7 H23　120　81　67.5 H24　120　62　51.7 H25　80　59　73.8 H26　80　65　81.3	定員　入学者　充足率 H20　80　57　71.3 H21　80　56　70.0 H22　80　50　62.5 H23　80　58　72.5 H24　80　40　50.0 H25　80　48　60.0 H26　80　38　47.5

《連携型中高一貫教育校の大学等への進学状況》

	軽米高校					
	H13年度	H18年度	H19年度	H21年度	H23年度	H25年度
卒業者数	１４３	１１１	１０５	１０４	９９	７６
大学・短大	33(23.1)	27(24.3)	26(24.8)	27 (30.0)	24 (24.2)	23(30.3)
専門（公立・他）	43(30.1)	33(29.7)	37(35.2)	34 (32.7)	37 (37.4)	17(22.4)
進学計	76(53.1)	60(54.1)	63(60.0)	61 (58.7)	61 (61.6)	40(52.6)

H18～H19：軽米高校は連携型入試で入学した生徒のみのデータ

	葛巻高校					
	H14年度	H18年度	H19年度	H21年度	H23年度	H25年度
卒業者数	８７	６６	４０	５６	５４	５３
大学・短大	19(21.8)	17(25.6)	12(30.0)	22 (39.3)	14 (25.9)	19(35.8)
専門（公立・他）	41(47.1)	27(40.9)	13(32.5)	20 (35.7)	16 (29.6)	８(15.1)
進学計	60(69.0)	44(66.7)	25(62.5)	42 (75.0)	30 (55.6)	27(50.9)

イ　連携型中高一貫教育校の実践概要

(ｱ) 実践の目的

a　６年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築

b　特色ある教育課程の編成の在り方の検討

c　中高一貫教育校における学校運営の改善充実

(ｲ) 実践の成果

a　６年間を通じた生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築

(a) 授業交流（中高教員によるＴＴの授業）の継続的実施により、中高教員の指導力が向上し、生徒の基礎的・基本的内容の定着が図られた。また、生徒にとっては、段差の低い中高のスムーズな接続が可能になった。

(b) 中学校において、中高６年間及び高校卒業後の進路を見通した進路指導が行われるようになり、生徒が高校生活や高校卒業後の進路について目標をもって入学するようになった。

(c) 進学実績の向上に伴い、大学・短大への進学者のうち、四年制大学への入学者が約７割となっている。

(d) 中高の教員の情報交換、連携した対応等により、生活指導の充実が一層図られ、学校不適応の問題をはじめ、生徒指導上の問題は極めて少ない。

b　特色ある教育課程の編成の在り方の検討

(a) 中高６年間を通して、地域と関わりのある学習活動を、生徒の学習レベルに応じて、計画的・継続的に取り組んでいる。

c　中高一貫教育校における学校運営の改善充実

(a) 学校、地域、ＰＴＡ、教育委員会の代表者による協議会や、中高全教員参加による部会等を開催することにより、学校運営においても、それぞれの意向を踏まえた連携を図ることが可能となった。

(b) 定期的な広報誌を町内全戸に配付することで、住民への周知・理解を図り、そのことにより、保護者、地域住民の協力を得ながら中高一貫教育の取組みを進めることができた。さらには、学校運営の活性化につながっている。

(ｳ) 課　題

a　６年間を通じて生徒の目的意識を高めるための指導方法の構築

(a) 配置教員数の制約等により、数学、英語以外の連携が難しい。

b　特色ある教育課程の編成の在り方の検討

(a) 連携する学校が複数のため、打ち合わせ、準備等に要する時間の確保が難しい（軽米町では、平成 26 年度中学校の統合により、１中学校と１高校の連携となった）。

(b) 町立中学校と県立高校という設置者の違いから、中高の柔軟なカリキュラム編成や、特色ある教育課程の編成に制約がある。

c　中高一貫教育校における学校運営の改善充実

(a) 授業交流、各種活動に伴う事前の打ち合わせ、準備の時間の確保が難しい。

(b) 取組みの改善に結びつけるため、中高の教員はもとより、保護者、地域住民等各層から協力を得ていくための啓発活動の在り方を検討する必要がある。

(ｴ) その他

中高一貫教育の狙いが、教育活動を高めていくという学習、地域貢献の視点から、少子化の進行により、高校における生徒確保という側面も出てきていることから、中高の学校間の連携のみならず、市町村及び県との連携が不可欠となっている。

ウ 併設型中高一貫教育校の現状、志願者数及び入学者数の推移

(ｱ) 併設型中高一貫教育校の現状

〔設置〕

1　導　入　校　：　一関第一高等学校

2　併設中学校　：　一関第一高等学校附属中学校

3　開　　校　：　平成21年４月

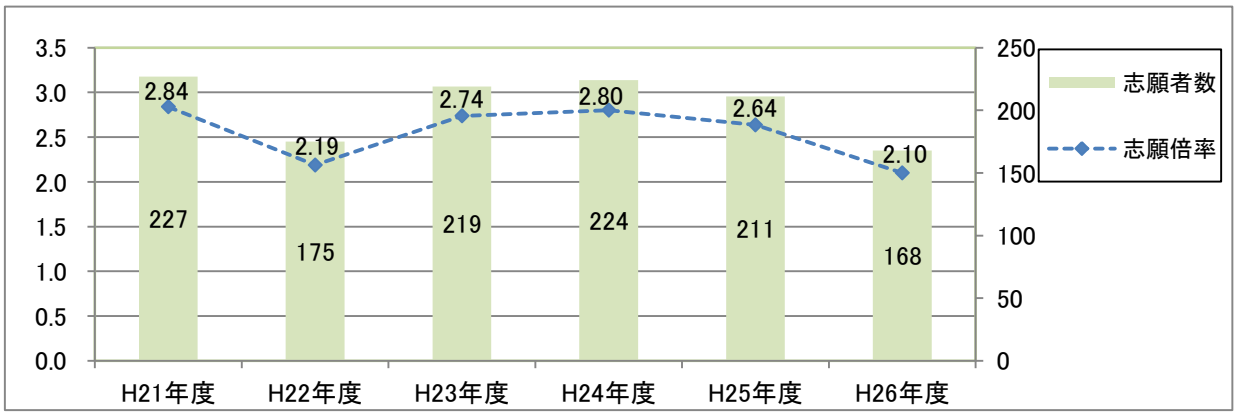
4　設 置 理 念　：　中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。

5　定　　員　：　一関第一高等学校附属中学校　80名（男子40名、女子40名）
一関第一高等学校　240名

(ｲ) 志願者数と入学者数の推移

［一関第一高校附属中学校］

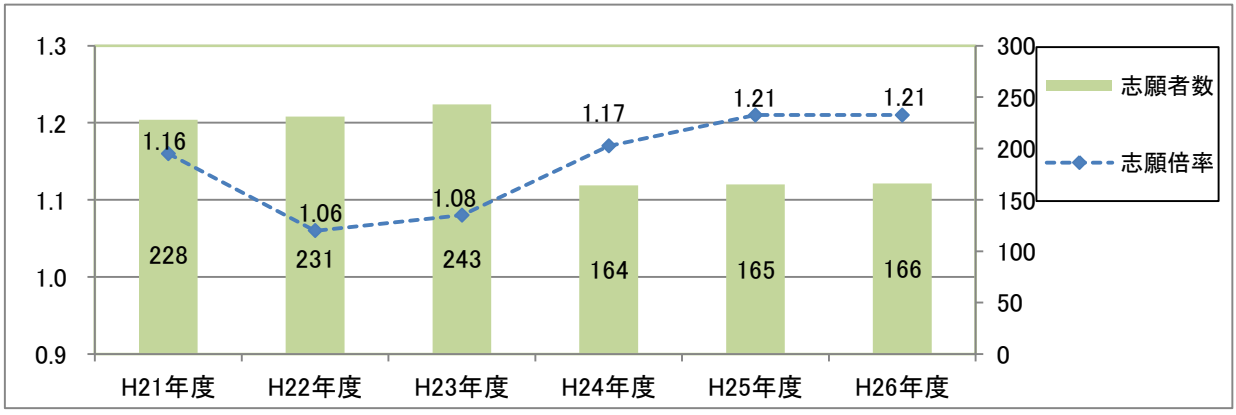
		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
定員		80	80	80	80	80	80
志願者数	男子	112	97	131	108	103	77
	女子	115	78	88	116	108	91
	計	227	175	219	224	211	168
志願倍率		2.84	2.19	2.74	2.80	2.64	2.10
入学者数	男子	39	40	40	40	40	40
	女子	39	40	40	40	40	40
	計	78	80	80	80	80	80



［一関第一高校］

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
定員	240	240	240	240	240	240
一般志願者数	228	231	243	164	165	166
志願倍率	1.16	1.06	1.08	1.17	1.21	1.21
附属中学校から	－	－	－	78	80	80
入学者数	235	240	239	240	242	241
過不足	−5	0	−1	0	+2	+1

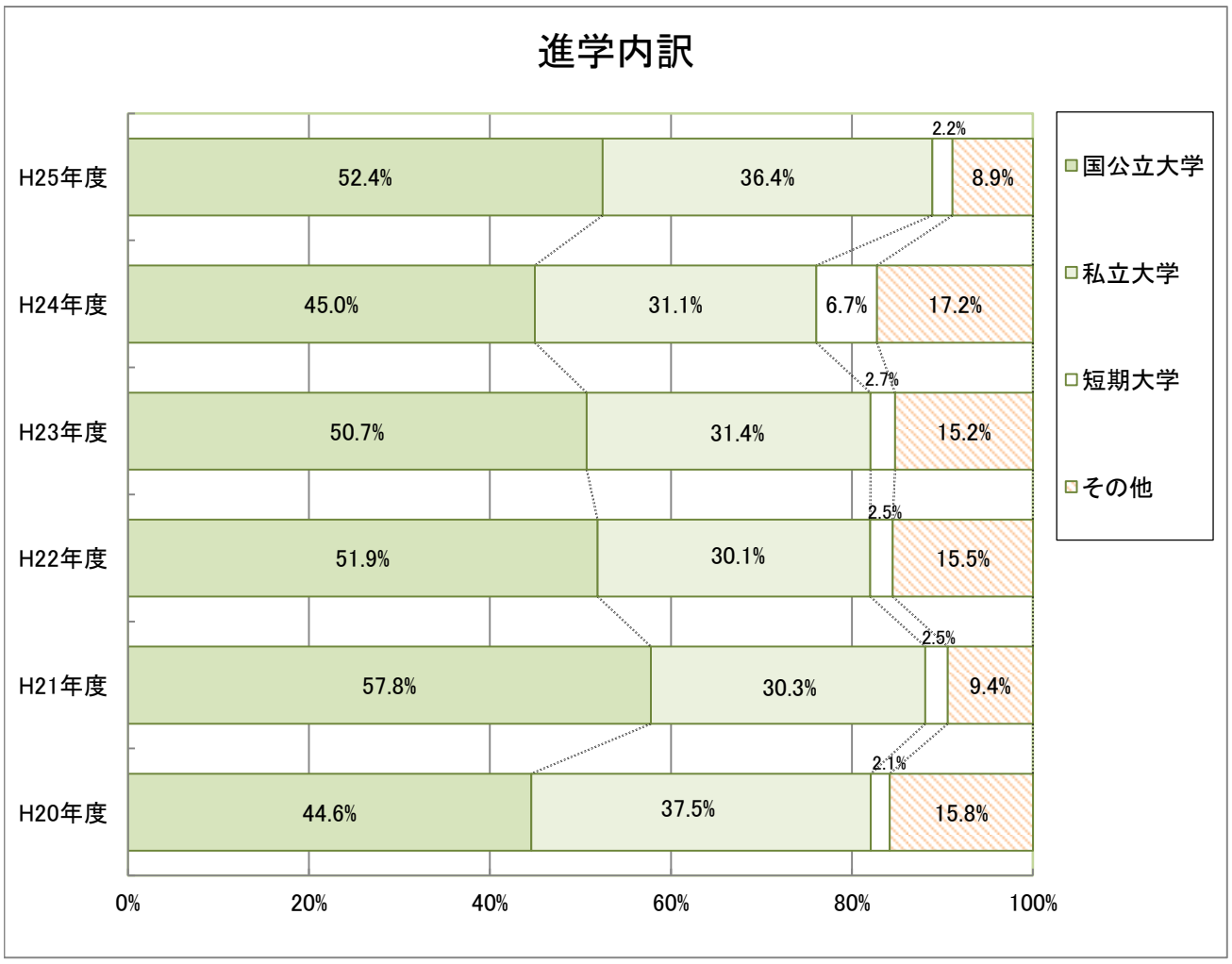


エ 併設型中高一貫教育校の進路状況

〔一関第一高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科・理数科					
卒業者数		243	247	239	230	238	232
進学者数		240	244	239	223	238	225
	国公立大学	107	141	124	113	107	118
	私立大学	90	74	72	70	74	82
	短期大学	5	6	6	6	16	5
	その他※	38	23	37	34	41	20
就職者数		2	2	0	2	0	2
その他		1	1	0	5	0	5

※ 大学校（短期大学校含む）、専門学校（専門・一般）、予備校等を含みます。



オ 併設型中高一貫教育校の検証[一関第一高校附属中学校・一関第一高校]

現　状	メリット	デメリット
・附属中学校の志願倍率は、設置後の全ての年度において２倍を超えている。受検生を市町村別に見ると、一関市が 59.9%と最も多く、次いで奥州市が 19.4%、北上市が 6.5%となっている。(過去６年間の合計) ・体育祭や合唱コンクール、文化祭、委員会活動等で連携し、異年齢集団による交流を充実させている。 ・附属中学校の生徒は、中学３年生の秋から高校の部へ仮入部し週に２～３日、中高合同で活動している。 ・中高合同の教科部会や中高それぞれで実施している授業研修等で授業参観を行う等、中高の垣根を越えた教員相互の交流も見られる。(高校教員による中学校での授業、中学校教員による高校での授業を実施し、中高の円滑な接続に努めている。)	・学校生活への意欲が高い生徒が多く、学習や部活動に積極的に取り組み、学校行事が活発に行われている。 ・異年齢集団での生活を通して、幅広い視野や豊かな人間性を育むことができる。 ・教員の相互交流により、お互いの教育活動を充実させることができる。	・中学３年生にも上級生にあたる高校生がいることで、本来中学３年生が身につけるべき主体性が育ちにくい状況も見られることから、中学校独自の取組の充実が求められている。

附属中学校

	現　状	課　題
学　習 指導面	・ほとんどの生徒は、学習や学校行事等に意欲的に取り組んでいる。	・学習習慣が確立していない生徒は、学習内容が進むにつれ学習の定着に差が見られることから、学習習慣を身につけさせることが求められている。
生　徒 指導面	・清掃活動や挨拶運動、時間を守る活動等には、どの生徒も真面目な取り組みをしている。行事や部活動の取り組みにも一生懸命で協力的な生徒が多い。	・コミュニケーションを苦手とする生徒もおり、集団づくりや教育相談等を通して多様な考え方や行動を許容できる環境づくりを模索する必要がある。 ・電車や自転車の乗車マナー、携帯電話の使用についての指導がより必要となっている。
進　路 指導面	・早い時期から具体的な進路について考える生徒が多く、積極的に将来像を模索し、主体的に学習に打ち込んでいる。	・高校での進路学習や講演会等にも生徒・保護者が参加できる体制を作り、中学生へ明確な進路目標をもたせる機会が必要となっている。
学　校 評　価	・平成 25 年度の学校評価において「学校は一人ひとりの生徒を大切にする姿勢で指導にあたっている」という肯定的な評価が 85%となっており、生徒、保護者の評価は概ね良好となっている。	・高校入試がないことによる中だるみが生じないように、モチベーションの保持向上を工夫する必要がある。

高校

	現　状	課　題
学　習 指導面	・附属中卒業生と他中学校卒業生を合わせたクラス編制にしている。 ・附属中卒業生は、中学校での学びの効果から授業態度が積極的で授業を牽引する者が多い。他中学校からの進学者も刺激を受け、切磋琢磨しながら学校全体で活発な学習活動が行われている。	・高い進路希望をもつ生徒が増えている状況に対応する各教科の年間指導計画の作成と教育課程の充実が望まれる。
生　徒 指導面	・入学式後に新入生に対して宿泊研修を実施し、附属中卒業生と他中学校卒業生の融和を図っている。	・ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の使い方等、情報教育を早期段階から指導し、正しい情報モラルの確立を図っていく必要がある。
進　路 指導面	・高校卒業後、医学部・理工学部等理系学部への進学を望む生徒が比較的多く、進路指導に対する期待が大きい。	・生徒の進路希望に対応した丁寧な進路指導をさらに行っていく必要がある。
学　校 評　価	・平成 25 年度の学校評価において「学校は一人ひとりの生徒を大切にする姿勢で指導にあたっている」という肯定的な評価が 81%となっており、生徒、保護者の評価は概ね良好となっている。 ・併設型中高一貫教育校であるとともに、地域の伝統校という側面から地域の活性化に貢献できる人材の育成に期待が寄せられている。	・生徒からは部活動の活動場所の確保等、環境整備を期待する声がある。

（6）多部制・単位制の現状

ア 県内定時制通信制入学者の推移

＜定時制＞　　（各年5月1日時点）

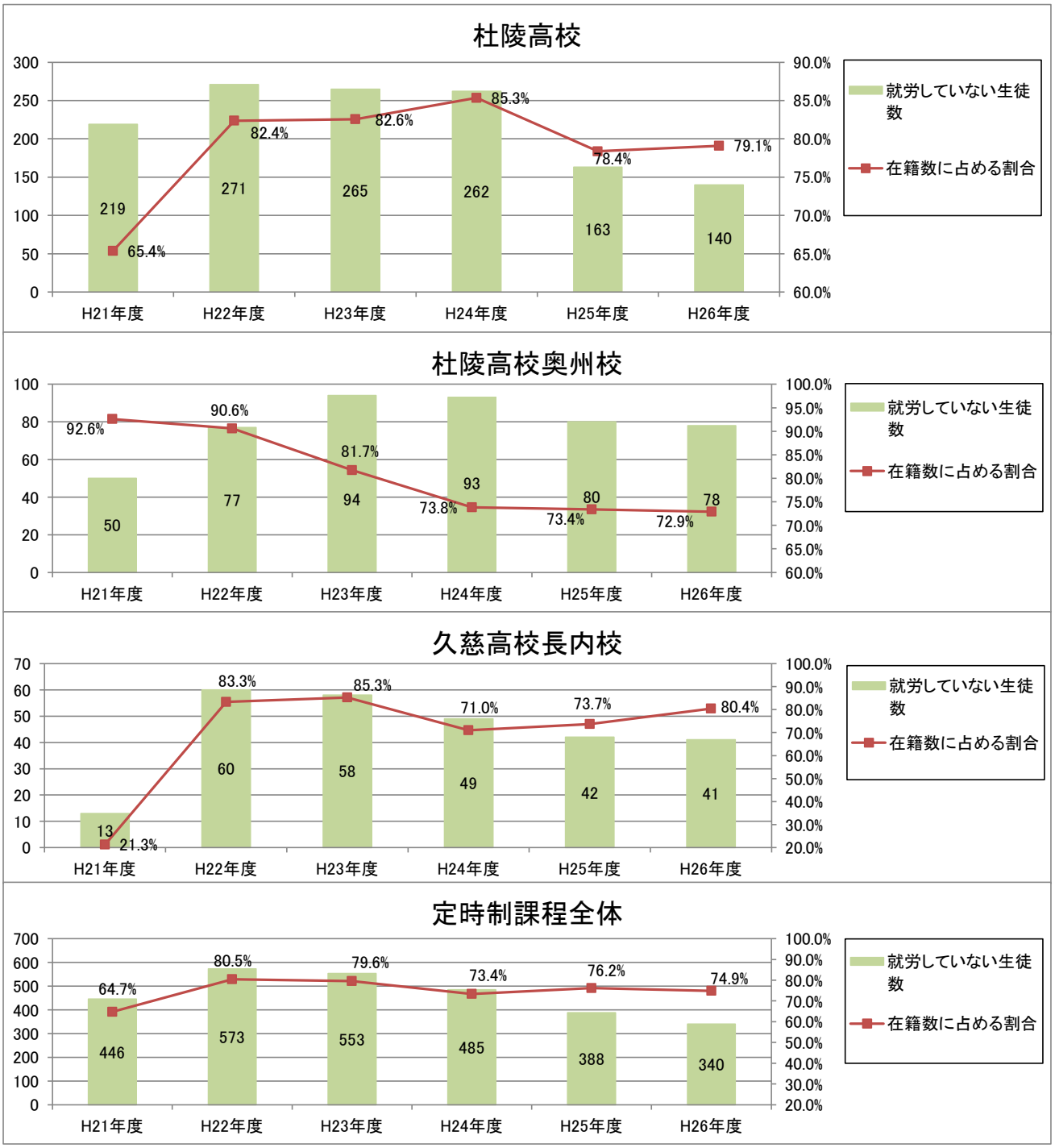
学校名	大学科	学　科 コース	募集 定員	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
杜陵	普通	１・２部	80	108	83	76	40	47
	普通	３部	20	7	7	8	1	4
杜陵奥州	普通	昼間部	30	32	34	35	29	31
	普通	夜間部	30	12	4	4	1	6
盛岡工業	工業	工業	40	17	4	7	2	2
一関第一	普通	普通	40	8	10	5	6	3
大船渡	普通	普通	40	4	7	2	4	4
釜石	普通	普通	40	10	5	10	3	7
宮古	普通	普通	40	14	5	6	5	7
久慈長内	普通	昼間部	40	20	13	15	16	9
	普通	夜間部	40	9	4	4	2	0
福岡	普通	普通	40	9	7	7	6	3
		定時制計	480	250	183	179	115	123

＜通信制＞

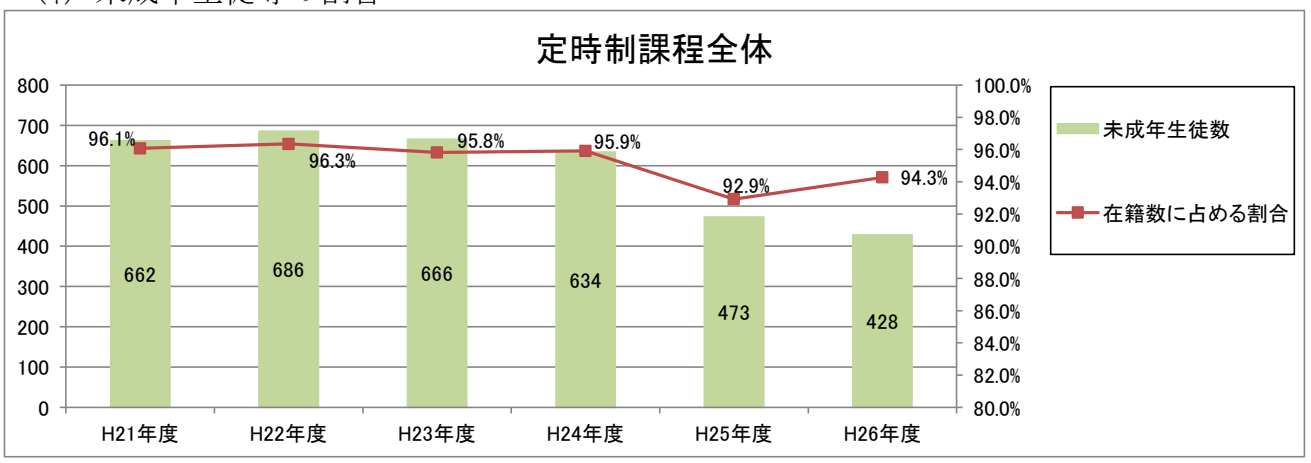
学校名	大学科	学科	募集 定員	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
杜陵（本校）	普通	普通	300	98	81	65	50	55
杜陵奥州校	普通	普通		42	35	22	28	34
杜陵宮古分室	普通	普通		21	10	18	16	19
		通信制計	300	161	126	105	94	108

イ 就労していない生徒等の割合、未成年生徒等の割合（定時制課程）

（ｱ） 就労していない生徒等の割合



（ｲ） 未成年生徒等の割合



ウ 通信制課程の現状

(ｱ) 転編入の状況（平成26年度入学生）

本校・分室		杜陵高校・本校					杜陵高校・宮古分室					杜陵高校・奥州校					通信制全体				
年次 / 前籍校種		1年へ	2年へ	3年へ	4年へ	計	1年へ	2年へ	3年へ	4年へ	計	1年へ	2年へ	3年へ	4年へ	計	1年へ	2年へ	3年へ	4年へ	計
転入	全日制普通科・総合学科	11				11	7	1			8	8	5	1		14	26	6	1		33
	全日制専門科	4				4	1	1			2	2	1			3	7	2			9
	定時制普通科	3				3						1				1	4				4
	定時制専門科																				
	単位制普通科																				
	通信制普通科																				
	計	18				18	8	2			10	11	6	1		18	37	8	1		46
編入	前在籍校退学後1年以内	8				8	5	1			6	2	2			4	15	3			18
	前在籍校退学後2年以内	3				3						3				3	6				6
	前在籍校退学後3年以内																				
	前在籍校退学後3年以上	6				6		1			1	1	2			3	7	3			10
	計	17				17	5	2			7	6	4			10	28	6			34
転編入の合計		35				35	13	4			17	17	10	1		28	65	14	1		80
平成26年度普通科入学生		55					19					34					108				
転編入生/入学生×100		63.6%					89.5%					82.4%					74.1%				

(ｲ) 就労していない生徒及び成年生徒の状況（平成26年度）

区分 / 校名 / 年次		受講登録数	就労していない生徒		成年生徒				
			人数	割合%	２０歳代	３０歳代	４０歳以上	計	割合%
杜陵高校本校	１年	55	34	61.8	15	1	1	17	30.9
	２年	42	15	35.7	14	2		16	38.1
	３年	33	11	33.3	6	1	3	10	30.3
	４年	66	13	19.7	41	2	2	45	
	計	196	73	37.2	76	6	6	88	44.9
宮古分室	１年	19	13	68.4	1			1	5.3
	２年	14	10	71.4	1		1	2	14.3
	３年	11	9	81.8					
	４年	5	2	40.0	3			3	60.0
	計	49	34	69.4	5		1	6	12.2
奥州校	１年	34	24	70.6	4	1		5	14.7
	２年	26	16	61.5		1		1	3.8
	３年	11	5	45.5	3			3	27.3
	４年	15	4	26.7	5			5	33.3
	計	86	49	57.0	12	2		14	16.3
合計		331	156	47.1	93	8	7	108	32.6

（7）統合した学校の現状

ア 統合した学校の検証[大東高校・千厩高校・高田高校]

	現　状	成　果	課　題
志　願 状　況	・大東高校、千厩高校は年度により志願倍率の上下があるものの、学科間の志願倍率に大きな差はない。 ・しかしながら高田高校の海洋システム科（水産科）の志願者はH25入試以降､低下している。	・専門学科を志願する生徒は目的意識がしっかりしている。	・学校によっては生徒の学力差が大きく、個々に対応した指導が求められる。
専　門 学　科 について	・大東高校は商業科、千厩高校は農業科と工業科、高田高校は水産科を併置している。大東高校の商業科と千厩高校の農業科は２年次からコース制としている。	・資格取得の面では、専門高校に引けをとらない成果を上げている学校もある。 ・卒業後就職を目指す生徒たちにとって、併置している専門学科の存在意義は大きい。	・１学年１クラスのため、専門高校に比べると生徒の競争意識に欠けるところがある。 ・高田高校の海洋システム科（水産科）の施設設備は被災後、整備途上にある。
学　習 指導面	・統合により教員の配置数が維持されているため、開設する科目数も維持されている。 ・多様な進路希望に対応するための教育課程やクラス編制を行っている。	・普通科、専門学科がお互いに学習面や資格取得等を通じて刺激しあっており、学校生活の励みとなっている。 ・普通科と専門学科の教職員がいることで、幅の広い視野で教育活動を展開することができる。	・普通科では、国公立大学進学等に対応した教育課程を編成し、週当たりの授業時数を増やしたいと考えているが、専門学科とのバランスもあり対応が難しい。 ・学力差が大きい高校では、進学指導と基礎基本の定着という両面の指導をする必要があり、広範囲の教材研究が必要となっているため、教員の負担が大きい。
生　徒 指導面	・問題行動は少なく、概ね落ち着いた学校生活を送っている。 ・旧市町村単位の生徒指導連絡協議会等を通して、小中学校との情報交換を図っている。	・統合により学級数が維持され、多くの生徒と交流できる機会に恵まれている。 ・統合により学校行事が充実し、部の数も維持されていることから、学校の活性化につながっている。	・普通科、専門学科それぞれの行事や資格取得指導があるため、部活動の時間に制約が多い。 ・学校によっては、特別な支援を必要とする生徒がいる。
進　路 指導面	・普通科、専門学科それぞれの特長を生かし、生徒の興味関心や進路希望等に対応している。 ・大東高校と千厩高校は進学約60%、就職約 40%となっている。(H25 年度) ・高田高校は進学約 85%、就職約 15%となっている。(H25 年度) ・インターンシップは専門学科と普通科の就職を希望する生徒が実施している。	・就職希望の生徒が他学科の求人情報を活用できることや専門学科の生徒が進学課外に参加できる体制があり、進路選択の幅を広げることにつながっている。 ・身近に専門分野を学んでいる生徒が多いことから、職業について具体的なイメージや情報を得ることができる。 ・専門学科が設置されていることで、キャリア教育が充実しており、普通科単独校より就職指導に厚みがある。	・普通科と専門学科では進路決定までのスケジュールと指導内容が異なるため、教員間の意思疎通を図ることが難しい面がある。
統合の 評　価	・学校評価において「本校に入学して良かった（満足している)」という肯定的な回答が87%となっており、生徒、保護者からは概ね良い評価を得ている。 ・専門学科が１学級ずつであるため、専門性の確保については、ぎりぎりの状況である。	・地域行事に積極的に参加している学校もあり、地域に必要な高校として評価をいただいている。	・普通科、専門学科それぞれの教育目標達成のための教育課程編成が難しく、大学進学体制の充実が求められる。 ・普通科は各種模試、専門学科は学科行事や資格取得等があり、学校として行事の調整が難しく、学校一丸となって取り組む体制が取りにくい。

イ 統合前後の学級数等の状況

〔千厩高校〕

統合前

千厩高校（４）	普通科（４）
千厩東高校（３）	生産技術科（１） 産業技術科（２）

統合（平成14年度）

統合後

千厩高校（７）	普通科（４） 生産技術科（１） ※産業技術科（２）

※ 平成15年度に産業技術科を１学級減とする。

再統合前

千厩高校（６）	普通科（４） 生産技術科（１） 産業技術科（１）
藤沢高校（２）	普通科（２）

統合（平成18年度）

再統合後

千厩高校（６）	※普通科（４） 生産技術科（１） 産業技術科（１）

※ 平成25年度に普通科を１学級減とする。

〔大東高校〕

統合前

大東高校（４）	普通科（４）
大原商業高校（２）	商業科（１） 情報処理科（１）

統合（平成18年度）

統合後

大東高校（５）	※普通科（４） 情報ビジネス科（１）

※ 平成19年度に普通科を１学級減とする。

〔高田高校〕

統合前

高田高校（４）	普通科（３） 情報処理科（１）
広田水産高校（２）	水産技術科（１） 家政科（１）

統合（平成20年度）

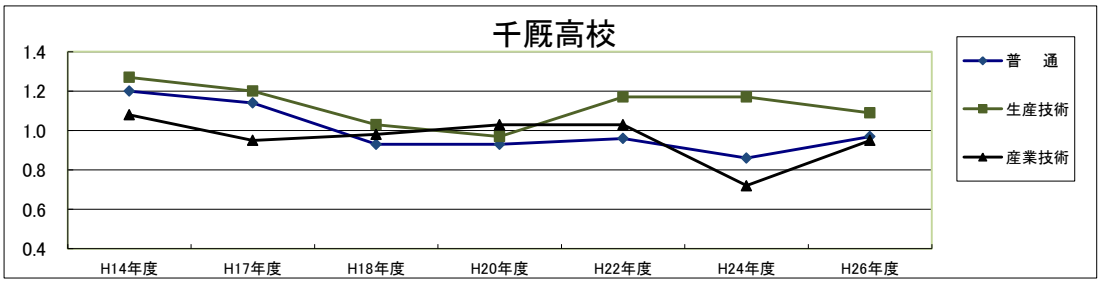
統合後

高田高校（５）	普通科（４） 海洋システム科（１）

ウ 統合した学校の志願者数及び入学者数の推移

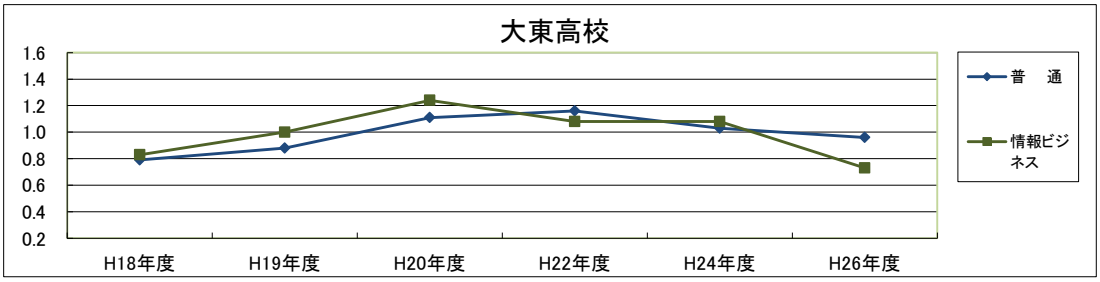
〔千厩高校〕　※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学科	項目	H14年度	H17年度	H18年度	H20年度	H22年度	H24年度	H26年度	備考
千厩	普　通	定員	160	160	160	160	160	160	120	◇平成14年度に千厩高校と千厩東高校が統合
		一般志願者数	169	182	149	134	143	131	109	
		志願倍率	1.2	1.14	0.93	0.93	0.96	0.86	0.97	
		入学者数	168	164	152	148	151	139	118	
		過不足	8	4	−8	−12	−9	−21	−2	
	生産技術	定員	40	40	40	40	40	40	40	◇平成18年度、千厩高校は藤沢高校と再統合
		一般志願者数	38	48	41	34	41	42	38	
		志願倍率	1.27	1.2	1.03	0.97	1.17	1.17	1.09	
		入学者数	42	42	40	40	41	41	42	
		過不足	2	2	0	0	1	1	2	
	産業技術	定員	80	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	80	38	39	37	41	28	35	
		志願倍率	1.08	0.95	0.98	1.03	1.03	0.72	0.95	
		入学者数	84	40	38	39	40	30	37	
		過不足	4	0	−2	−1	0	−10	−3	



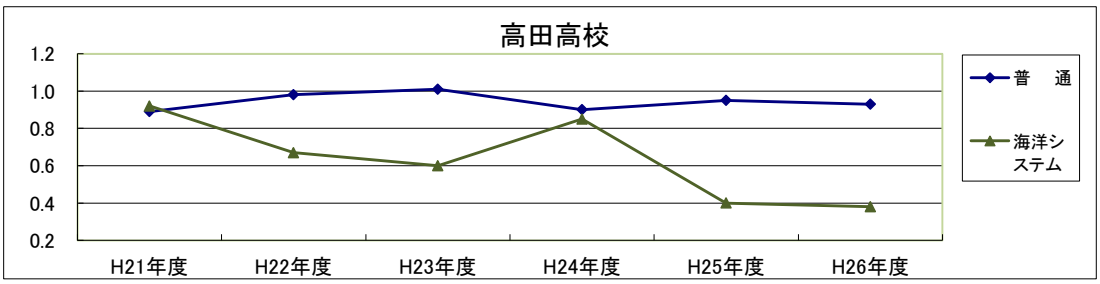
〔大東高校〕　※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

学校名	学科	項目	H18年度	H19年度	H20年度	H22年度	H24年度	H26年度	備　考
大東高校	普　通	定員	160	120	120	120	120	120	◇平成18年度、大東高校と大原商業高校が統合
		一般志願者数	127	99	120	125	110	105	
		志願倍率	0.79	0.88	1.11	1.16	1.03	0.96	
		入学者数	131	118	123	121	120	115	
		過不足	−29	−2	3	1	0	−5	
	情報ビジネス	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	33	37	47	39	41	29	
		志願倍率	0.83	1	1.24	1.08	1.08	0.73	
		入学者数	35	40	42	40	41	28	
		過不足	−5	0	2	0	1	−12	



〔高田高校〕　※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

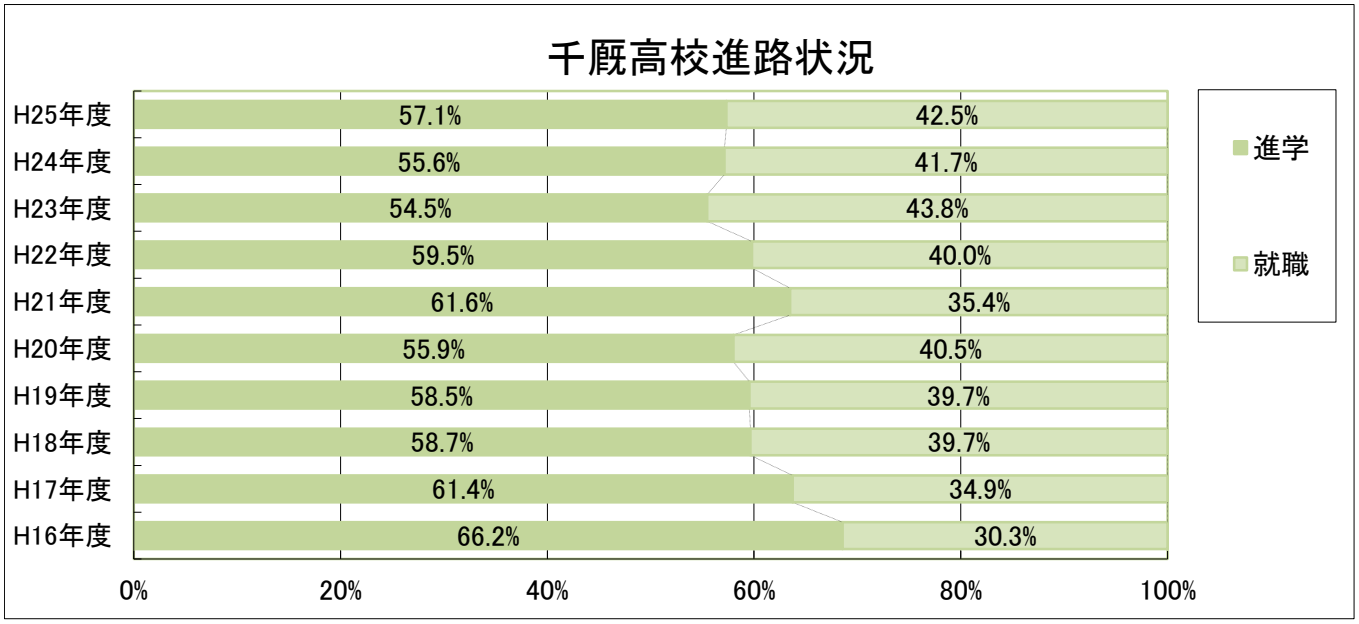
学校名	学科	項　目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
高田高校	普　通	定員	160	160	160	160	160	160	◇平成20年度、高田高校と広田水産高校が統合
		一般志願者数	133	142	155	132	142	137	
		志願倍率	0.89	0.98	1.01	0.9	0.95	0.93	
		入学者数	143	157	155	146	151	147	
		過不足	−17	−3	−5	−14	−9	−13	
	海洋システム	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	34	26	24	33	16	15	
		志願倍率	0.92	0.67	0.6	0.85	0.4	0.38	
		入学者数	36	28	25	34	15	16	
		過不足	−4	−12	−15	−6	−25	−24	

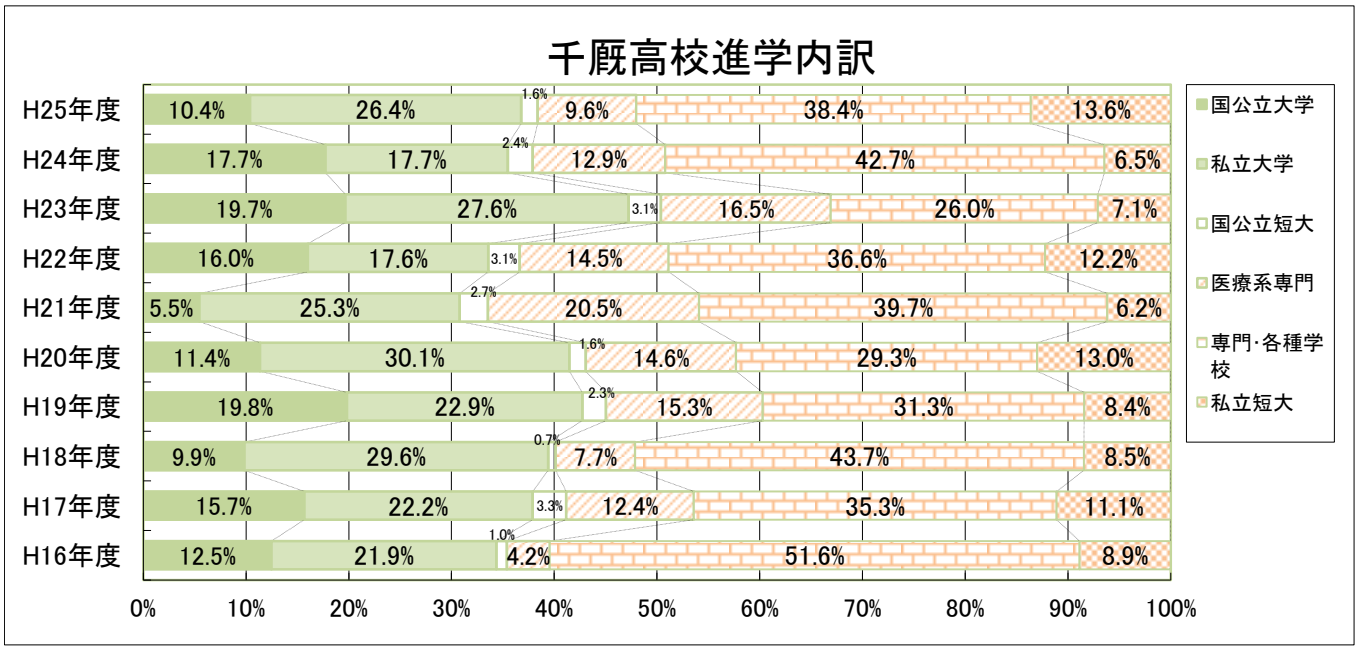


エ 統合した学校の進路状況

〔千厩高校〕

卒業年度		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通・生産技術・産業技術科									
卒業者数		290	249	242	224	220	237	220	233	223	219
進学		192	153	142	131	123	146	131	127	124	125
	国公立大学	24	24	14	26	14	8	21	25	22	13
	私立大学	42	34	42	30	37	37	23	35	22	33
	国公立短大	2	5	1	3	2	4	4	4	3	2
	私立短大	17	17	12	11	16	9	16	9	8	17
	医療系専門	8	19	11	20	18	30	19	21	16	12
	専門･各種学校	99	54	62	41	36	58	48	33	53	48
就職		88	87	96	89	89	84	88	102	93	93
	民間	87	79	90	82	85	77	83	97	89	91
	公務員	1	8	6	7	4	7	5	5	4	2
その他		10	9	4	4	8	7	1	4	6	1

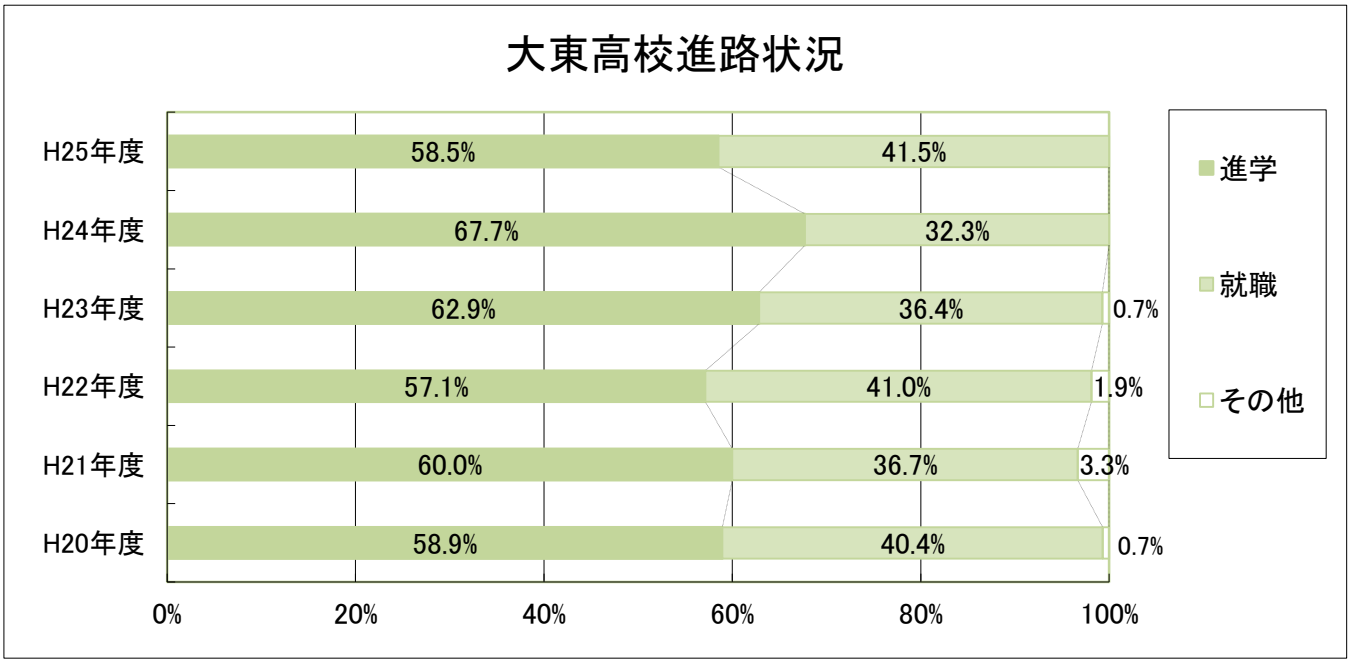


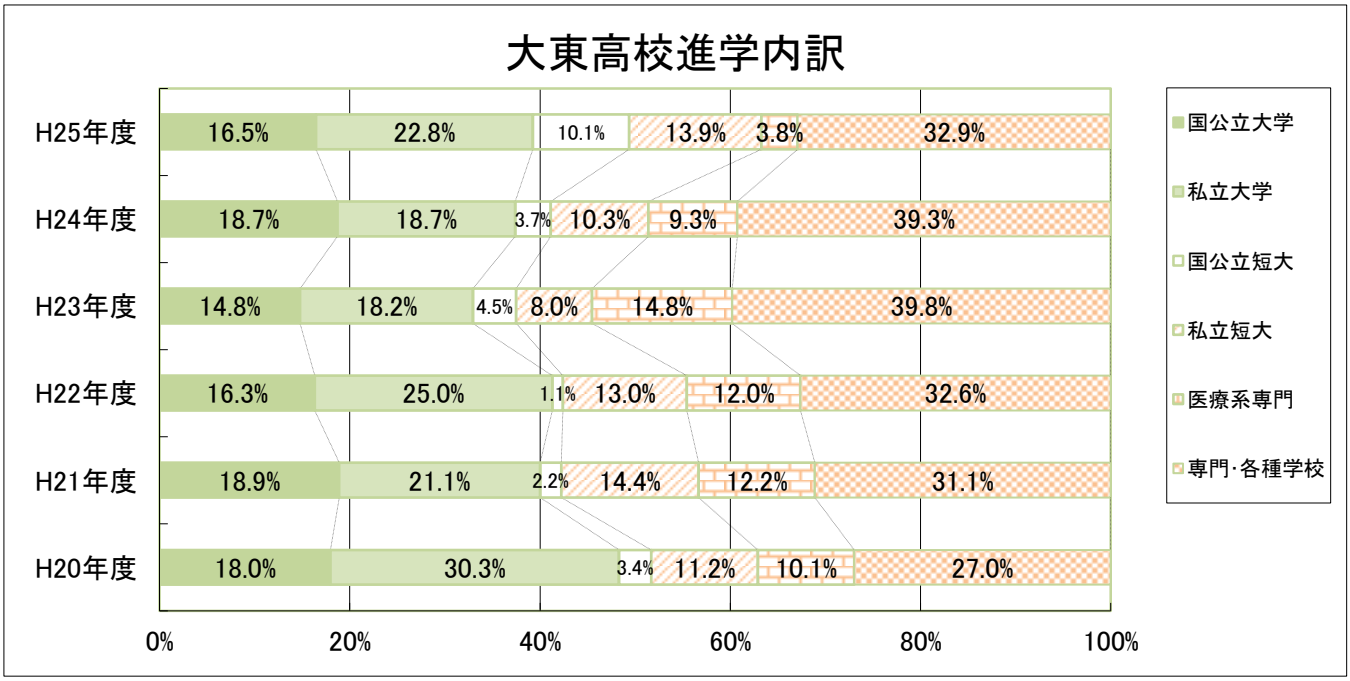


エ 統合した学校の進路状況（つづき）

〔大東高校〕

卒業年度		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通・情報ビジネス科							
卒業者数		182	162	151	150	161	140	158	135
進学		110	92	89	90	92	88	107	79
	国公立大学	27	20	16	17	15	13	20	13
	私立大学	31	17	27	19	23	16	20	18
	国公立短大	2	2	3	2	1	4	4	8
	私立短大	10	7	10	13	12	7	11	11
	医療系専門	5	8	9	11	11	13	10	3
	専門･各種学校	35	38	24	28	30	35	42	26
就職		72	68	61	55	66	51	51	56
	民間	68	65	57	51	63	49	50	54
	公務員	4	3	4	4	3	2	1	2
その他		0	2	1	5	3	1	0	0

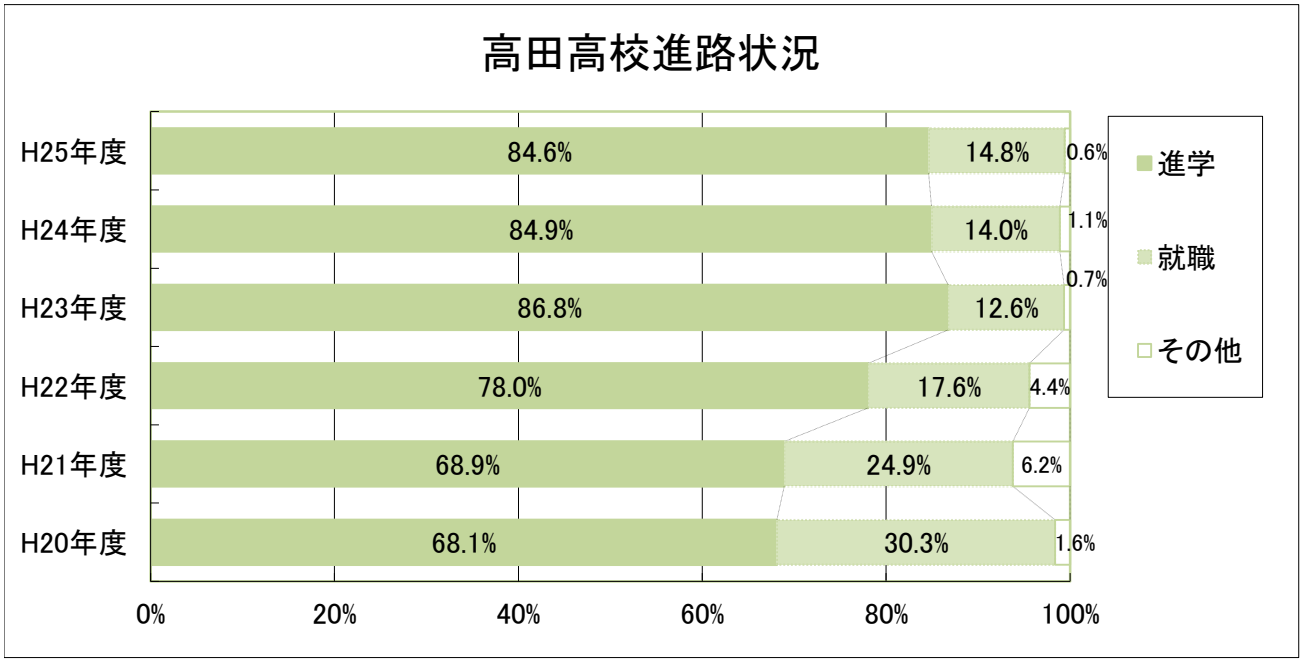


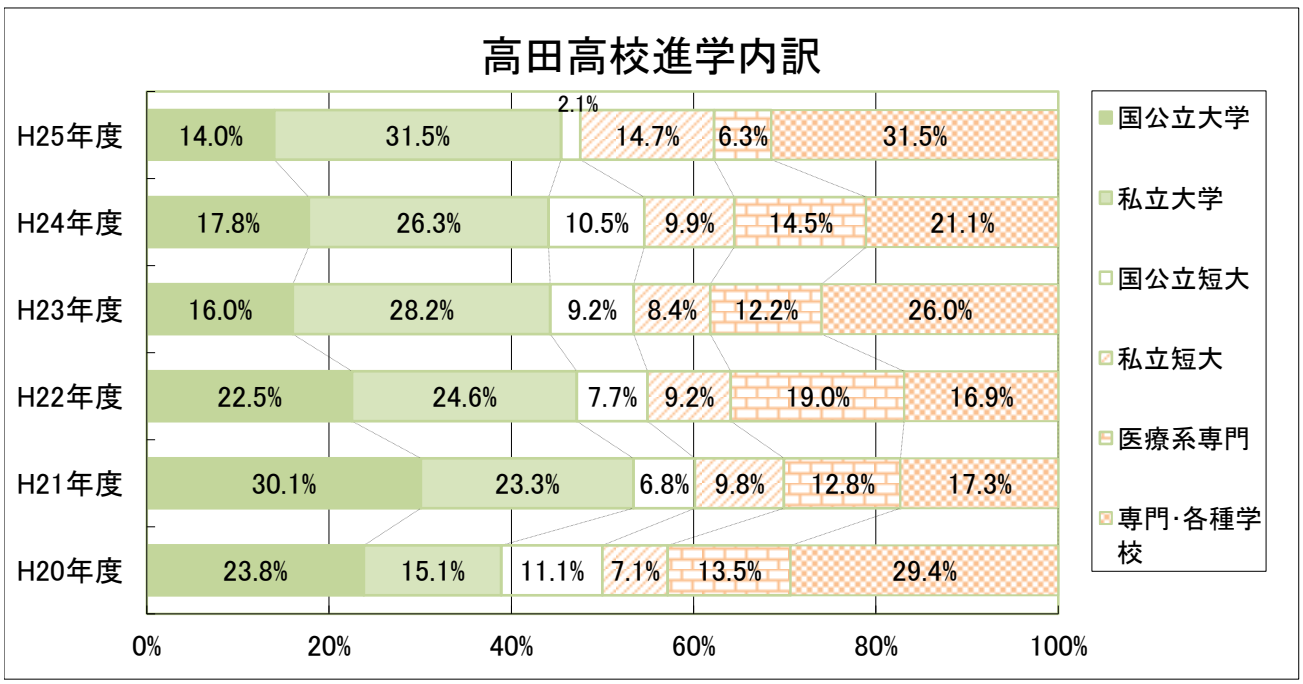


エ 統合した学校の進路状況（つづき）

〔高田高校〕

卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通・海洋システム科					
卒業者数		185	193	182	151	179	169
進学		126	133	142	131	152	143
	国公立大学	30	40	32	21	27	20
	私立大学	19	31	35	37	40	45
	国公立短大	14	9	11	12	16	3
	私立短大	9	13	13	11	15	21
	医療系専門	17	17	27	16	22	9
	専門･各種学校	37	23	24	34	32	45
就職		56	48	32	19	25	25
	民間	54	48	27	18	21	20
	公務員	2	0	5	1	4	5
その他		3	12	8	1	2	1





オ 統合前後の教員数等の状況

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">高校名
学科名(学級数)</th><th colspan="4">統　合　前</th><th colspan="2" rowspan="2">高校名
学科名(学級数)</th><th colspan="4">統　合　後（統合３年目）</th></tr>
<tr><th>募集定員</th><th>教員数</th><th>科目数</th><th>部活動</th><th>募集定員</th><th>教員数</th><th>科目数</th><th>部活動</th></tr>
<tr><td rowspan="2">H17</td><td>千厩高校
普通(4)
生産技術(1)
産業技術(1)</td><td>240</td><td>50</td><td>普通科43
専門学科31～39</td><td>22</td><td rowspan="2">H20</td><td>千厩高校
普通(4)
生産技術(1)
産業技術(1)</td><td>240</td><td>49</td><td>普通科44
専門学科31～39</td><td>22</td></tr>
<tr><td>藤沢高校
普通(2)</td><td>80</td><td>20</td><td>28</td><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="2">H17</td><td>大東高校
普通(4)</td><td>160</td><td>29</td><td>41</td><td>17</td><td rowspan="2">H20</td><td rowspan="2">大東高校※
普通(3)
情報ビジネス(1)</td><td rowspan="2">160</td><td rowspan="2">36</td><td>普通科46</td><td rowspan="2">22</td></tr>
<tr><td>大原商業高校
商業(1)
情報処理(1)</td><td>80</td><td>21</td><td>29</td><td>11</td><td>情報ビジネス科35</td></tr>
<tr><td rowspan="2">H19</td><td>高田高校
普通(3)
情報処理(1)</td><td>160</td><td>35</td><td>※40</td><td>※18</td><td rowspan="2">H22</td><td rowspan="2">高田校校
普通(4)
海洋システム(1)</td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="2">44</td><td>普通科39</td><td rowspan="2">18</td></tr>
<tr><td>広田水産高校
水産技術(1)
家政(1)</td><td>80</td><td>21</td><td>24～28</td><td>10</td><td>海洋システム科31</td></tr>
</table>

※ 高田高校統合前科目、部活動数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。

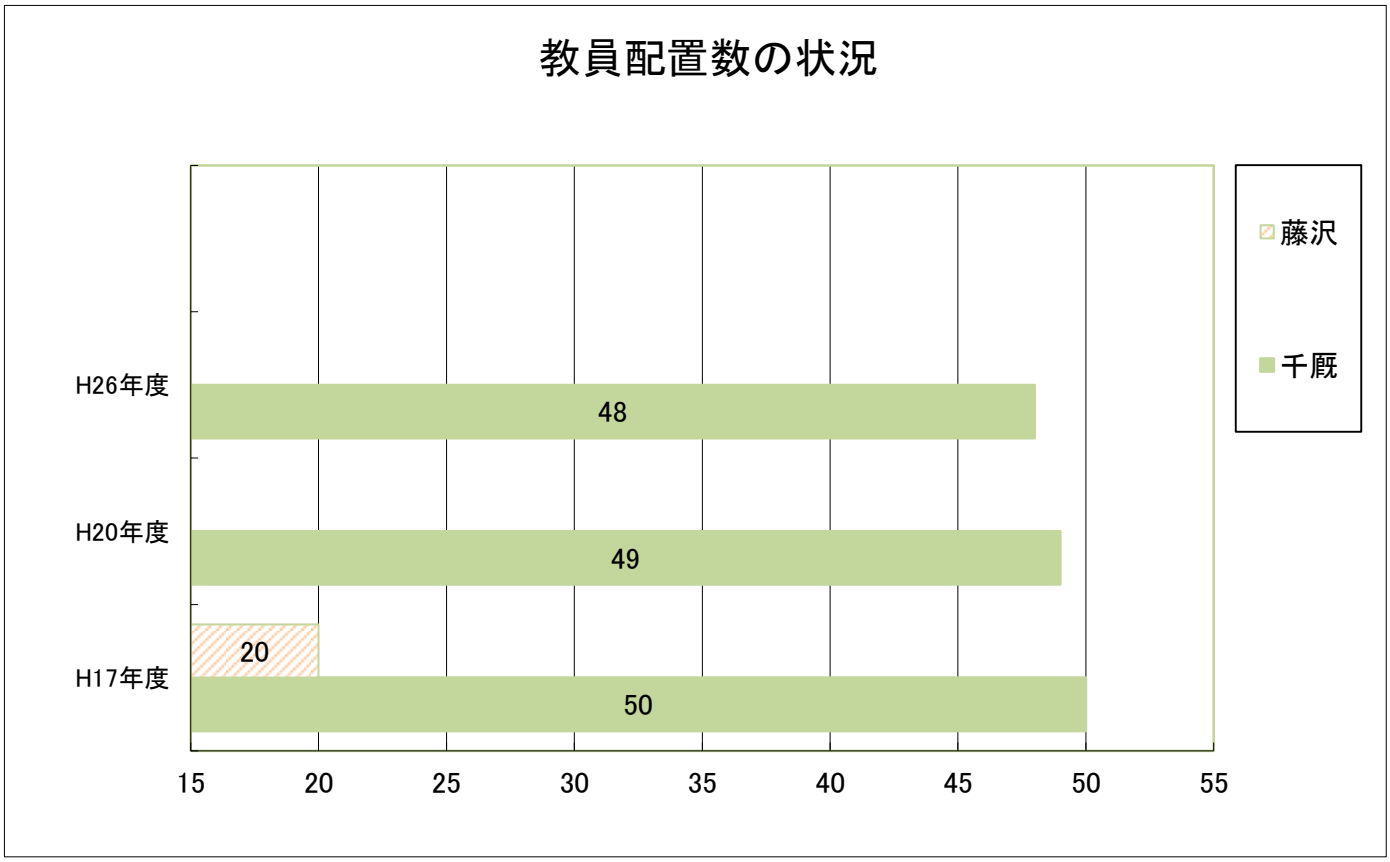
※ 大東高校は、平成19年度に普通科を１学級減としている。

カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況

〔千厩高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科（全学級数）	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H17（統合前）	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	5	6	6	5	7	4	3	4	10	50	※ 常勤講師、非常勤講師は各教科に含む		
	藤沢	普通科(6)	2	2	3	2	3	2	3	1	2	20			
H20（統合3年目）	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	6	6	6	5	6	4	3	4	9	49			
H26（統合9年目）	千厩	普通科(11) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	6	6	5	4	5	3	2	4	9	44	3	1	48

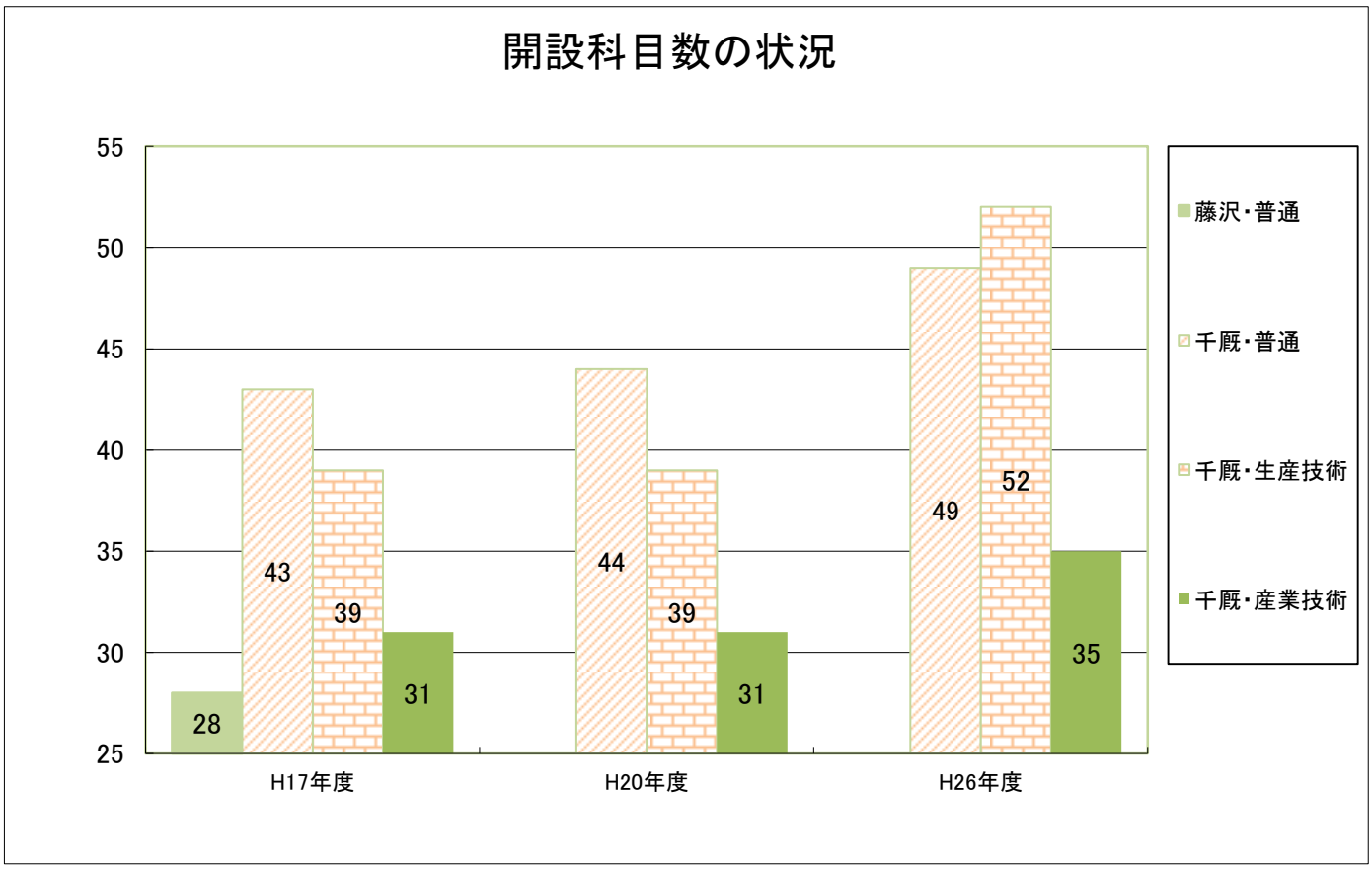


〔千厩高校〕(つづき)

開設科目数

年度	学校名	学科（全学級数）	教科											
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
H17（統合前）	千厩	普通科(12)	4	3	2	6	8	5	2	9	1	1	2	43
		生産技術科(3)	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
		産業技術科(3)	2	2	1	4	2	3	2	3	1	0	11	31
	藤沢	普通科(6)	4	3	2	4	4	5	2	3	1	1	6	28
H20（統合3年目）	千厩	普通科(12)	4	6	1	6	8	6	2	9	1	1	0	44
		生産技術科(3)	3	3	2	3	2	3	2	3	1	0	17	39
		産業技術科(3)	2	2	2	4	2	3	2	3	1	0	10	31
H26（統合9年目）	千厩	普通科(11)	6	9	2	5	7	8	3	6	1	1	1	49
		生産技術科(3)	4	3	2	3	2	4	3	3	1	0	27	52
		産業技術科(3)	3	2	1	4	3	3	3	3	1	0	12	35

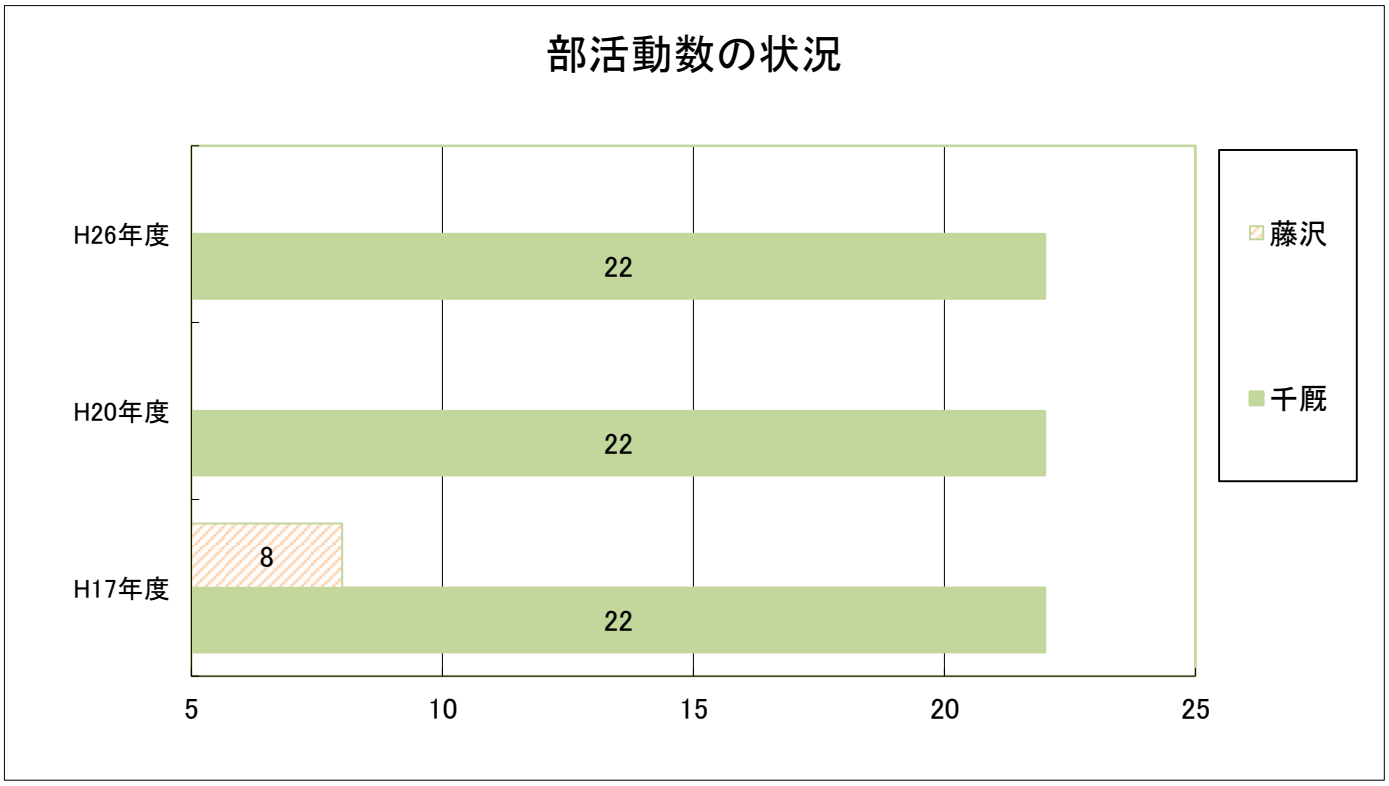
※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。



〔千厩高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科（全学級数）	運動部	文化部	合計
H17 (統合前)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22
	藤沢	普通科(6)	5	3	8
H20 (統合3年目)	千厩	普通科(12) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22
H26 (統合9年目)	千厩	普通科(11) 生産技術科(3) 産業技術科(3)	14	8	22

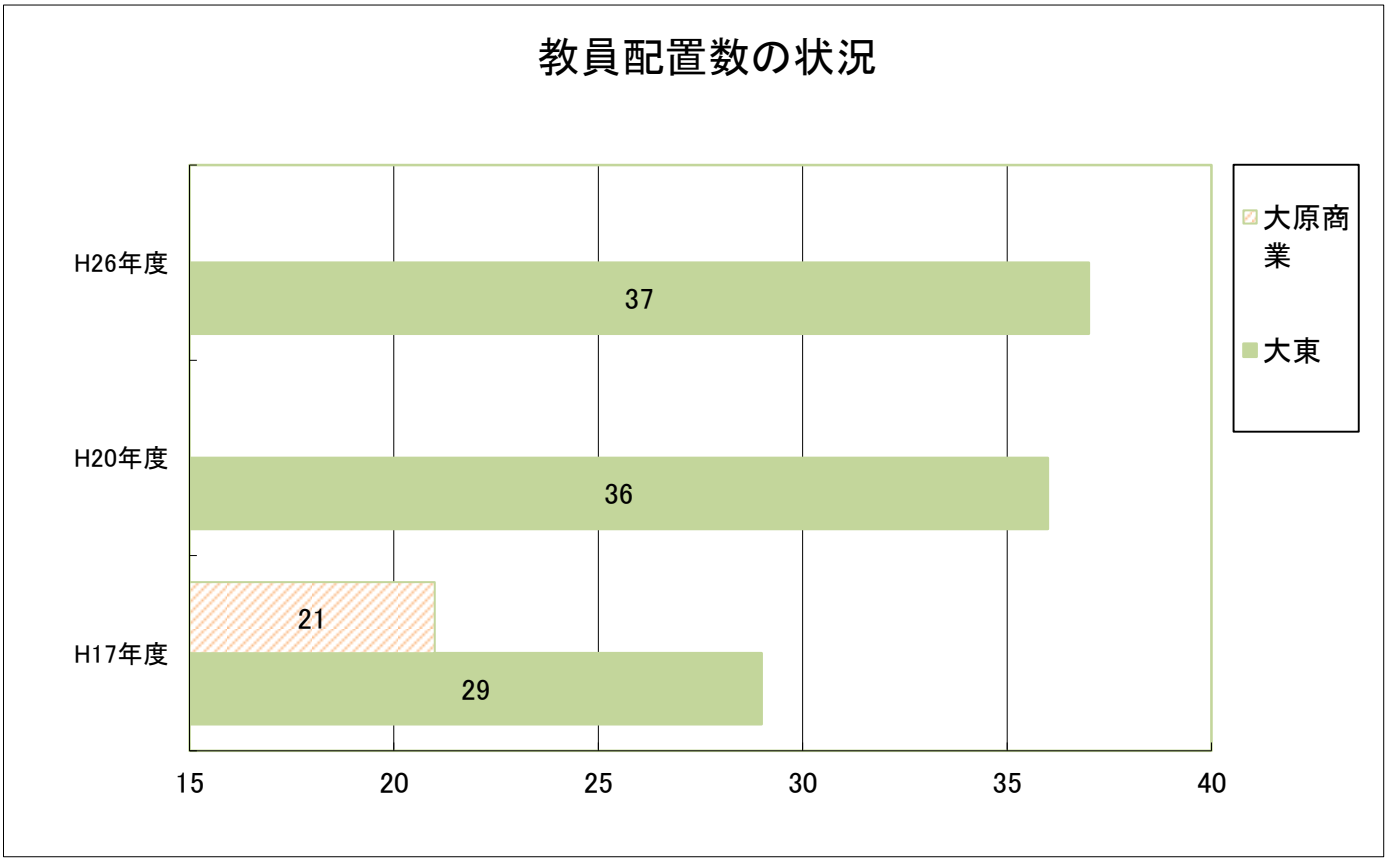


カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況（つづき）

〔大東高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科（全学級数）	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H17（統合前）	大東	普通科(12)	5	4	4	4	5	3	2	1	1	29	※ 常勤講師、非常勤講師は各教科に含む		
	大原商業	商業科(3) 情報処理科(3)	2	1	1	1	2	2	2	1	9	21			
H20（統合3年目）	大東	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	5	4	5	5	5	3	2	1	6	36			
H26（統合9年目）	千厩	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	4	3	5	4	5	2	1	1	5	30	6	1	37

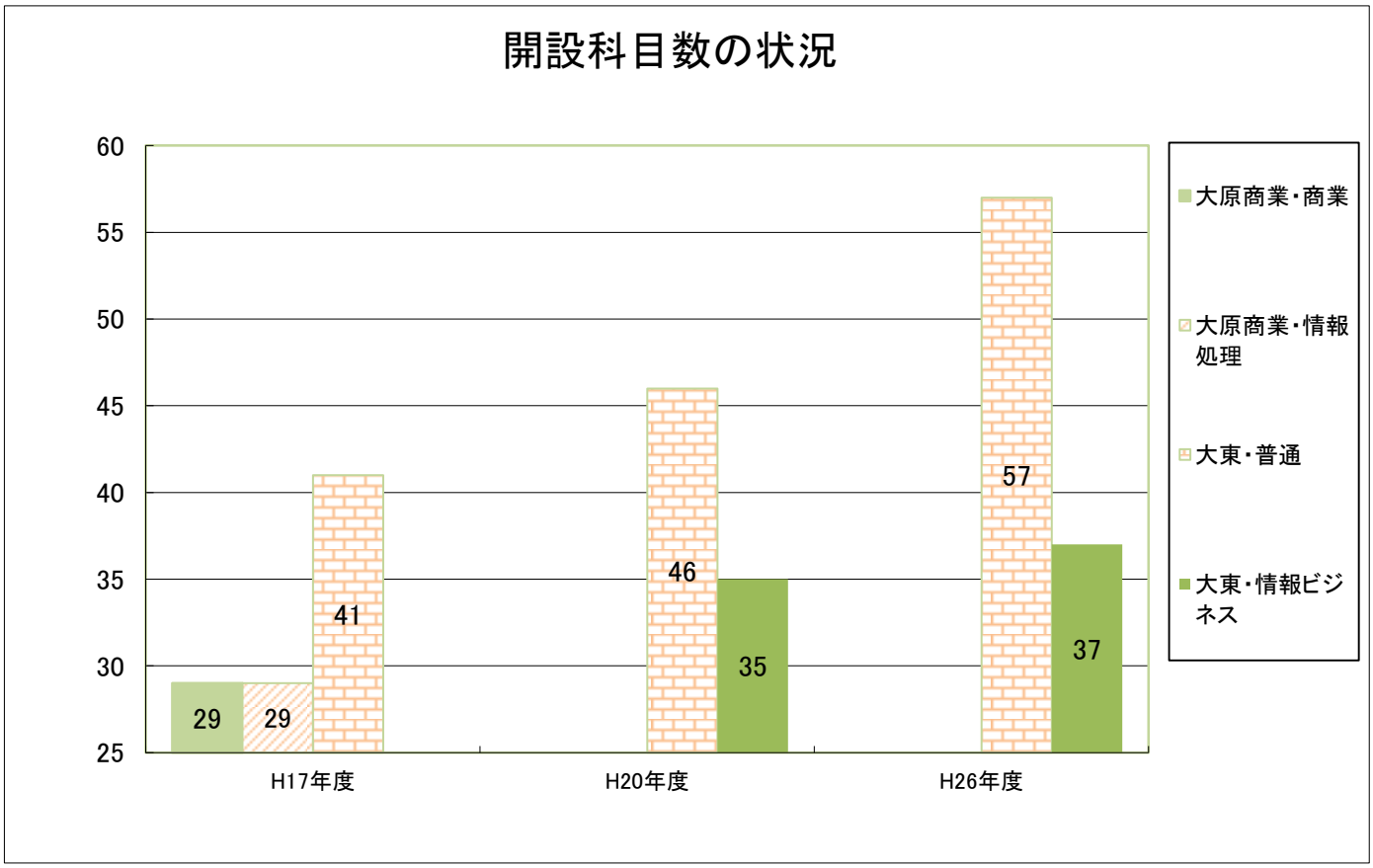


〔大東高校〕(つづき)

開設科目数

年度	学校名	学科（全学級数）	教科											
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
H17（統合前）	大東	普通科(12)	5	3	2	6	8	5	2	6	1	1	2	41
	大原商業	商業科(3)	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29
		情報処理科(3)	2	2	1	3	2	3	2	2	1	0	11	29
H20（統合3年目）	大東	普通科(10)	5	6	2	6	9	5	2	6	1	1	3	46
		情報ビジネス科(3)	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35
H26（統合9年目）	大東	普通科(10)	6	9	3	6	10	7	3	6	1	1	5	57
		情報ビジネス科(3)	4	3	0	3	3	2	3	2	1	0	16	37

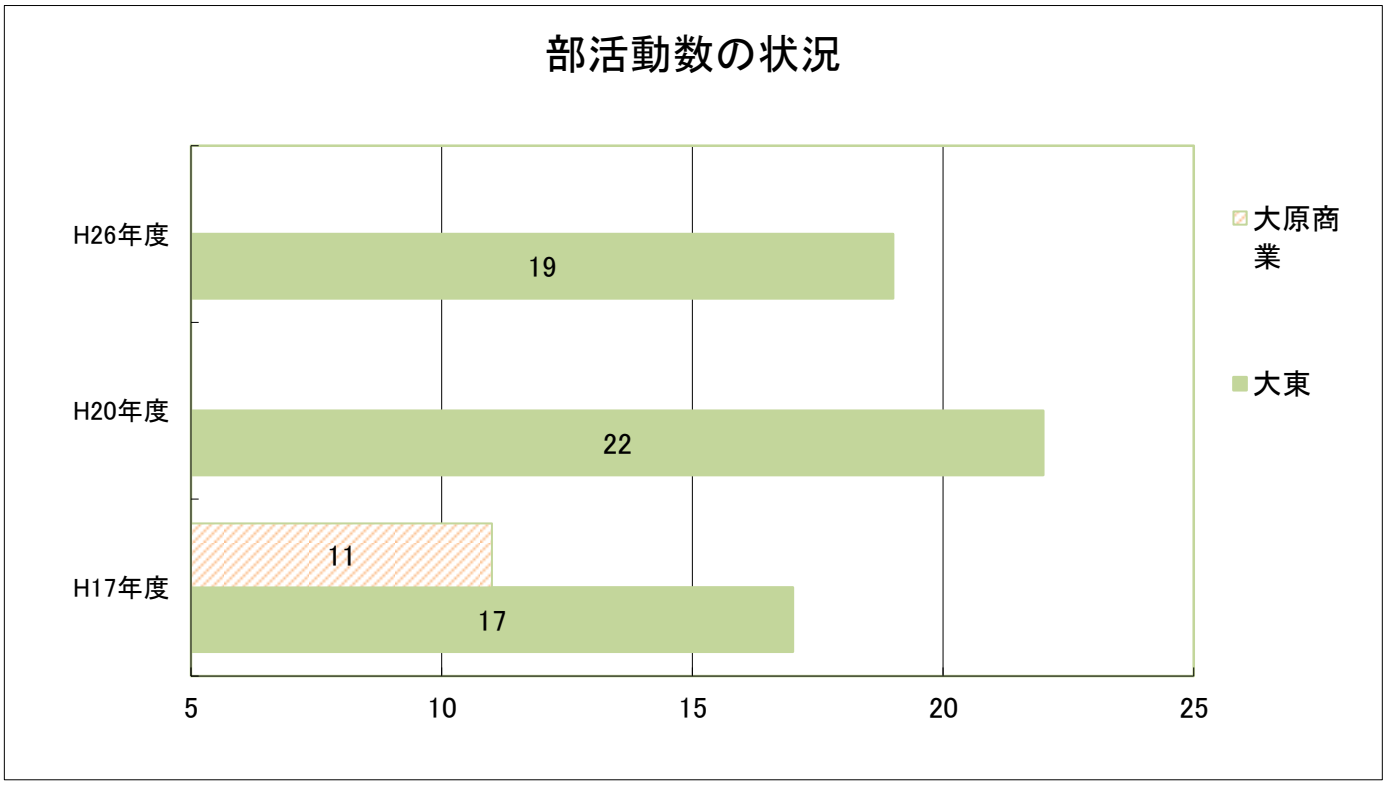
※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。



〔大東高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科（全学級数）	運動部	文化部	特別部	合計
H17 (統合前)	大東	普通科(12)	11	6	0	17
	大原 商業	商業科(3) 情報処理科(3)	6	3	2	11
H20 (統合3年目)	大東	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	12	9	1	22
H26 (統合9年目)	大東	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	11	8	0	19

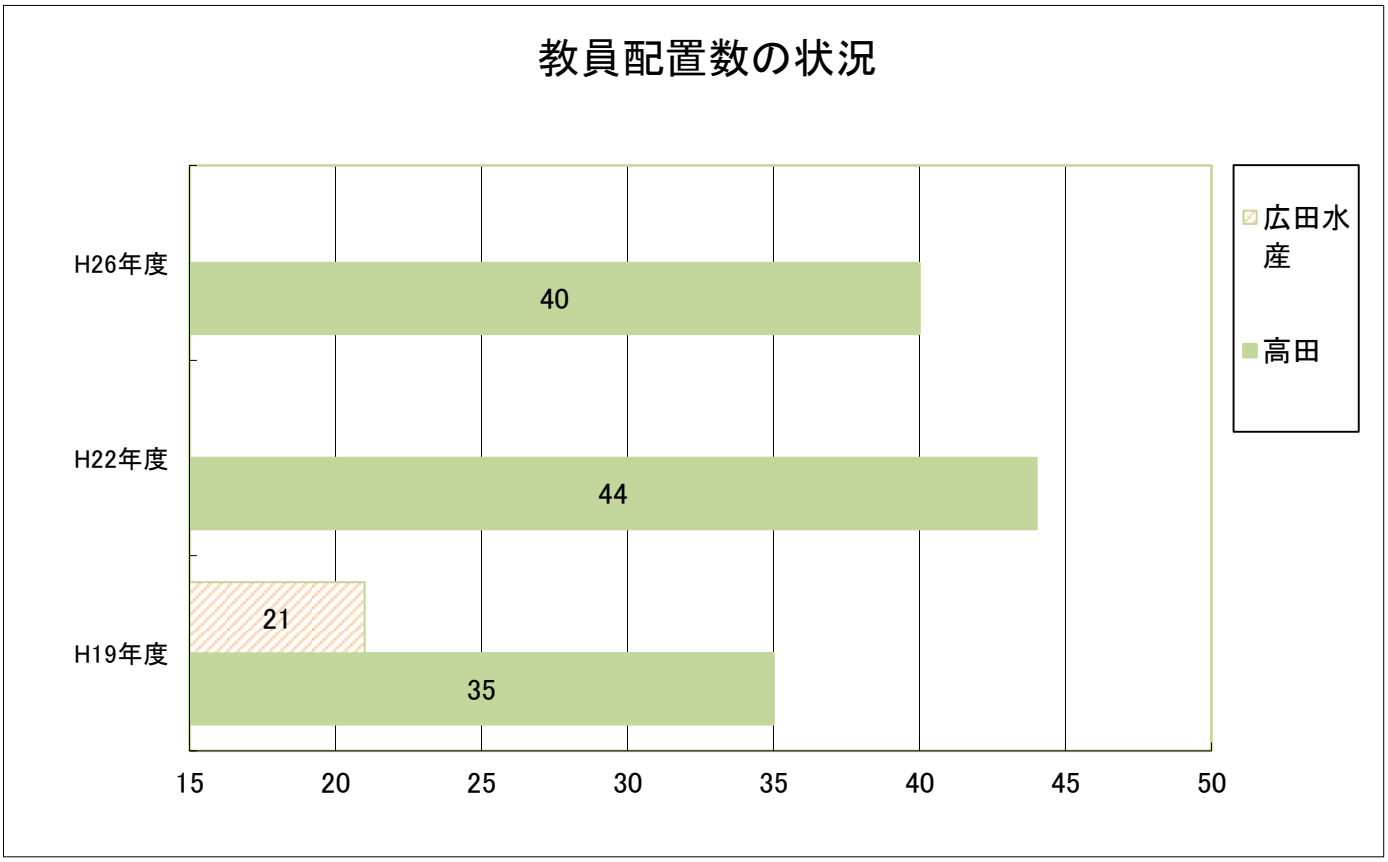


カ 教員配置数、開設科目数、部活動数の状況（つづき）

〔高田高校〕

教員配置数

年度	学校名	学科（全学級数）	教諭										常勤講師	非常勤講師	合計
			国語	地歴・公民	数学	理科	英語	保体	芸術	家庭	専門	計			
H19（統合前）	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	4	4	5	4	4	2	1	1	4	29	4	2	35
	広田水産	水産技術科(3) 家政科(3)	2	1		1	2	2		4	5	17	2	2	21
H22（統合3年目）	高田	普通科(11) 海洋システム科(3)	5	5	6	4	7	4	1	1	4	37	4	3	44
H26（統合9年目）	高田	普通科(12) 海洋システム科(3)	4	5	6	4	7	4	1	1	3	35	4	1	40



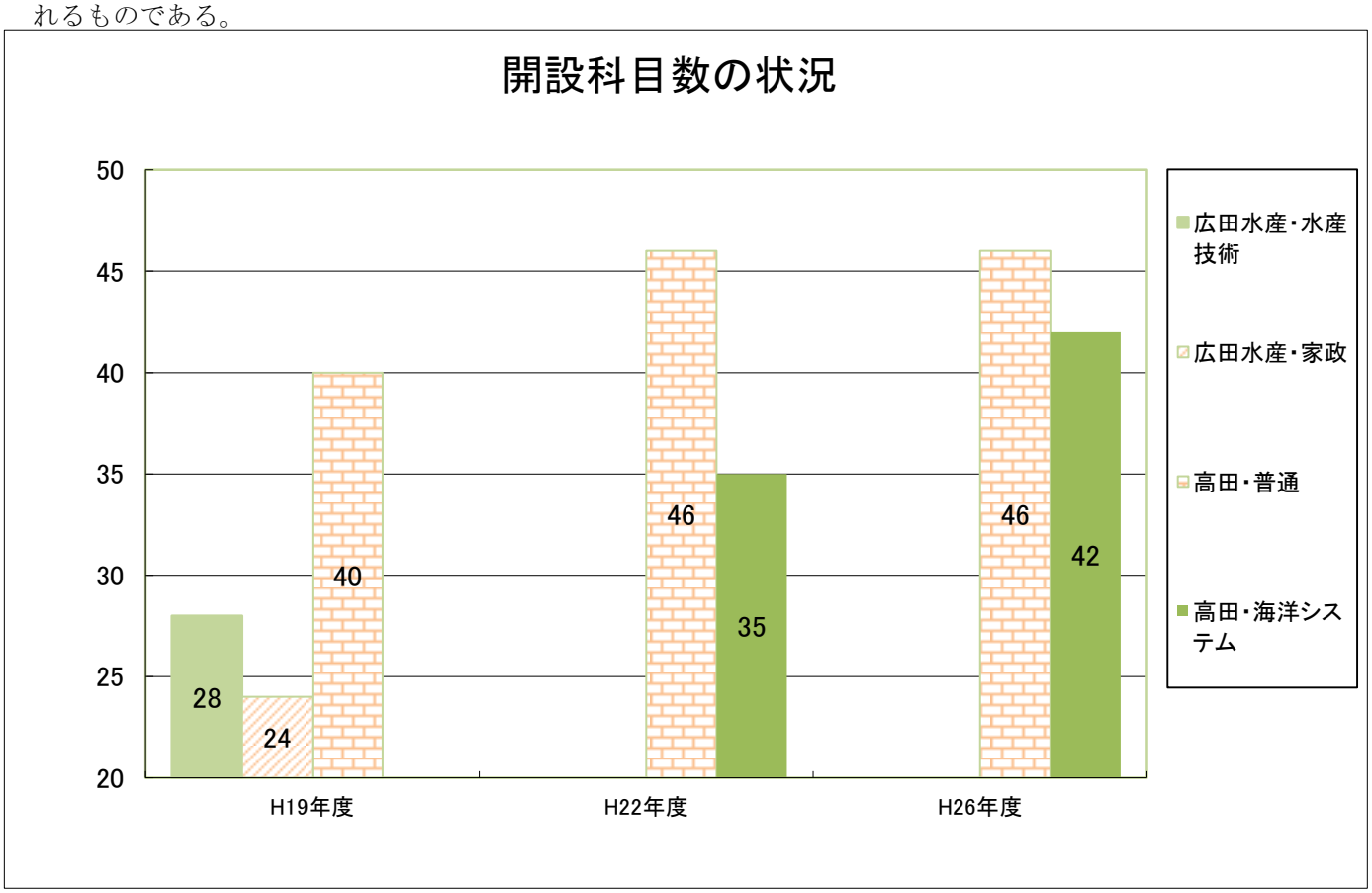
〔高田高校〕(つづき)

開設科目数

年度	学校名	学科（全学級数）	教科											
			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	保体	芸術	家庭	情報	専門	合計
H19（統合前）	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	3	6	2	6	8	5	2	6	1	1	0	40
	広田水産	水産技術科(3)	2	2	1	2	3	2	2	1	1		12	28
		家政科(3)	2	2	1	2	3	2	2	1	1		8	24
H22（統合3年目）	高田	普通科(11)	5	6	2	6	9	5	2	6	1	1	3	46
		海洋システム科(3)	3	2	1	3	2	3	2	2	1	0	16	35
H26（統合7年目）	高田	普通科(12)	5	9	2	5	7	7	3	6	1	1	0	46
		海洋システム科(3)	2	3	1	2	3	3	3	3	1	1	20	42

※ 高田高校統合前科目数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。

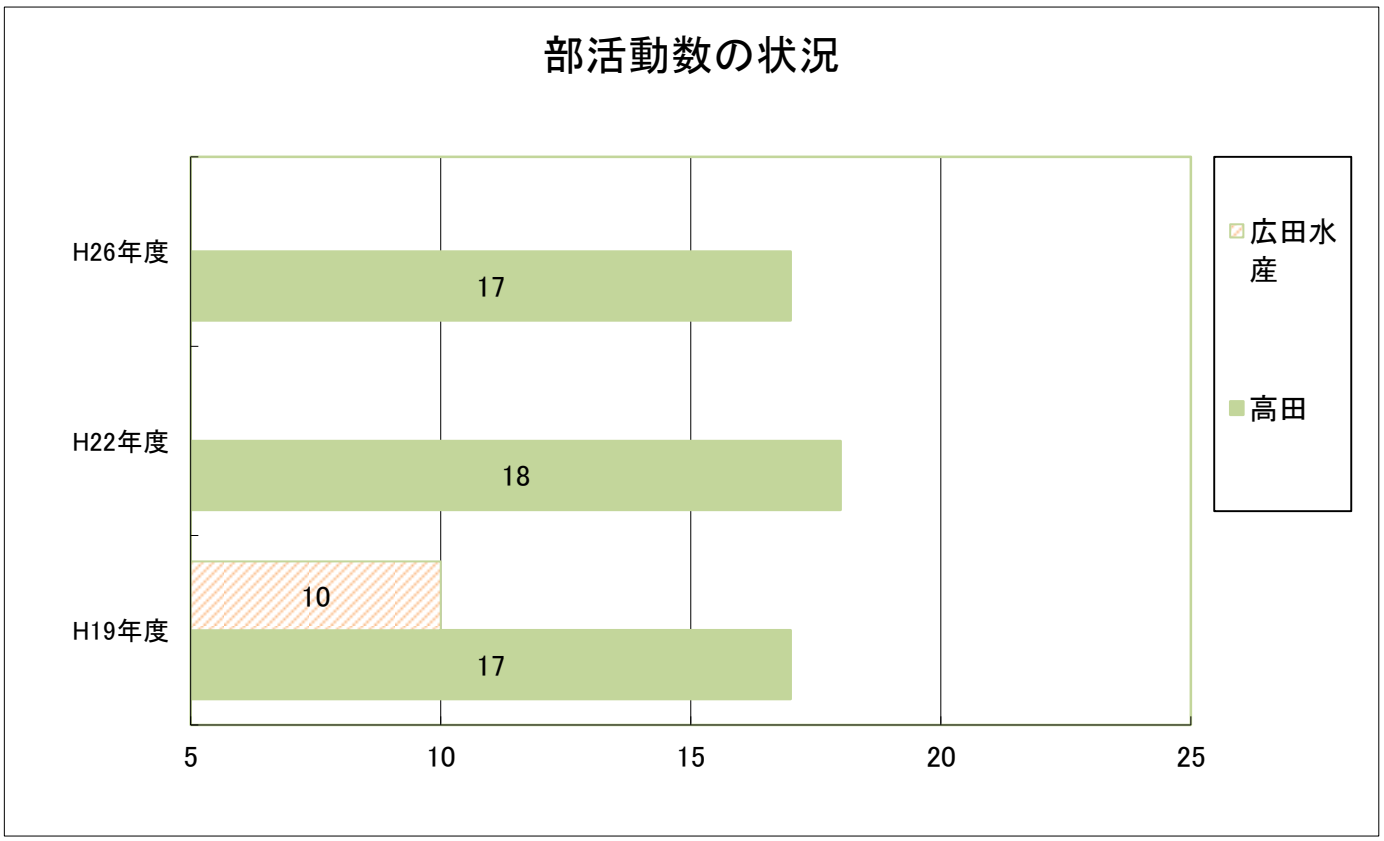
※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。



〔高田高校〕(つづき)

部活動数

年度	学校名	学科（全学級数）	運動部	文化部	合計
H19 (統合前)	高田	普通科(9) 情報処理科(3)	11	6	17
	広田 水産	水産技術科(3) 家政科(3)	7	3	10
H22 (統合3年目)	高田	普通科(10) 情報ビジネス科(3)	11	7	18
H26 (統合7年目)	高田	普通科(12) 海洋システム科(3)	11	6	17

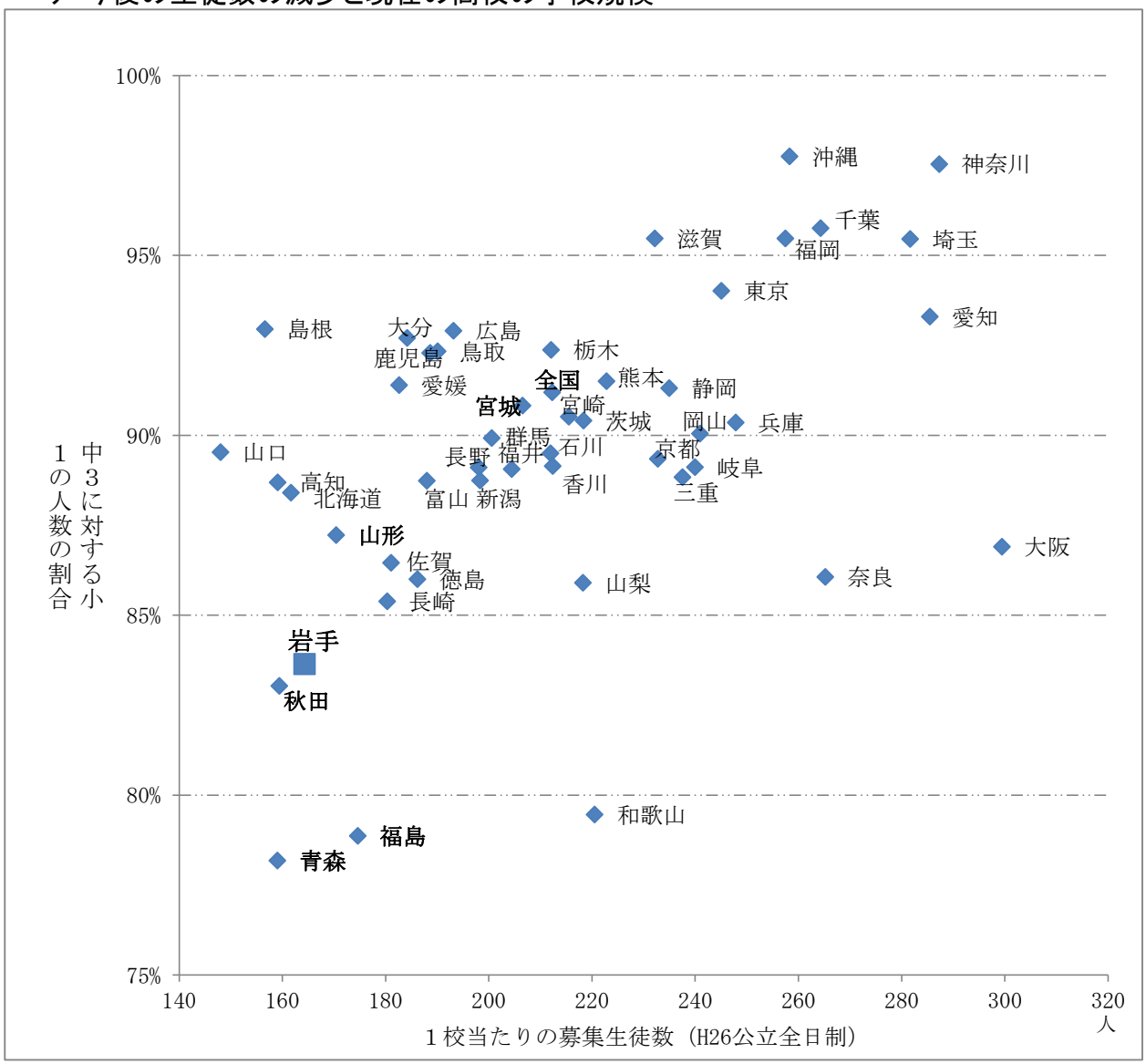


※ 高田高校統合前部活動数は、東日本大震災津波の被害により、正確な数値が確認できないため推計値となっている。

３ 学びの環境整備

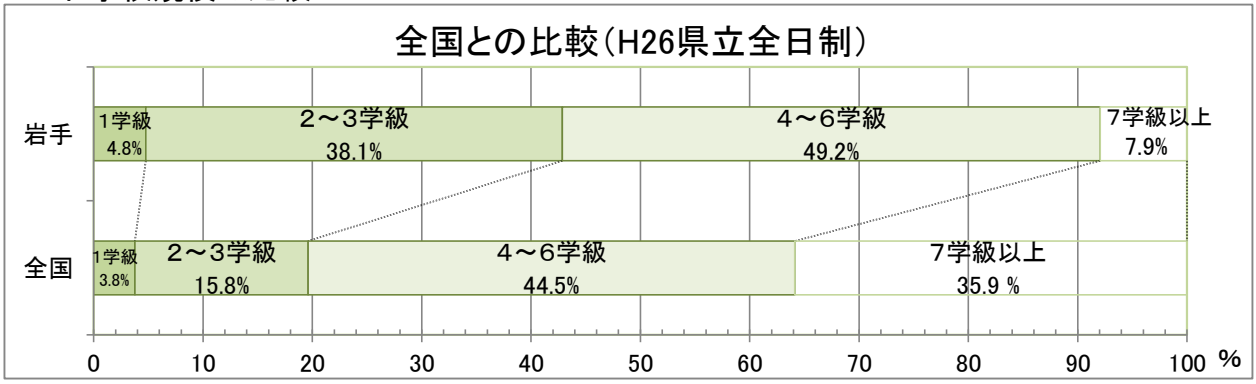
(1) 学校規模による比較

ア 今後の生徒数の減少と現在の高校の学校規模



［中３に対する小１の人数の割合］（参考：平成25年度学校基本調査）
平成25年度の中学校３年生（平成26年度の高校１年生）の人数を100％とした場合の小学校１年生（平成34年度の高校１年生）の割合。数値が低いほど、減少率が高いことを表す。
［１校当たり募集生徒数］（県教育委員会学校教育室調べ）
各都道府県の公立全日制高校募集人数を募集学校数で割った値（１校当たりの平均募集人員）。
この表によると、生徒の減少が進み、１校当たりの募集生徒数が少ないのは、青森、秋田、岩手、福島の東北各県となっている。

イ 学校規模の比較

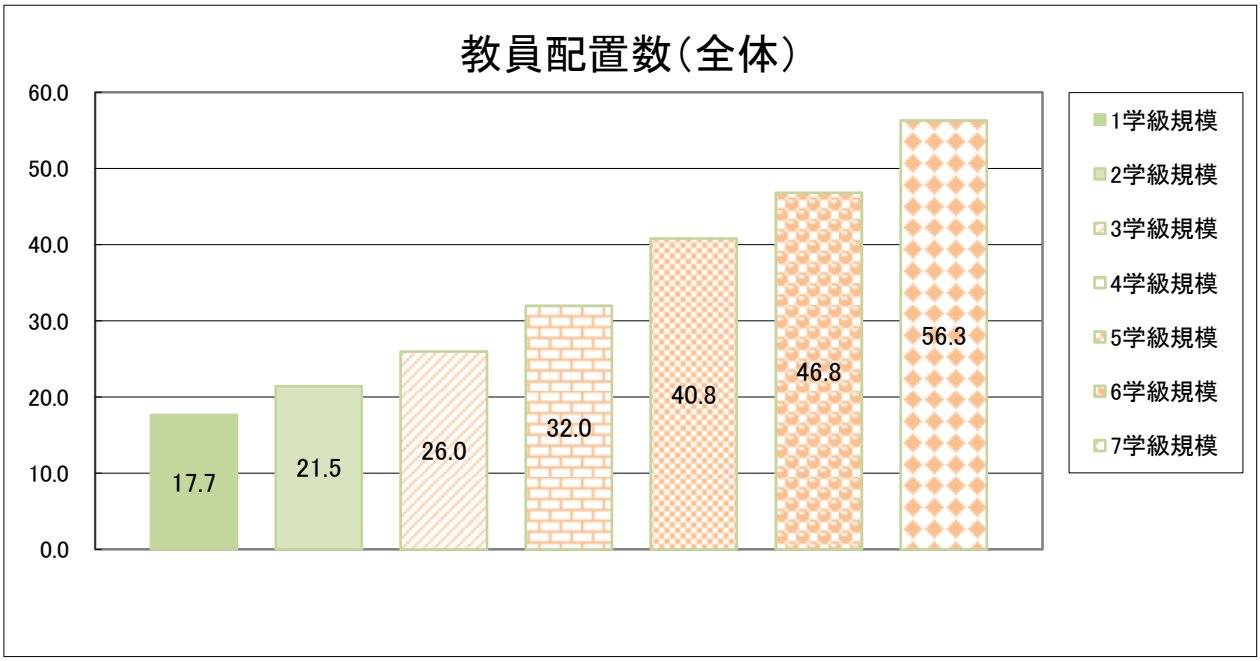


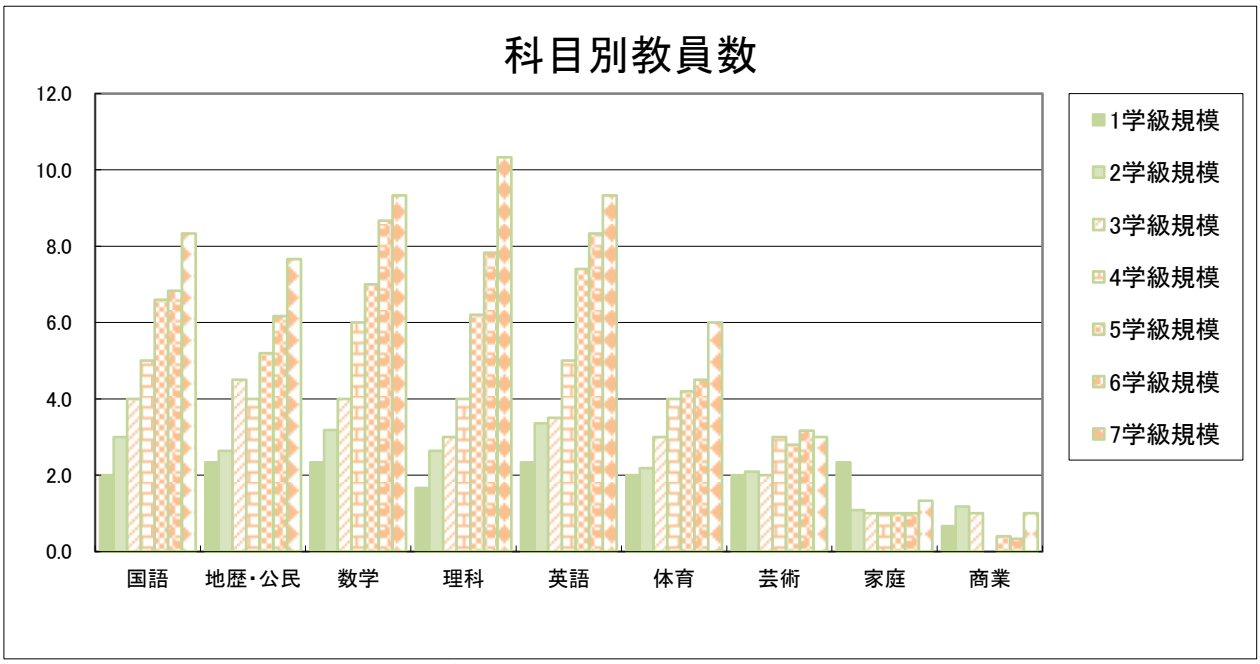
※ 全国と比較すると、本県は2～3学級が多く、7学級以上が少なくなっている。

ウ 県立高等学校における教員の配置状況（普通科）

	国語	地歴・公民	数学	理科	英語	体育	芸術	家庭	商業	合計
1学級規模	2.0	2.3	2.3	1.7	2.3	2.0	2.0	2.3	0.7	17.7
2学級規模	3.0	2.6	3.2	2.6	3.4	2.2	2.1	1.1	1.2	21.5
3学級規模	4.0	4.5	4.0	3.0	3.5	3.0	2.0	1.0	1.0	26.0
4学級規模	5.0	4.0	6.0	4.0	5.0	4.0	3.0	1.0	0.0	32.0
5学級規模	6.6	5.2	7.0	6.2	7.4	4.2	2.8	1.0	0.4	40.8
6学級規模	6.8	6.2	8.7	7.8	8.3	4.5	3.2	1.0	0.3	46.8
7学級規模	8.3	7.7	9.3	10.3	9.3	6.0	3.0	1.3	1.0	56.3

※ 普通科系学科を設置する高校を対象としている。ただし、総合選択制高校（不来方高校・花巻南高校）及び専門学科を併置する高校は除く。

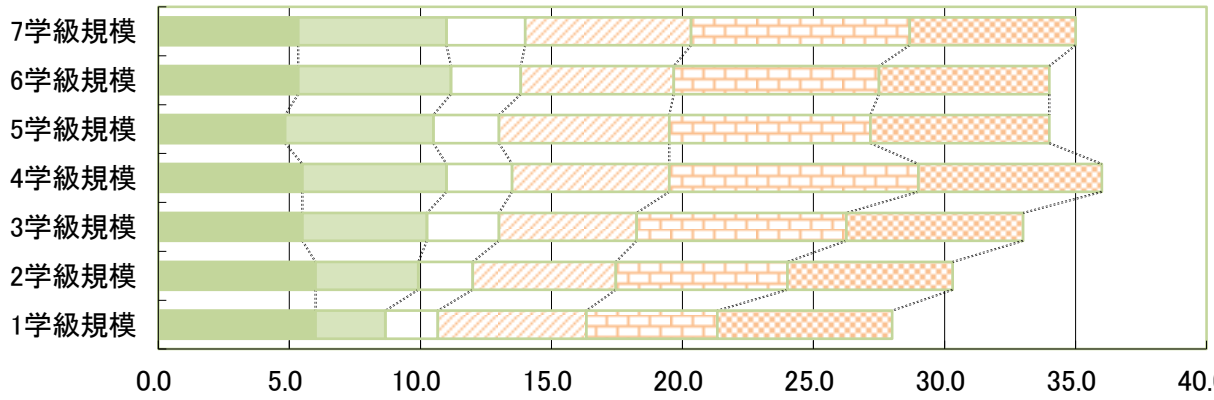




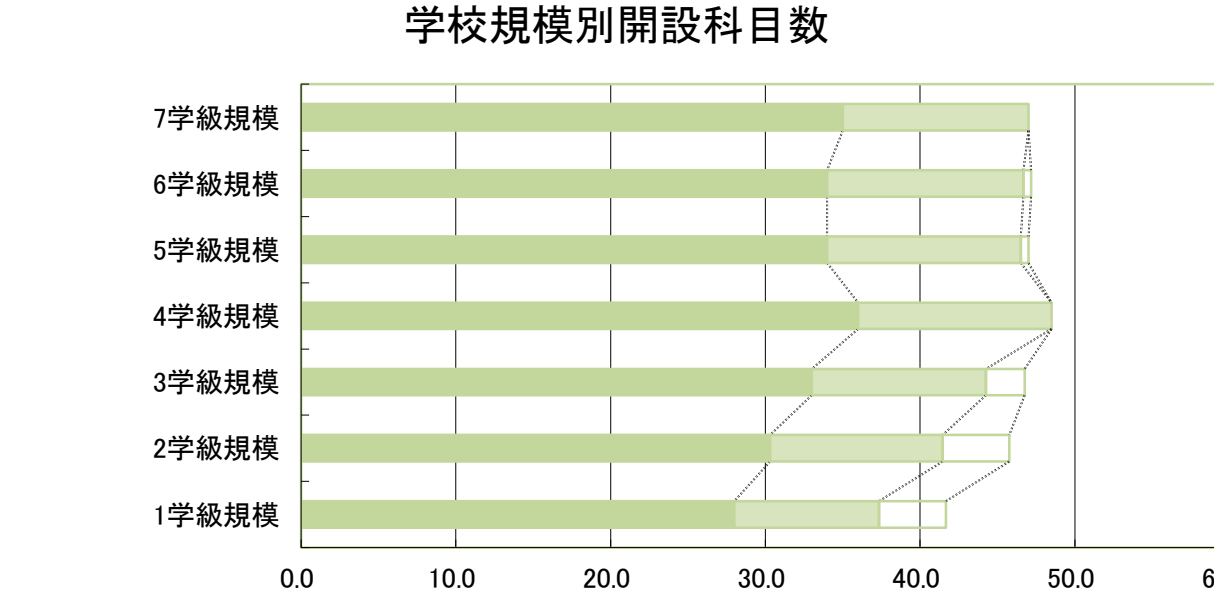
※ 教員数は各教科の副校長、教諭、常勤講師、非常勤講師の総数。

エ 学校規模別開設科目数

※ 平成26年度教育課程より



	1学級規模	2学級規模	3学級規模	4学級規模	5学級規模	6学級規模	7学級規模
国語	6.0	6.0	5.5	5.5	4.8	5.3	5.3
地歴	2.7	3.9	4.8	5.5	5.7	5.8	5.7
公民	2.0	2.1	2.8	2.5	2.5	2.7	3.0
数学	5.7	5.5	5.3	6.0	6.5	5.8	6.3
理科	5.0	6.5	8.0	9.5	7.7	7.8	8.3
外国語	6.7	6.3	6.8	7.0	6.8	6.5	6.3



	1学級規模	2学級規模	3学級規模	4学級規模	5学級規模	6学級規模	7学級規模
6教科科目	28.0	30.3	33.0	36.0	34.0	34.0	35.0
その他の普通教科科目	9.3	11.2	11.3	12.5	12.5	12.7	12.0
専門教科開設科目	4.3	4.3	2.5	0.0	0.5	0.5	0.0

※ 普通科系学科を設置する高校を対象としている。ただし、総合選択制高校（不来方高校・花巻南高校）は除く。

※ 平成26年度は新学習指導要領における科目と現行学習指導要領における科目が開設されていたため、開設科目数が多くなっている。なお、全日制課程においては、平成27年度からは、新学習指導要領による科目に統一されるものである。

オ 県立高校の学校規模別開設科目の現状

(ｱ) 学校規模別による開設科目数の状況　　※ 平成26年度学校要覧より

	全校生徒数 (募集定員)	地歴公民の 開設科目数	理科の 開設科目数	専門科目の 開設科目数
1学級規模	120人	4.7	5.0	4.3
2学級規模 ～3学級規模	240人～360人	6.3	6.9	3.9
4学級規模 ～6学級規模	480人～720人	8.3	8.0	0.4
7学級規模以上	840人	8.7	8.3	0.0

※ 普通科を置く高校の場合（総合選択制高校は除く）

(ｲ) 学校規模別の開設科目の状況－地歴公民－　　※ 平成26年度学校要覧より

	学校数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済
1学級規模	3校	◎	△	なし	◇	△	△	◎	なし	◇
2学級規模 ～3学級規模	17校	○	○	◇	◇	△	△	○	4校開設	◎
4学級規模 ～6学級規模	14校	◎	◎	○	◎	○	◎	○	◇	○
7学級規模以上	3校	◎	◎	◎	◎	◇	◎	◎	◎	◎

◎全校で開設　○3/4以上の学校で開設　◇1/2以上の学校で開設　△1/3以上の学校で開設

※ 普通科を置く高校の場合（総合選択制高校は除く）

※ 大学受験では受験科目に制限があり、特に個別試験（二次試験）等で地歴Ｂ科目・公民科目を課されることが多い。

(ｳ) 学校規模別の開設科目の状況－理科－　　※ 平成26年度学校要覧より

	学校数	物理基礎	物理	化学基礎	化学	生物基礎	生物	地学基礎	地学	科学と人間生活
1学級規模	3校	△	なし	◎	◇	◎	◇	なし	なし	◎
2学級規模 ～3学級規模	17校	○	○	○	◎	◎	◎	△	なし	△
4学級規模 ～6学級規模	14校	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	2校開設	1校開設
7学級規模以上	3校	◎	◎	◇	◎	◎	◎	◎	△	なし

◎全校で開設　○3/4以上の学校で開設　◇1/2以上の学校で開設　△1/3以上の学校で開設

※ 普通科を置く高校の場合（総合選択制高校は除く）

※ 大学受験では受験科目に制限があり、特に個別試験（二次試験）等で基礎科目以外を課されることが多い。

(ｴ) 学校規模別の開設科目の状況－専門科目－　※ 平成26年度学校要覧より

	学校数	商業	家庭	その他
1学級規模	3校	◎	◇	△
2学級規模 ～3学級規模	17校	○	○	1校開設
4学級規模 ～6学級規模	14校	なし	4校開設	1校開設
7学級規模以上	3校	なし	なし	なし

◎全校で開設　○3/4以上の学校で開設　◇1/2以上の学校で開設　△1/3以上の学校で開設

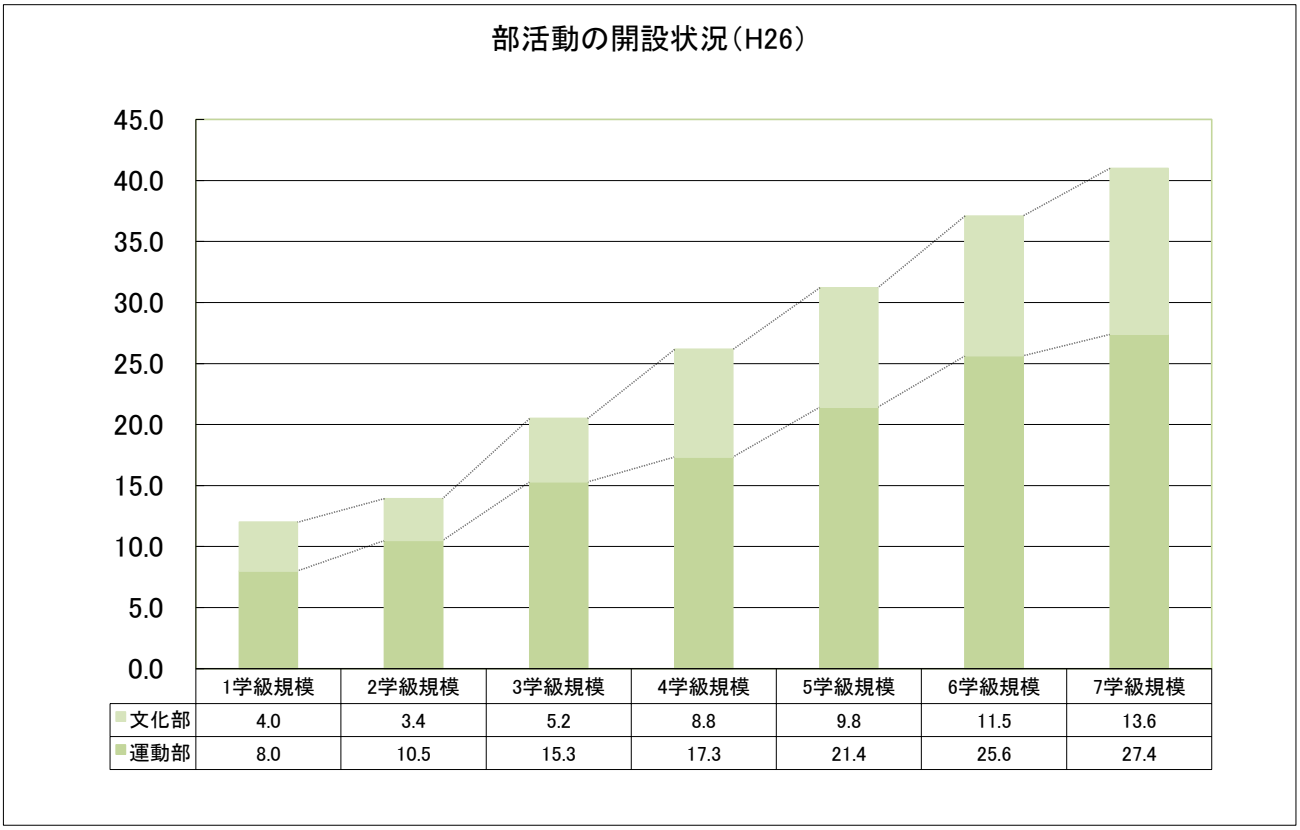
※ 普通科を置く高校の場合（総合選択制高校は除く）

カ 部活動の開設状況

(ｱ) 開設部活動数

※ 全学年が在籍している県立全日制高校について、学校規模別に平均した値である。

※ 平成２６年度学校要覧による、開設している（生徒が所属し活動している）部活動である。



	1学級規模	2学級規模	3学級規模	4学級規模	5学級規模	6学級規模	7学級規模
文化部	4.0	3.4	5.2	8.8	9.8	11.5	13.6
運動部	8.0	10.5	15.3	17.3	21.4	25.6	27.4

(ｲ) 具体的な開設部活動の例

		A高校	B高校	C高校	D高校	E高校	F高校	G高校
		1学級規模	2学級規模	3学級規模	4学級規模	5学級規模	6学級規模	7学級規模
文化部	1	吹奏楽	ビジネス研究	吹奏楽	音楽	科学	美術	音楽
	2	音楽	郷土芸能	美術	商業	茶道	吹奏楽	英語
	3	パソコン		ＯＡ	理研	音楽	演劇	科学
	4			書道	吹奏楽	マンドリン	音楽	吹奏楽
	5			インターアクト	囲碁	吹奏楽	自然科学	文芸
	6				茶道	美術	写真	美術
	7				美術	演劇	書道	写真
	8				書道		課程研究	書道
	9				邦楽		茶華道	演劇
	10						国際理解	華道
	11						文芸	囲碁将棋
運動部	1	陸上競技（男）	陸上競技（男）	硬式野球	陸上競技（男）	陸上競技（男）	陸上競技（男）	陸上競技（男）
	2	陸上競技（女）	陸上競技（女）	バスケットボール(男)	陸上競技（女）	陸上競技（女）	陸上競技（女）	陸上競技（女）
	3	硬式野球	硬式野球	バスケットボール(女)	硬式野球	硬式野球	硬式野球	硬式野球
	4	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	バレーボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール（男）
	5	バレーボール(女)	バスケットボール(女)	バレーボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)
	6	ソフトテニス(男)	バレーボール(女)	卓球(男)	バレーボール(男)	バレーボール(男)	バレーボール(男)	バレーボール(男)
	7	ソフトテニス(女)	卓球(男)	ソフトテニス(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)
	8	アーチェリー（男）	卓球(女)	サッカー	バドミントン(女)	卓球(男)	卓球(男)	卓球(男)
	9	アーチェリー（女）	ソフトテニス(女)	バドミントン(男)	サッカー	卓球(女)	卓球(女)	卓球(女)
	10		サッカー	バドミントン(女)	ソフトテニス(男)	バドミントン(女)	バドミントン(男)	バドミントン(男)
	11		柔剣道(男)	柔道(男)	ソフトテニス(女)	サッカー	バドミントン(女)	バドミントン(女)
	12		柔剣道(女)	柔道(女)	剣道（男）	ソフトテニス(男)	テニス(男)	テニス(男)
	13			弓道（女）	剣道（女）	ソフトテニス(女)	テニス(女)	テニス(女)
	14				ソフトボール	剣道（男）	サッカー	サッカー
	15				空手	剣道（女）	ラグビー	ラグビー
	16				水泳（男）	柔道(男)	ソフトテニス(男)	ソフトテニス(男)
	17				水泳（女）	柔道(女)	ソフトテニス(女)	ソフトテニス(女)
	18				弓道(男)	ソフトボール	柔道(男)	柔道
	19				弓道(女)	ハンドボール(男)	柔道(女)	剣道(男)
	20						剣道（男）	水泳（男）
	21						剣道（女）	水泳（女）
	22						水泳（男）	ハンドボール(男)
	23						水泳（女）	ハンドボール(女)
	24						ソフトボール	空手道
	25						体操（男）	弓道(男)
	26						体操（女）	弓道(女)
	27						新体操（女）	ボート
	28							スキー（男）
	29							スキー（女）
	30							新体操

(1)県立高校における小規模校(普通科)の現状

ア 小規模校の現状と課題

※３学級以下の普通科高校 14 校の聞き取り等による。

メリット	デメリット	その他
・学校行事や生徒会行事、授業や部活動といった学校生活の様々な場面で、生徒一人ひとりの果たす役割が大きく、多様な経験を通して個性を磨き、自己実現の機会が多く設定されている。 ・個々に対応したきめ細かい指導ができる。 ・地域との連携により、学校と地域が一体となって生徒の育成に努めることができる。	・教員数が少ないため、多様な進路希望に対応するための教育課程の編成と、教育の質の確保が難しい状況である。 ・生徒の学力差が大きく、進路指導においては進学、就職の両面に対応しなければならない状況であり、教員の負担が大きい。 ・学習活動及び部活動等において、生徒の選択肢が少ないうえ、生徒同士が切磋琢磨する教育環境の確保が難しい状況である。	・生徒、教職員、地域が一体となって教育活動を展開しており、地域からの評価が高い。 ・地元の中学校出身者の占める割合が高い学校は、中高連携及び地域連携等の面において、人材育成の協力体制が整っている。

	現　状	課　題
志願状況	・平成 24 年度～26 年度の３年間で志願倍率が１倍を上回った学校は平成 26 年度の住田高校１校（1.00 倍）であり、多くの学校は１倍を下回っている。 ・地元中学校出身者占有率において、沿岸、県北ブロックの高校は高くなっている。	・１倍を下回っている学校が多く、再募集での入学者もあり、学習意欲が高くない生徒もいる。 ・志願倍率が低いことによる入学者の学力の低下が見られる。
学習指導面	・２学級校においては、２，３学年は就職、進学の２つのコースに分けた学級編制となっている学校がほとんどである。 ・１学級校においても、進路に対応した少人数指導を行っている。 ・学力差が大きいことから、英数の授業において習熟度別指導を行っている学校が多い。 ・教育課程において、１～２学級校は４～６学級規模校と比較して、地歴及び理科の開設科目数が、それぞれ２科目程度少なくなっている。 ・生徒数が少ないため、生徒一人一人に行き届いた、きめ細かな指導ができ、そのことによって学習に取組む姿勢が向上する生徒が多い。	・普通教科における科目選択の幅が少ない。 ・学力差が大きいことから、習熟度別学習の編制をさらに充実させたいと考えているが、教員が少ないため難しい状況である。 ・習熟度別授業等に対して、複数の教員が指導にあたるため、出張等による不在の場合の対応が難しい。
生徒指導面	・問題行動が少なく、落ち着いた学校生活となっている学校が多い。 ・学校不適応の生徒や特別な支援を必要とする生徒がいる学校が多い。 ・生徒一人ひとりを把握でき、きめ細かな指導体制となっており、不登校傾向の生徒の改善が図られるケースがある。 ・地域との連携のもと、インターハイに出場する等活躍している部がある。	・生徒会活動や部活動等でリーダーとなる生徒が少なく、その養成が課題である。 ・部活動の数が制限され、生徒の選択肢が少なく、中学校にあった部が高校にはない等、継続的な活動ができない状況がみられる。 ・活動人数が少なく、活動を維持していくことが困難な部が多くなってきている。
進路指導面	・進路状況は、概ね進学 51%、就職 47%、その他２%の状況である。(H25 年度) ・キャリア教育の一環として、地域の協力を得てインターンシップを実施している学校が多い。 ・面接指導や小論文、作文指導等において、全ての教員が関わりを持った進路指導が行われている。 ・小規模校ならではの手厚い指導の成果もあり、就職希望者の内定率が 100%の学校が多く、大学進学においては個別の指導体制で対応し、成果を上げている学校がある。	・少ない教員で進学、就職両面にわたっての指導になっており、特に進学指導の質の向上が課題である。
地域との連携及び学校評価	・奉仕活動やボランティア活動等を通して地域との連携が密に図られている。 ・家庭の経済的理由や通学手段が確保できない等の理由から、地元の高校にしか進学できない生徒の教育機会の保障につながっている。 ・地域に対する学校の広報活動が積極的に行われている学校が多い。 ・学習支援や部活動等、地域からの支援を受けている学校がある。 ・多様な生徒の受入れと進路指導の成果において、地域からの評価が高い学校が多い。 ・地域活動に積極的に参加することによって、高い評価を受けている学校がある。	・地域に支えられていることから、地域のニーズに応えるよう連携に努める必要がある。 ・少ない職員の中で学校行事や多様な進路希望に対応しなければならないため、教員の多忙化が改善されにくい。

イ 在籍者の地元中学校卒業者の推移

学校名	学科 （１学年の学級数）	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
大　　迫	普通（１）	63.2	68.3	53.1	58.6	45.8
宮 古 北	普通（１）	45.9	74.1	22.2	12.5	35.0
住　　田	普通（１）	28.8	70.4	46.7	35.3	53.8
沼 宮 内	普通（２）	82.9	91.8	95.6	81.7	83.3
葛　　巻	普通（２）	84.0	86.2	77.5	81.3	76.3
雫　　石	普通（２）	62.5	76.8	74.4	60.0	64.7
西 和 賀	普通（２）	51.4	32.3	34.0	55.9	56.0
前　　沢	普通（２）	41.4	40.6	41.0	47.4	41.4
花　　泉	普通（２）	57.9	65.5	75.0	72.9	66.7
山　　田	普通（２）	94.8	96.4	94.3	91.8	100.0
岩　　泉	普通（２）	83.7	82.0	79.7	83.1	75.0
大　　野	普通（２）	58.9	73.7	75.3	83.3	71.9
軽　　米	普通（２）	93.8	92.6	88.7	98.3	98.5
伊 保 内	普通（２）	83.3	80.4	69.1	72.7	66.0
大　　槌	普通（３）	83.3	75.3	84.5	74.3	85.9

※ 入学者（１年生在籍者）の地元中学校卒業者の推移である。　　単位（%）

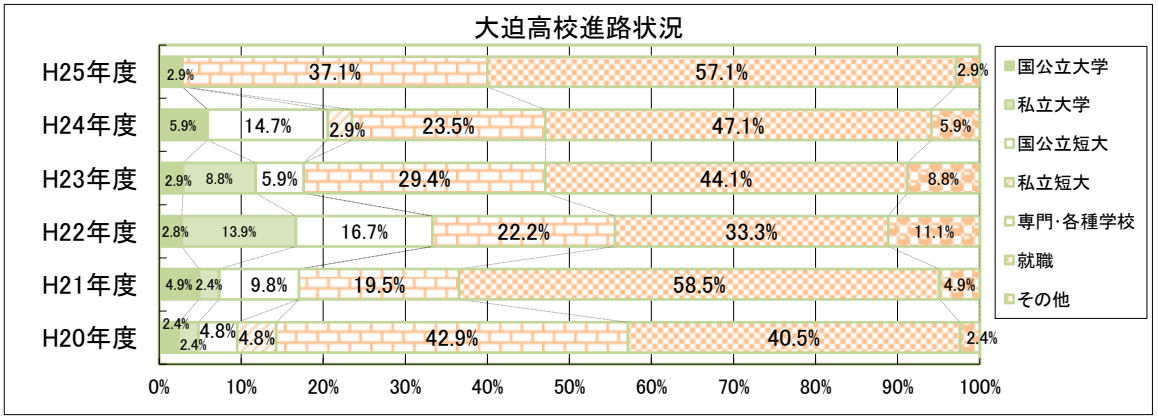
ウ 小規模校の志願者数及び入学者数の推移

※志願倍率＝一般志願者数/(定員－推薦合格者数)

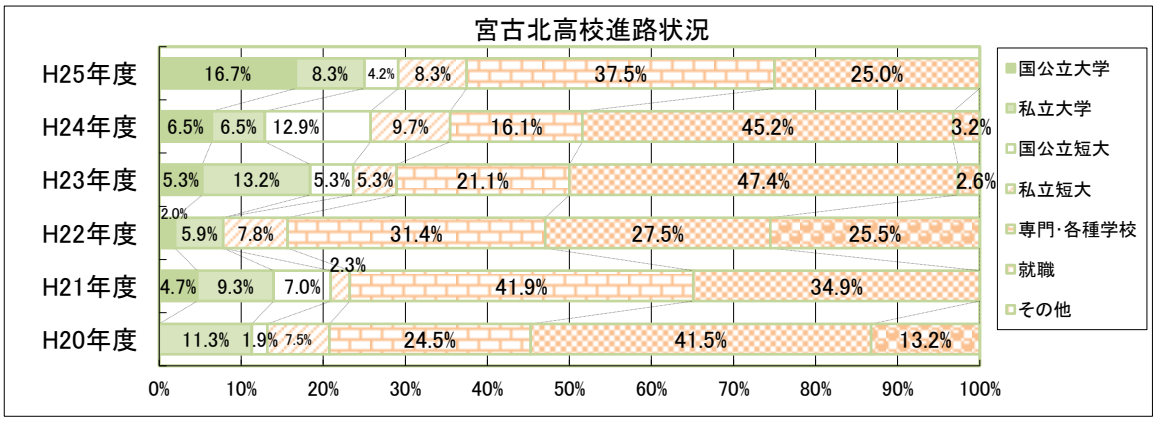
学校名	項目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　考
大迫	定員	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	43	38	43	30	28	26	
	志願倍率	1.1	0.97	1.08	0.75	0.7	0.65	
	入学者数	39	37	40	31	28	23	
	過不足	−1	−3	0	−9	−12	−17	
宮古北	定員	80	80	40	40	40	40	
	一般志願者数	44	39	26	25	21	19	H23年度から1学級減
	志願倍率	0.55	0.49	0.67	0.63	0.53	0.48	
	入学者数	45	37	28	27	24	19	
	過不足	−35	−43	−12	−13	−16	−21	
住田	定員	80	80	80	80	40	40	
	一般志願者数	52	71	28	31	30	39	H25年度から1学級減
	志願倍率	0.66	0.9	0.35	0.39	0.79	1	
	入学者数	55	72	28	30	34	39	
	過不足	−25	−8	−52	−50	−6	−1	
沼宮内	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	83	80	58	62	56	52	
	志願倍率	1.05	1	0.73	0.86	0.71	0.66	
	入学者数	79	76	61	68	60	54	
	過不足	−1	−4	−19	−12	−20	−26	
雫石	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	65	50	57	38	50	51	
	志願倍率	0.82	0.63	0.71	0.48	0.64	0.65	
	入学者数	61	52	55	43	55	51	
	過不足	−19	−28	−25	−37	−25	−29	
西和賀(普通科)	定員	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	48	39	30	29	25	28	
	志願倍率	1.2	0.98	0.75	0.74	0.63	0.7	
	入学者数	41	39	34	21	22	29	
	過不足	1	−1	−6	−19	−18	−11	
西和賀(普通科福祉情報コース)	定員	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	32	29	25	23	11	19	
	志願倍率	0.8	0.73	0.63	0.58	0.28	0.48	
	入学者数	37	32	28	19	12	21	
	過不足	−3	−8	−12	−21	−28	−19	
前沢	定員	120	120	120	120	80	80	
	一般志願者数	108	113	87	51	50	48	H25年度から1学級減
	志願倍率	0.96	0.99	0.78	0.45	0.69	0.67	
	入学者数	116	116	100	61	57	58	
	過不足	−4	−4	−20	−59	−23	−22	
花泉	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	72	59	53	46	44	24	
	志願倍率	0.94	0.75	0.69	0.59	0.56	0.3	
	入学者数	71	57	55	48	48	30	
	過不足	−9	−23	−25	−32	−32	−50	
山田	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	64	70	78	67	59	54	
	志願倍率	0.89	0.96	1.04	0.86	0.74	0.68	
	入学者数	73	76	83	70	61	50	
	過不足	−7	−4	3	−10	−19	−30	
岩泉	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	75	88	60	56	58	39	
	志願倍率	0.99	1.11	0.78	0.78	0.79	0.51	
	入学者数	78	86	61	64	65	42	
	過不足	−2	6	−19	−16	−15	−38	
大野	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	82	58	49	72	38	51	
	志願倍率	1.03	0.76	0.68	0.96	0.48	0.68	
	入学者数	79	73	57	77	42	56	
	過不足	−1	−7	−23	−3	−38	−24	
伊保内	定員	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	45	47	47	50	33	50	
	志願倍率	0.56	0.59	0.59	0.63	0.41	0.63	
	入学者数	46	48	46	55	33	50	
	過不足	−34	−32	−34	−25	−47	−30	
大槌	定員	120	120	120	120	120	120	
	一般志願者数	118	124	91	114	71	85	
	志願倍率	1	1.05	0.76	0.97	0.61	0.71	
	入学者数	116	120	91	116	74	85	
	過不足	−4	0	−29	−4	−46	−35	

エ 小規模校の進路状況

大迫高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		42	41	36	34	34	35
進学		24	15	20	16	16	14
	国公立大学	1	2	1	1	2	1
	私立大学	1	1	5	3	0	0
	国公立短大	2	4	6	2	5	0
	私立短大	2	0	0	0	1	0
	専門･各種学校	18	8	8	10	8	13
就職		17	24	12	15	16	20
	管内	7	11	8	5	10	11
	県内	3	8	2	6	3	7
	県外	3	3	2	3	3	1
	公務員	4	2	0	1	0	1
その他		1	2	4	3	2	1

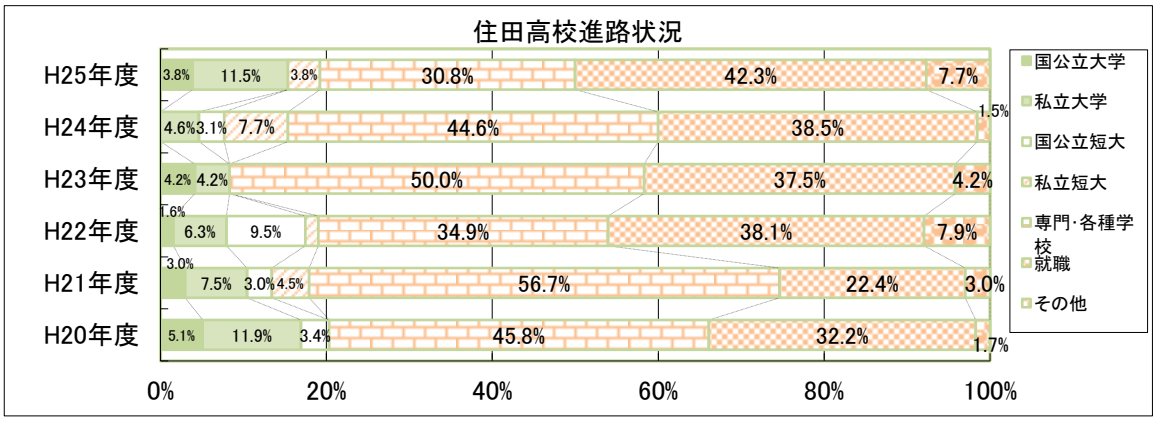


宮古北高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		53	43	51	38	31	24
進学		24	28	24	19	16	18
	国公立大学	0	2	1	2	2	4
	私立大学	6	4	3	5	2	2
	国公立短大	1	3	0	2	4	1
	私立短大	4	1	4	2	3	2
	専門･各種学校	13	18	16	8	5	9
就職		22	15	14	18	14	6
	管内	11	7	11	12	11	3
	県内	2	4	2	1	0	1
	県外	7	4	1	4	3	0
	公務員	2	0	0	1	0	2
その他		7	0	13	1	1	0

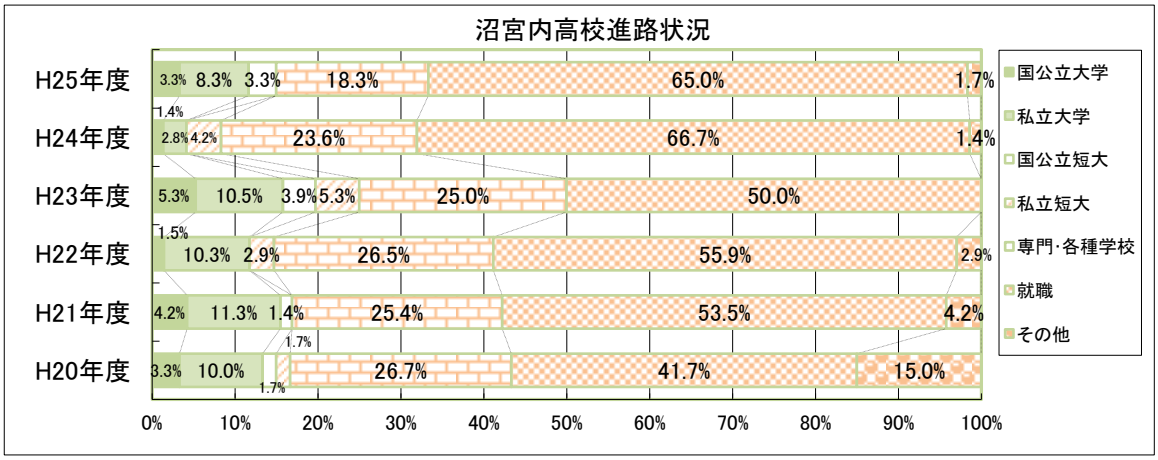


エ 小規模校の進路状況（つづき）

住田高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		59	67	63	48	65	26
進学		39	50	34	28	39	13
	国公立大学	3	2	1	2	0	1
	私立大学	7	5	4	2	3	3
	国公立短大	2	2	6	0	2	0
	私立短大	0	3	1	0	5	1
	専門・各種学校	27	38	22	24	29	8
就職		19	15	24	18	25	11
	管内	7	9	13	12	12	5
	県内	3	0	5	1	4	2
	県外	9	6	6	5	9	4
その他		1	2	5	2	1	2

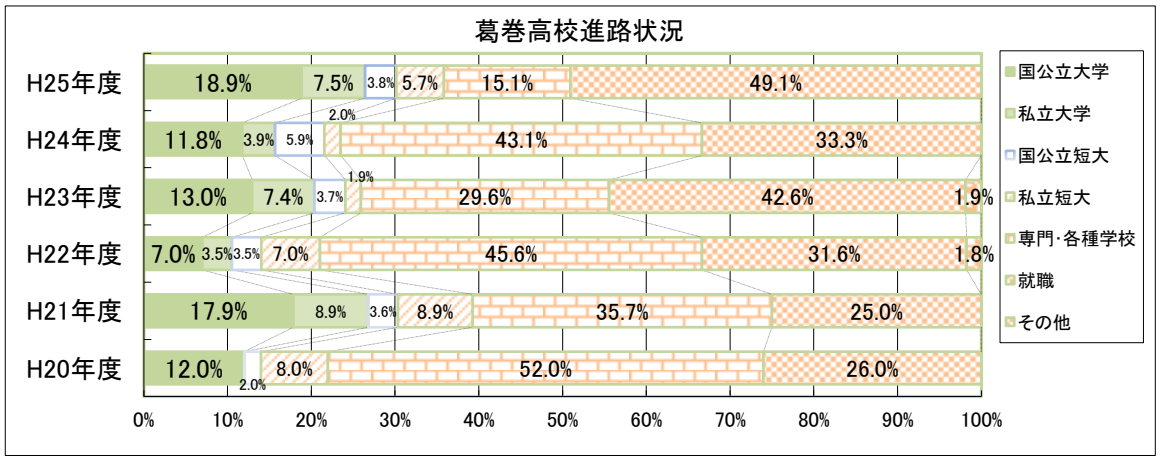


沼宮内高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		60	71	68	76	72	60
進学		26	30	28	38	23	20
	国公立大学	2	3	1	4	1	2
	私立大学	6	8	7	8	2	5
	国公立短大	1	1	0	3	0	2
	私立短大	1	0	2	4	3	0
	専門・各種学校	16	18	18	19	17	11
就職		25	38	38	38	48	39
	管内	13	25	26	27	33	22
	県内	3	2	2	1	2	6
	県外	6	11	8	9	12	10
	公務員	3	0	2	1	1	1
その他		9	3	2	0	1	1

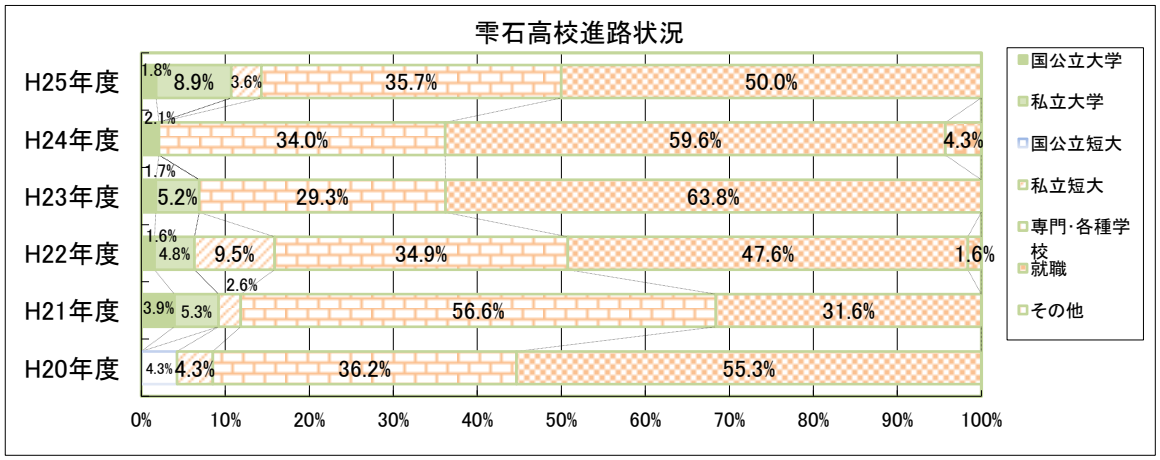


エ 小規模校の進路状況（つづき）

葛巻高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		50	56	57	54	51	53
進学		37	42	38	30	34	27
	国公立大学	6	10	4	7	6	10
	私立大学	0	5	2	4	2	4
	国公立短大	1	2	2	2	3	2
	私立短大	4	5	4	1	1	3
	専門・各種学校	26	20	26	16	22	8
就職		13	14	18	23	17	26
	管内	5	7	7	10	8	12
	県内	1	1	2	2	4	3
	県外	7	5	7	9	5	6
	公務員	0	1	2	2	0	5
その他		0	0	1	1	0	0

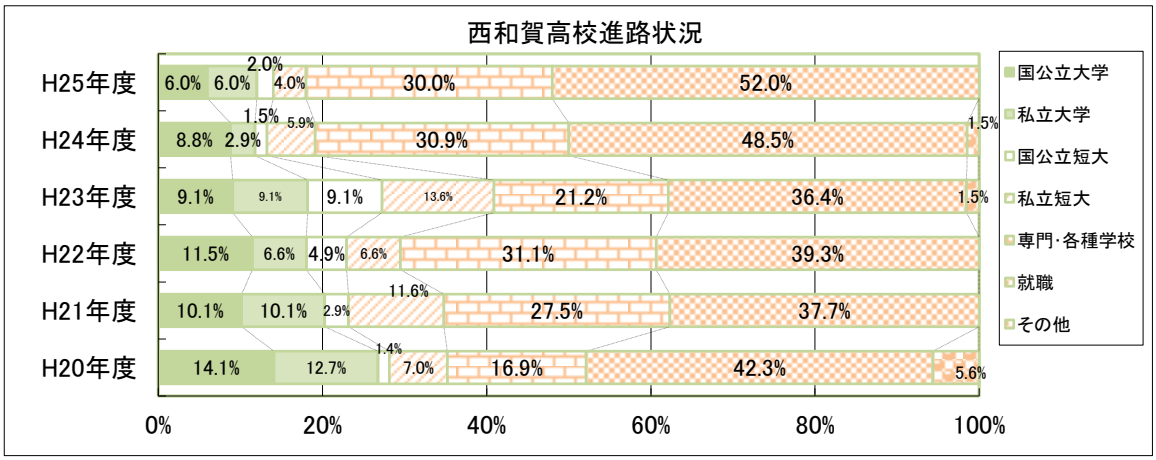


雫石高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		47	76	63	58	47	56
進学		21	52	32	21	17	28
	国公立大学	0	3	1	1	1	1
	私立大学	0	4	3	3	0	5
	国公立短大	2	0	0	0	0	0
	私立短大	2	2	6	0	0	2
	専門・各種学校	17	43	22	17	16	20
就職		26	24	30	37	28	28
	県内	23	18	26	25	18	21
	県外	3	6	4	12	10	7
その他		0	0	1	0	2	0

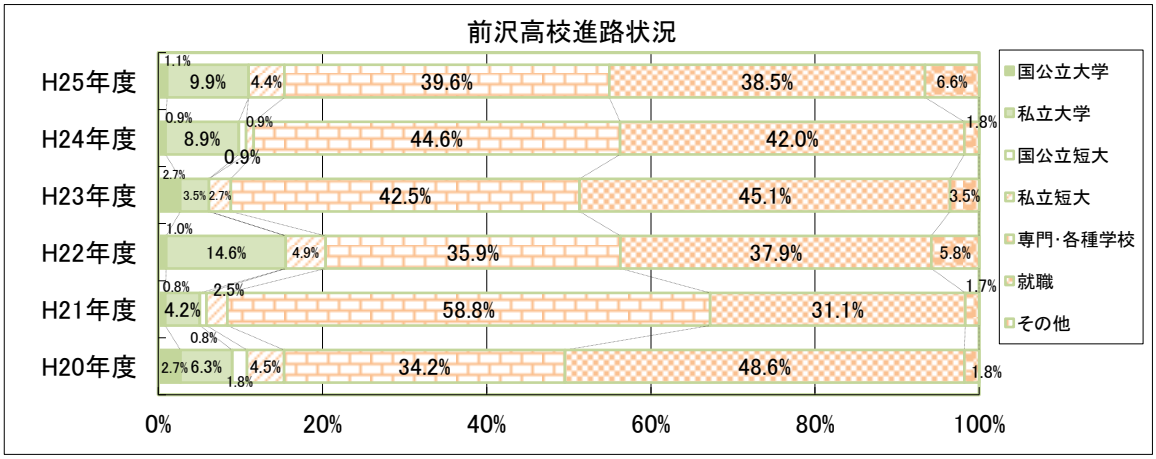


エ 小規模校の進路状況（つづき）

西和賀高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		71	69	61	66	68	50
進学		37	43	37	41	34	24
	国公立大学	10	7	7	6	6	3
	私立大学	9	7	4	6	2	3
	国公立短大	1	2	3	6	1	1
	私立短大	5	8	4	9	4	2
	専門・各種学校	12	19	19	14	21	15
就職		30	26	24	24	33	26
	管内	17	13	15	17	23	21
	県内	2	5	5	4	5	3
	県外	4	6	2	0	2	1
	公務員	7	2	2	3	3	1
その他		4	0	0	1	1	0

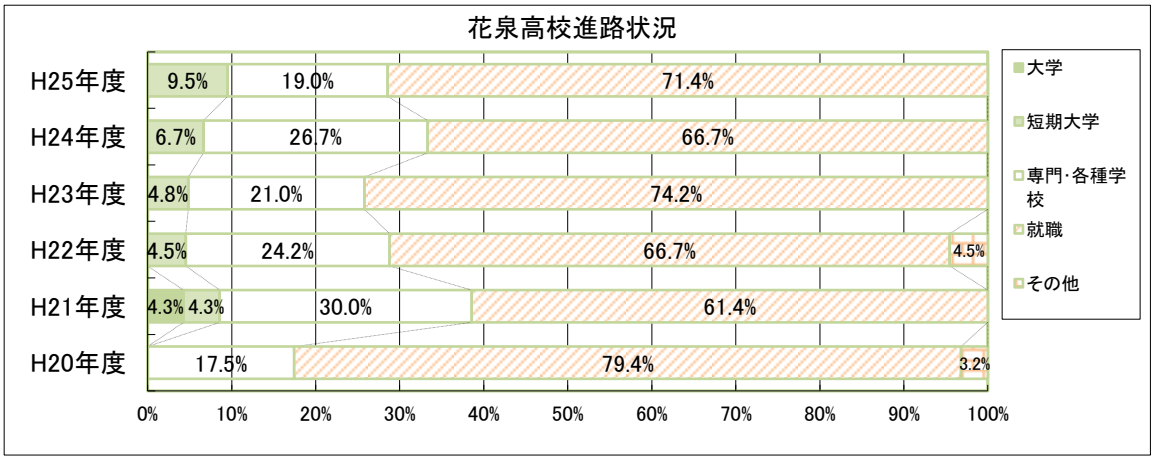


前沢高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		111	119	103	113	112	91
進学		55	80	58	58	63	50
	国公立大学	3	1	1	3	1	1
	私立大学	7	5	15	4	10	9
	国公立短大	2	1	0	0	1	0
	私立短大	5	3	5	3	1	4
	専門・各種学校	38	70	37	48	50	36
就職		54	37	39	51	47	35
	管内	19	13	17	19	24	18
	県内	21	12	15	21	18	5
	県外	14	11	7	10	5	9
	公務員	0	1	0	1	0	3
その他		2	2	6	4	2	6

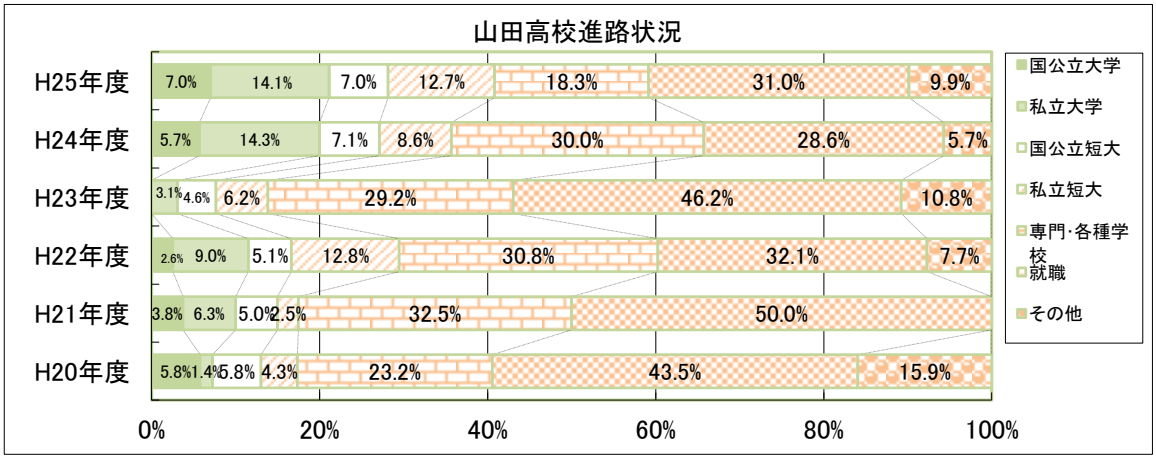


エ 小規模校の進路状況（つづき）

花泉高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		63	70	66	62	45	42
進学		11	27	19	16	15	12
	大学	0	3	0	0	0	0
	短期大学	0	3	3	3	3	4
	専門･各種学校	11	21	16	13	12	8
就職		50	43	44	46	30	30
	管内	27	20	28	30	22	23
	県内	1	3	4	0	1	3
	県外	22	20	12	16	7	4
その他		2	0	3	0	0	0

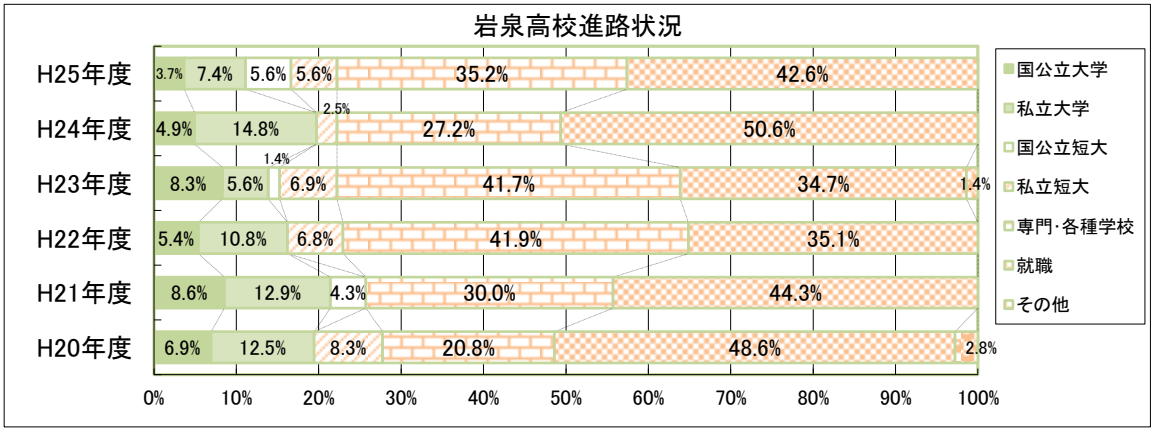


山田高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		69	80	78	65	70	71
進学		28	40	47	28	46	42
	国公立大学	4	3	2	0	4	5
	私立大学	1	5	7	2	10	10
	国公立短大	4	4	4	3	5	5
	私立短大	3	2	10	4	6	9
	専門･各種学校	16	26	24	19	21	13
就職		30	40	25	30	20	22
	管内	9	14	8	5	7	6
	県内	6	6	5	6	9	7
	県外	15	17	12	18	2	8
	公務員	0	3	0	1	2	1
その他		11	0	6	7	4	7

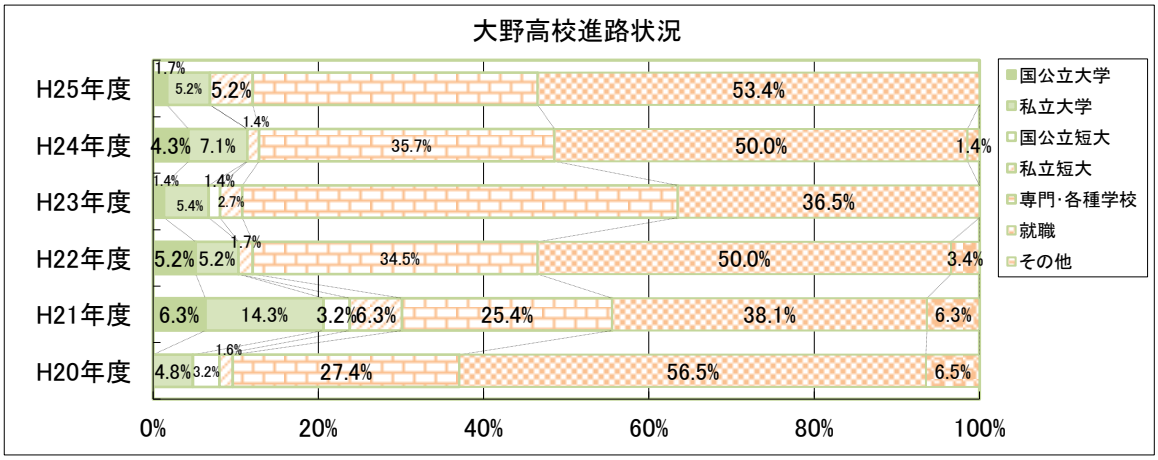


エ 小規模校の進路状況（つづき）

岩泉高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		72	70	74	72	81	54
進学		35	39	48	46	40	31
	国公立大学	5	6	4	6	4	2
	私立大学	9	9	8	4	12	4
	国公立短大	0	3	0	1	0	3
	私立短大	6	0	5	5	2	3
	専門・各種学校	15	21	31	30	22	19
就職		35	31	26	25	41	23
	管内	12	10	13	10	16	11
	県内	3	0	2	1	2	2
	県外	15	18	6	13	17	5
	公務員	5	3	5	1	6	5
その他		2	0	0	1	0	0

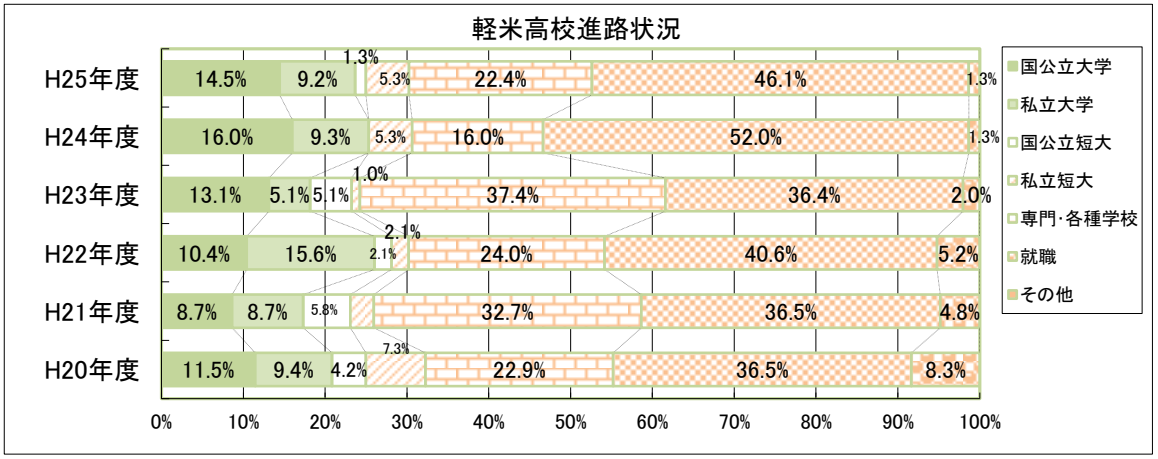


大野高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		62	63	58	74	70	58
進学		23	35	27	47	34	27
	国公立大学	0	4	3	1	3	1
	私立大学	3	9	3	4	5	3
	国公立短大	2	2	0	1	0	0
	私立短大	1	4	1	2	1	3
	専門・各種学校	17	16	20	39	25	20
就職		35	24	29	27	35	31
	管内	7	9	9	8	15	13
	県内	5	0	0	3	3	1
	県外	23	15	20	16	17	17
その他		4	4	2	0	1	0

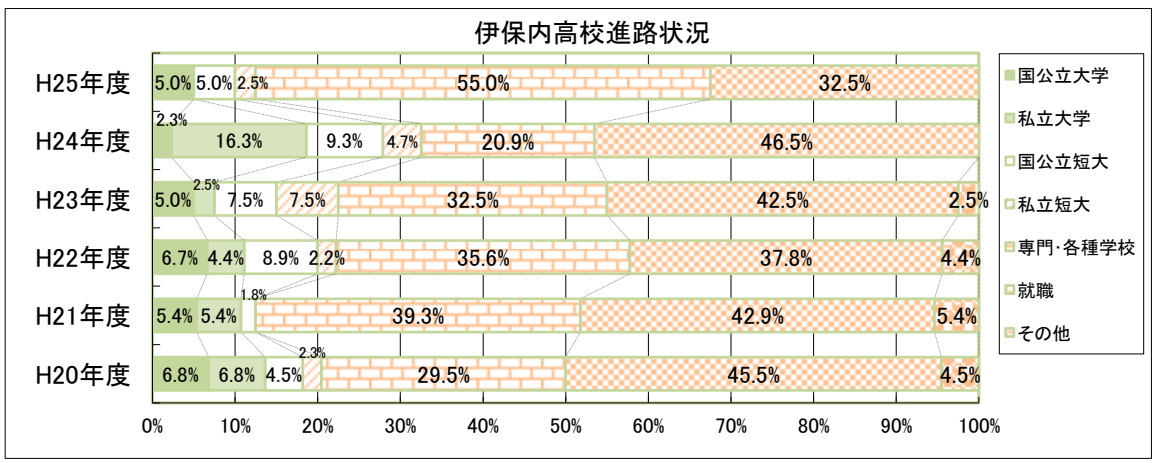


エ 小規模校の進路状況（つづき）

軽米高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		96	104	96	99	75	76
進学		53	61	52	61	35	40
	国公立大学	11	9	10	13	12	11
	私立大学	9	9	15	5	7	7
	国公立短大	4	6	2	5	0	1
	私立短大	7	3	2	1	4	4
	専門・各種学校	22	34	23	37	12	17
就職		35	38	39	36	39	35
	管内	6	8	9	15	14	10
	県内	0	2	4	5	11	1
	県外	24	24	23	14	12	16
	公務員	5	4	3	2	2	8
その他		8	5	5	2	1	1

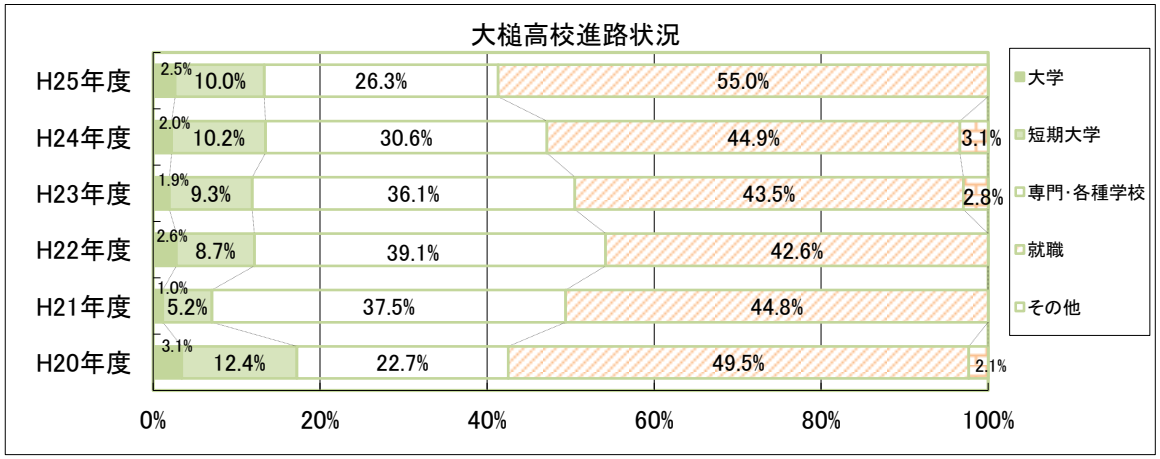


伊保内高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		44	56	45	40	43	40
進学		22	29	26	22	23	27
	国公立大学	3	3	3	2	1	2
	私立大学	3	3	2	1	7	0
	国公立短大	2	1	4	3	4	2
	私立短大	1	0	1	3	2	1
	専門・各種学校	13	22	16	13	9	22
就職		20	24	17	17	20	13
	管内	5	9	8	10	8	3
	県内	1	3	3	1	3	1
	県外	12	7	6	6	8	7
	公務員	2	5	0	0	1	2
その他		2	3	2	1	0	0



エ 小規模校の進路状況（つづき）

大槌高校							
卒業年度		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
学科		普通科					
卒業者数		97	96	115	108	98	80
進学		47	53	66	58	51	36
	国公立大学	3	1	3	2	2	2
	私立大学	12	5	10	10	10	8
	国公立短大	3	2	2	2	5	2
	私立短大	7	9	6	5	4	3
	専門・各種学校	22	36	45	39	30	21
就職		48	43	49	47	44	44
	管内	19	20	18	13	21	23
	県内	4	7	3	1	6	6
	県外	23	16	27	30	16	11
	公務員	2	0	1	3	1	4
その他		2	0	0	3	3	0



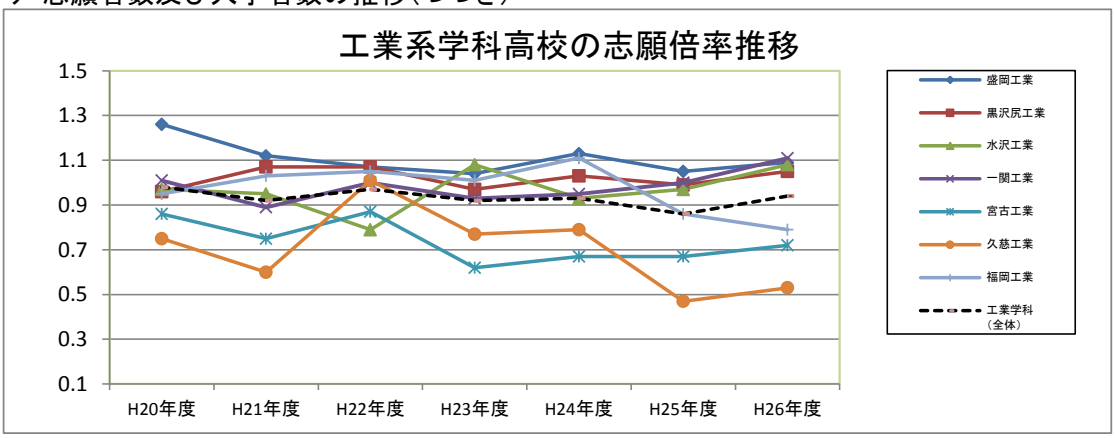
（4）工業系学科の現状

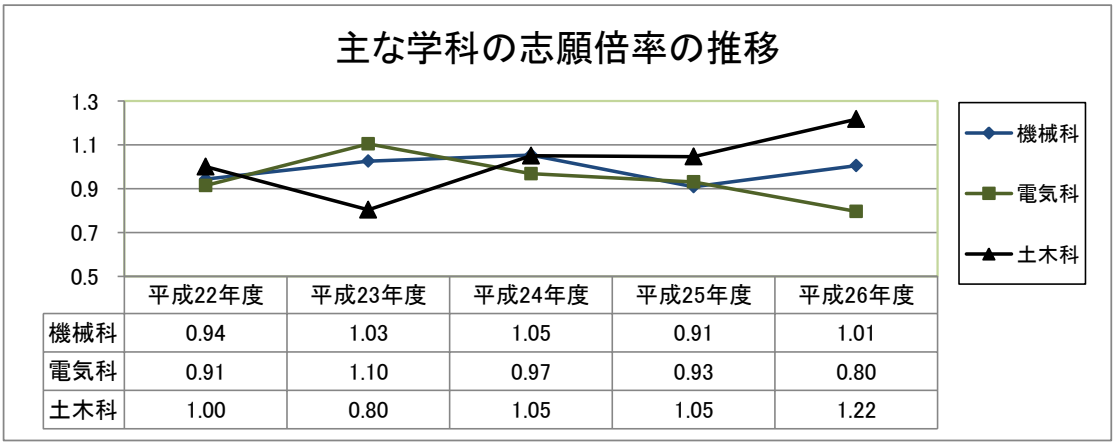
ア 志願者数及び入学者数の推移

※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

学校名	項　　目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　　考
盛岡工業	定員	280	280	280	280	280	280	280	
	一般志願者数	323	282	263	269	287	268	277	
	志願倍率	1.26	1.12	1.07	1.04	1.13	1.05	1.09	
	入学者数	279	274	273	268	280	280	280	
	過不足	-1	-6	-7	-12	0	0	0	
花北青雲	定員	40	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	30	46	35	26	33	36	40	
	志願倍率	0.86	1.28	0.97	0.7	0.87	1.03	1.11	
	入学者数	35	42	37	34	34	42	41	
	過不足	-5	2	-3	-6	-6	2	1	
黒沢尻工業	定員	240	240	240	240	240	240	240	
	一般志願者数	210	228	231	208	221	211	228	
	志願倍率	0.96	1.07	1.07	0.97	1.03	0.99	1.05	
	入学者数	205	225	215	226	237	222	228	
	過不足	-35	-15	-25	-14	-3	-18	-12	
水沢工業	定員	160	160	160	160	160	160	160	
	一般志願者数	139	139	120	158	136	139	157	
	志願倍率	0.97	0.95	0.79	1.08	0.93	0.97	1.08	
	入学者数	152	146	130	160	149	153	160	
	過不足	-8	-14	-30	0	-11	-7	0	
一関工業	定員	160	160	160	160	160	160	160	
	一般志願者数	154	134	154	140	141	149	166	
	志願倍率	1.01	0.89	1	0.93	0.95	1	1.11	
	入学者数	149	141	150	141	139	149	156	
	過不足	-11	-19	-10	-19	-21	-11	-4	
千厩	定員	40	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	37	37	41	40	28	33	35	
	志願倍率	1.03	1.06	1.03	1	0.72	0.89	0.95	
	入学者数	39	40	40	40	30	35	37	
	過不足	-1	0	0	0	-10	-5	-3	
大船渡東	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	71	64	58	68	68	50	64	
	志願倍率	0.92	0.9	0.75	0.94	0.85	0.64	0.8	
	入学者数	75	67	62	76	67	53	63	
	過不足	-5	-13	-18	-4	-13	-27	-17	
釜石商工	定員	120	120	120	120	120	120	120	
	一般志願者数	114	86	100	91	87	64	86	
	志願倍率	0.97	0.74	0.86	0.77	0.73	0.55	0.75	～H20釜石工業
	入学者数	117	91	105	91	80	63	85	
	過不足	-3	-29	-15	-29	-40	-57	-35	
宮古工業	定員	120	120	120	120	120	120	120	
	一般志願者数	98	85	101	72	79	77	86	
	志願倍率	0.86	0.75	0.87	0.62	0.67	0.67	0.72	
	入学者数	102	89	98	74	79	79	87	
	過不足	-18	-31	-22	-46	-41	-41	-33	
久慈工業	定員	120	120	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	86	70	77	57	58	34	42	
	志願倍率	0.75	0.6	1.01	0.77	0.79	0.47	0.53	～H22建設環境科１学級減
	入学者数	93	81	76	60	62	46	43	
	過不足	-27	-39	-4	-20	-18	-34	-37	
種市	定員	40	40	40	40	40	40	40	
	一般志願者数	17	14	37	33	32	18	24	
	志願倍率	0.46	0.39	0.97	0.92	0.86	0.51	0.63	
	入学者数	21	19	38	37	35	24	25	
	過不足	-19	-21	-2	-3	-5	-16	-15	
福岡工業	定員	80	80	80	80	80	80	80	
	一般志願者数	75	77	84	79	82	68	62	
	志願倍率	0.95	1.03	1.05	1.01	1.11	0.86	0.79	
	入学者数	74	78	80	80	81	67	62	
	過不足	-6	-2	0	0	1	-13	-18	
工業学科（全体）	定員	1,480	1,480	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	
	一般志願者数	1,354	1,262	1,301	1,241	1,252	1,147	1,267	
	志願倍率	0.98	0.92	0.97	0.92	0.93	0.86	0.94	
	入学者数	1,341	1,293	1,304	1,287	1,273	1,213	1,267	
	過不足	-139	-187	-136	-153	-167	-227	-173	

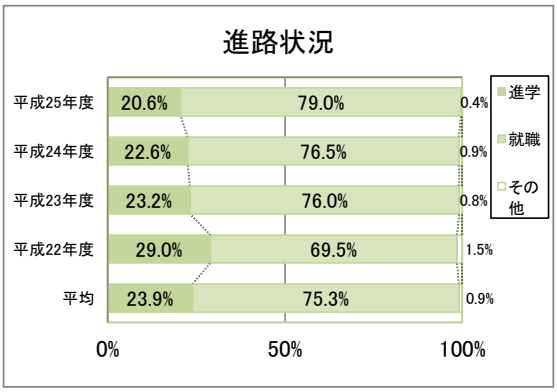
ア 志願者数及び入学者数の推移（つづき）

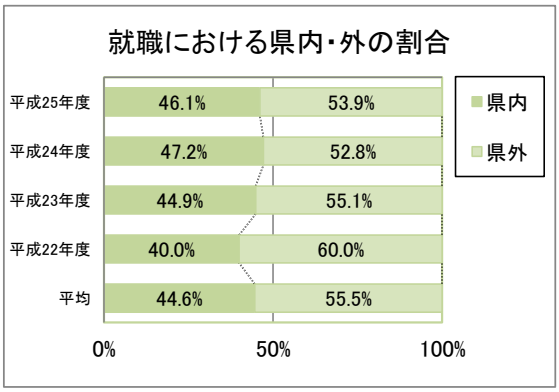


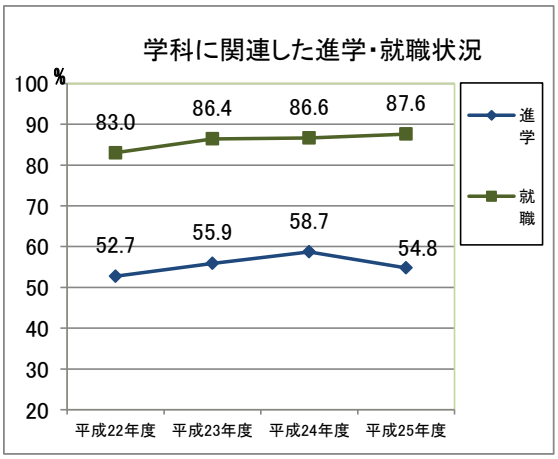


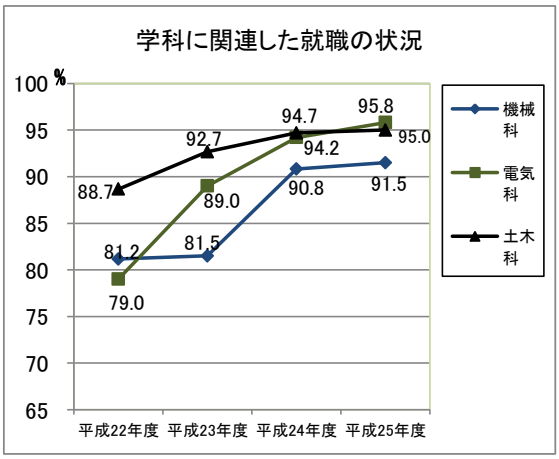
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
機械科	0.94	1.03	1.05	0.91	1.01
電気科	0.91	1.10	0.97	0.93	0.80
土木科	1.00	0.80	1.05	1.05	1.22

イ 進路状況









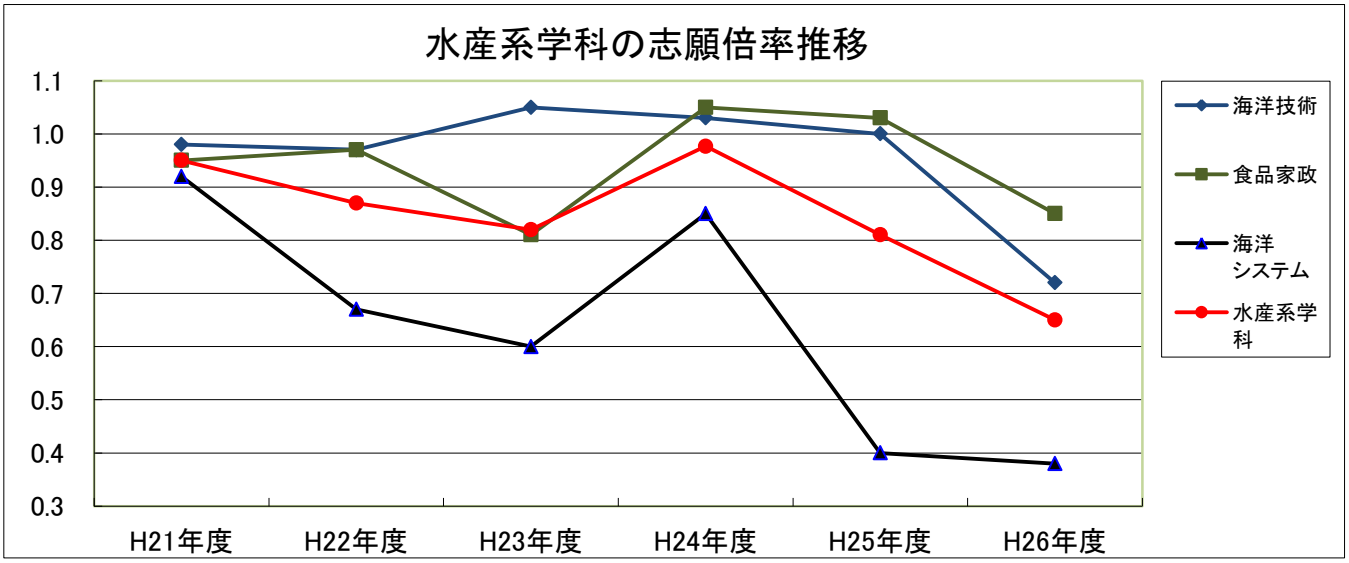
（4）水産系学科の現状

ア 志願者数及び入学者数の推移

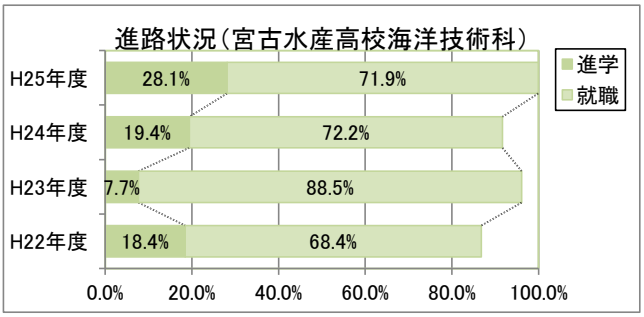
※志願倍率＝一般志願者数/（定員－推薦合格者数）

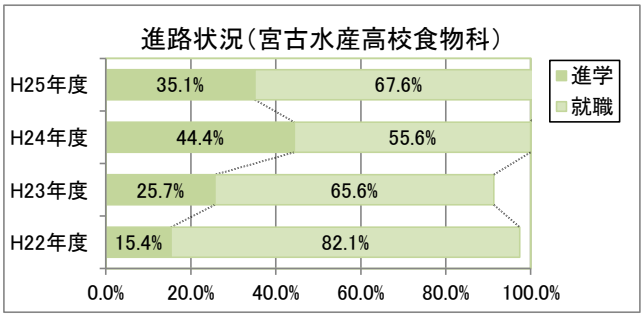
学校名	学科	項　　目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備　　考
宮古水産高校	海洋技術	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	39	38	41	41	38	28	
		志願倍率	0.98	0.97	1.05	1.03	1	0.72	
		入学者数	36	40	40	40	40	30	
		過不足	-4	0	0	0	0	-10	
宮古水産高校	食品家政	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	37	38	30	41	41	33	
		志願倍率	0.95	0.97	0.81	1.05	1.03	0.85	
		入学者数	38	40	35	40	41	35	
		過不足	-2	0	-5	0	1	-5	
宮古水産高校	食物	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	36	44	36	42	39	42	
		志願倍率	1	1.19	0.97	1.05	1.03	1.05	
		入学者数	39	40	39	40	39	40	
		過不足	-1	0	-1	0	-1	0	
高田高校	海洋システム	定員	40	40	40	40	40	40	
		一般志願者数	34	26	24	33	16	15	
		志願倍率	0.92	0.67	0.6	0.85	0.4	0.38	
		入学者数	36	28	25	34	15	16	
		過不足	-4	-12	-15	-6	-25	-24	
全体		定員	160	160	160	160	160	160	
		一般志願者数	146	146	131	157	134	118	
		志願倍率	0.96	0.95	0.86	1.00	0.87	0.75	
		入学者数	149	148	139	154	135	121	
		過不足	-11	-12	-21	-6	-25	-39	

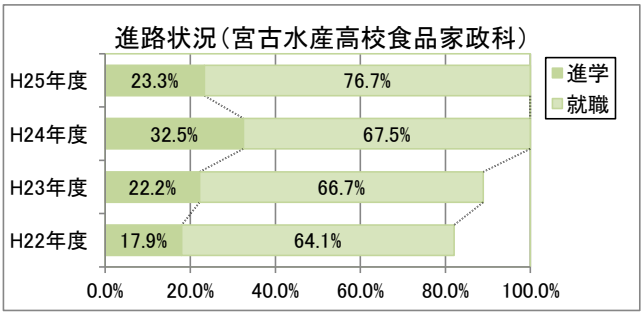
水産系学科		定員	120	120	120	120	120	120	
		一般志願者数	77	77	72	83	79	61	
		志願倍率	0.95	0.87	0.82	0.98	0.81	0.65	
		入学者数	110	108	100	114	96	81	
		過不足	-10	-12	-20	-6	-24	-39	

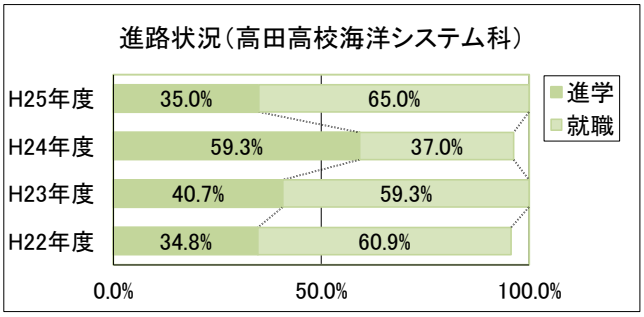


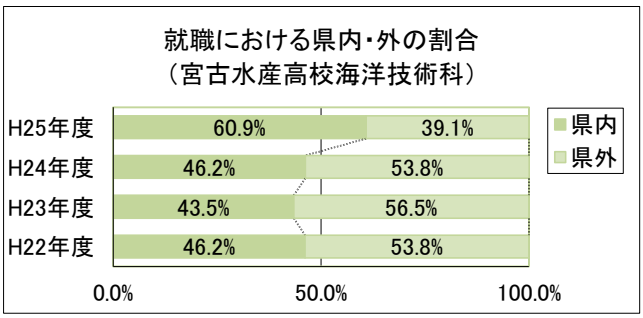
イ 進路状況

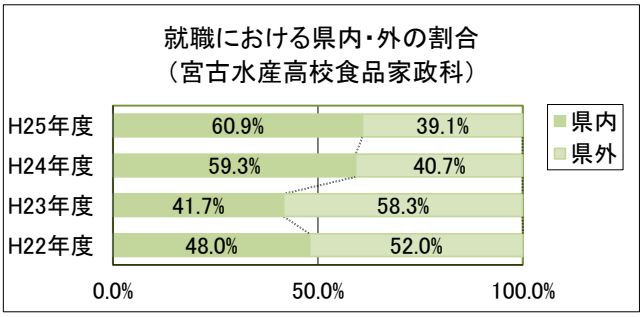

進路状況（宮古水産高校海洋技術科）
H25年度 28.1% 71.9%
H24年度 19.4% 72.2%
H23年度 7.7% 88.5%
H22年度 18.4% 68.4%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
進学
就職

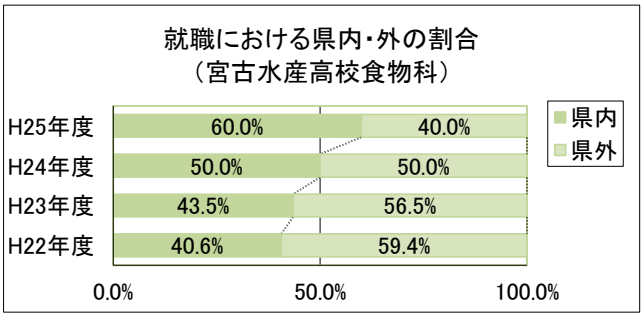

進路状況（宮古水産高校食物科）
H25年度 35.1% 67.6%
H24年度 44.4% 55.6%
H23年度 25.7% 65.6%
H22年度 15.4% 82.1%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
進学
就職

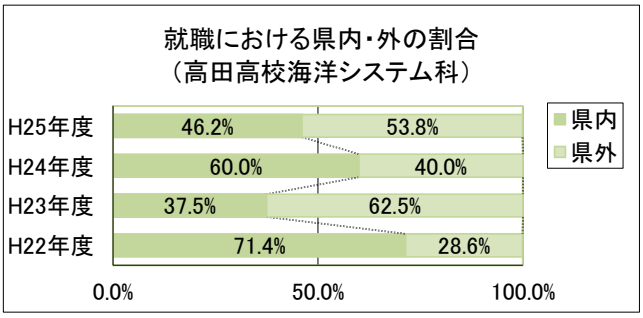

進路状況（宮古水産高校食品家政科）
H25年度 23.3% 76.7%
H24年度 32.5% 67.5%
H23年度 22.2% 66.7%
H22年度 17.9% 64.1%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
進学
就職

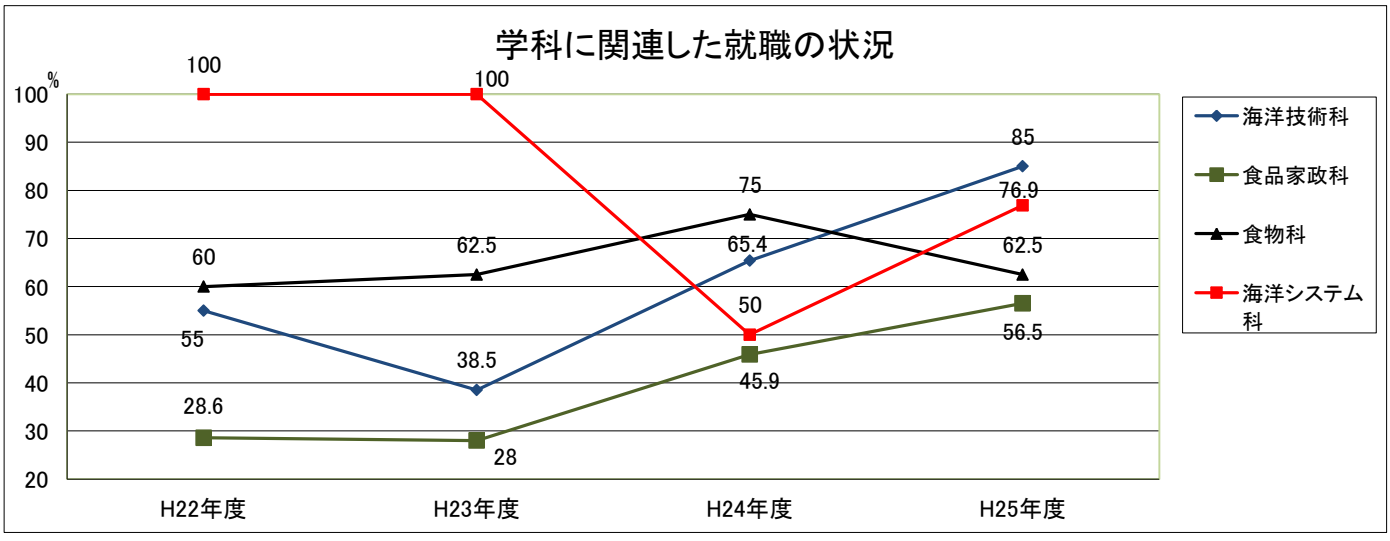

進路状況（高田高校海洋システム科）
H25年度 35.0% 65.0%
H24年度 59.3% 37.0%
H23年度 40.7% 59.3%
H22年度 34.8% 60.9%
0.0% 50.0% 100.0%
進学
就職


就職における県内・外の割合
（宮古水産高校海洋技術科）
H25年度 60.9% 39.1%
H24年度 46.2% 53.8%
H23年度 43.5% 56.5%
H22年度 46.2% 53.8%
0.0% 50.0% 100.0%
県内
県外


就職における県内・外の割合
（宮古水産高校食品家政科）
H25年度 60.9% 39.1%
H24年度 59.3% 40.7%
H23年度 41.7% 58.3%
H22年度 48.0% 52.0%
0.0% 50.0% 100.0%
県内
県外


就職における県内・外の割合
（宮古水産高校食物科）
H25年度 60.0% 40.0%
H24年度 50.0% 50.0%
H23年度 43.5% 56.5%
H22年度 40.6% 59.4%
0.0% 50.0% 100.0%
県内
県外


就職における県内・外の割合
（高田高校海洋システム科）
H25年度 46.2% 53.8%
H24年度 60.0% 40.0%
H23年度 37.5% 62.5%
H22年度 71.4% 28.6%
0.0% 50.0% 100.0%
県内
県外


学科に関連した就職の状況
100% 90 80 70 60 50 40 30 20
H22年度 H23年度 H24年度 H25年度
100 100 85
75 76.9
60 62.5 65.4 62.5
50
55 38.5 56.5
45.9
28.6 28
海洋技術科
食品家政科
食物科
海洋システム科

（5）生徒数及び教員数の推移

		H20	H25	増減	備考
学校数（本･分校）	全日制	67	64	▲３	
	定時制	10	9	▲１	
	通信制	1	1	―	
学　級　数	全日制	860	785	▲75	募集学級数を基準とする
	定時制	53	56	3	
生　徒　数		34,753	29,992	▲4,761 (▲13.7%)	
教　諭		2,246	2,030	▲216 (▲9.6%)	
常　勤　講　師		175	222	47 (26.9%)	産育休補充、病休補充等を除く

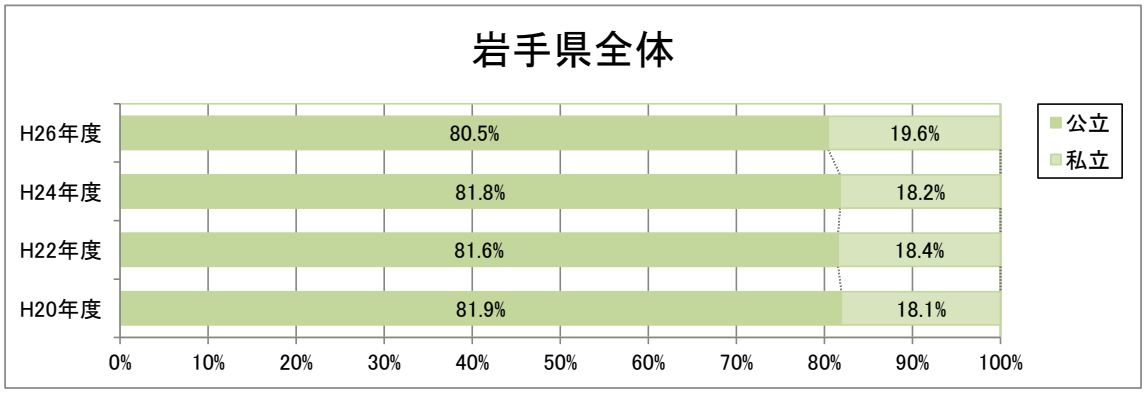
（6）普通科における学区外志願者の状況

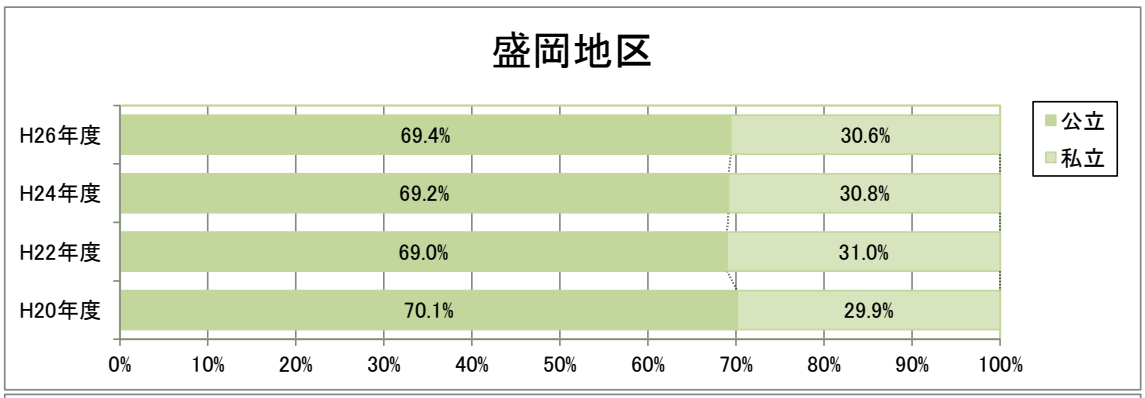
※普通科（理数科を含む）

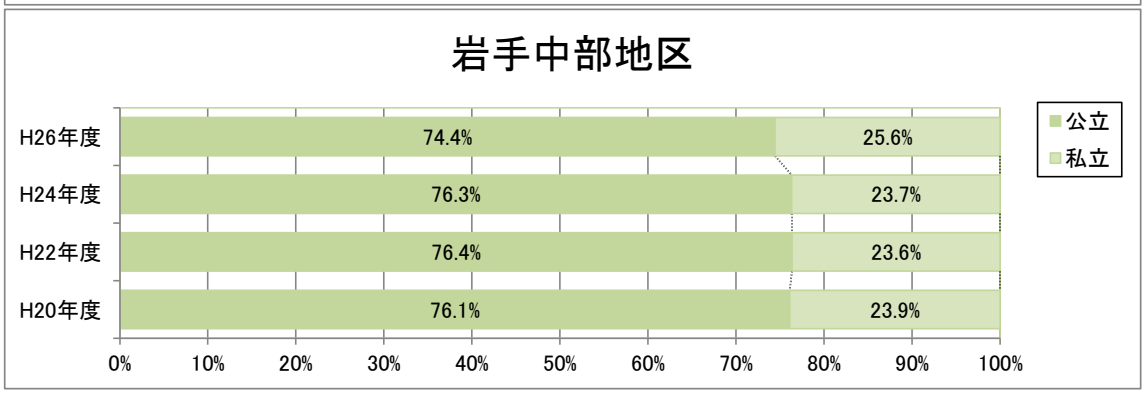
学区	学　校　名	H22		H26	
		定員	一般入試学区外志　願　者　数	定員	一般入試学区外志　願　者　数
盛岡学区	盛岡一（普通･理数）	320	35	280	31
	盛岡二	200	5	200	5
	盛岡三	320	18	280	38
	盛岡四	280	6	280	12
	盛岡北	240	2	240	6
	盛岡南	200	4	160	3
	不来方（人文理数系）	160	8	160	11
	沼宮内	80	1	80	0
	葛巻	80	5	80	7
	平舘	80	0	80	0
	雫石	80	0	80	0
	盛岡学区　計	**2,040**	**84**	**1,920**	**113**
岩手中部学区	花巻北	280	9	240	8
	花巻南（人文自然）	120	3	120	1
	大迫	40	0	40	0
	黒沢尻北	280	21	240	20
	西和賀	40	0	40	0
	岩手中部学区　計	**760**	**33**	**680**	**29**
胆江学区	水沢（普通･理数）	280	2	240	1
	前沢	120	3	80	3
	金ケ崎	120	1	120	1
	胆江学区　計	**520**	**6**	**440**	**5**
両磐学区	一関一（普通・理数）	240	15	240	9
	花泉	80	0	80	0
	大東	120	0	120	0
	千厩	160	0	120	0
	両磐学区　計	**600**	**15**	**560**	**9**
気仙・釜石学区	高田	160	1	160	0
	大船渡	240	0	200	0
	住田	80	0	40	0
	釜石（普通･理数）	200	4	200	5
	遠野	160	15	160	11
	大槌	120	2	120	1
	気仙・釜石学区　計	**960**	**22**	**880**	**17**
宮古学区	山田	80	1	80	0
	宮古	240	0	240	1
	宮古北	80	0	40	0
	岩泉	80	0	80	2
	宮古学区　計	**480**	**1**	**440**	**3**
久慈学区	久慈	200	1	200	2
	種市	80	0	80	0
	大野	80	0	80	1
	久慈学区　計	**360**	**1**	**360**	**3**
二戸学区	軽米	120	0	80	0
	伊保内	80	0	80	0
	福岡	200	0	200	1
	浄法寺	40	1	**募集停止**	
	二戸学区　計	**440**	**1**	**360**	**1**
	総計	**6,160**	**163**	**5,640**	**180**

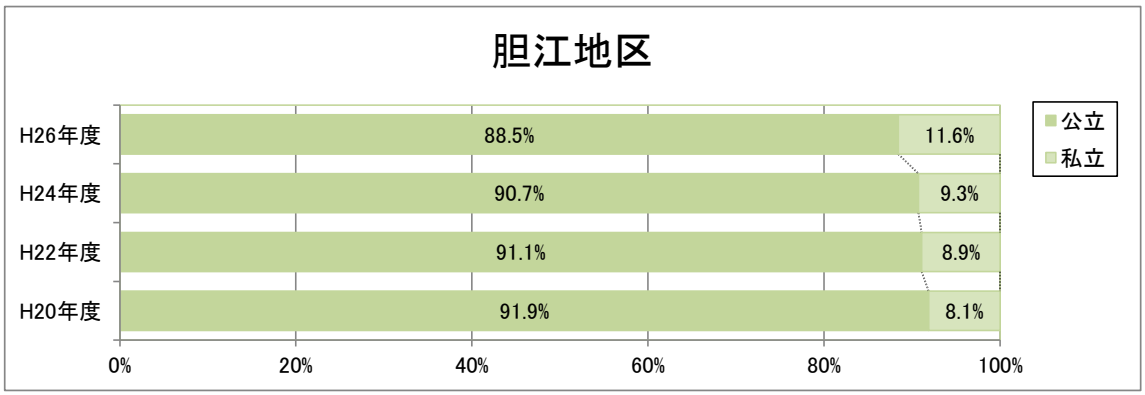
注）普通科(学区あり)と理数科（全県１学区）を併置する学校（盛岡一、水沢、一関一、釜石）は、くくり募集（入試時点では学科を分けずに一括して募集、選抜する）を行っているため、理数科の定員（40名）に普通科の定員の10%を合計した人数が、学区外からの入学者数の上限となっているものである。
　例えば、H26盛岡一（普通・理数）の学区外の入学者数の上限は64名である。

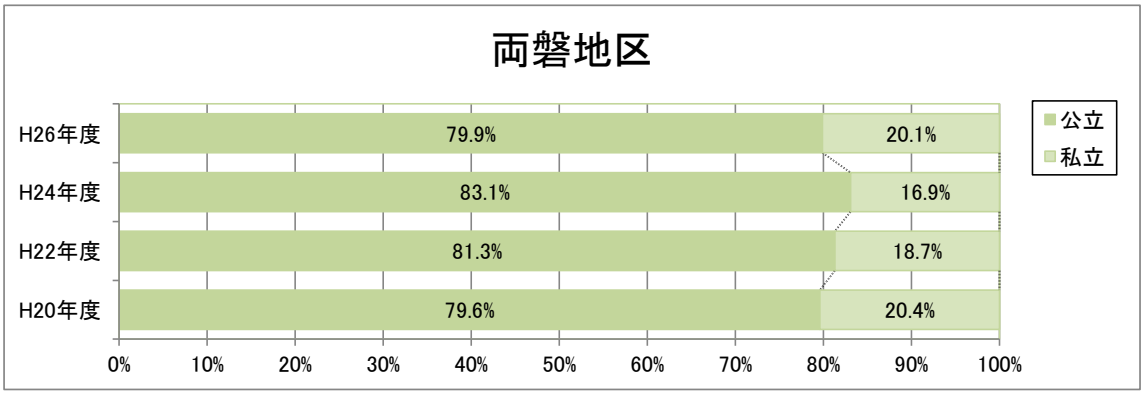
（7）高校入学者の公私比率の状況











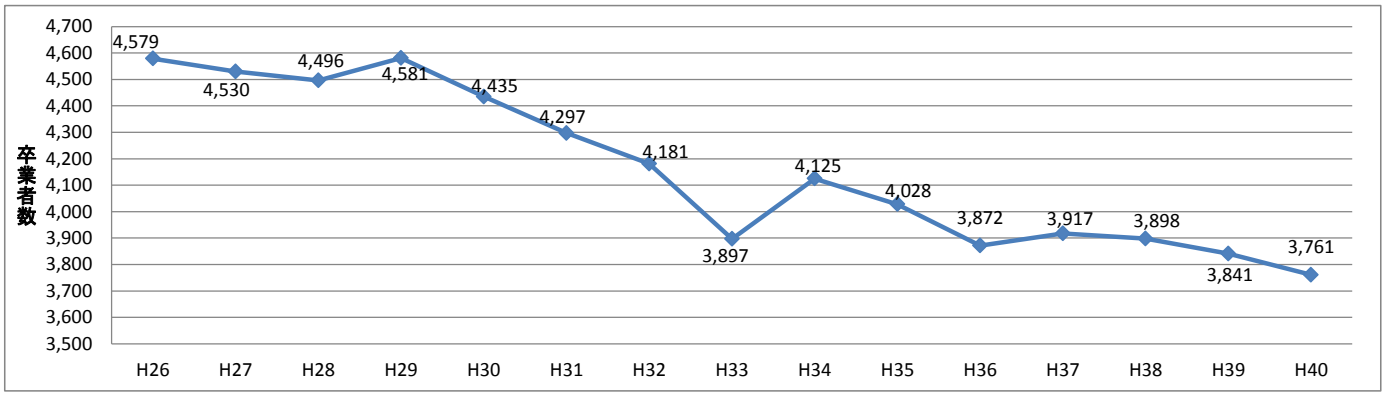
4 参考　ブロック別懇談会資料

（1）ブロック別の現状について

［盛岡ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
盛　岡	4,579	4,530	4,496	4,581	4,435	4,297	4,181	3,897	4,125	4,028	3,872	3,917	3,898	3,841	3,761
		-49	-34	85	-146	-138	-116	-284	228	-97	-156	45	-19	-57	-80
ブロック計		-49	-83	2	-144	-282	-398	-682	-454	-551	-707	-662	-681	-738	-818
盛岡市	2,834	2,741	2,762	2,778	2,753	2,676	2,623	2,414	2,613	2,527	2,458	2,520	2,490	2,519	2,511
		-93	21	16	-25	-77	-53	-209	199	-86	-69	62	-30	29	-8
		-93	-72	-56	-81	-158	-211	-420	-221	-307	-376	-314	-344	-315	-323
雫石町	147	169	151	154	146	131	133	121	125	125	119	120	118	102	96
		22	-18	3	-8	-15	2	-12	4	0	-6	1	-2	-16	-6
		22	4	7	-1	-16	-14	-26	-22	-22	-28	-27	-29	-45	-51
滝沢市	529	538	570	581	585	570	539	501	534	557	531	544	542	512	488
		9	32	11	4	-15	-31	-38	33	23	-26	13	-2	-30	-24
		9	41	52	56	41	10	-28	5	28	2	15	13	-17	-41
紫波町	348	346	353	380	314	318	301	293	299	272	277	261	255	238	228
		-2	7	27	-66	4	-17	-8	6	-27	5	-16	-6	-17	-10
		-2	5	32	-34	-30	-47	-55	-49	-76	-71	-87	-93	-110	-120
矢巾町	299	309	295	307	253	262	259	240	247	241	222	209	211	198	189
		10	-14	12	-54	9	-3	-19	7	-6	-19	-13	2	-13	-9
		10	-4	8	-46	-37	-40	-59	-52	-58	-77	-90	-88	-101	-110
八幡平市	231	265	197	218	212	199	177	183	175	175	150	150	164	163	148
		34	-68	21	-6	-13	-22	6	-8	0	-25	0	14	-1	-15
		34	-34	-13	-19	-32	-54	-48	-56	-56	-81	-81	-67	-68	-83
葛巻町	50	50	49	39	45	32	32	43	28	36	32	36	41	36	31
		0	-1	-10	6	-13	0	11	-15	8	-4	4	5	-5	-5
		0	-1	-11	-5	-18	-18	-7	-22	-14	-18	-14	-9	-14	-19
岩手町	141	112	119	124	127	109	117	102	104	95	83	77	77	73	70
		-29	7	5	3	-18	8	-15	2	-9	-12	-6	0	-4	-3
		-29	-22	-17	-14	-32	-24	-39	-37	-46	-58	-64	-64	-68	-71
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
盛岡	盛岡第一	普・理	7	84	81 (▲3)	70 (▲14)	68 (▲16)
	盛岡第二	普	5				
	盛岡第三	普	7				
	盛岡第四	普	7				
	盛岡北	普	6				
	盛岡南	普・体	6				
	不来方	普	7				
	盛岡農	農	5				
	盛岡工	工	7				
	盛岡商	商	6				
	沼宮内	普	2				
	葛巻	普	2				
	平舘	普・家	3				
	雫石	普	2				
	紫波総合	総	5				
	盛岡市立	普・商	7				

［学科の割合］
普通科系 69.0%
専門学科 25.0%
総合学科 6.0%

※　　は普通科系

※　　は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数（H26年度）

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
盛岡一	普通・理数	280	283	3	316
盛岡二	普通	200	204	4	254
盛岡三	普通	280	285	5	430
盛岡四	普通	280	282	2	387
盛岡北	普通	240	241	1	280
盛岡南	普通	160	161	1	198
	体育ｺｰｽ	40	41	1	61
	体育	40	40	0	44
不来方	人文・理数	160	164	4	248
	芸術	40	40	0	67
	外国語	40	40	0	73
	体育	40	40	0	54
盛岡農	植物科学	40	40	0	37
	動物科学	40	42	2	65
	食品科学	40	40	0	44
	人間科学	40	42	2	45
	環境科学	40	40	0	39
盛岡工	機械	40	40	0	45
	電気	40	40	0	37
	電子情報	40	40	0	50
	電子機械	40	40	0	42
	工業化学	40	40	0	30
	土木	40	41	1	52
	建築・デザイン	40	40	0	49
盛岡商	流通ﾋﾞｼﾞﾈｽ	80	81	1	149
	会計ビジネス	80	80	0	121
	情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ	80	80	0	90
沼宮内	普通	80	54	▲ 26	56
葛　巻	普通	80	38	▲ 42	38
平　舘	普通	80	66	▲ 14	66
	家政科学	40	18	▲ 22	18
雫　石	普通	80	52	▲ 28	53
紫波総合	総合	200	200	0	203
盛岡市立	特別進学コース	35	37	2	51
	普通	160	164	4	200
	商業	80	80	0	87
合　計		3,355	3,256	▲ 99	4,079

【定時制】

学　校	学　科	定　員		合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
杜　陵	普通	1･2部	120	47	▲ 73	60
		3部	40	4	▲ 36	4
盛岡工	工業		40	2	▲ 38	2
合　計			200	53	▲ 147	66

［参考］

盛岡ブロックの私立高校の募集定員（H26）

学校	学科	定員
岩手	普通	200
岩手女子	普通	120
	看護	60
	福祉教養	40
盛岡白百合	普通	240
江南義塾盛岡	普通	45
	情報処理	45
盛岡大学附属	普通	150
盛岡スコーレ	総合	200
盛岡中央	普通	240
盛岡誠桜	普通	225
	商業	
	家政	
	食物調理	
合計		1,565

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

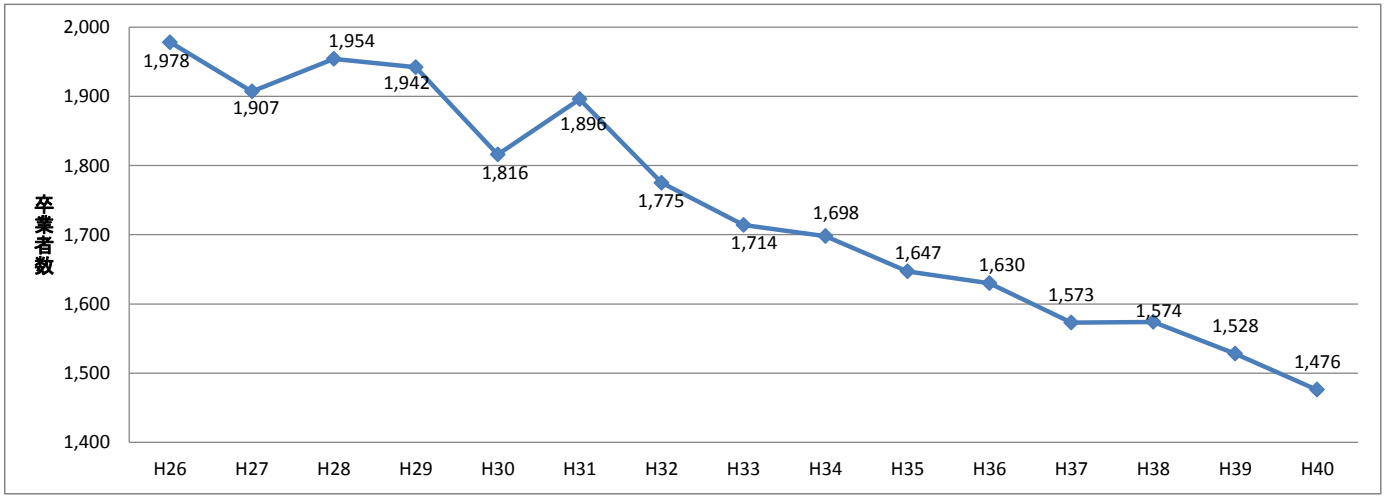
年　度	内　容
H16	紫波高校（６学級）を改編し、総合学科校の紫波総合高校（６学級）とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［岩手中部ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
岩手中部	1,978	1,907	1,954	1,942	1,816	1,896	1,775	1,714	1,698	1,647	1,630	1,573	1,574	1,528	1,476
		−71	47	−12	−126	80	−121	−61	−16	−51	−17	−57	1	−46	−52
ブロック計		−71	−24	−36	−162	−82	−203	−264	−280	−331	−348	−405	−404	−450	−502
花巻市	985	922	960	908	892	901	867	823	786	742	750	702	730	701	656
		−63	38	−52	−16	9	−34	−44	−37	−44	8	−48	28	−29	−45
		−63	−25	−77	−93	−84	−118	−162	−199	−243	−235	−283	−255	−284	−329
北上市	939	944	949	995	884	969	868	854	874	877	854	840	816	802	792
		5	5	46	−111	85	−101	−14	20	3	−23	−14	−24	−14	−10
		5	10	56	−55	30	−71	−85	−65	−62	−85	−99	−123	−137	−147
西和賀町	54	41	45	39	40	26	40	37	38	28	26	31	28	25	28
		−13	4	−6	1	−14	14	−3	1	−10	−2	5	−3	−3	3
		−13	−9	−15	−14	−28	−14	−17	−16	−26	−28	−23	−26	−29	−26
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
岩手中部	花巻北	普	6	39 ［学科の割合］普通科系 51.3% 専門学科 33.3% 総合学科 15.4%	38 (▲1)	33 (▲6)	31 (▲8)
	花巻南	普	5				
	花巻農	農	3				
	花北青雲	工・商・家	4				
	大迫	普	1				
	黒沢尻北	普	6				
	北上翔南	総	6				
	黒沢尻工	工	6				
	西和賀	普	2				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数(H26年度)

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
花巻北	普通	240	241	1	244
花巻南	人文科学・自然科学	120	121	1	131
	ｽﾎﾟｰﾂ健康科学	40	41	1	43
	国際科学	40	38	▲ 2	37
花巻農	生物科学	40	42	2	43
	環境科学	40	40		42
	食農科学	40	42	2	43
花北青雲	情報工学	40	41	1	44
	ﾋﾞｼﾞﾈｽ情報	80	84	4	108
	総合生活	40	42	2	54
大　迫	普通	40	23	▲ 17	27
黒沢尻北	普通	240	240		264
北上翔南	総合	240	229	▲ 11	229
黒沢尻工	機械	40	40		49
	電気	40	31	▲ 9	32
	電子	40	37	▲ 3	30
	電子機械	40	40		43
	土木	40	40		41
	材料技術	40	40		55
西和賀	普通	40	29	▲ 11	31
	福祉・情報ｺｰｽ	40	21	▲ 19	22
合　計		1,560	1,502	▲ 58	1,612

[参考]

岩手中部ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
花巻東	普通	240
専修大学北上	普通	230
	商業	120
	自動車	40
合計		630

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

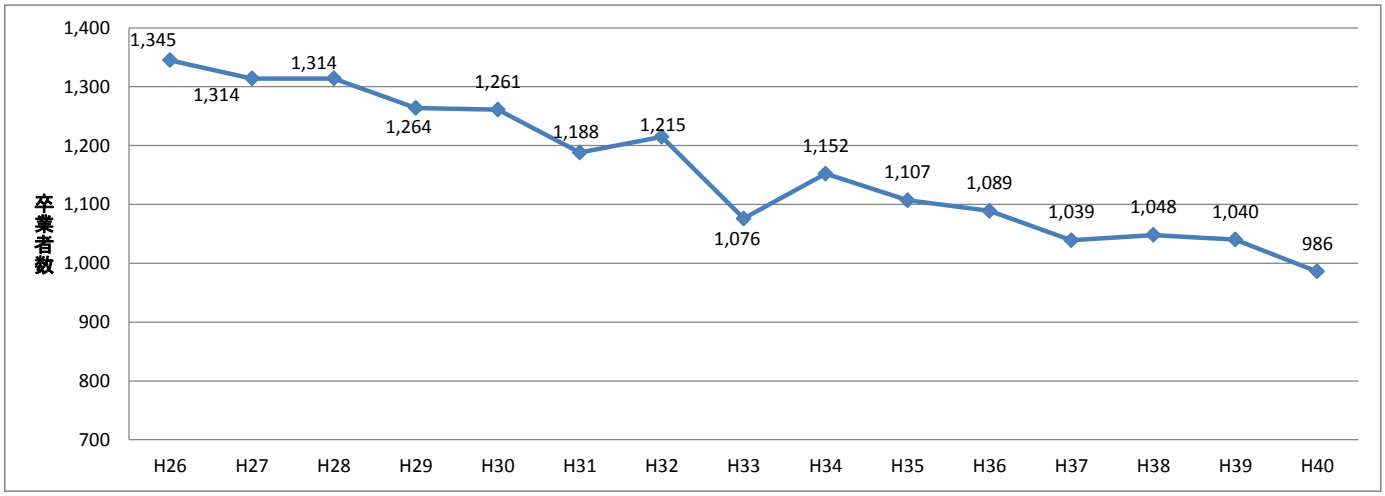
年　度	内　容
H14	花巻南高校（６学級）を改編し、総合選択制高校とする。
H15	花北商業高校（３学級）を総合的な専門高校に改編し、花北青雲高校（４学級）とする。
H15	花巻農業高校（５学級）と、北上農業高校（２学級）を統合し、花巻農業高校（３学級）とする。
H16	黒沢尻南高校（５学級）を改編し、総合学科校の北上翔南高校（６学級）とする。
H20	花巻北高校（７学級）を東和高校（２学級）と統合し、花巻北高校（７学級）とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［胆江ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
胆　江	1,345	1,314	1,314	1,264	1,261	1,188	1,215	1,076	1,152	1,107	1,089	1,039	1,048	1,040	986
		−31	0	−50	−3	−73	27	−139	76	−45	−18	−50	9	−8	−54
ブロック計		−31	−31	−81	−84	−157	−130	−269	−193	−238	−256	−306	−297	−305	−359
奥州市	1,187	1,176	1,159	1,105	1,105	1,036	1,059	933	1,014	965	957	907	921	912	861
		−11	−17	−54	0	−69	23	−126	81	−49	−8	−50	14	−9	−51
		−11	−28	−82	−82	−151	−128	−254	−173	−222	−230	−280	−266	−275	−326
金ヶ崎町	158	138	155	159	156	152	156	143	138	142	132	132	127	128	125
		−20	17	4	−3	−4	4	−13	−5	4	−10	0	−5	1	−3
		−20	−3	1	−2	−6	−2	−15	−20	−16	−26	−26	−31	−30	−33
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
胆江	水沢	普・理	6	26 ［学科の割合］ 普通科系 42.3% 専門学科 38.5% 総合学科 19.2%	24 （▲2）	20 （▲6）	20 （▲6）
	水沢農	農	3				
	水沢工	工	4				
	水沢商	商	3				
	前沢	普	2				
	金ケ崎	普	3				
	岩谷堂	総	5				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数(H26年度)

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
水　　沢	普通・理数	240	246	6	268
水 沢 農	農業科学	40	37	▲ 3	40
	環境工学	40	30	▲ 10	31
	生活科学	40	31	▲ 9	31
水 沢 工	機械	40	40		48
	電気	40	40		38
	設備ｼｽﾃﾑ	40	40		43
	インテリア	40	40		44
水 沢 商	商業	40	41	1	55
	会計ﾋﾞｼﾞﾈｽ	40	41	1	48
	情報ｼｽﾃﾑ	40	41	1	46
前　　沢	普通	80	59	▲ 21	61
金 ケ 崎	普通	120	120		137
岩 谷 堂	総合	200	183	▲ 17	185
合　　計		1,040	989	▲ 51	1,075

【定時制】

学　校	学　科	定　員			合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
杜　　陵 奥 州 校	普通	前　期	昼間部	40	32	▲ 8	35
			夜間部	40	6	▲ 34	5

[参考]

胆江ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
協和学院 水沢第一	普通	105
	調理	35
合計		140

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

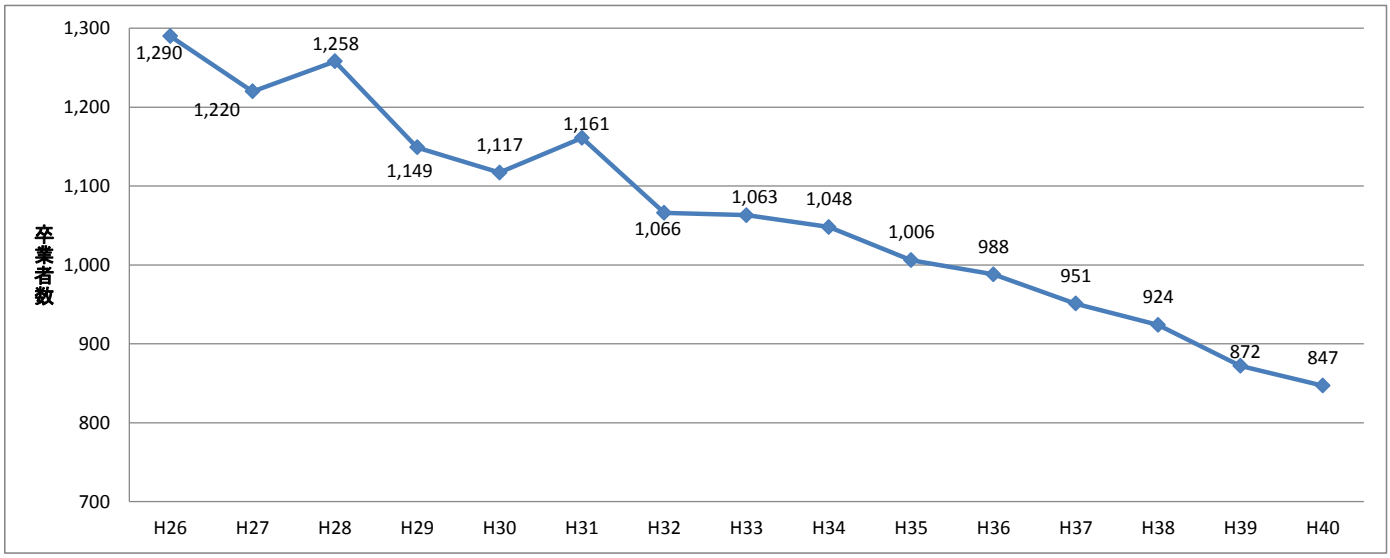
年　度	内　容
H20	水沢高校（７学級）と、胆沢高校（１学級）を統合し、水沢高校（７学級）とする。
H21	岩谷堂高校（５学級）と、岩谷堂農林高校（２学級）を統合し、岩谷堂高校（６学級）とする。
H21	杜陵高校奥州校（２学級）を、多部制・単位制高校とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［両磐ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
両　磐	1，290	1，220	1，258	1，149	1，117	1，161	1，066	1，063	1，048	1，006	988	951	924	872	847
		−70	38	−109	−32	44	−95	−3	−15	−42	−18	−37	−27	−52	−25
ブロック計		−70	−32	−141	−173	−129	−224	−227	−242	−284	−302	−339	−366	−418	−443
一関市	1，221	1，148	1，189	1，088	1，059	1098	992	995	984	946	926	895	876	827	795
		−73	41	−101	−29	39	−106	3	−11	−38	−20	−31	−19	−49	−32
		−73	−32	−133	−162	−123	−229	−226	−237	−275	−295	−326	−345	−394	−426
平泉町	69	72	69	61	58	63	74	68	64	60	62	56	48	45	52
		3	−3	−8	−3	5	11	−6	−4	−4	2	−6	−8	−3	7
		3	0	−8	−11	−6	5	−1	−5	−9	−7	−13	−21	−24	−17
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
両磐	一関第一	普・理	6	27 ［学科の割合］ 普通科系 51.9% 専門学科 25.9% 総合学科 22.2%	23 (▲4)	21 (▲6)	19 (▲8)
	一関第二	総	6				
	一関工	工	4				
	花泉	普	2				
	大東	普・商	4				
	千厩	普・農・工	5				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数(H26年度)

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
一　関　一	普通・理数	240	241	1	179
一　関　二	総合	240	241	1	276
一関工業	電気	40	38	▲ 2	35
	電子	40	38	▲ 2	37
	電子機械	40	40		50
	土木	40	40		51
花　　泉	普通	80	30	▲ 50	30
大　　東	普通	120	115	▲ 5	115
	情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ	40	28	▲ 12	30
千　　厩	普通	120	118	▲ 2	117
	生産技術	40	42	2	44
	産業技術	40	37	▲ 3	37
合　　計		1,080	1,008	▲ 72	1,001

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
一　関　一	普通	40	3	▲ 37	3

[参考]

両磐ブロックの私立高校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
一関学院	普通	280
一関修紅	普通	200
	生活教養	40
合　　計		520

国立高等専門学校の募集定員(H26)

学校	学科	定員
一関高専	機械工学、電気情報工学、制御情報工学、物質化学工学	160

県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

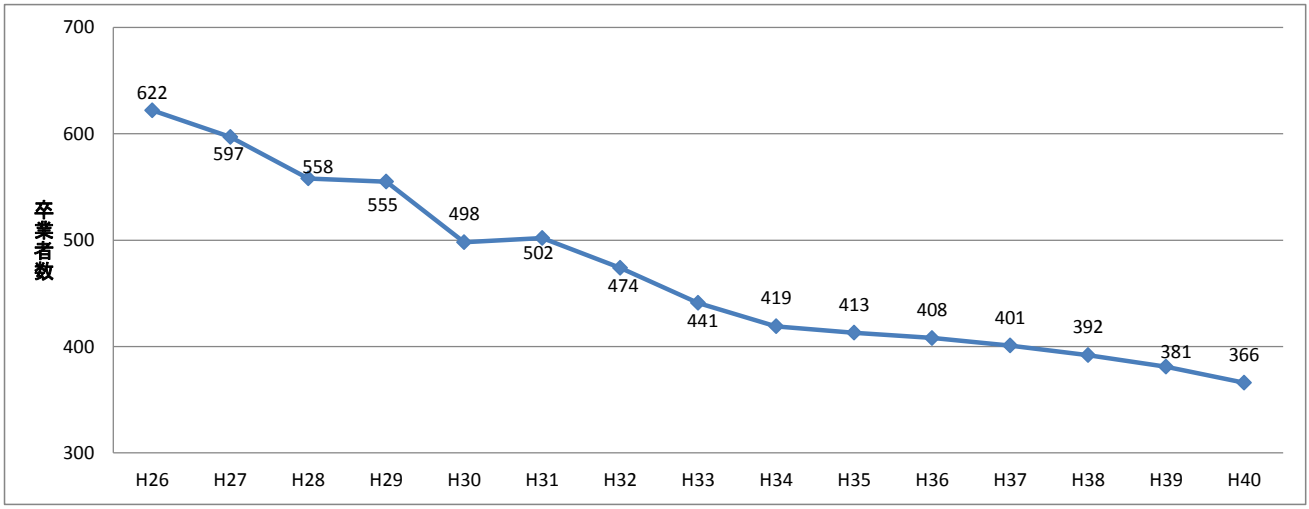
年度	内　容
H14	千厩高校（４学級）と、千厩東高校（３学級）を統合し、千厩高校（７学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H16	一関第二高校（５学級）と、一関農業高校（２学級）を統合し、一関第二高校（６学級）を総合学科校とする。
H18	大東高校（４学級）と、大原商業高校（２学級）を統合し、大東高校（５学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H18	千厩高校（６学級）と、藤沢高校（２学級）を統合し、千厩高校（６学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H21	一関第一高校（６学級）に一関第一高校附属中学校（２学級）を設置し、併設型中高一貫教育校とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［気仙ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
気　仙	622	597	558	555	498	502	474	441	419	413	408	401	392	381	366
		−25	−39	−3	−57	4	−28	−33	−22	−6	−5	−7	−9	−11	−15
ブロック計		−25	−64	−67	−124	−120	−148	−181	−203	−209	−214	−221	−230	−241	−256
大船渡市	388	375	317	337	290	291	289	255	269	255	243	254	260	262	247
		−13	−58	20	−47	1	−2	−34	14	−14	−12	11	6	2	−15
		−13	−71	−51	−98	−97	−99	−133	−119	−133	−145	−134	−128	−126	−141
陸前高田市	177	188	193	182	167	174	148	138	125	123	127	112	99	93	95
		11	5	−11	−15	7	−26	−10	−13	−2	4	−15	−13	−6	2
		11	16	5	−10	−3	−29	−39	−52	−54	−50	−65	−78	−84	−82
住田町	57	34	48	36	41	37	37	48	25	35	38	35	33	26	24
		−23	14	−12	5	−4	0	11	−23	10	3	−3	−2	−7	−2
		−23	−9	−21	−16	−20	−20	−9	−32	−22	−19	−22	−24	−31	−33
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
気仙	高田	普・水	5	16 ［学科の割合］ 普通科系 62.5% 専門学科 37.5% 総合学科 0.0%	13 （▲3）	10 （▲6）	9 （▲7）
	大船渡	普	5				
	大船渡東	農・工・商・家	5				
	住田	普	1				

※ □ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数（H26年度）

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
高　　田	普通	160	147	▲ 13	149
	海洋システム	40	16	▲ 24	16
大 船 渡	普通	200	185	▲ 15	186
大船渡東	農芸科学	40	29	▲ 11	32
	機械	40	33	▲ 7	33
	電気電子	40	30	▲ 10	31
	情報処理	40	24	▲ 16	24
	食物文化	40	35	▲ 5	36
住　　田	普通	40	39	▲ 1	40
合　　計		640	538	▲ 102	547

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
大 船 渡	普通	40	4	▲ 36	5

[参考]

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

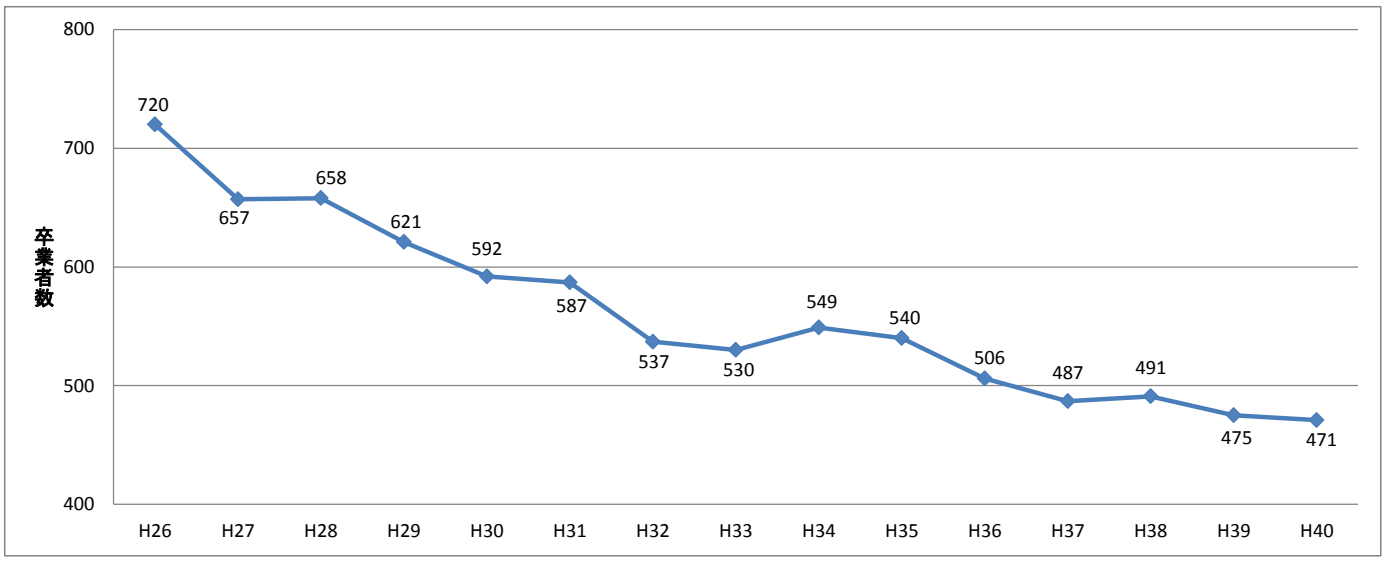
年　度	内　容
H20	高田高校（普通３学級）と広田水産高校（水産１学級）を統合し、高田高校（５学級）を普通科・専門学科併置校とする。
H20	大船渡農業高校（２学級）、大船渡工業高校（３学級）、高田高校（情報１学級）、広田水産高校（家政１学級）を統合し、大船渡東高校（５学級）を総合的な専門高校とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［釜石・遠野ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
釜石・遠野	720	657	658	621	592	587	537	530	549	540	506	487	491	475	471
		−63	1	−37	−29	−5	−50	−7	19	−9	−34	−19	4	−16	−4
ブロック計		−63	−62	−99	−128	−133	−183	−190	−171	−180	−214	−233	−229	−245	−249
遠野市	246	252	221	233	229	229	217	196	246	193	191	189	188	185	186
		6	−31	12	−4	0	−12	−21	50	−53	−2	−2	−1	−3	1
		6	−25	−13	−17	−17	−29	−50	0	−53	−55	−57	−58	−61	−60
釜石市	337	296	330	278	262	276	243	254	221	262	241	231	231	222	215
		−41	34	−52	−16	14	−33	11	−33	41	−21	−10	0	−9	−7
		−41	−7	−59	−75	−61	−94	−83	−116	−75	−96	−106	−106	−115	−122
大槌町	137	109	107	110	101	82	78	80	82	85	74	67	72	68	70
		−28	−2	3	−9	−19	−4	2	2	3	−11	−7	5	−4	2
		−28	−30	−27	−36	−55	−59	−57	−55	−52	−63	−70	−65	−69	−67
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
釜石・遠野	釜石	普・理	5	19 ［学科の割合］ 普通科系 63.2% 専門学科 36.8% 総合学科 0.0%	14 (▲5)	12 (▲7)	11 (▲8)
	釜石商工	商・工	5				
	遠野	普	4				
	遠野緑峰	農・商	2				
	大槌	普	3				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数（H26年度）

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
釜　　石	普通・理数	200	187	▲ 13	187
釜石商工	機械・電子機械	80	65	▲ 15	69
	電気電子	40	20	▲ 20	22
	総合情報	80	53	▲ 27	53
遠　　野	普通	160	151	▲ 9	151
遠野緑峰	生産技術	40	36	▲ 4	36
	情報処理	40	19	▲ 21	19
大　　槌	普通	120	85	▲ 35	86
合　　計		760	616	▲ 144	623

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
釜　　石	普通	40	7	▲ 33	9

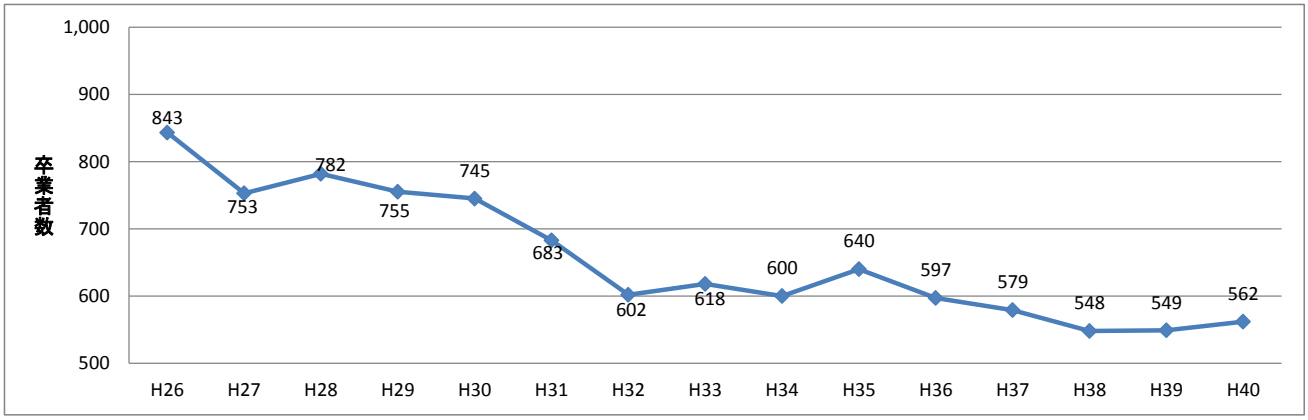
[参考]

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

年　度	内　容
H20	釜石南高校（５学級）と釜石北高校（２学級）を統合し、釜石高校（６学級）とする。
H20	遠野高校（４学級）、遠野情報ビジネス校（１学級）を統合し、遠野高校（５学級）とする。
H20	釜石工業高校（３学級）と釜石商業高校（２学級）を統合し、釜石商工高校（５学級）を総合的な専門高校とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）
［宮古ブロック］
1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
宮　古	843	753	782	755	745	683	602	618	600	640	597	579	548	549	562
		−90	29	−27	−10	−62	−81	16	−18	40	−43	−18	−31	1	13
ブロック計		−90	−61	−88	−98	−160	−241	−225	−243	−203	−246	−264	−295	−294	−281
宮古市	542	491	520	481	478	449	405	408	418	431	411	393	363	372	377
		−51	29	−39	−3	−29	−44	3	10	13	−20	−18	−30	9	5
		−51	−22	−61	−64	−93	−137	−134	−124	−111	−131	−149	−179	−170	−165
山田町	185	160	154	152	153	128	114	114	100	111	106	109	102	93	98
		−25	−6	−2	1	−25	−14	0	−14	11	−5	3	−7	−9	5
		−25	−31	−33	−32	−57	−71	−71	−85	−74	−79	−76	−83	−92	−87
岩泉町	72	71	79	82	88	82	57	73	57	71	53	54	57	59	62
		−1	8	3	6	−6	−25	16	−16	14	−18	1	3	2	3
		−1	7	10	16	10	−15	1	−15	−1	−19	−18	−15	−13	−10
田野畑村	44	31	29	40	26	24	26	23	25	27	27	23	26	25	25
		−13	−2	11	−14	−2	2	−3	2	2	0	−4	3	−1	0
		−13	−15	−4	−18	−20	−18	−21	−19	−17	−17	−21	−18	−19	−19
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
宮古	山田	普	2	21 ［学科の割合］ 普通科系 52.4% 専門学科 47.6% 総合学科 0.0%	16 （▲5）	14 （▲7）	12 （▲9）
	宮古	普	6				
	宮古北	普	1				
	宮古工	工	3				
	宮古商	商	4				
	宮古水	水・家	3				
	岩泉	普	2				

※ □ は普通科系

※ ▨ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。
※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。
※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。
※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

３ 合格者数･総受検者数(H26年度)

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
山　　田	普通	80	50	▲ 30	55
宮　　古	普通	240	243	3	255
宮 古 北	普通	40	19	▲ 21	20
宮 古 工	機械	40	30	▲ 10	30
	電気電子	40	23	▲ 17	24
	建築設備	40	34	▲ 6	34
宮 古 商	商業	40	35	▲ 5	33
	会計	40	40	0	36
	流通経済	40	40	0	47
	情報	40	33	▲ 7	32
宮古水産	海洋技術	40	30	▲ 10	30
	食品家政	40	35	▲ 5	34
	食物	40	40	0	42
岩　　泉	普通	80	42	▲ 38	42
合　　計		840	694	▲ 146	714

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
宮　　古	普通	40	7	▲ 33	8

[参考]

県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

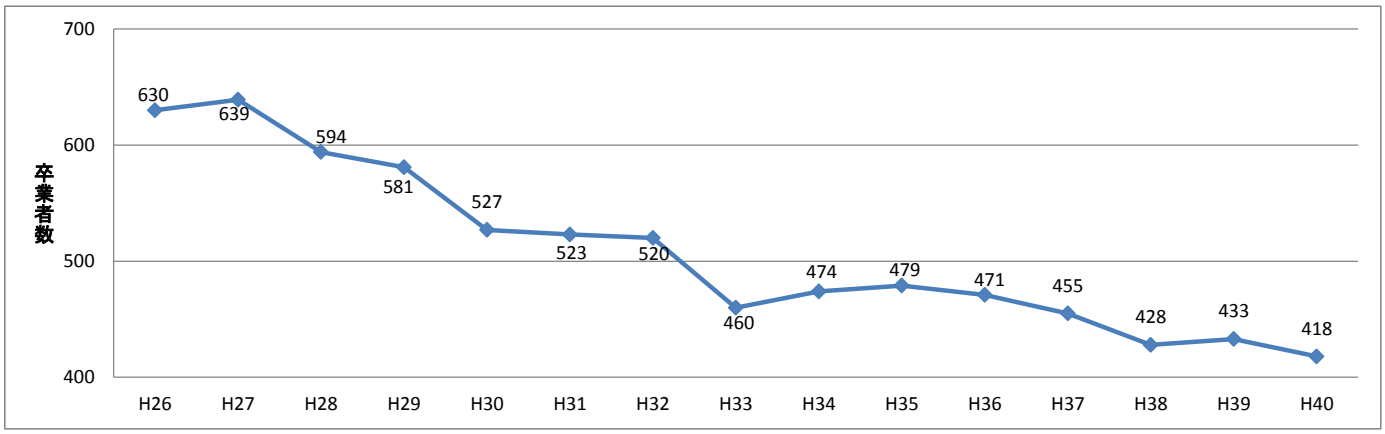
年　度	内　容
H15	岩泉高校（３学級）と岩泉高校小川校（１学級）を統合し、岩泉高校（３学級）とする。
H20	宮古高校（６学級）、宮古高校川井校（１学級）を統合し、宮古高校（６学級）とする。
H22	岩泉高校田野畑校（１学級）を募集停止とする。（H23年度末　閉校）

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［久慈ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
久　慈	630	639	594	581	527	523	520	460	474	479	471	455	428	433	418
		9	−45	−13	−54	−4	−3	−60	14	5	−8	−16	−27	5	−15
ブロック計		9	−36	−49	−103	−107	−110	−170	−156	−151	−159	−175	−202	−197	−212
久慈市	369	380	363	363	330	321	333	304	317	308	309	303	290	286	267
		11	−17	0	−33	−9	12	−29	13	−9	1	−6	−13	−4	−19
		11	−6	−6	−39	−48	−36	−65	−52	−61	−60	−66	−79	−83	−102
普代村	25	26	27	18	22	20	20	16	15	25	21	20	20	17	15
		1	1	−9	4	−2	0	−4	−1	10	−4	−1	0	−3	−2
		1	2	−7	−3	−5	−5	−9	−10	0	−4	−5	−5	−8	−10
洋野町	199	187	179	168	138	156	135	106	110	114	111	103	93	99	103
		−12	−8	−11	−30	18	−21	−29	4	4	−3	−8	−10	6	4
		−12	−20	−31	−61	−43	−64	−93	−89	−85	−88	−96	−106	−100	−96
野田村	37	46	25	32	37	26	32	34	32	32	30	29	25	31	33
		9	−21	7	5	−11	6	2	−2	0	−2	−1	−4	6	2
		9	−12	−5	0	−11	−5	−3	−5	−5	−7	−8	−12	−6	−4
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
久慈	久慈	普	5	17 ［学科の割合］ 普通科系 52.9% 専門学科 17.6% 総合学科 29.4%	13 （▲4）	10 （▲7）	10 （▲7）
	久慈東	総	5				
	久慈工	工	2				
	種市	普・工	3				
	大野	普	2				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数（H26年度）

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
久　　慈	普通	200	203	3	206
久　慈　東	総合	200	163	▲ 37	166
久　慈　工	電子機械	40	15	▲ 25	15
	建設環境	40	28	▲ 12	28
種　　市	普通	80	58	▲ 22	60
	海洋開発	40	25	▲ 15	25
大　　野	普通	80	56	▲ 24	56
合　　計		680	548	▲ 132	556

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
久慈長内	普通（昼間）	40	9	▲ 31	9
	普通（夜間）	40	0	▲ 40	0
合　　計		80	9	▲ 71	9

[参考]

県立高等学校新整備計画期間中の再編状況

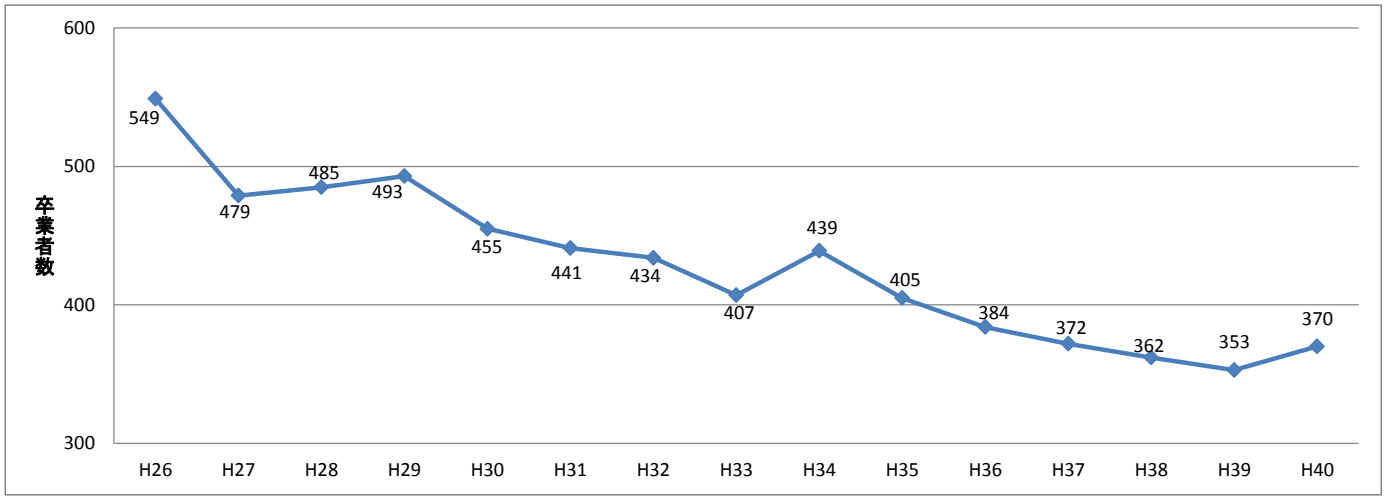
年　度	内　容
H16	久慈農林高校（３学級）、久慈商業高校（３学級）、久慈水産高校（２学級）を統合し、久慈東高校（６学級）を総合学科校とする。
H20	久慈高校（５学級）、久慈高校山形校（１学級）を統合し、久慈高校（５学級）とする。
H20	久慈高校長内校（１学級）を、多部制（２学級）とする。

（1）ブロック別の現状について（つづき）

［二戸ブロック］

1　平成26年3月～40年3月　中学校卒業者の推移

	26年3月	27年3月	28年3月	29年3月	30年3月	31年3月	32年3月	33年3月	34年3月	35年3月	36年3月	37年3月	38年3月	39年3月	40年3月
二　戸	549	479	485	493	455	441	434	407	439	405	384	372	362	353	370
		−70	6	8	−38	−14	−7	−27	32	−34	−21	−12	−10	−9	17
ブロック計		−70	−64	−56	−94	−108	−115	−142	−110	−144	−165	−177	−187	−196	−179
二戸市	285	237	264	253	254	229	235	202	237	209	205	190	183	187	206
		−48	27	−11	1	−25	6	−33	35	−28	−4	−15	−7	4	19
		−48	−21	−32	−31	−56	−50	−83	−48	−76	−80	−95	−102	−98	−79
軽米町	92	88	69	75	68	76	69	66	75	73	56	63	65	58	48
		−4	−19	6	−7	8	−7	−3	9	−2	−17	7	2	−7	−10
		−4	−23	−17	−24	−16	−23	−26	−17	−19	−36	−29	−27	−34	−44
九戸村	51	53	43	54	48	50	50	48	43	40	40	38	38	36	38
		2	−10	11	−6	2	0	−2	−5	−3	0	−2	0	−2	2
		2	−8	3	−3	−1	−1	−3	−8	−11	−11	−13	−13	−15	−13
一戸町	121	101	109	111	85	86	80	91	84	83	83	81	76	72	78
		−20	8	2	−26	1	−6	11	−7	−1	0	−2	−5	−4	6
		−20	−12	−10	−36	−35	−41	−30	−37	−38	−38	−40	−45	−49	−43
	卒業者	現中３	中２	中１	小６	小５	小４	小３	小２	小１	5才・4才	4才・3才	3才・2才	2才・1才	1才・0才



2　公立高等学校募集学級数の推移（全日制課程の推計値）

（　　）内は、対H26度比

ブロック	学校名	設置学科	平成２６年度学級数	ブロック内学級数 H２６	H２９	H３３	H３８
二戸	軽米	普	2	14 ［学科の割合］ 普通科系 64.3% 専門学科 14.3% 総合学科 21.4%	11 (▲3)	9 (▲5)	9 (▲5)
	伊保内	普	2				
	福岡	普	5				
	福岡工	工	2				
	一戸	総	3				

※ ▭ は普通科系

※ ▩ は専門学科及び総合学科

※ 平成26年度は実績値であること。平成29年度以降のブロック内学級数は、中学校卒業予定者数から、進学率、地区間交流、私立・高専進学者数を加減し、公立全日制高校への入学予想者数を算出し、1学級定員40人で除して算出したものであること。

※ 学科の割合は、対象学科の学級数÷学級数全体×100で算出したものであること。

※ 普通科系学科とは、普通科、理数科、体育科であること。

※ 専門学科とは、農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科であること。

3 合格者数・総受検者数（H26年度）

【全日制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
軽　　米	普通	80	65	▲ 15	65
伊 保 内	普通	80	50	▲ 30	50
福　　岡	普通	200	183	▲ 17	183
福岡高校浄法寺校	普通	H26募集停止			
福 岡 工	機械ｼｽﾃﾑ	40	40	0	40
	電気情報ｼｽﾃﾑ	40	22	▲ 18	22
一　　戸	総合	120	124	4	124
合　　計		560	484	▲ 76	484

【定時制】

学　校	学　科	定　員	合格者数	定員に対する過不足	総受検者数
福　　岡	普通	40	3	▲ 37	3

[参考]

県立高等学校新整備計画期間及び現在までの再編状況

年　度	内　容
H17	一戸高校（４学級）を改編し、総合学科校（４学級）とする。
H20	浄法寺高校（１学級）を分校化し、福岡高校浄法寺校（1学級）とする。
H26	福岡高校浄法寺校（1学級）を募集停止とする。（H27年度末　閉校予定）

（2）ブロック別懇談会の実施概要、主な意見等

ア 実施時期

平成26年８月６日（水）～９月４日（木）の間（実施日は下記の実施状況参照）

イ 目的及び懇談テーマ

(ｱ) 目的

今後の県立高等学校教育の在り方について、県内各地域において各界の代表者等と意見交換を行い、県立高等学校教育の在り方検討委員会における検討の参考に資する。

(ｲ) 懇談テーマ

a 県立高等学校の現状及び各ブロックの現状について

b 「今後の高等学校教育の基本的方向」の見直しにおける論点について

ウ 実施状況

ﾌﾞﾛｯｸ名	ブロック内市町村名	実施日	場所	出席者数					
				地区代表	県議会議員	地区校長等	検討委員	傍聴者(報道)	事務局
盛岡	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町	8月27日(水)	岩手産業文化センター	37	5	19	2	10	15
岩手中部	花巻市、北上市、西和賀町	8月20日(水)	花巻市民文化会館	15	4	11	2	23	15
胆江	奥州市、金ケ崎町	8月 8日(金)	奥州市水沢地区センター	10	3	9	2	7	13
両磐	一関市、平泉町	8月 6日(水)	一関地区合同庁舎	10	4	7	2	14	13
気仙	大船渡市、陸前高田市、住田町	8月19日(火)	大船渡市役所	13	―	6	2	11	13
釜石・遠野	釜石市、大槌町、遠野市	9月 4日(木)	釜石地区合同庁舎	13	3	7	2	4	12
宮古	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村	8月11日(月)	宮古地区合同庁舎	20	1	8	2	12	13
久慈	久慈市、洋野町、野田村、普代村	8月25日(月)	久慈地区合同庁舎	20	1	6	2	7	12
二戸	二戸市、一戸町、軽米町、九戸村	9月 3日(水)	二戸市民文化会館	19	1	6	2	9	13
計				157	22	79	18	97	119
				492					

エ 各ブロックの主な意見・提言（まとめ）

(ｱ) 小規模校への配慮から、小規模校も一律の基準で統廃合せず、地域の状況を踏まえ存続も視野に検討すべき。 高校は地域を担う人材育成や地域振興に重要な存在であり、小規模校も一律の基準で統廃合せず、地域の状況を踏まえ存続も視野に検討すべき。

(ｲ) 地域産業との関わりから、少子化の中でも、生徒に選択されるような各校の特色を打ち出すため、高校と地域との連携を積極的に進めていくべき。

(ｳ) 通学の支援に関し、遠距離での通学を余儀なくされている生徒も多く、通学に対する経済的支援を実施してほしい。

(ｴ) １学級の定員に関し、学級定員は県内一律の基準ではなく、地域の実情に合わせ検討していくべきであり、地域によっては少人数学級等の設置についても検討が必要である。併せて、学級定員の見直しを国に働きかけてほしい。など、様々な意見が寄せられました。（次頁参照）

［各ブロックでの主な意見、提言等］

ﾌﾞﾛｯｸ名	主な意見・提言等（項目のみ）
盛岡	・郷土を愛する心の育成 ・地域に根ざした教育 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・中高連携の重要性 ・キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携、人材活用 ・高校生の離職率を低下させるキャリア教育 ・新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・教員の資質の向上 ・特別な支援を必要とする生徒への対応 ・望ましい学校規模の考え方 ・地域性を考慮した高校の設置 ・40 人以下学級の導入（１学級定員の見直し） ・学区外入学枠の拡大(県外入学容認) ・通学支援の実施 ・地域の産業発展につながる専門高校(学科)の在り方 ・総合学科高校へ工業系列の設置 ・職業教育の充実と技術者の育成 ・地域の高等教育機関としての高校の在り方
岩手中部	・沿岸部は震災の影響を考慮し慎重な検討を ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・新規就職者（若者）の社会への適応能力の育成 ・特別な支援を必要とする生徒への対応 ・多様な生徒への対応 ・地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・通学支援の実施 ・まちづくりと関連した高校再編の在り方
胆江	・企業が求める人材育成 ・教員の資質能力の向上 ・生徒が通学可能な範囲に選択が可能となる数の高校配置 ・普通高校の特色化 ・魅力ある小規模校の在り方 ・地域性を考慮した高校の設置 ・通学支援の実施 ・ものづくりを学ぶ環境の整備 ・総合学科高校の成果と課題の検証 ・中学生や高校生からの再編への意見聴取 ・教員が地域理解を深めるための研修の実施 ・再編に向けた丁寧な説明による地域との合意形成
両磐	・復興を担う人材育成 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・小中学校との連携強化 ・キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携(地域の人材活用) ・教員の地域理解 ・新規就職者(若者)の社会への適応能力の育成 ・特別な支援を必要とする生徒への対応 ・魅力ある学校づくり ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・学区の見直し(拡大) ・地域産業と関連した学校教育の在り方 ・総合学科高校の十分な検証 ・国際的に活躍できる人材を育成する学校の設置 ・継続性のある学校経営の展開
気仙	・地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・教育の質の維持 ・教員の授業派遣等による中高連携の強化 ・キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携(キャリア教育に地域人材活用) ・自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・学科等のバランスのとれた高校配置 ・地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・通学支援の実施 ・10 年先を見据えた専門学科の在り方検討 ・復興に対応する専門教育の充実 ・中高一貫教育校の拡大
釜石・遠野	・生徒の地域貢献意識の向上 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携 ・特別な支援を必要とする生徒への対応 ・中途退学者への対応 ・高校集約による拠点化と説得力のあるビジョン提示 ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・多様な学科(水産、外国語) の設置 ・工業系専攻科の設置 ・中高一貫校で育成する人材を明確に ・内陸と沿岸の学習機会の格差の是正 ・教育内容の充実
宮古	・地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・キャリア教育の充実のための地域、産業界との連携 ・高校生の離職率の低下に向けたキャリア教育の充実 ・特別な支援を必要とする生徒への対応 ・現状の高校の維持 ・地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・学区の拡大 ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・通学支援の実施 ・農業、福祉系の学科配置の検討 ・教育環境の整備 ・内陸部と沿岸県北の教育の機会均等
久慈	・地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・新規就職者(若者)の社会への適応能力の育成 ・専門高校から高等教育機関への進学ルート確保 ・教員の資質能力の向上と適正配置 ・地域性を考慮した高校の設置(在り方) ・自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・県外入学の容認 ・通学や下宿経費への支援 ・特色ある学科(林業、水産、福祉、外国語)の設置
二戸	・地域に貢献し、地域を担う人材育成 ・生徒の学ぶ機会、学校選択の機会の保障 ・特別支援学校高等部の設置 ・自治体と連携した魅力ある学校づくり(特に小規模校) ・地域の拠点校の充実 ・現状の高校の維持 ・望ましい学校規模の考え方の見直し ・ ＩＣＴの活用 ・40 人以下学級の導入(1 学級定員の見直し) ・学区の見直し(隣接協定の変更) ・通学支援の実施 ・多様な学科の配置 ・総合学科高校の学校規模の維持 ・食品関連学科の設置 ・中高一貫教育校の充実